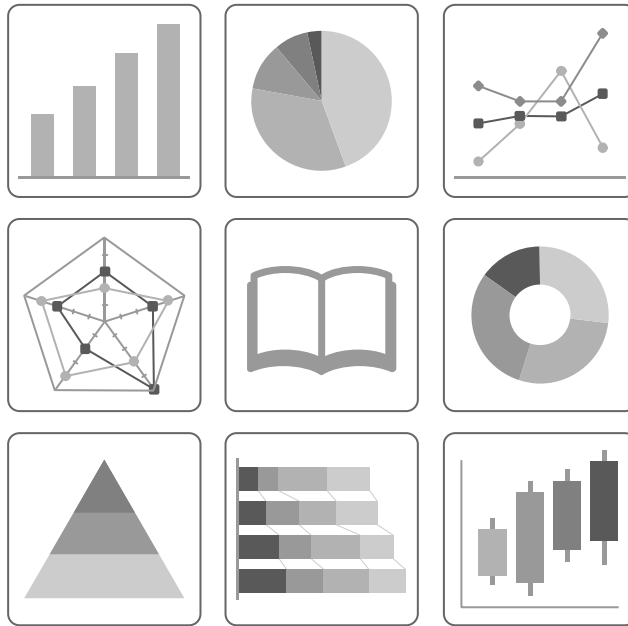


令和3年度

八尾市 市民意識調査報告書



令和4(2022)年3月

八尾市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	回答者属性	2
2	みなさまの日常の暮らしについて	17
3	八尾のまちについて、みなさまが日ごろ感じておられることについて	41
4	公共施設の今後のあり方について	56
5	今後の定住意向について	69
6	八尾市の将来都市像の実現状況について	80
7	身近な地域（小学校区や町会など）の地域活動について	91
8	八尾市の取り組みについて	94
III	自由記述	115
IV	調査票	120

I 調査の概要

1 調査の目的

本市では、第6次総合計画に掲げる八尾市の将来都市像「つながり、かがやき、しあわせつづく、成長都市 八尾」の実現に向け、各種の取り組みを進めているところです。

今回の調査により、市民のみなさまが市に対して感じておられることを、数値等で把握することで、今後、市はどんな取り組みを充実させていくべきなのかを決める重要な基礎データとして活用してまいります。

2 調査対象

八尾市在住の満18歳以上の市民3,000人を無作為抽出

3 調査期間

令和4年1月21日から令和4年2月7日まで

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000通	1,642通	54.7%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各設問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、選択肢ごとの回答者数が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計は通常100.0%となりません。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

II 調査結果

1 回答者属性

- ◆1 あなたの年齢について、お伺いします。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「70歳以上」の割合が33.4%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が18.5%、「40～49歳」の割合が16.1%となっています。

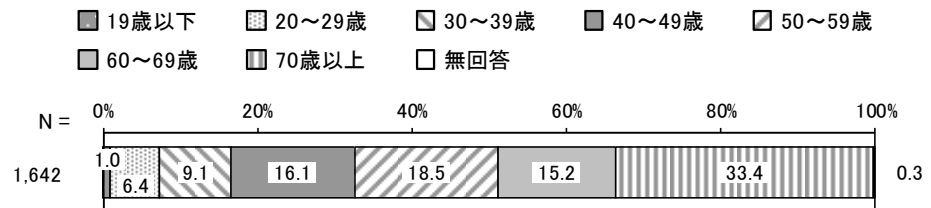


図 年齢

- ◆2 あなたの性別について、お伺いします。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「女性」の割合が57.6%、「男性」の割合が42.0%と、「女性」のほうが多くなっています。

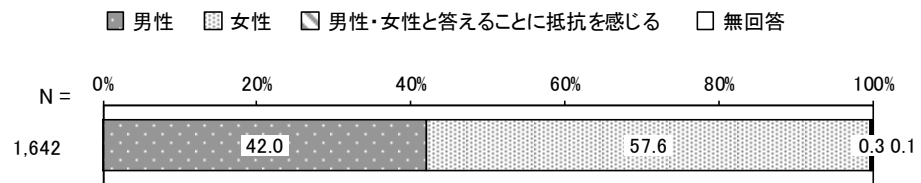


図 性別

- ◆3 あなたの家族構成について、お伺いします。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「二世世代同居（親と子どもなど）」の割合が48.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が28.3%、「ひとり暮らし」の割合が13.7%となっています。

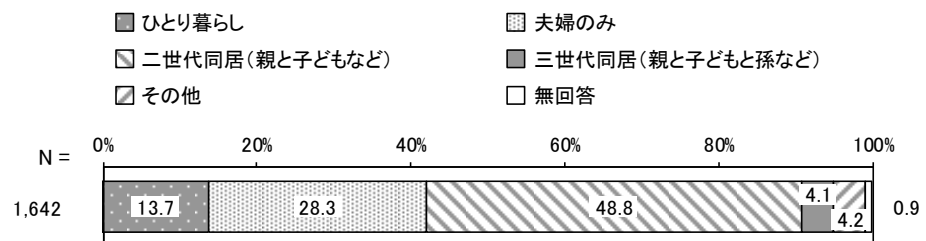


図 家族構成

◆ 4 同居の家族に未成年者（20歳未満）はおられますか。
あてはまる番号1つに○をつけ、その人数を記入してください。

未成年の同居家族が「いる」の割合が24.5%、「いない」の割合が67.4%となっています。
未成年の同居家族がいる世帯について、1人以上いる世帯が、「0～6歳」では41.2%、「7～12歳」では30.6%、「13～15歳」では24.3%、「16～20歳未満」では35.0%となっています。

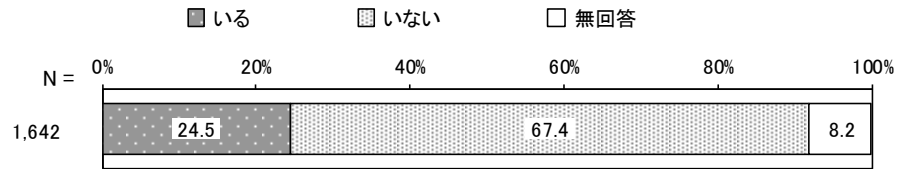


図 未成年者の同居の有無

未成年者の年齢別同居人数

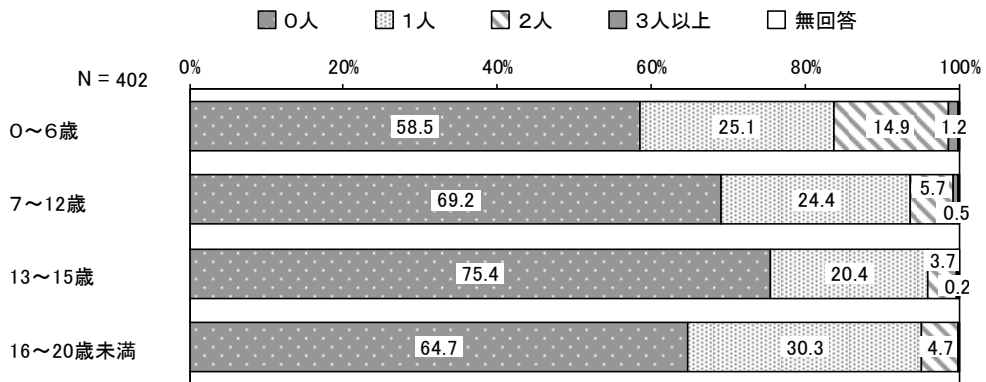


図 未成年者の年齢別同居人数

◆ 5 同居の家族（あなたを含む）に高齢者はおられますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「いない」の割合が52.6%と最も高く、次いで「75歳以上の高齢者がいる」の割合が24.1%、「65～74歳の高齢者がいる」の割合が19.5%となっています。

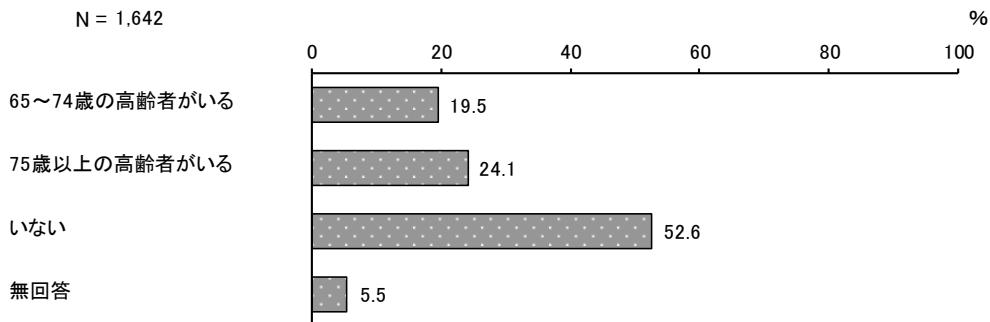


図 高齢者の家族構成

◆ 6 あなたが八尾市内を移動するとき、よく利用される交通手段は何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「自転車」の割合が63.0%と最も高く、次いで「自家用車」の割合が53.0%、「鉄道」の割合が18.7%となっています。

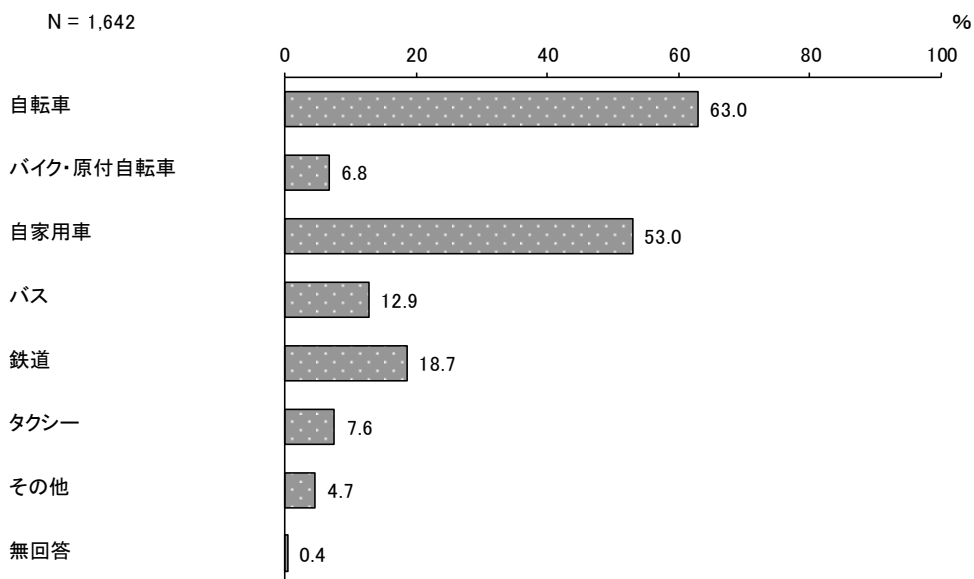


図 八尾市内で利用する交通手段

【性別】

性別でみると、男女ともに「自転車」と「自家用車」の割合が高くなっています。

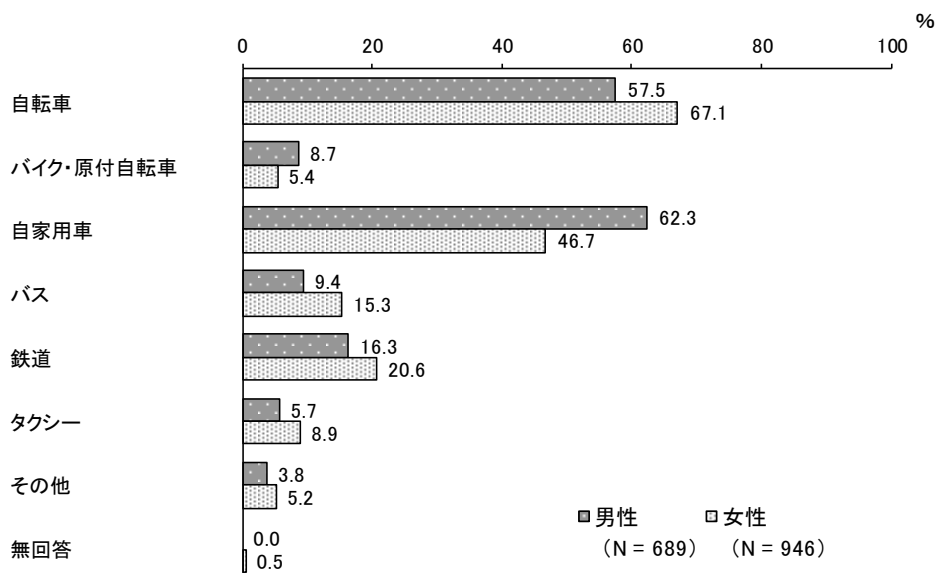


図 性別 八尾市内で利用する交通手段

【年齢別】

年齢別で見ると、30～39歳と60～69歳で「自家用車」の割合が最も高く、それ以外の年代では「自転車」の割合が最も高くなっています。

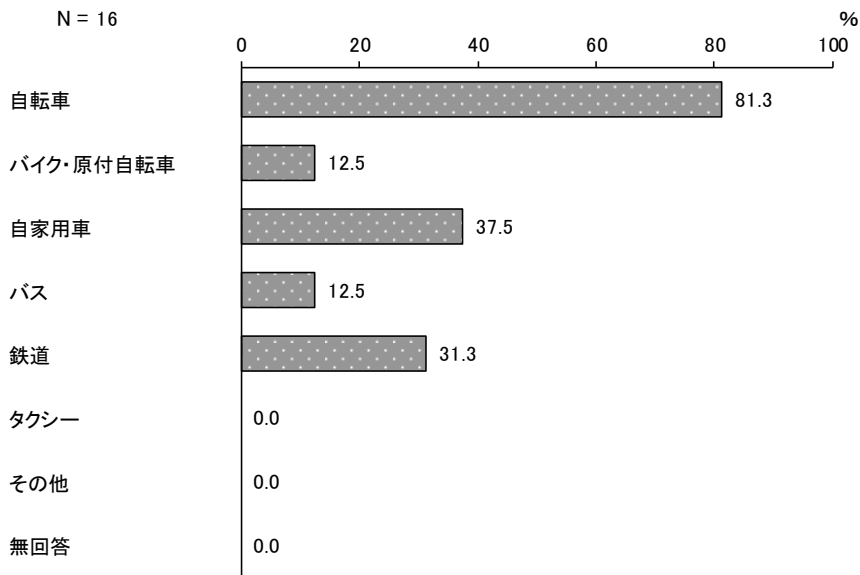


図 年齢別 八尾市内で利用する交通手段（19歳以下）

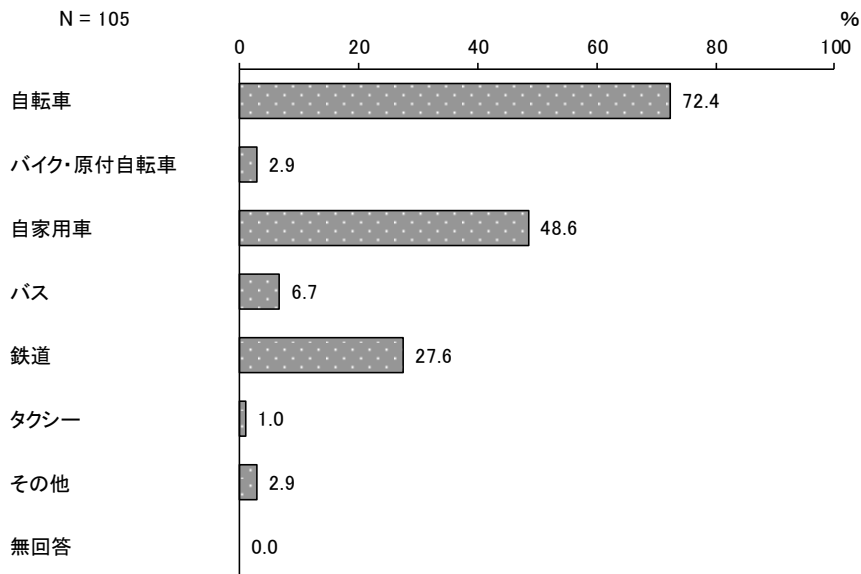


図 年齢別 八尾市内で利用する交通手段（20～29歳）

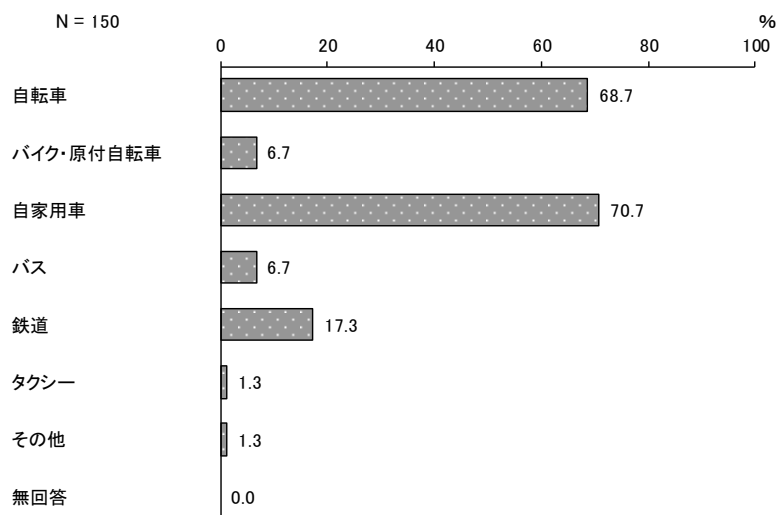


図 年齢別 八尾市内で利用する交通手段 (30～39 歳)

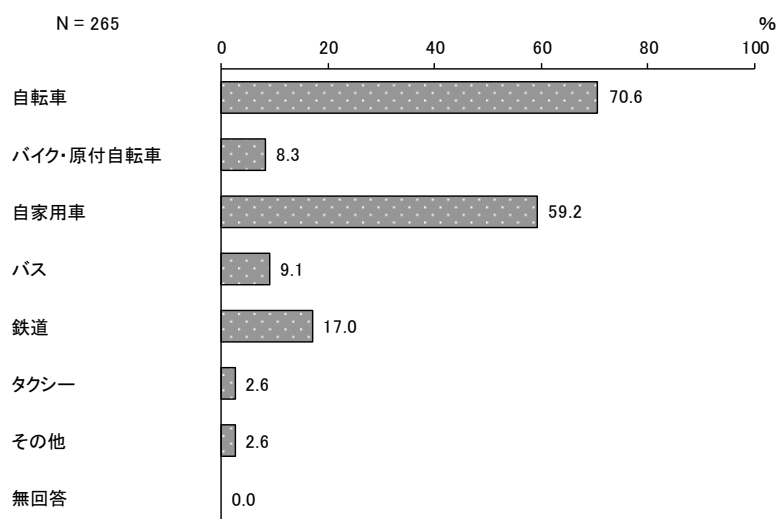


図 年齢別 八尾市内で利用する交通手段 (40～49 歳)

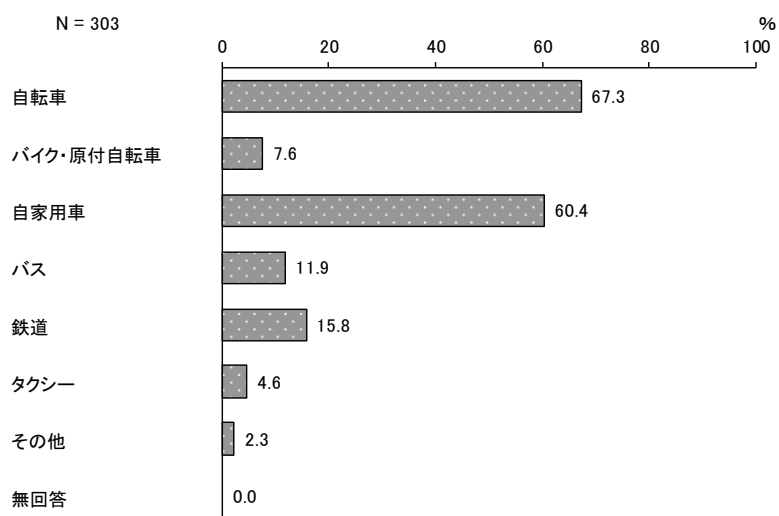


図 年齢別 八尾市内で利用する交通手段 (50～59 歳)

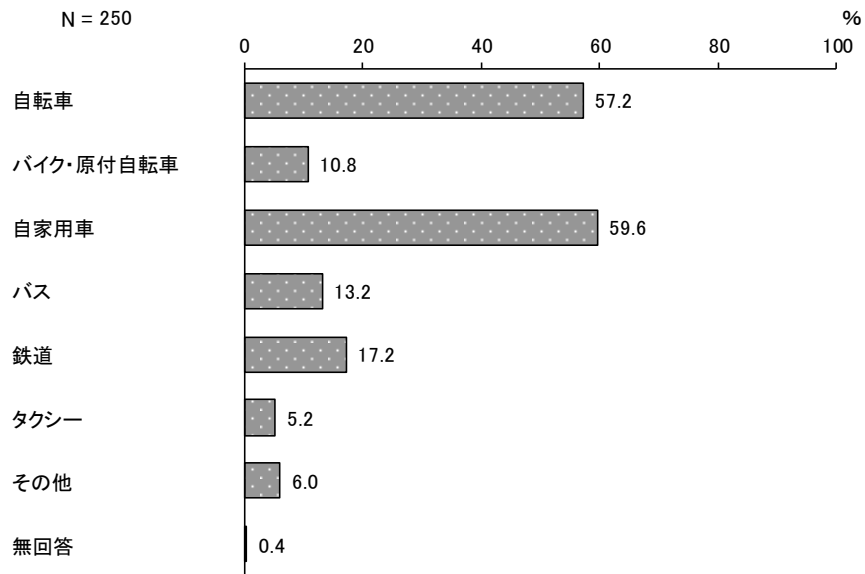


図 年齢別 八尾市内で利用する交通手段 (60～69 歳)

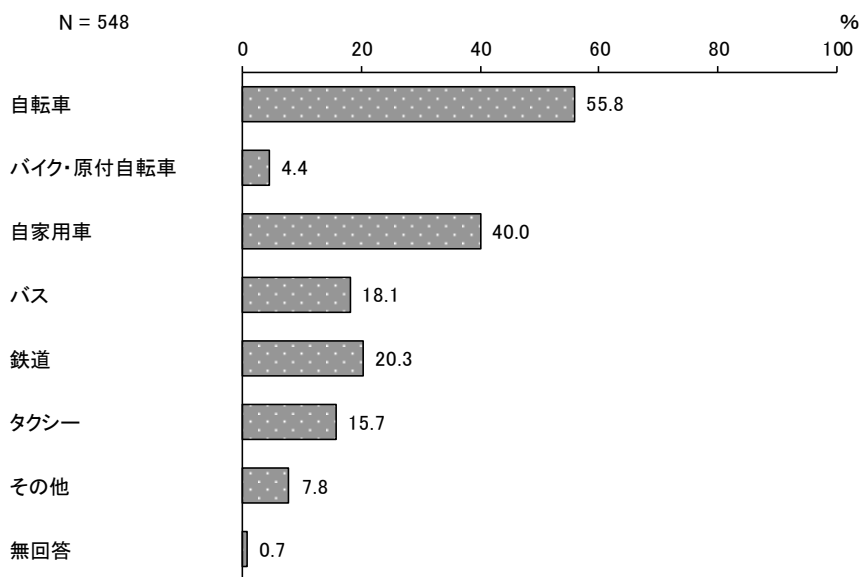


図 年齢別 八尾市内で利用する交通手段 (70 歳以上)

◆7 あなたの就学・就業状況について、お伺いします。
主にあてはまる番号1つに○をつけてください。

「働いていない」の割合が40.3%と最も高く、次いで「働いている（フルタイム労働）」の割合が37.1%、「働いている（パート・アルバイト等）」の割合が18.5%となっています。

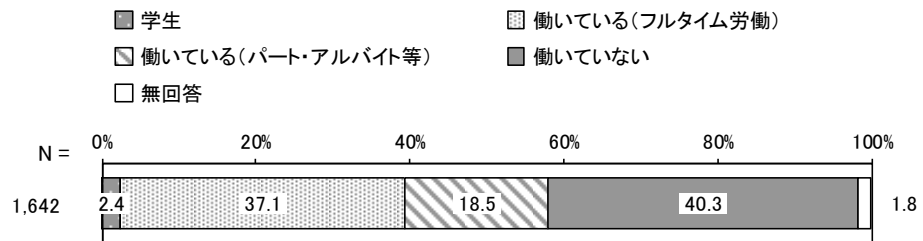


図 就学・就業状況

通勤・通学されている方にお伺いします。

◆8 あなたのお勤め先・通学先について、お伺いします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「八尾市内（自宅以外）」の割合が37.5%と最も高く、次いで「大阪市」の割合が24.4%、「大阪府内（八尾市・大阪市・東大阪市・柏原市を除く）」の割合が15.8%となっています。

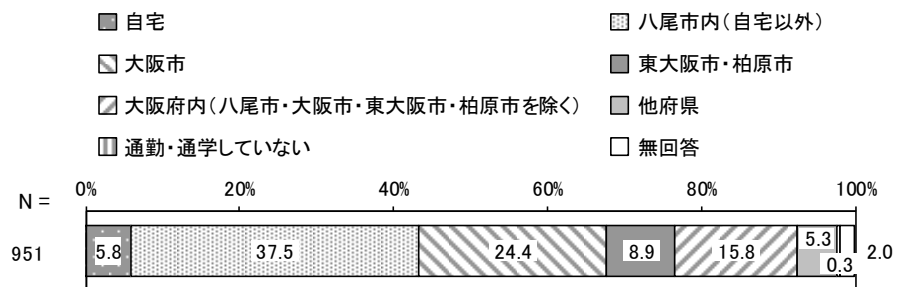


図 通勤・通学先

◆8で「2」～「6」のいずれかに○をつけた方に、お伺いします。

◆9 職場・学校までの時間について、お伺いします。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「30分未満」の割合が49.4%と最も高く、次いで「30分以上～1時間未満」の割合が35.2%、「1時間以上」の割合が14.0%となっています。

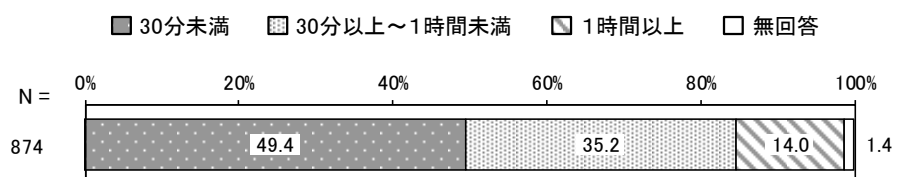


図 通勤・通学所要時間

◆10 あなたのお住まい（住宅）について、お伺いします。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「戸建て（持ち家）」の割合が66.0%と最も高く、次いで「マンション・アパートなど（賃貸）」の割合が15.3%、「マンション・アパートなど（持ち家）」の割合が10.1%となっています。

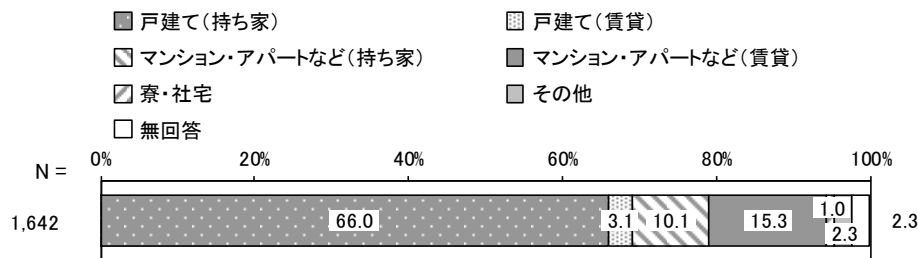


図 住居の形態

◆11 あなたのお住まいになっているところは、どの小学校区ですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「志紀小学校区」の割合が6.2%と最も高くなっています。次いで「南高安小学校区」の割合が5.9%、「八尾小学校区」の割合が5.6%となっています。

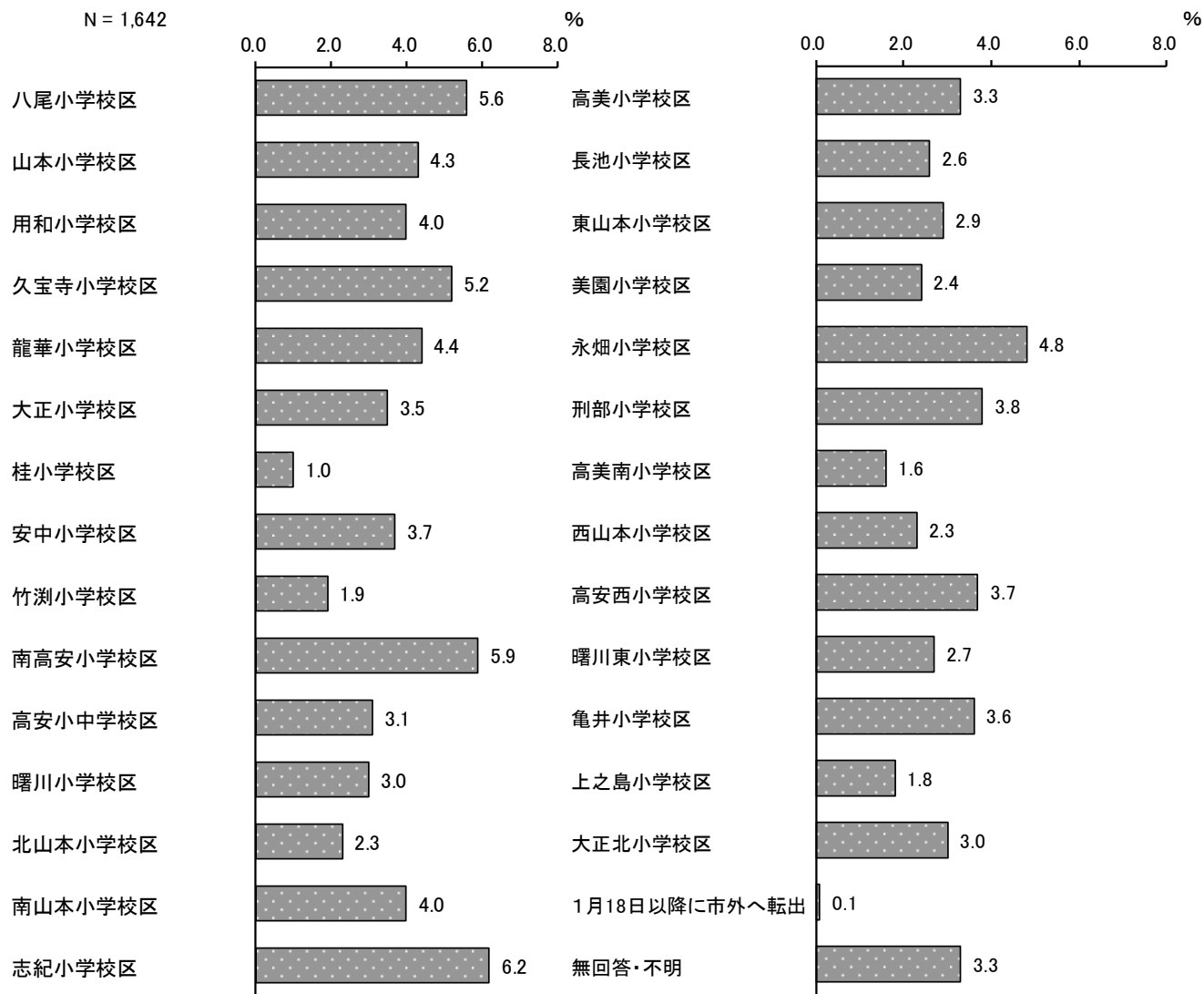


図 居住している小学校区

◆12 あなたは、八尾市にお住まいになってどれくらいたちますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「30年以上～」の割合が56.6%と最も高く、次いで「20年以上～30年未満」の割合が15.3%、「10年以上～20年未満」の割合が11.4%となっています。

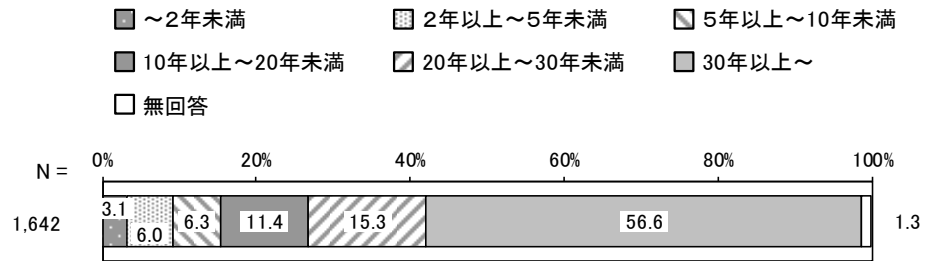


図 居住年数

次の◆13 及び◆14 は、八尾市にお住まいになって5年未満の方（◆12 で「1」または「2」に○をつけた方）に、お伺いします。

◆13 八尾市へ転入されたきっかけについて、お伺いします。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「住宅の購入・賃貸借」の割合が28.2%と最も高く、次いで「ご結婚」の割合が25.5%、「記入されているご本人又はご家族の就職・転職・転勤」の割合が21.5%となっています。

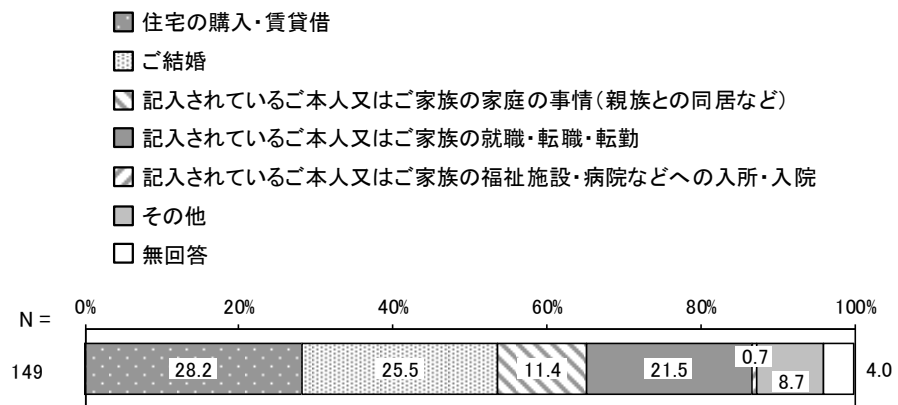


図 八尾市に転入したきっかけ

◆14 転入されたときに、居住地として八尾市を選ばれた理由について、お伺いします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「以前住んでいたところ又は家族が住んでいるところだから」の割合が43.6%と最も高く、次いで「通勤・通学に便利な環境を求めていたから」の割合が27.5%、「日常の買い物が便利な環境を求めていたから」の割合が17.4%となっています。

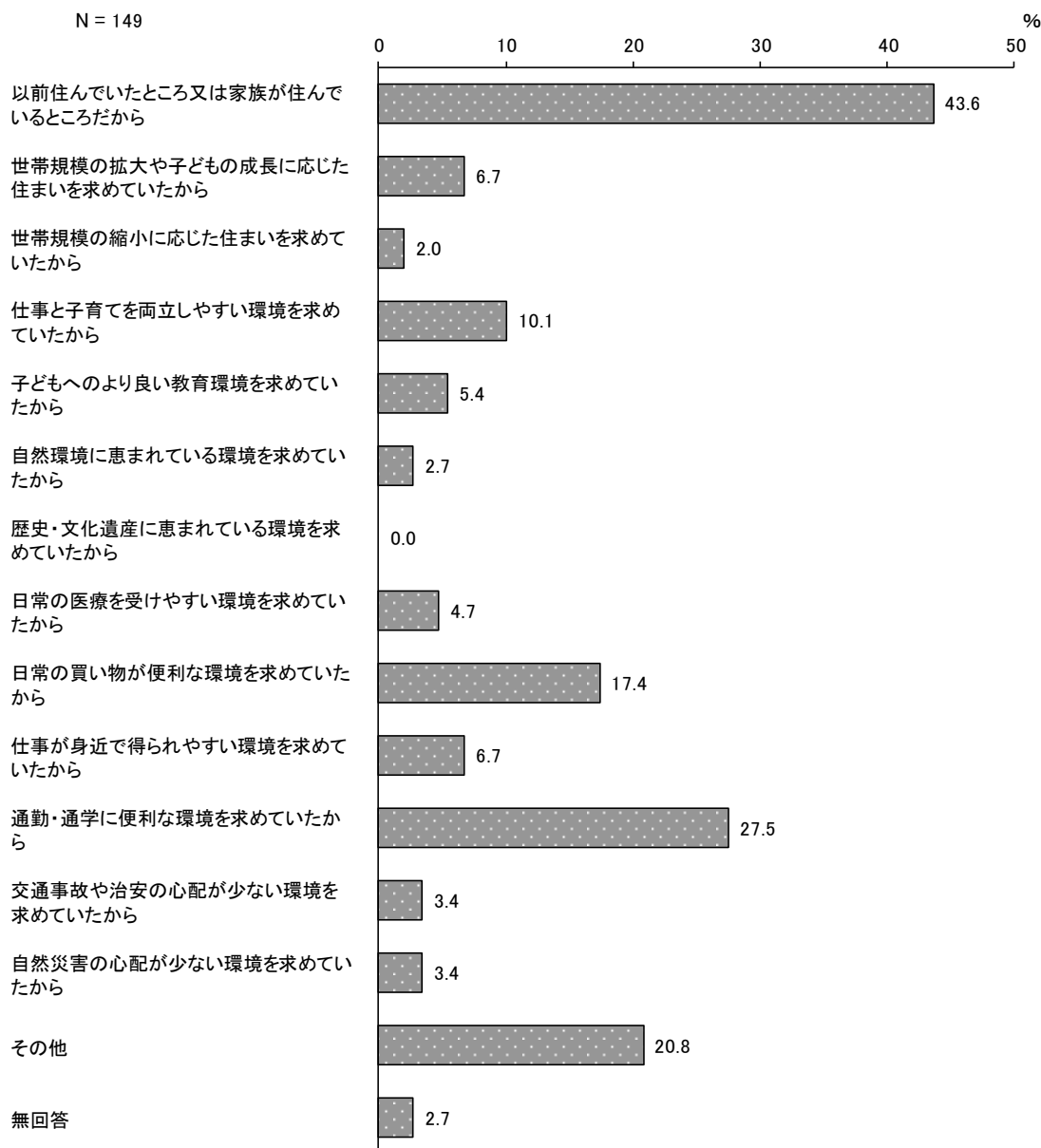


図 八尾市に転入した理由

【性別】

性別で見ると、男女ともに「以前住んでいたところ又は家族が住んでいるところだから」の割合が男性 50.8%、女性 38.9%と最も高くなっています。

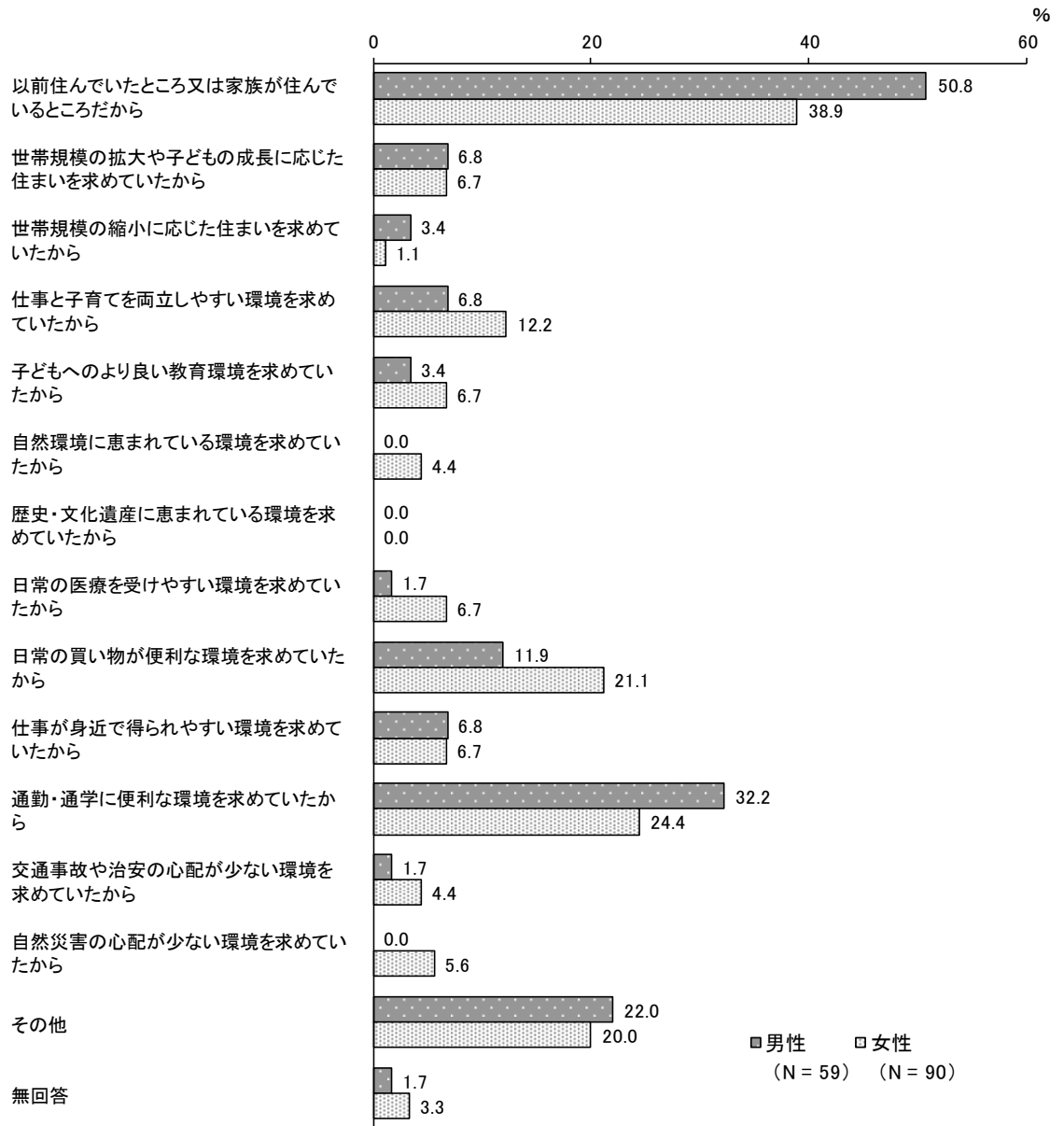


図 性別 八尾市に転入した理由

【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「以前住んでいたところ又は家族が住んでいるところだから」の割合が最も高くなっています。次いで、49歳以下では「通勤・通学に便利な環境を求めていたから」の割合が高くなっています。なお、19歳以下については回答者数N=0のため、図を省略しています。

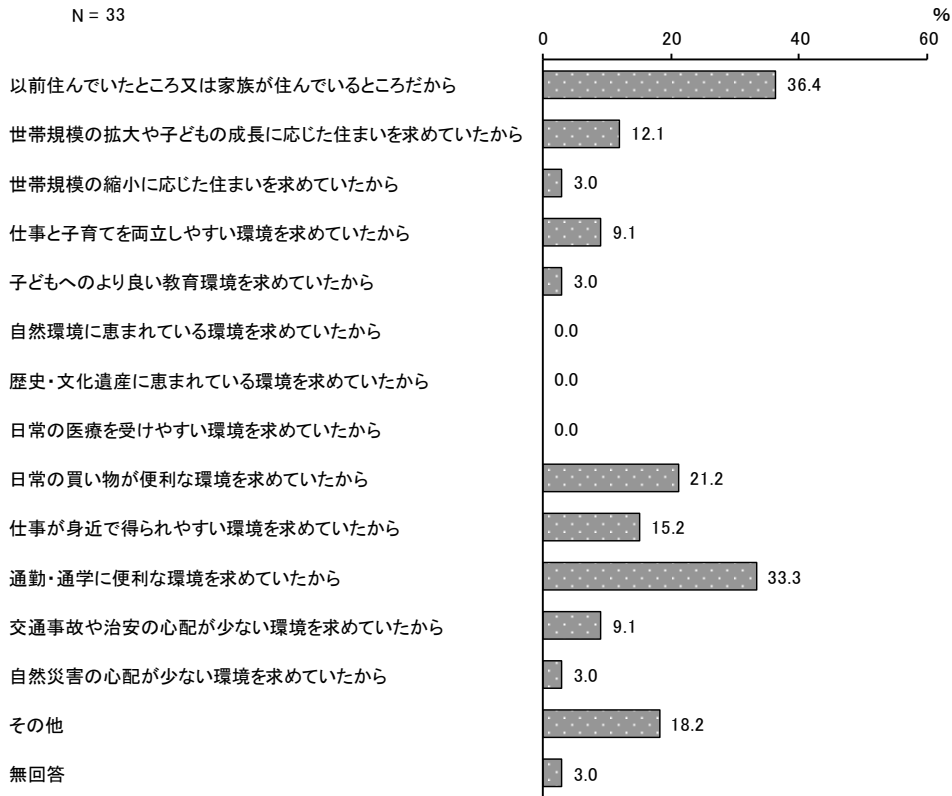


図 年齢別 八尾市に転入した理由（20～29歳）

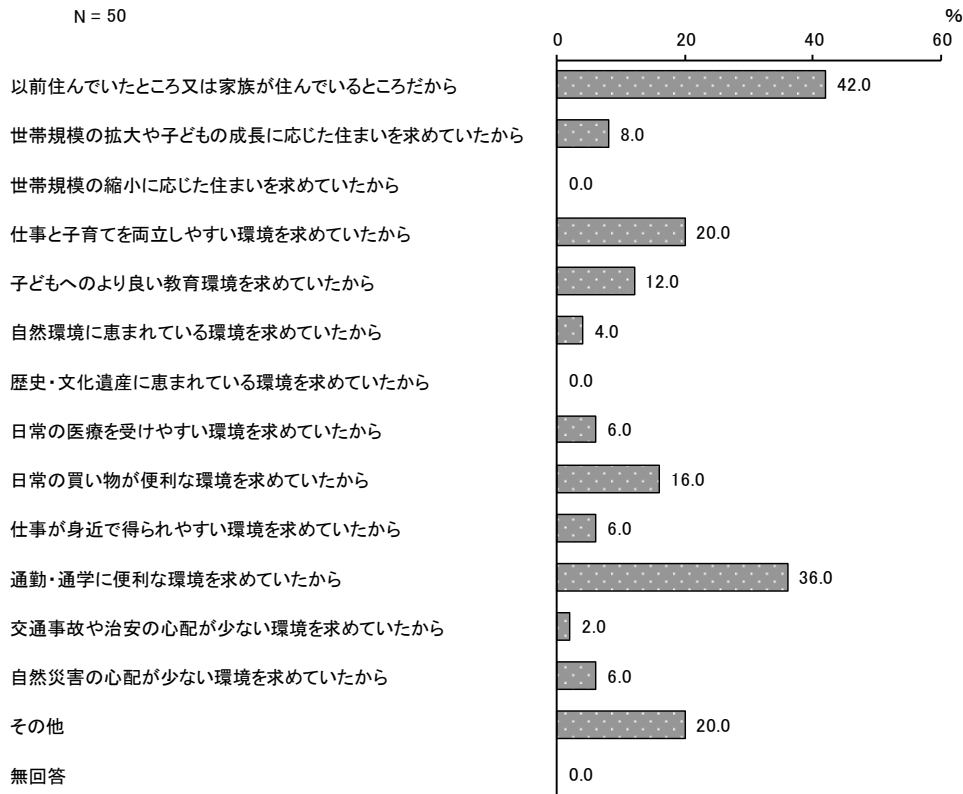


図 年齢別 八尾市に転入した理由 (30～39 歳)

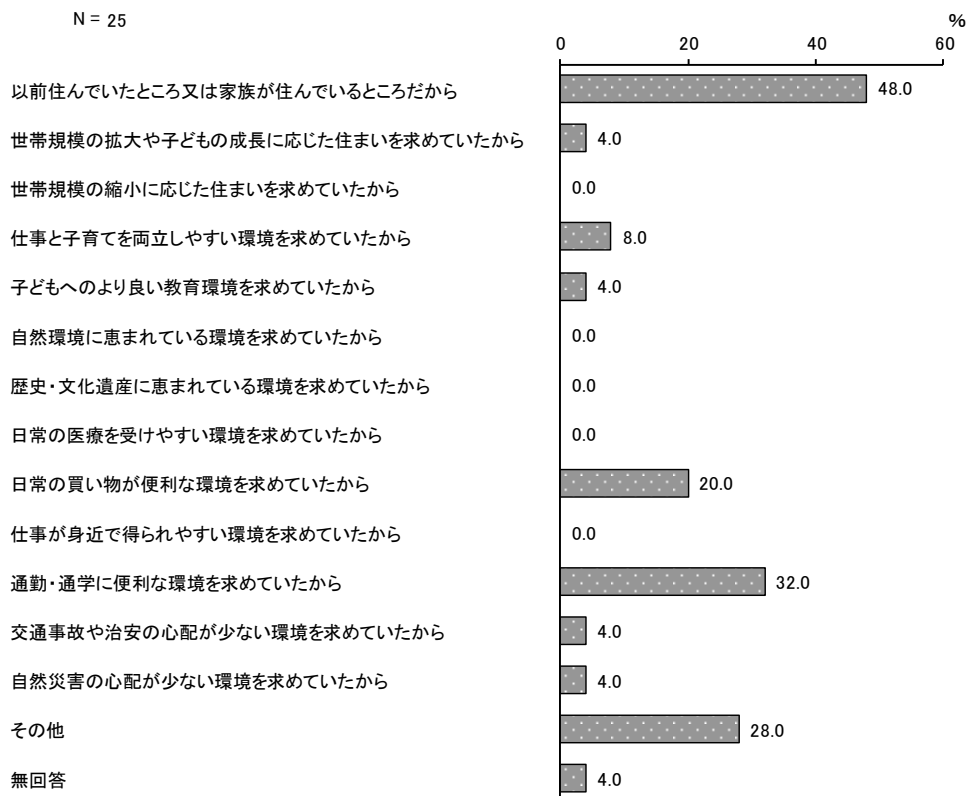


図 年齢別 八尾市に転入した理由 (40～49 歳)

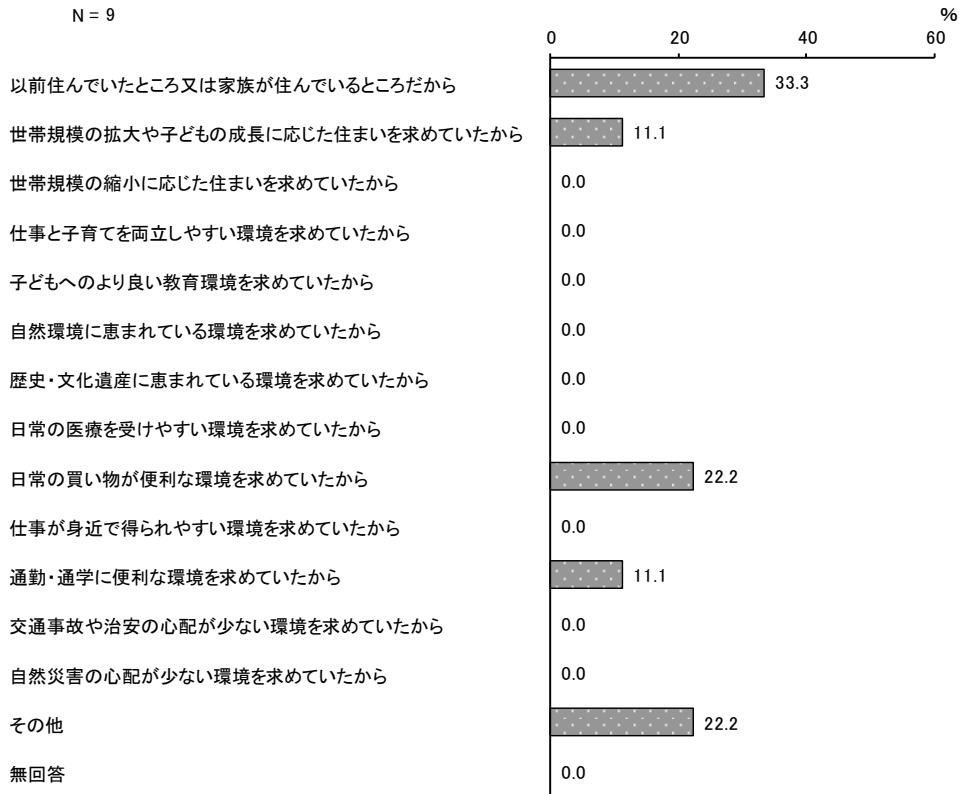


図 年齢別 八尾市に転入した理由 (50～59 歳)

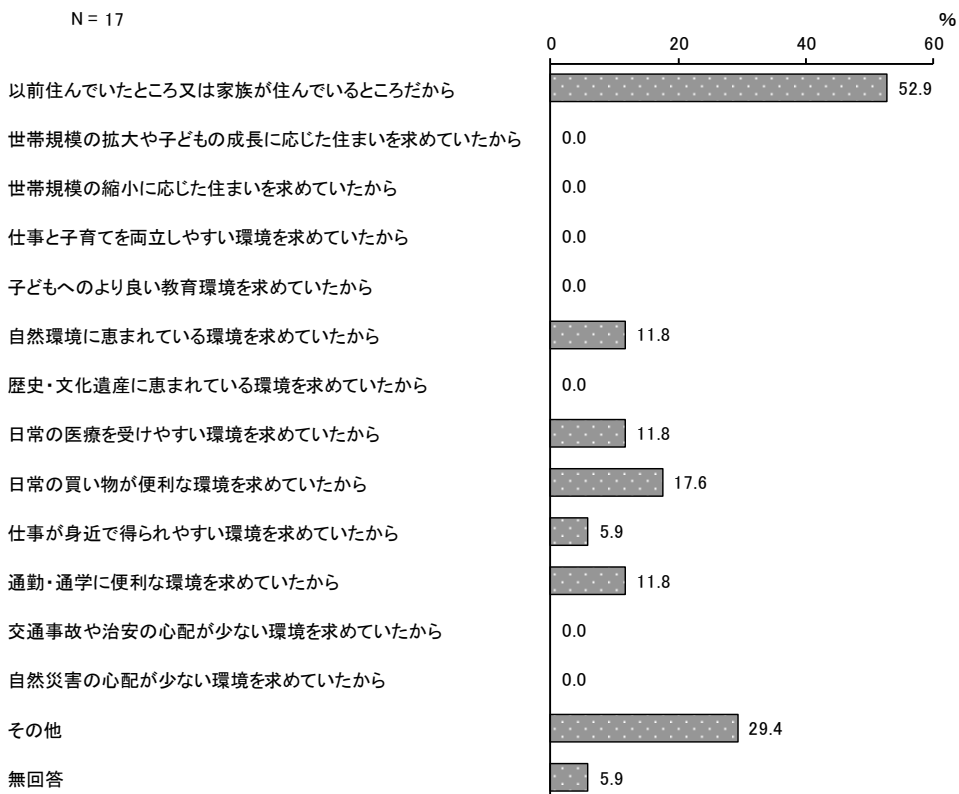


図 年齢別 八尾市に転入した理由 (60～69 歳)

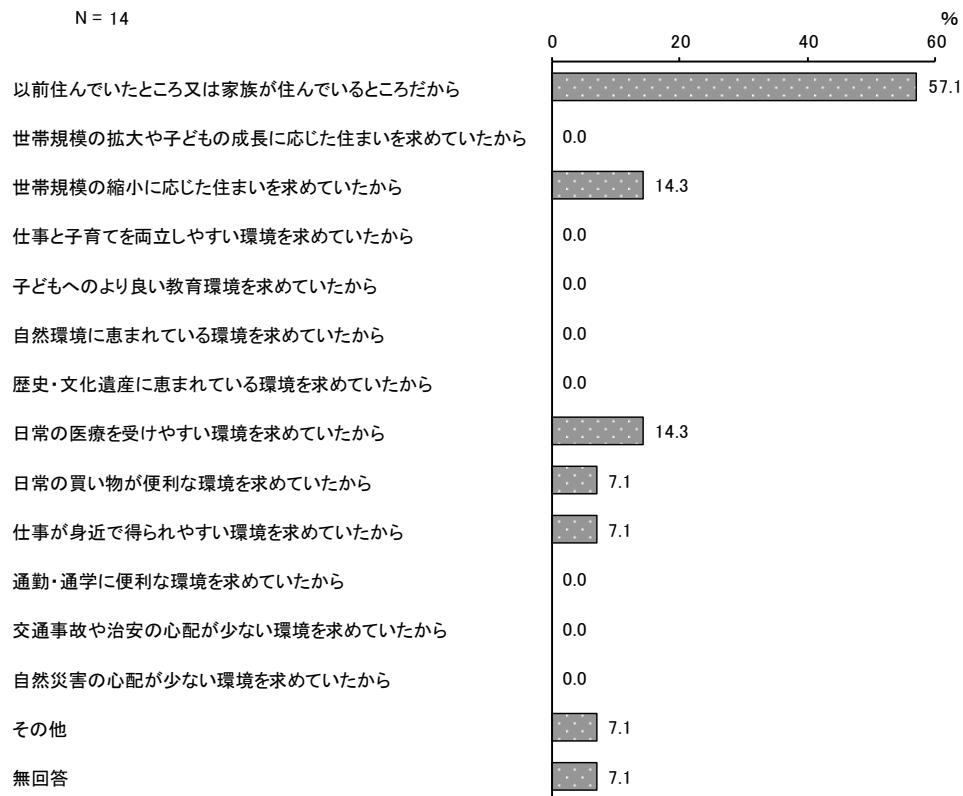


図 年齢別 八尾市に転入した理由（70歳以上）

2 みなさまの日常の暮らしについて

(1) 健康づくりについて

問1 あなたは、健康のために運動を心がけるなど、自主的に何か取り組みをしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

取り組みを「している」の割合が49.1%、「していない」の割合が48.6%となっています。年度別でみると、大きな差異はみられません。

性別でみると、女性に比べ、男性で「している」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、30～39歳で「していない」の割合が高くなっています。

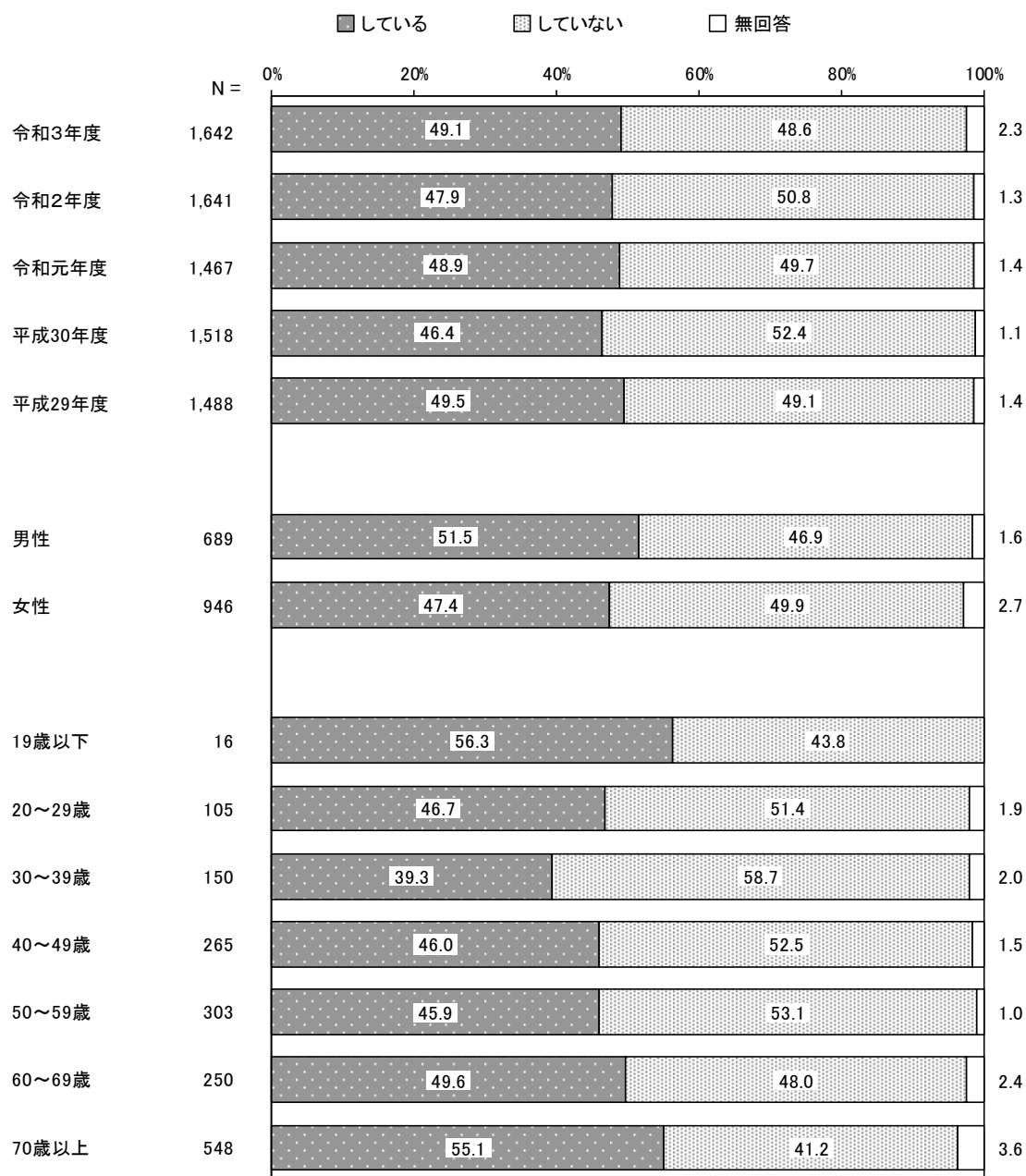


図 年度別・性別・年齢別 健康のための自主的な取り組み

**問2 あなたは、普段、栄養のバランスを考えて食事をしていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。**

「はい」の割合が72.5%、「いいえ」の割合が25.3%となっています。
 年度別でみると、大きな差異はみられません。
 性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。
 年齢別でみると、概ね年齢が高くなるにつれて、「はい」の割合が高くなっています。

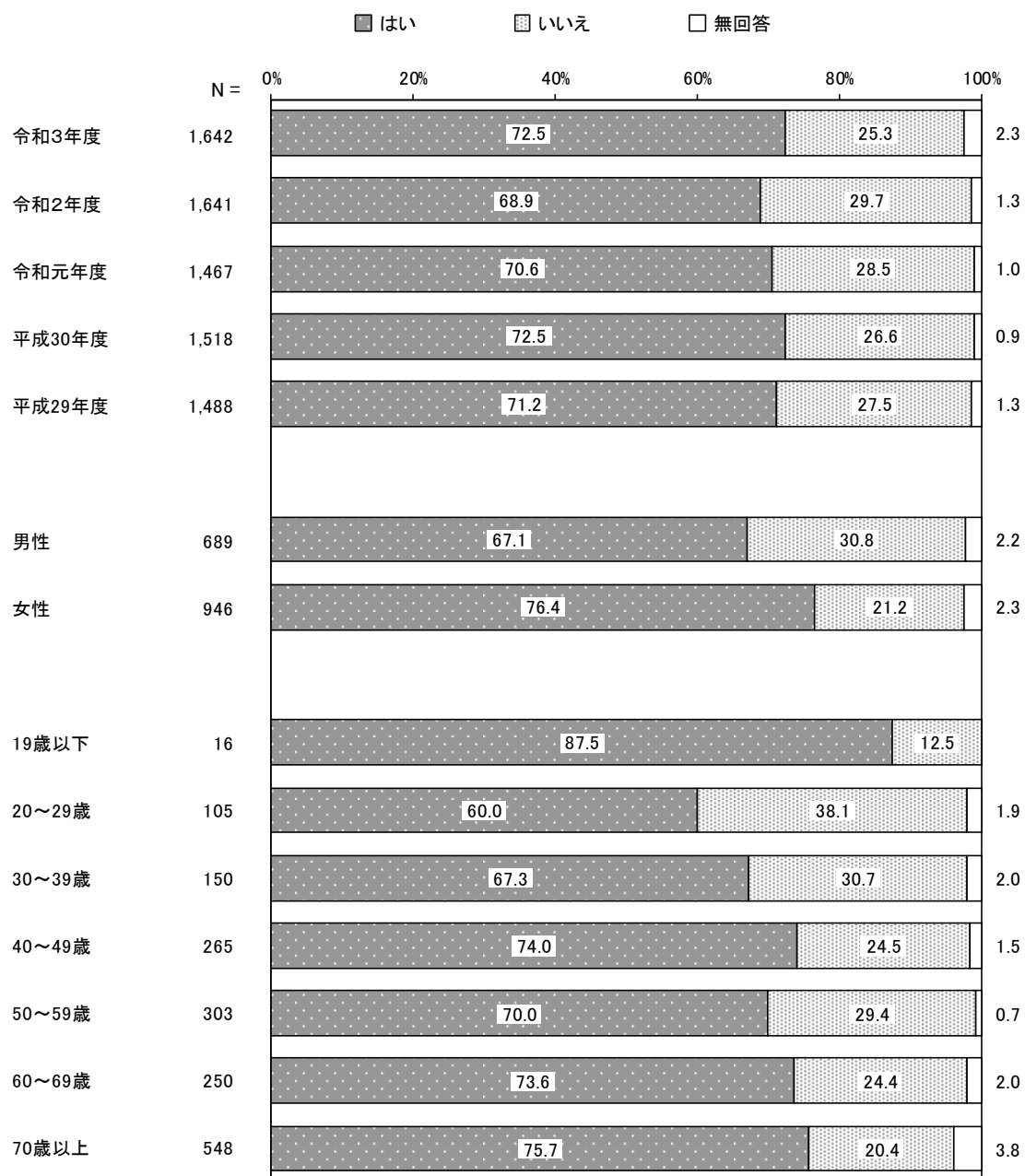


図 年度別・性別・年齢別 食事の際の栄養のバランスへの留意

問3 あなたは、病気や健康について相談や受診できる「かかりつけ医」など（かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師）がありますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「ある」の割合が73.3%、「ない」の割合が24.7%となっています。
年度別で見ると、大きな差異はみられません。
性別で見ると、男性に比べ、女性で「ある」の割合が高くなっています。
年齢別で見ると、70歳以上で「ある」の割合が最も高くなっています。

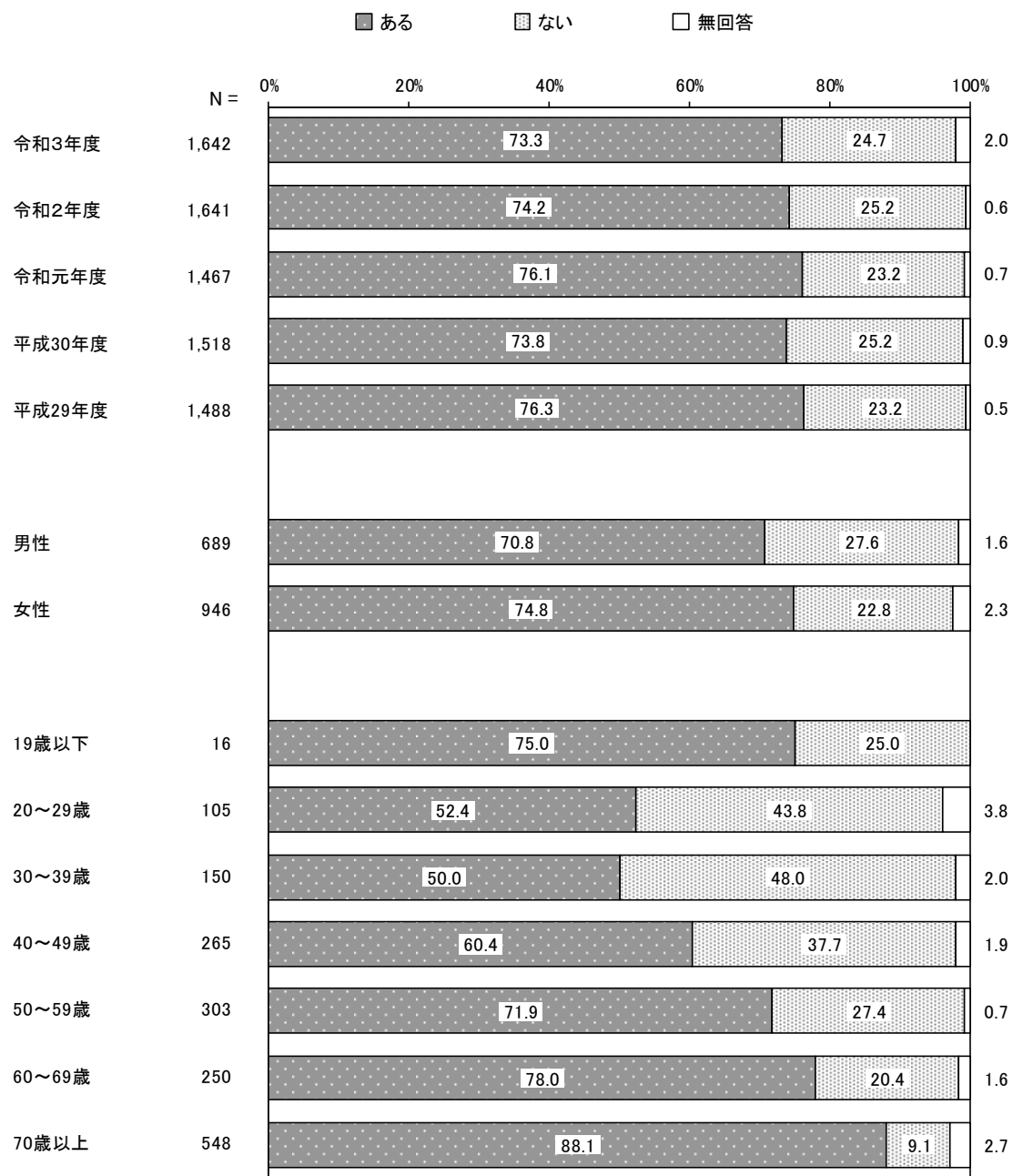


図 年度別・性別・年齢別 かかりつけ医等の有無

(2) 文化、スポーツ、国際交流について

問4 あなたは、日常生活において、音楽、映画、演劇、美術等の芸術文化に親しんで心の豊かさを感じる時がありますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「少しある」の割合が40.6%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が25.9%、「大いにある」の割合が22.4%となっています。「大いにある」と「少しある」をあわせた“親しんで心の豊かさを感じる時がある人”の割合は、63.0%となっています。

年度別でみると、大きな差異はみられません。

性別でみると、男性に比べ、女性で“親しんで心の豊かさを感じる時がある人”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、概ね全ての年代で“親しんで心の豊かさを感じる時がある人”の割合が高くなっていますが、19歳以下、20～29歳、50～59歳で7割を超えています。

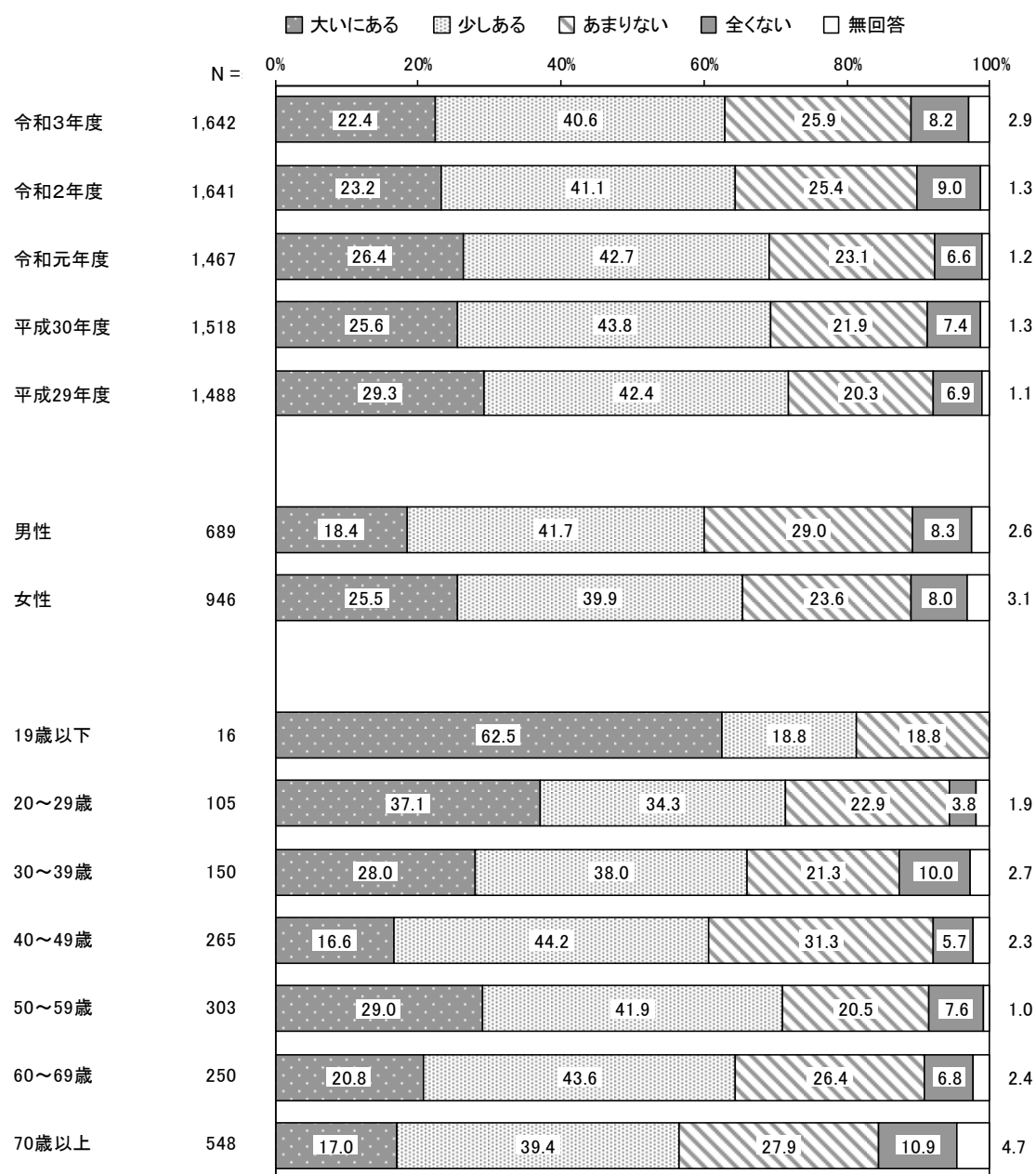


図 年度別・性別・年齢別 芸術文化に親しむ機会

問5 現在、あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「全くない」の割合が31.8%と最も高く、次いで「週1回以上」の割合が31.6%、「不定期」の割合が18.9%となっています。

年度別で見ると、大きな差異はみられません。

性別で見ると、女性に比べ、男性で「週1回以上」の割合が高くなっています。

年齢別で見ると、19歳以下を除いて、70歳以上で「週1回以上」の割合が最も高くなっています。

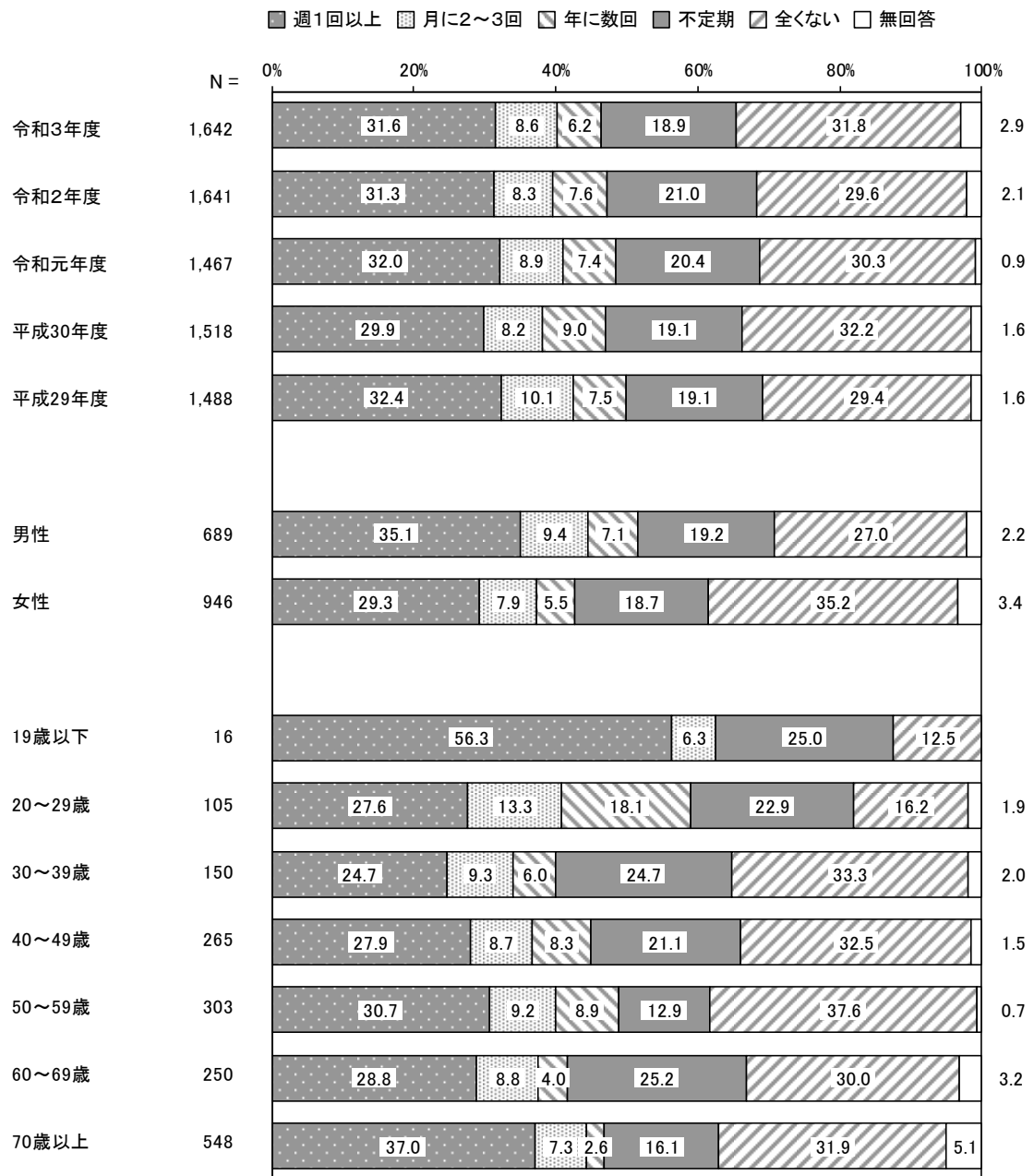


図 年度別・性別・年齢別 運動の頻度

問6 あなたは、さまざまな国の人たちと交流し、相互理解を深める国際交流について、興味がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「興味がない」の割合が47.1%と最も高く、次いで「少し興味がある」の割合が35.7%、「興味がある」の割合が14.3%となっています。

年度別で見ると、前年度に比べ「興味がない」の割合が低くなっています。

性別で見ると、大きな差異はみられません。

年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれて、「興味がある」の割合が高くなっています。

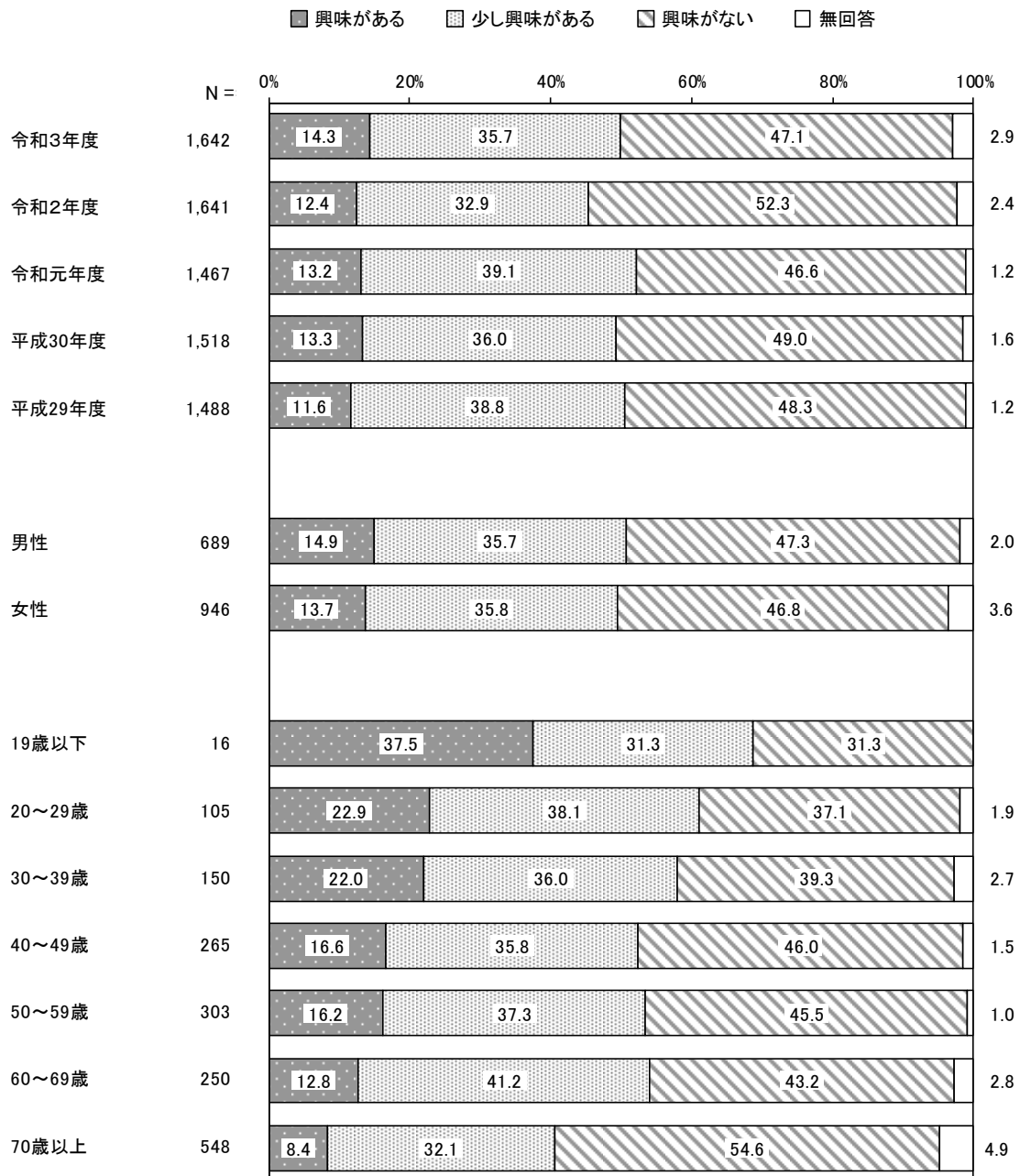


図 年度別・性別・年齢別 国際交流への興味

(3) 普段の暮らしについて

問7 あなたは、地元の商店街や個人商店でどの程度買い物をしますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「週1回以上」の割合が27.4%と最も高く、次いで「不定期」の割合が24.5%、「全くない」の割合が19.3%となっています。

年度別で見ると、大きな差異はみられません。

性別で見ると、大きな差異はみられません。

年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「週1回以上」の割合が高くなっています。

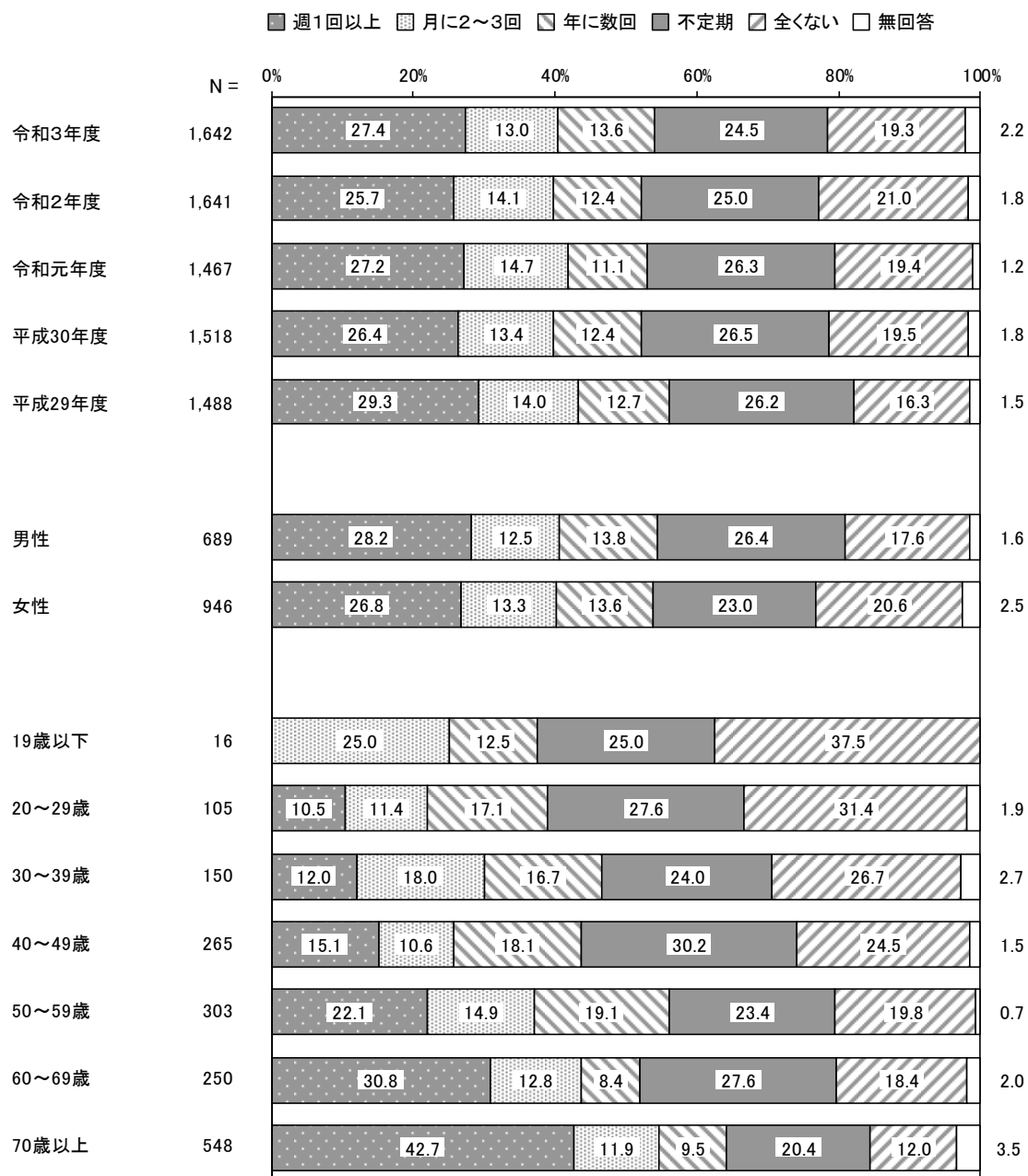


図 年度別・性別・年齢別 商店街や地元の個人商店での買い物頻度

問8 あなたは、インターネットを活用して、買い物（ネットショッピング）や宿泊施設の予約、チケットの申し込み等をすることがありますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「利用しない」の割合が30.6%と最も高く、次いで「よく利用する」の割合が30.3%、「時々利用する」の割合が25.0%となっています。「よく利用する」と「時々利用する」をあわせた“利用する人”の割合は、55.3%となっています。

年度別でみると、ほぼ同じ傾向となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「よく利用する」及び「利用しない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、20～49歳で“利用する人”の割合は8割を超えています。一方、70歳以上では17.0%と低くなっています。

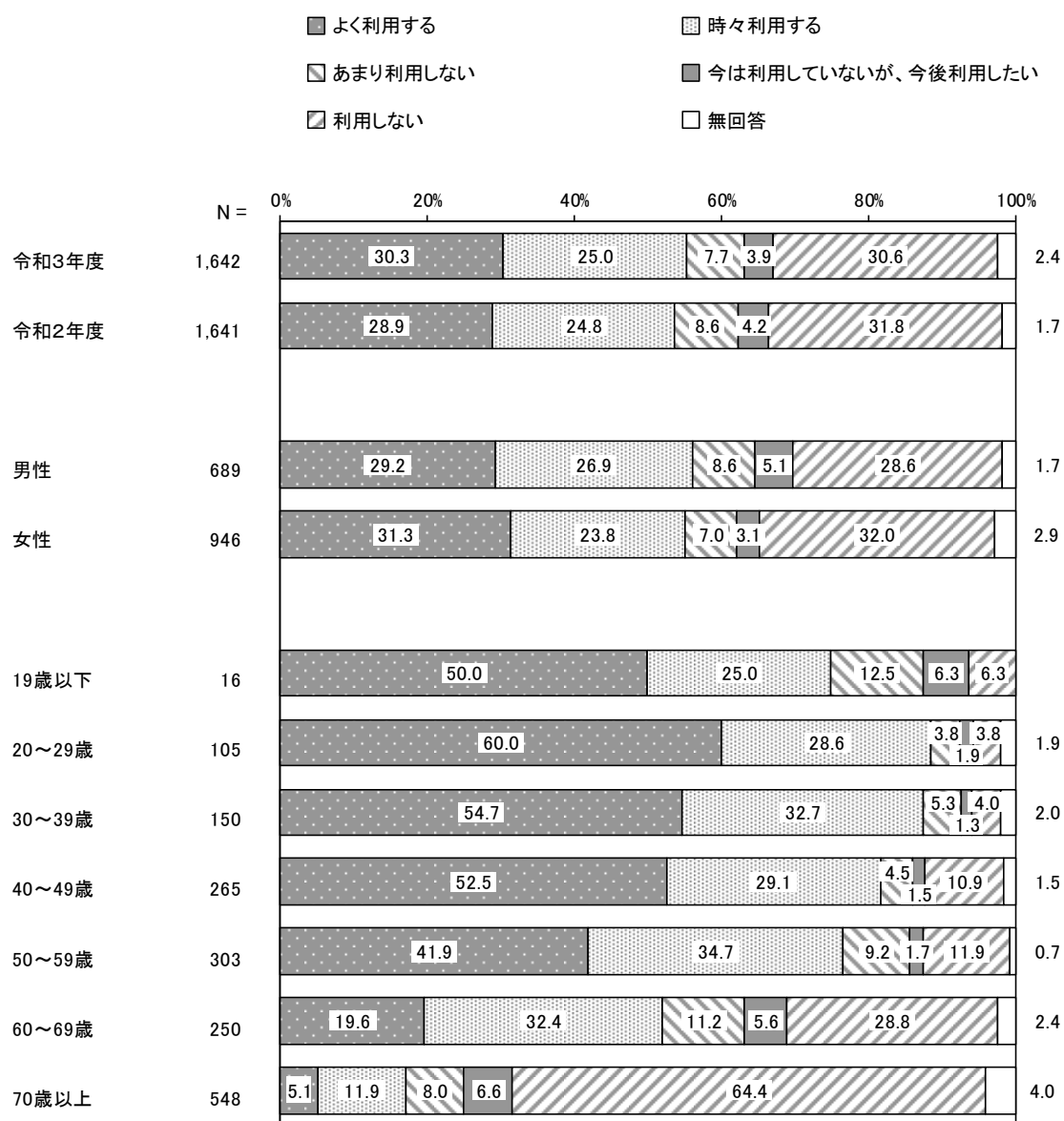


図 年度別・性別・年齢別 インターネットの活用

問9 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に何もしていない」の割合が39.2%と最も高く、次いで「3日分の食料・飲料用水を備蓄している」の割合が28.7%、「家族で避難場所を決めている」の割合が25.8%となっています。

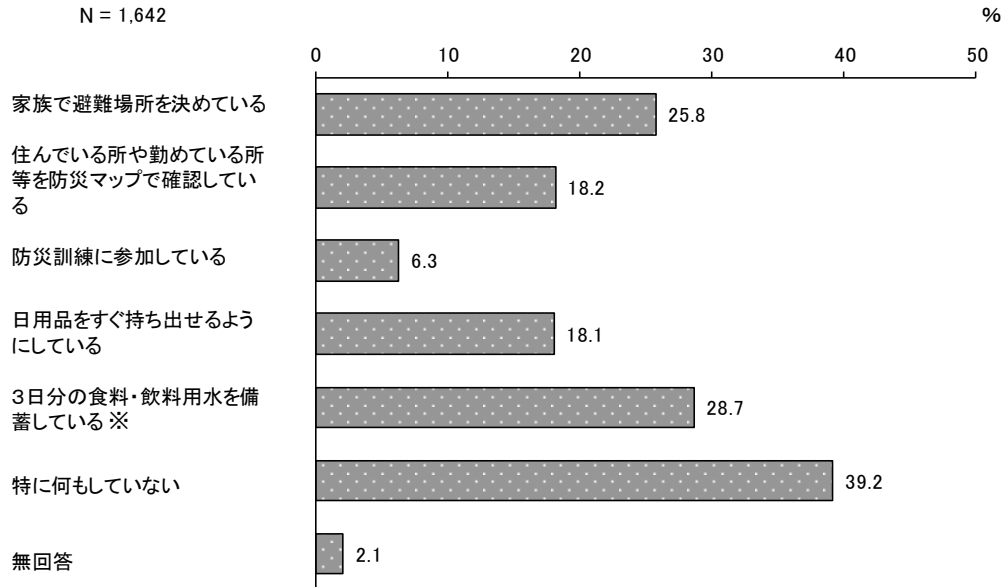


図 災害に対する備え

※地震などの災害に備えて、最低3日分程度備蓄しておくことが必要だといわれています。また、飲料用水については1人1日3リットルが目安とされています。

【性別】

性別でみると、男女ともに「特に何もしていない」の割合が高くなっています。

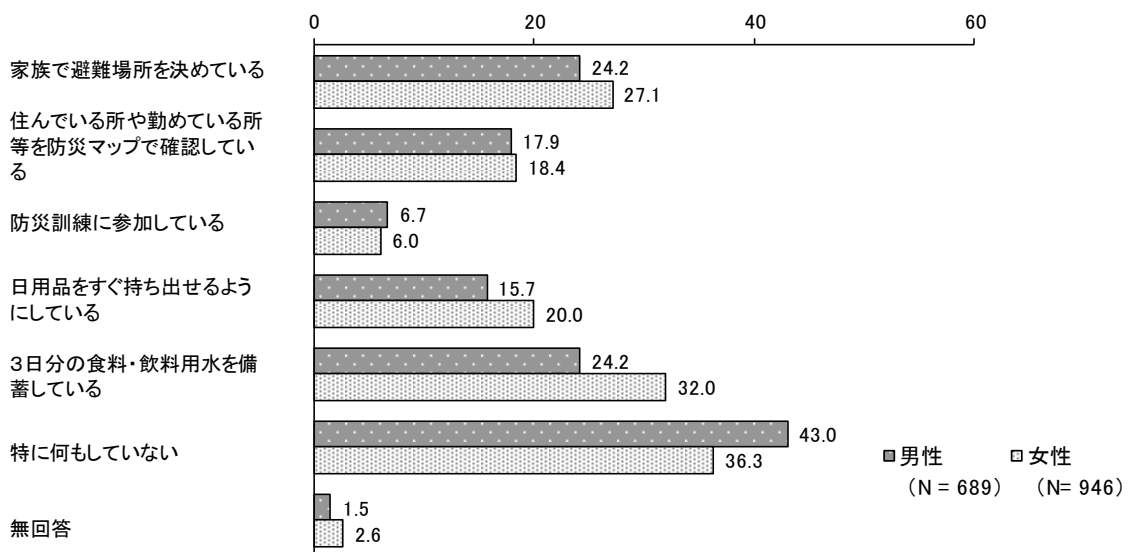


図 性別 災害に対する備え

【年齢別】

年齢別でみると、19歳以下を除く全ての年代で「特に何もしていない」の割合が最も高くなっています。次いで、50～59歳以上では「3日分の食料・飲料用水を備蓄している」が高くなっています。

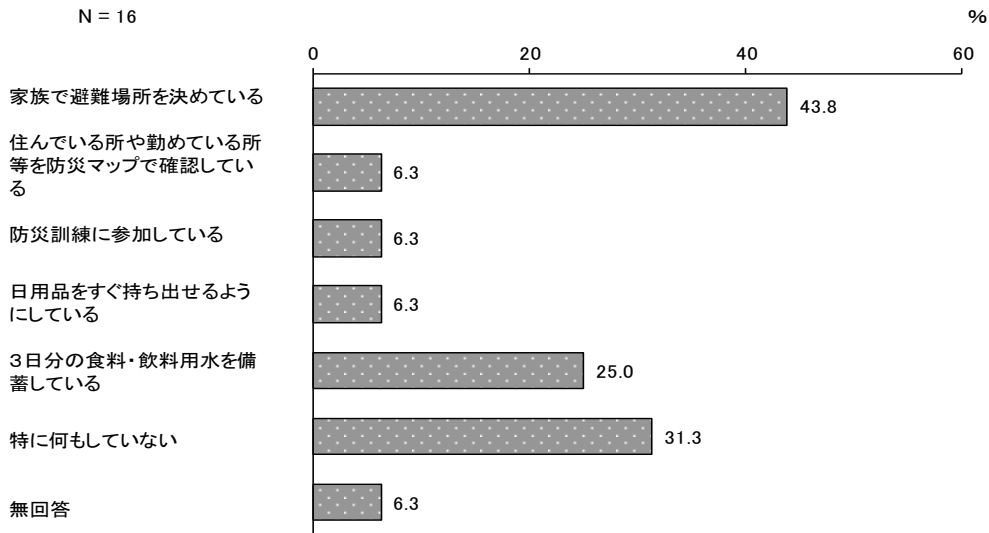


図 年齢別 災害に対する備え（19歳以下）

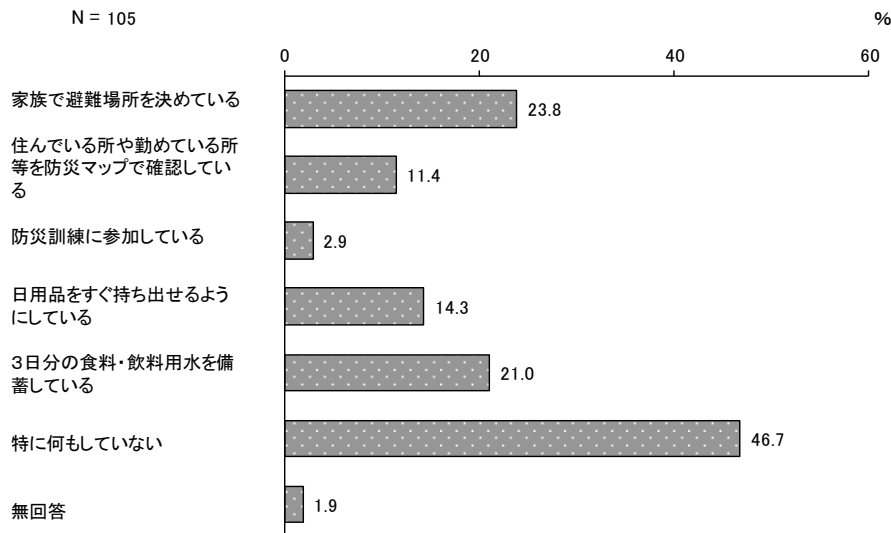


図 年齢別 災害に対する備え（20～29歳）

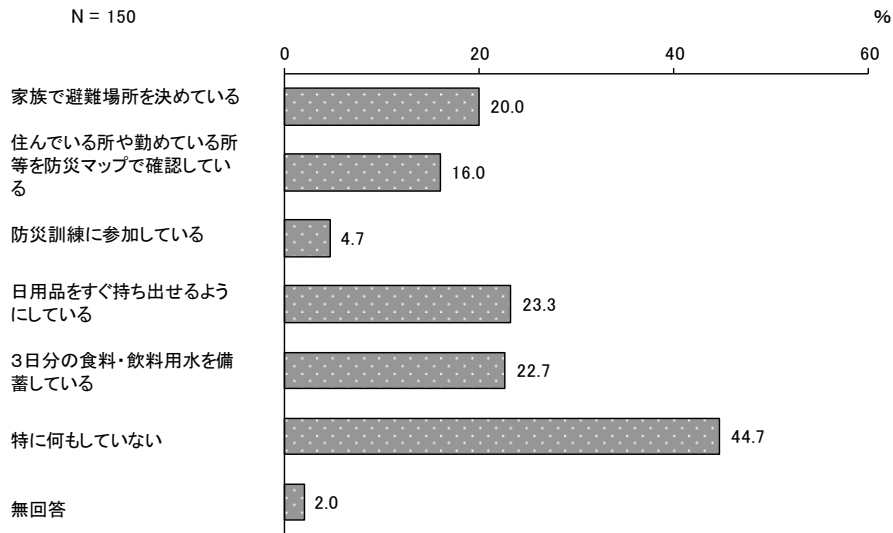


図 年齢別 災害に対する備え (30~39 歳)

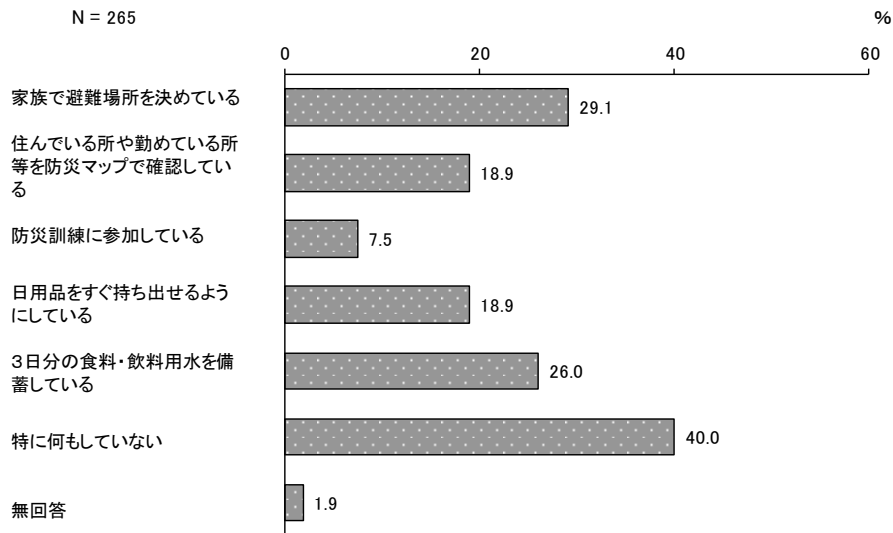


図 年齢別 災害に対する備え (40~49 歳)

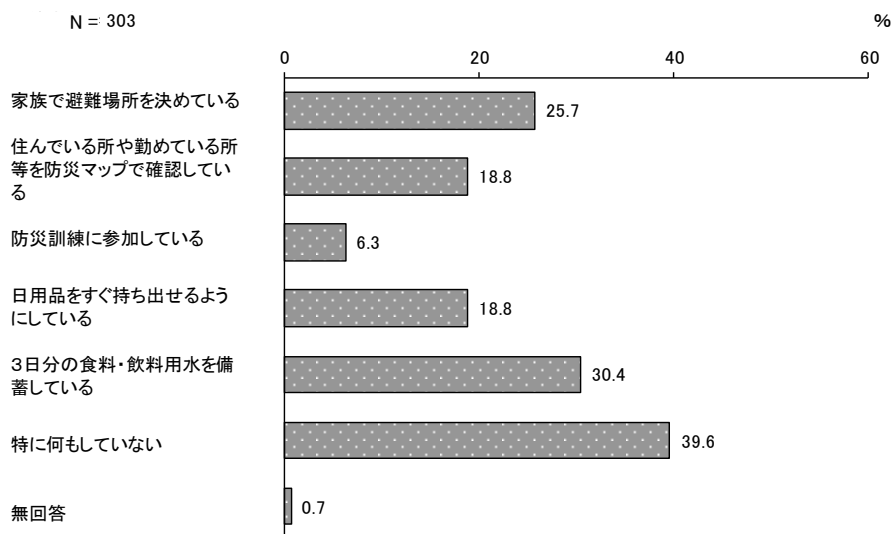


図 年齢別 災害に対する備え (50~59 歳)

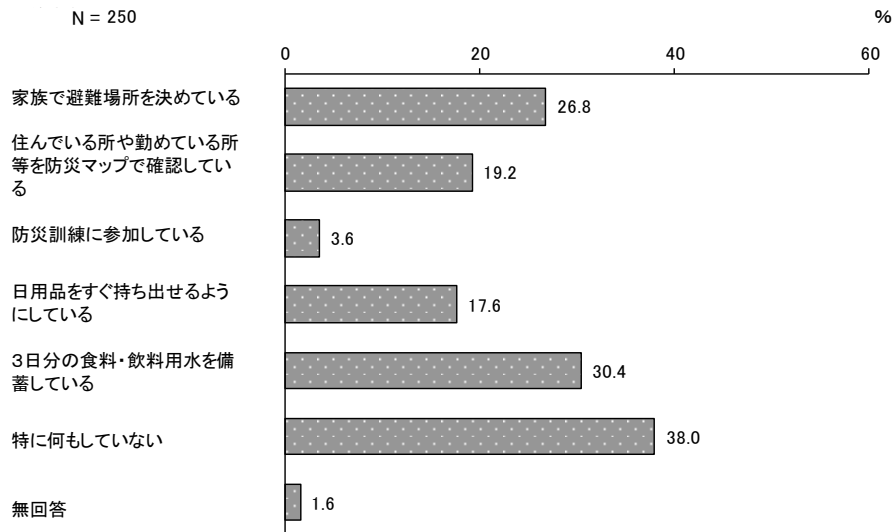


図 年齢別 災害に対する備え (60~69 歳)

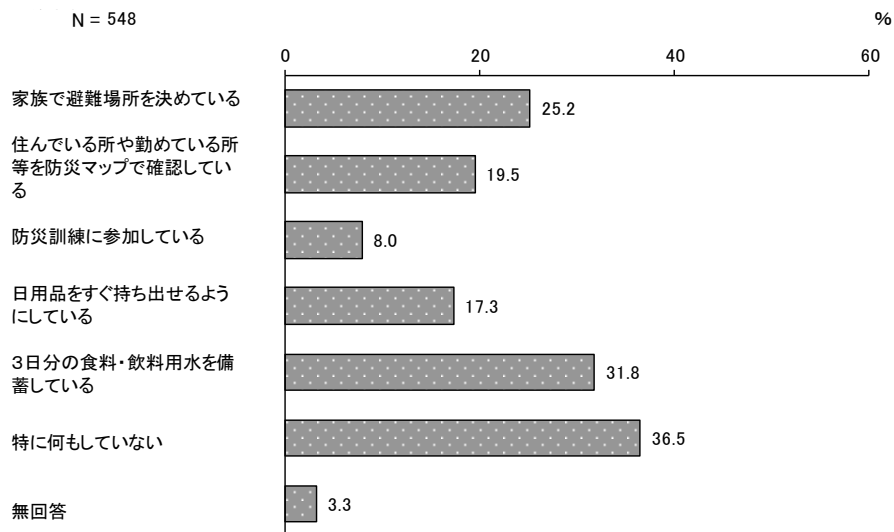


図 年齢別 災害に対する備え (70 歳以上)

(4) マイナンバーカードについて

問 10 マイナンバーカードを用いたコンビニ端末での証明書の取得には手数料の割引など利点がありますが、マイナンバーカードを用いて証明書を取得したことがありますか。最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

「カードを持っていない」の割合が38.7%と最も高く、次いで「カードを持っているが取得したことがない」の割合が33.1%、「取得したことがある」の割合が23.6%となっています。性別でみると、女性に比べ、男性で「取得したことがある」の割合が高くなっています。年齢別でみると、30～39歳で「取得したことがある」の割合が最も高くなっています。

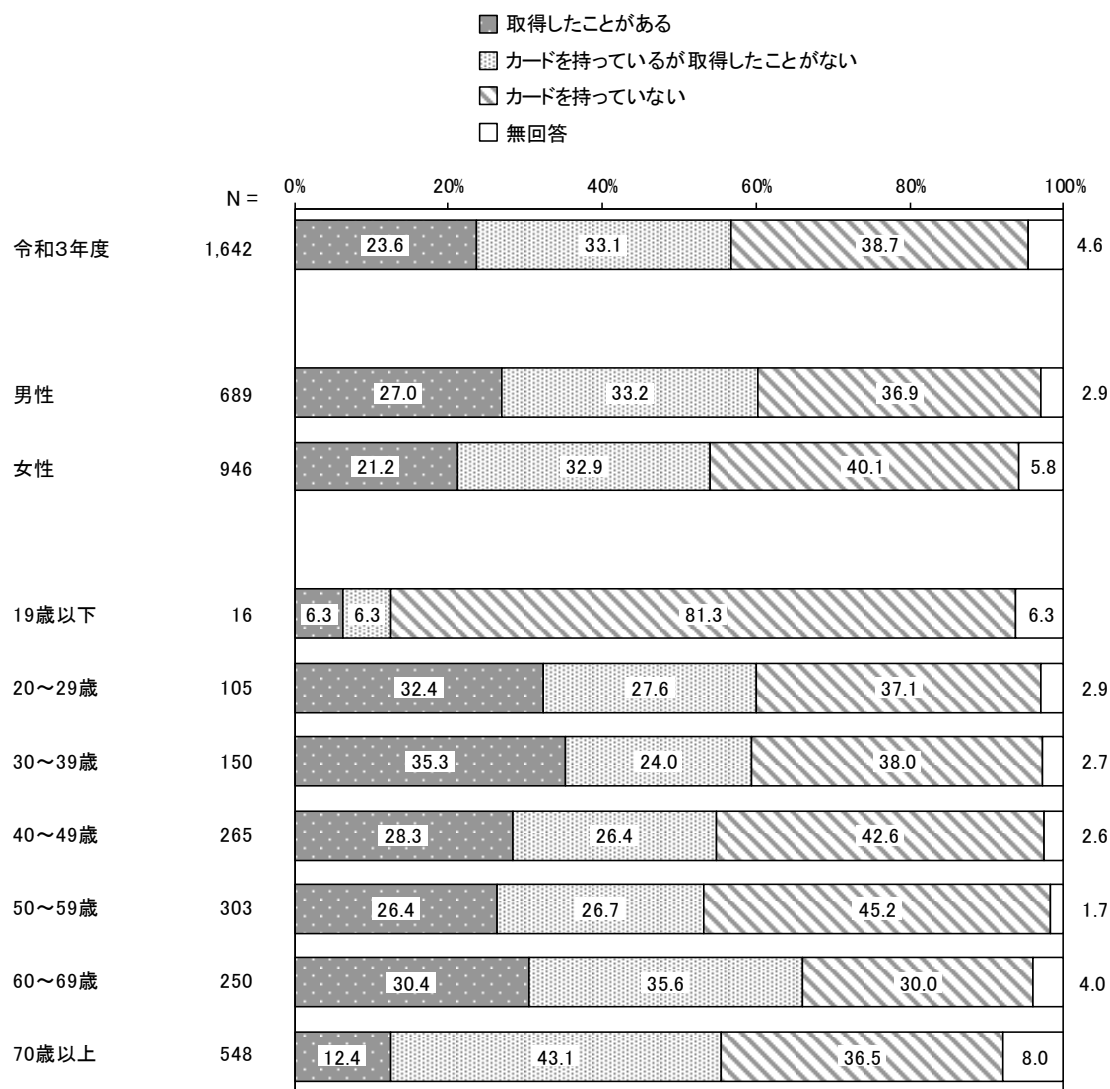


図 性別・年齢別 マイナンバーカードを用いたコンビニ端末での証明書取得の有無

前問「2. カードを持っているが取得したことがない」を選んだ方にお伺いします。

問10 カードを持っているが取得したことがない理由はなぜですか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

「証明書を必要とする機会が少ない」の割合が55.1%と最も高くなっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「証明書を必要とする機会が少ない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、20～29歳で「コンビニで取得できることを知らなかった」の割合が高くなっています。

- コンビニで取得できることを知らなかった
- ▨ コンビニ交付の利点を知らない・コンビニ交付に魅力を感じない
- ▤ 証明書を必要とする機会が少ない
- 機械の操作が苦手
- ▨ 情報漏洩等が不安
- ▤ 窓口の方が安心して取得できる
- ▨ 暗証番号を覚えるのが大変
- 特にない・わからない
- 無回答

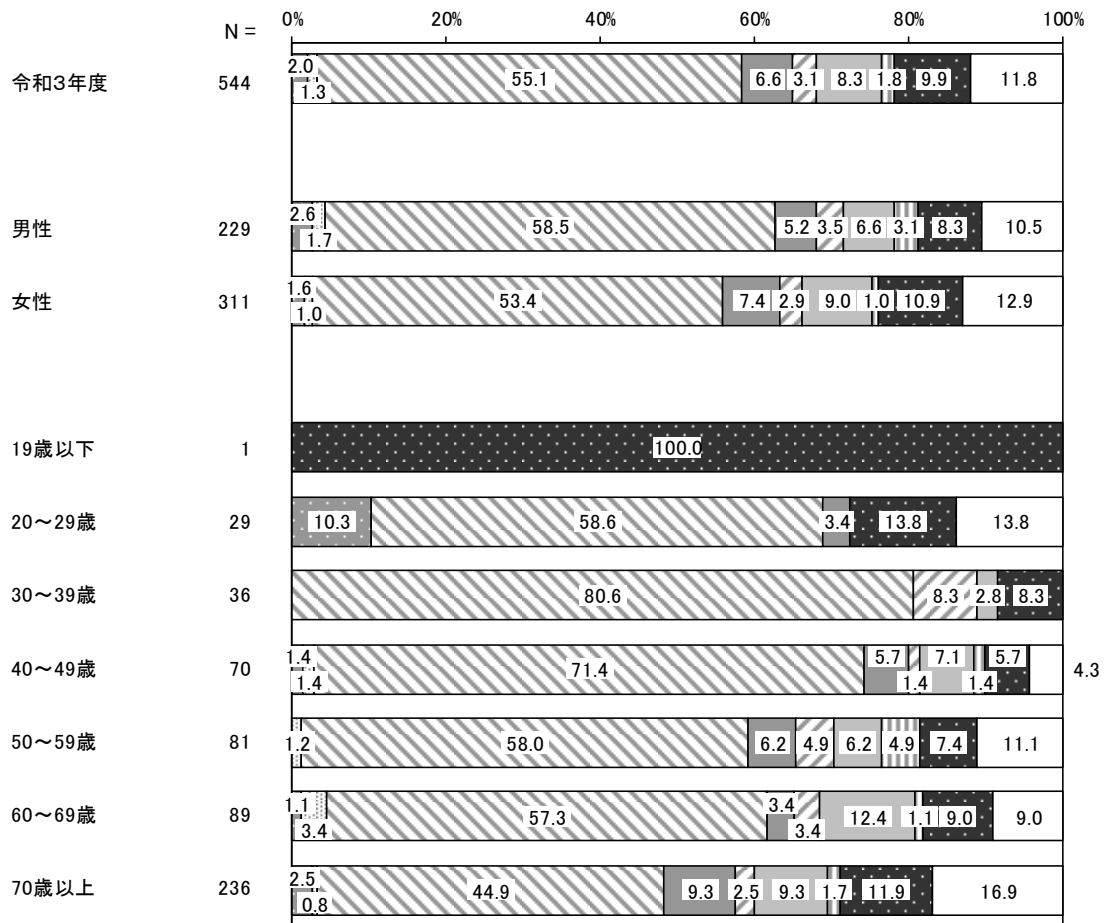


図 性別・年齢別 マイナンバーカードを用いて証明書を取得したことがない理由

問 11 コンビニ端末での証明書の取得以外の、マイナンバーカードを用いた代表的な行政サービスについて、あなたがこれまでに実際に利用したことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「カードを持っていない」の割合が36.8%と最も高く、次いで「あてはまるものはない」の割合が31.2%、「マイナポイントの申込・利用」の割合が18.4%となっています。

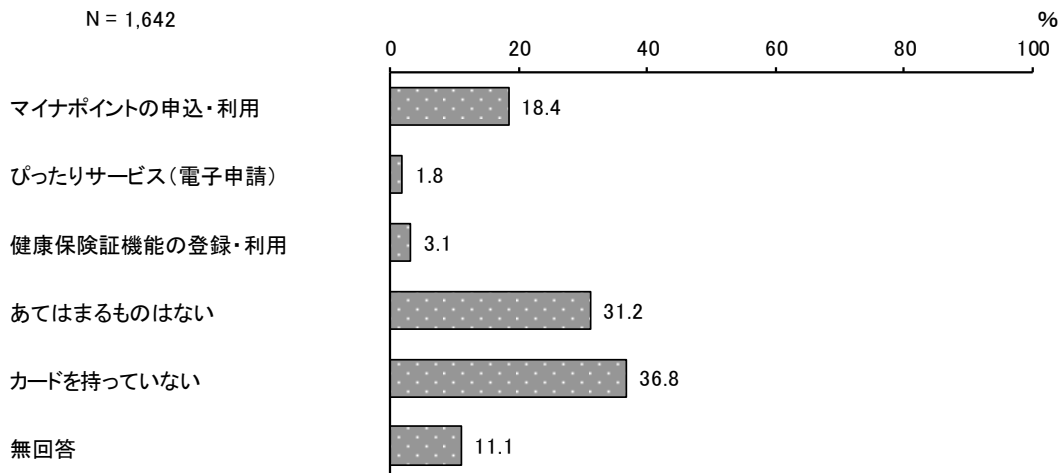


図 実際に利用したことがあるマイナンバーカードを用いた行政サービス

【性別】

性別で見ると、男女ともに「カードを持っていない」の割合が高くなっています。

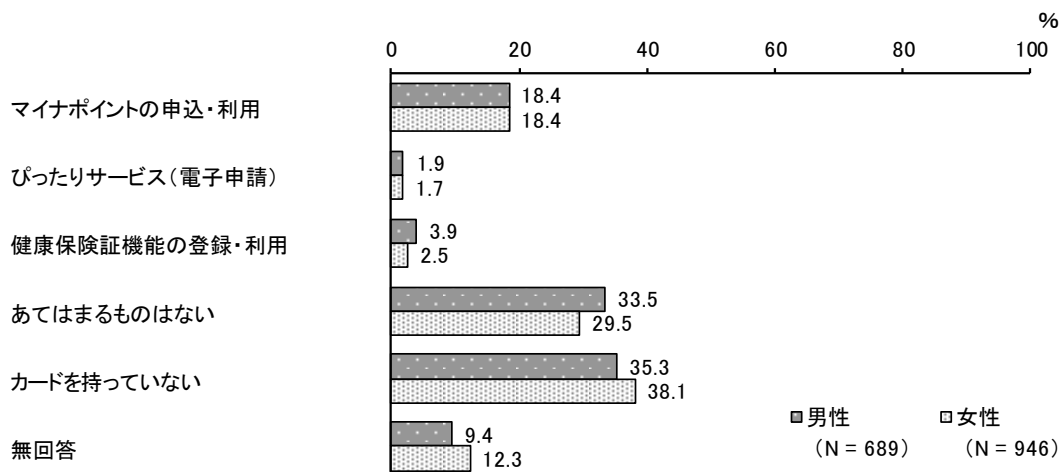


図 性別 実際に利用したことがあるマイナンバーカードを用いた行政サービス

【年齢別】

年齢別で見ると、60～69歳を除く全ての年代で「カードを持っていない」の割合が最も高く、60～69歳では「あてはまるものはない」の割合が最も高くなっています。利用したことがある行政サービスは、19歳以下を除く全ての年代で「マイナポイントの申込・利用」の割合が最も高くなっています。

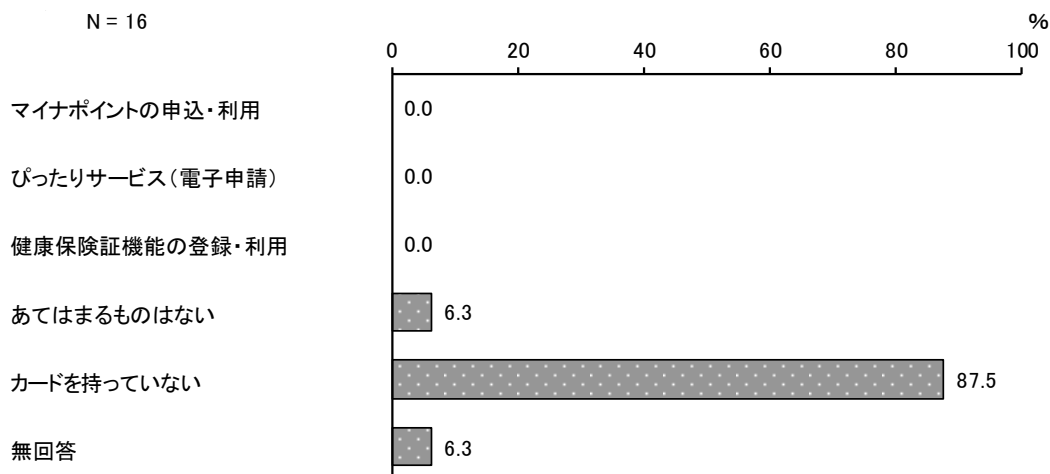


図 年齢別 実際に利用したことがあるマイナンバーカードを用いた行政サービス（19歳以下）

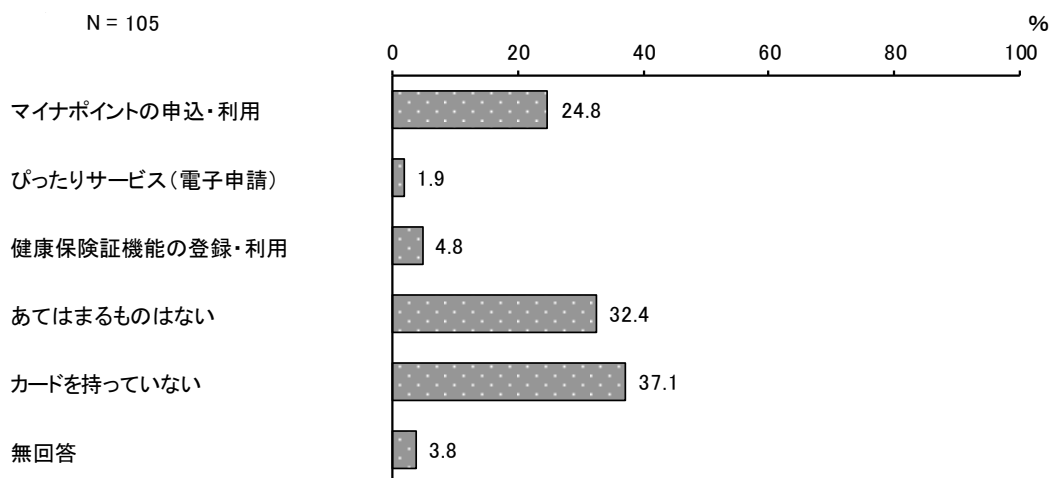


図 年齢別 実際に利用したことがあるマイナンバーカードを用いた行政サービス（20～29歳）

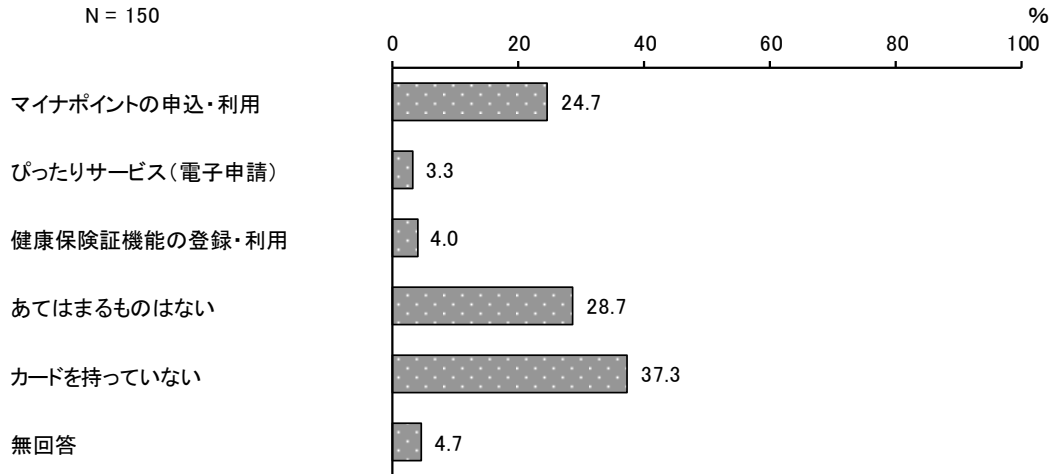


図 年齢別 実際に利用したことがあるマイナンバーカードを用いた行政サービス (30～39 歳)

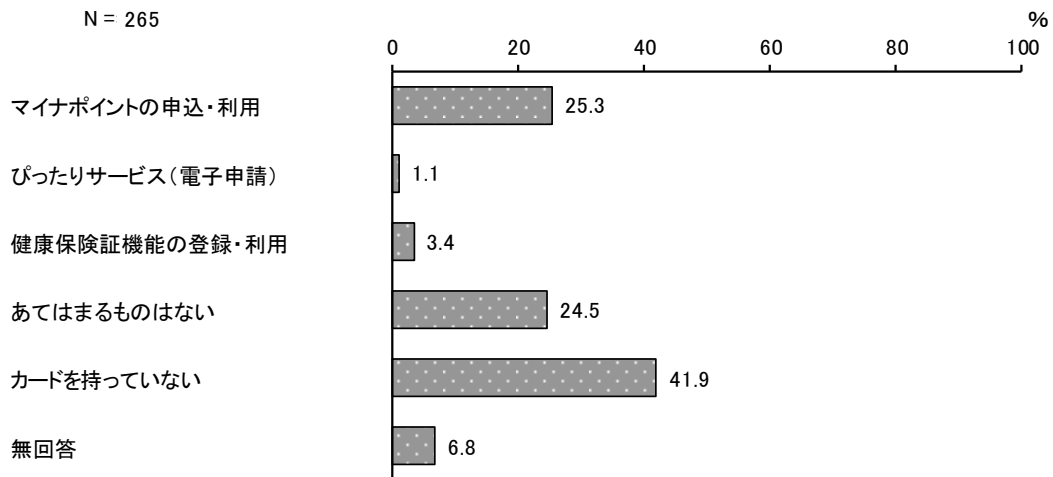


図 年齢別 実際に利用したことがあるマイナンバーカードを用いた行政サービス (40～49 歳)

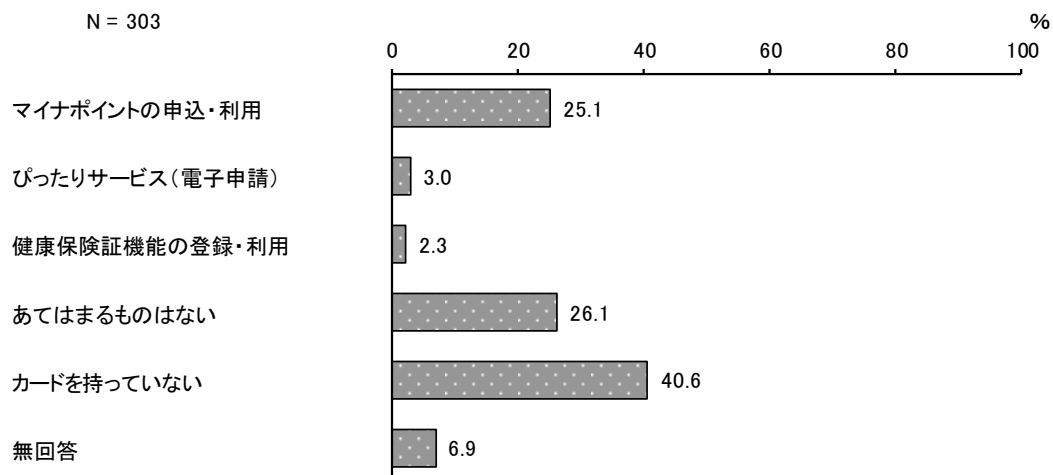


図 年齢別 実際に利用したことがあるマイナンバーカードを用いた行政サービス (50～59 歳)

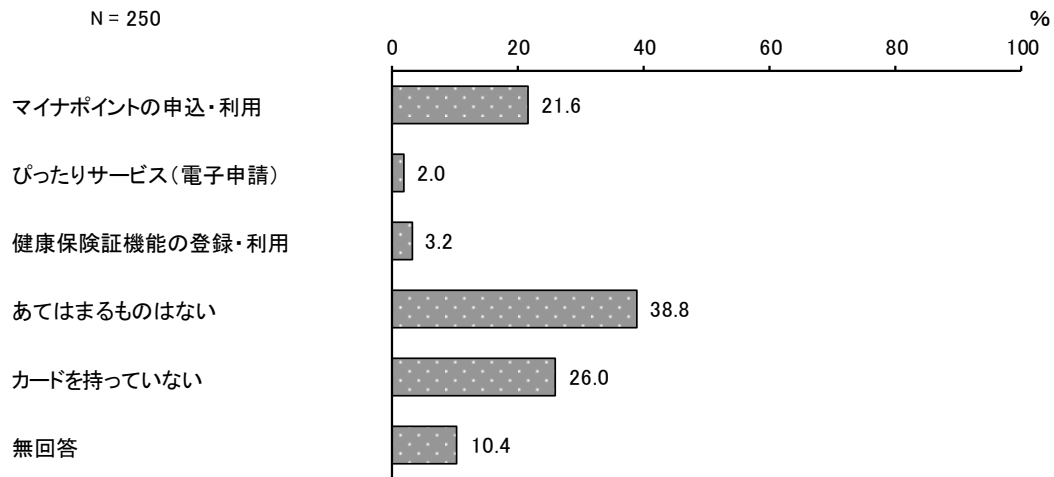


図 年齢別 実際に利用したことがあるマイナンバーカードを用いた行政サービス (60～69 歳)

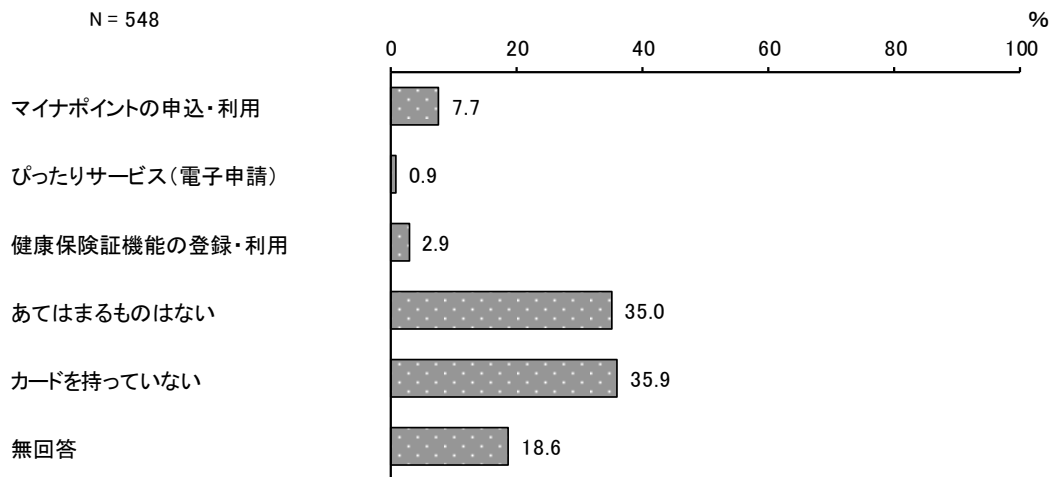


図 年齢別 実際に利用したことがあるマイナンバーカードを用いた行政サービス (70 歳以上)

(5) 人権・男女共同参画について

問 12 あなたは、八尾市において、社会的身分、人種、民族、年齢、性別、障がいのあることなどによる差別がなくなったと思いますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「わからない」の割合が41.0%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が21.6%、「少し思う」の割合が16.3%となっています。「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合は22.9%となっています。

年度別でみると、前年度に比べ、“肯定的な意見”の割合が減少しています。

性別でみると、女性に比べ、男性で“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、30～39歳で「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合が高くなっています。

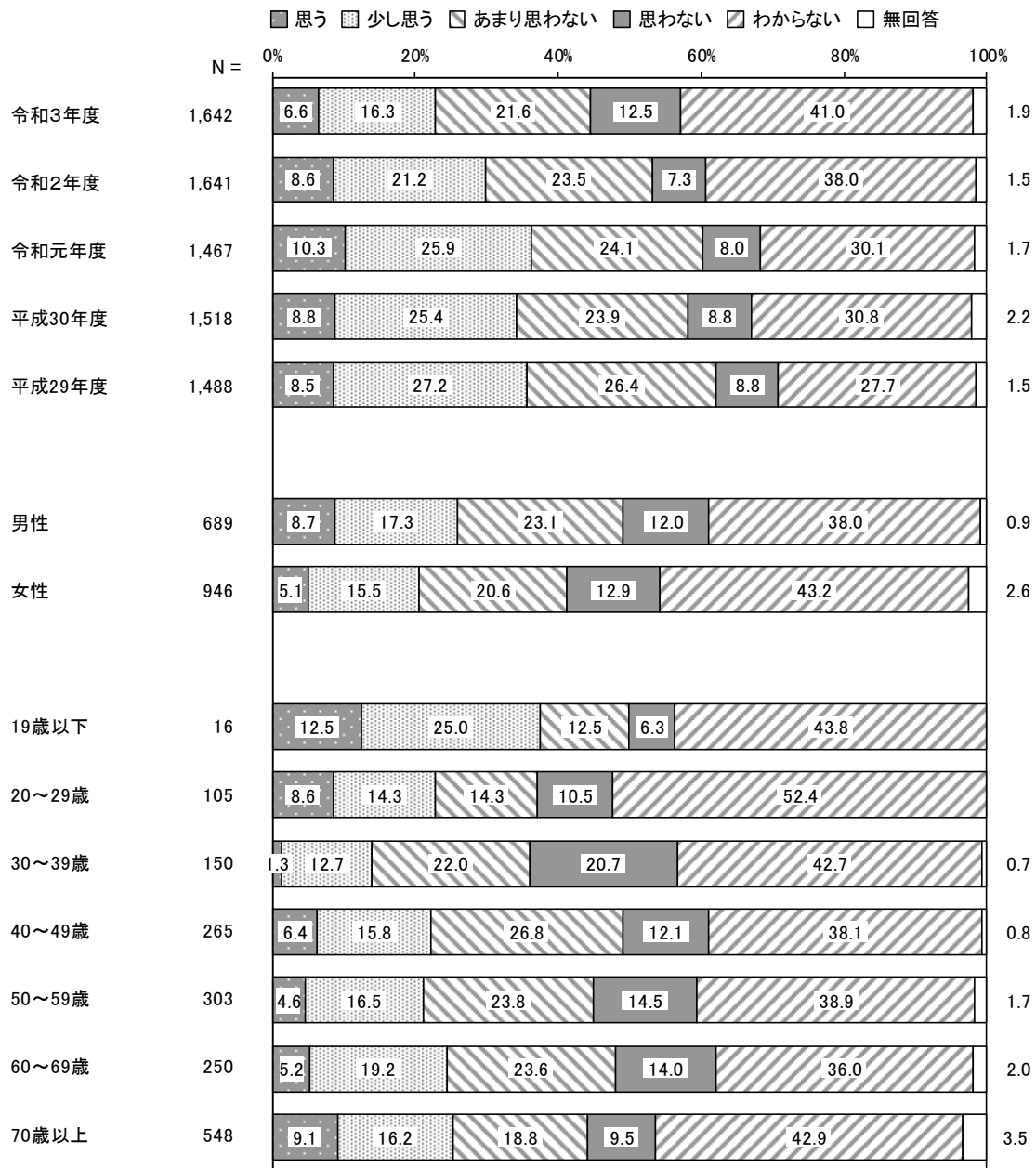


図 年度別・性別・年齢別 差別のない社会の実現

問 13 男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習および相談の場として、八尾市男女共同参画センター「すみれ」（生涯学習センター「かがやき」4階内）を設置しています。あなたは、八尾市男女共同参画センター「すみれ」を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「知っている」の割合が10.0%、「知らない」の割合が88.4%となっています。
 年度別で見ると、大きな差異はみられません。
 性別で見ると、男性に比べ、女性で「知っている」の割合が高くなっています。
 年齢別で見ると、30～39歳で「知っている」の割合が最も高くなっています。

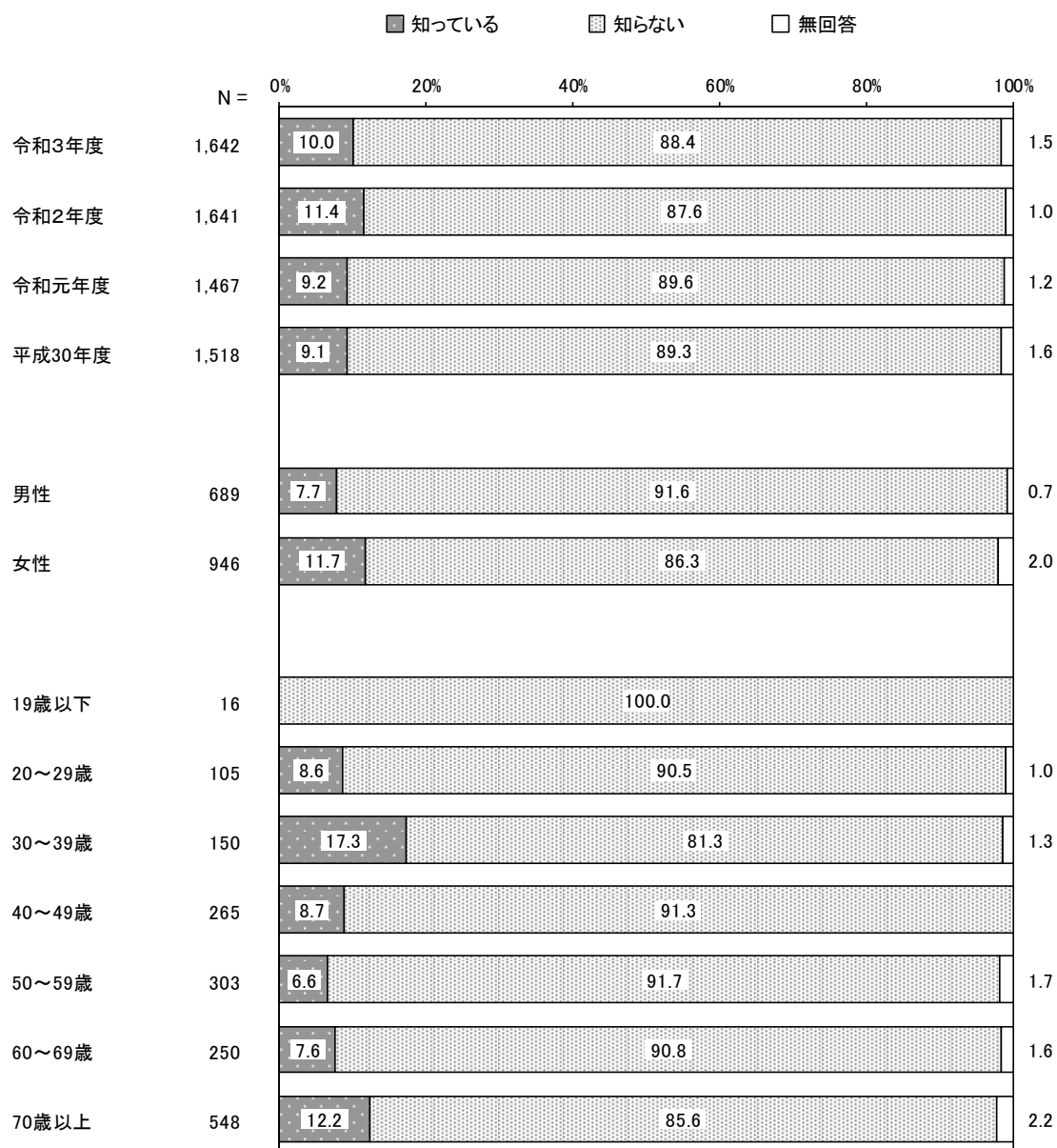


図 年度別・性別・年齢別 男女共同参画センターの認知度

(6) 八尾市の魅力について

問 14 あなたは、八尾の魅力について尋ねられた時、答えることができますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「八尾の魅力をいくつか答えることができる」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「八尾の魅力がわからない」の割合が 37.5%となっています。「八尾の魅力をたくさん答えることができる」と「八尾の魅力をいくつか答えることができる」をあわせた“八尾の魅力について答えることができる人”の割合は 59.2%となっています。

年度別で見ると、前年度に比べ、“八尾の魅力について答えることができる人”の割合が高くなっています。

性別で見ると、大きな差異はみられません。

年齢別で見ると、29歳以下と40～49歳で“八尾の魅力について答えることができる人”の割合が高くなっています。

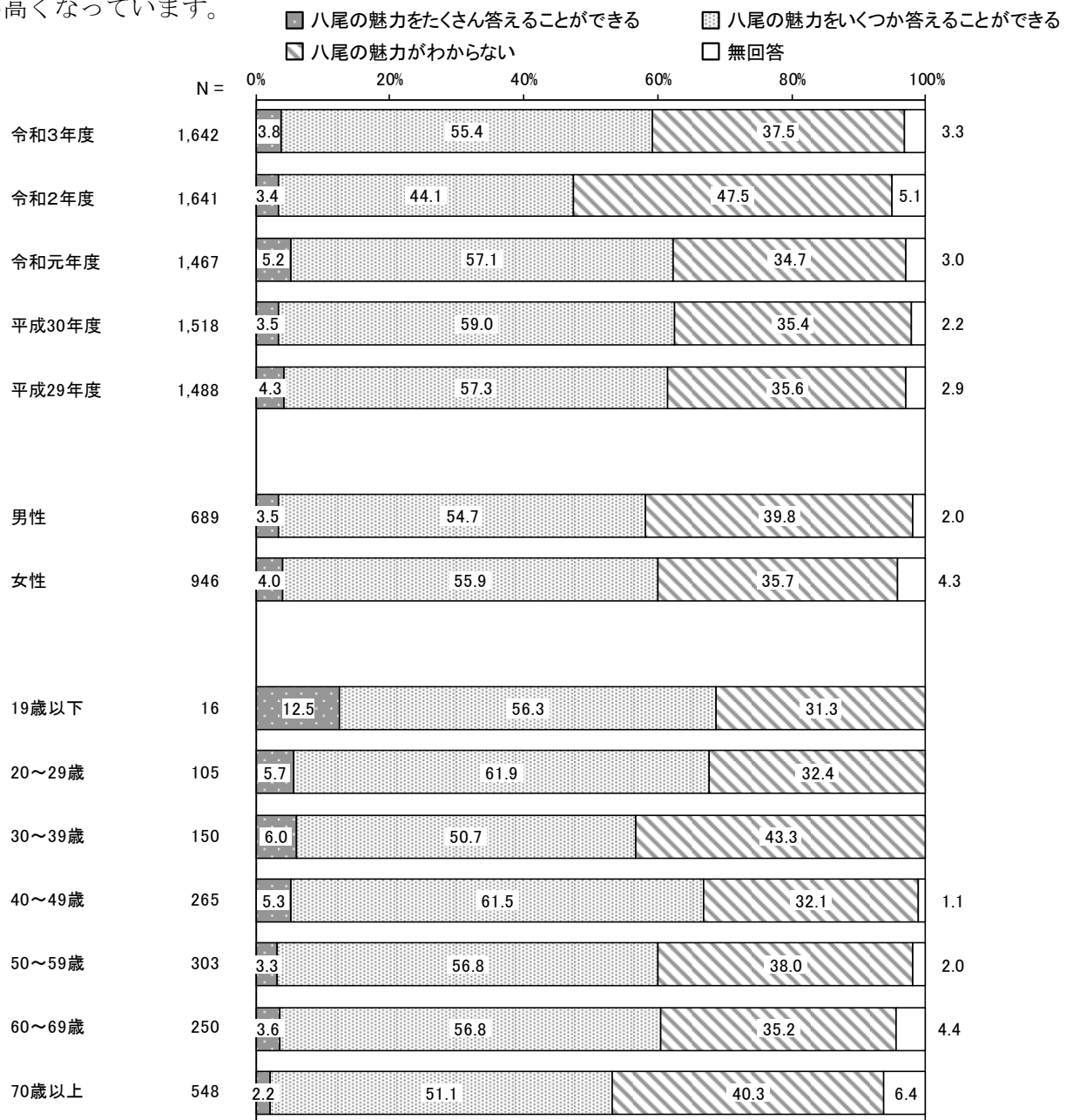


図 年度別・性別・年齢別 八尾の魅力について

問 15 あなたは、八尾の魅力を友人や知り合いにどの程度すすめたいと思いますか。とてもすすめたい場合を10点、全くすすめたくない場合を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字1つに○をつけてください。

「あまり思わない(5～0点)」の割合が62.9%と最も高く、次いで「思う(7～6点)」の割合が21.7%、「とても思う(10～8点)」の割合が10.8%となっています。「とても思う(10～8点)」と「思う(7～6点)」をあわせた“肯定的な意見”の割合が32.5%となっています。

年度別で見ると、前年度に比べ、“肯定的な意見”の割合が減少しています。

性別で見ると、大きな差異はみられません。

年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれて“肯定的な意見”の割合が高くなっている傾向がみられます。

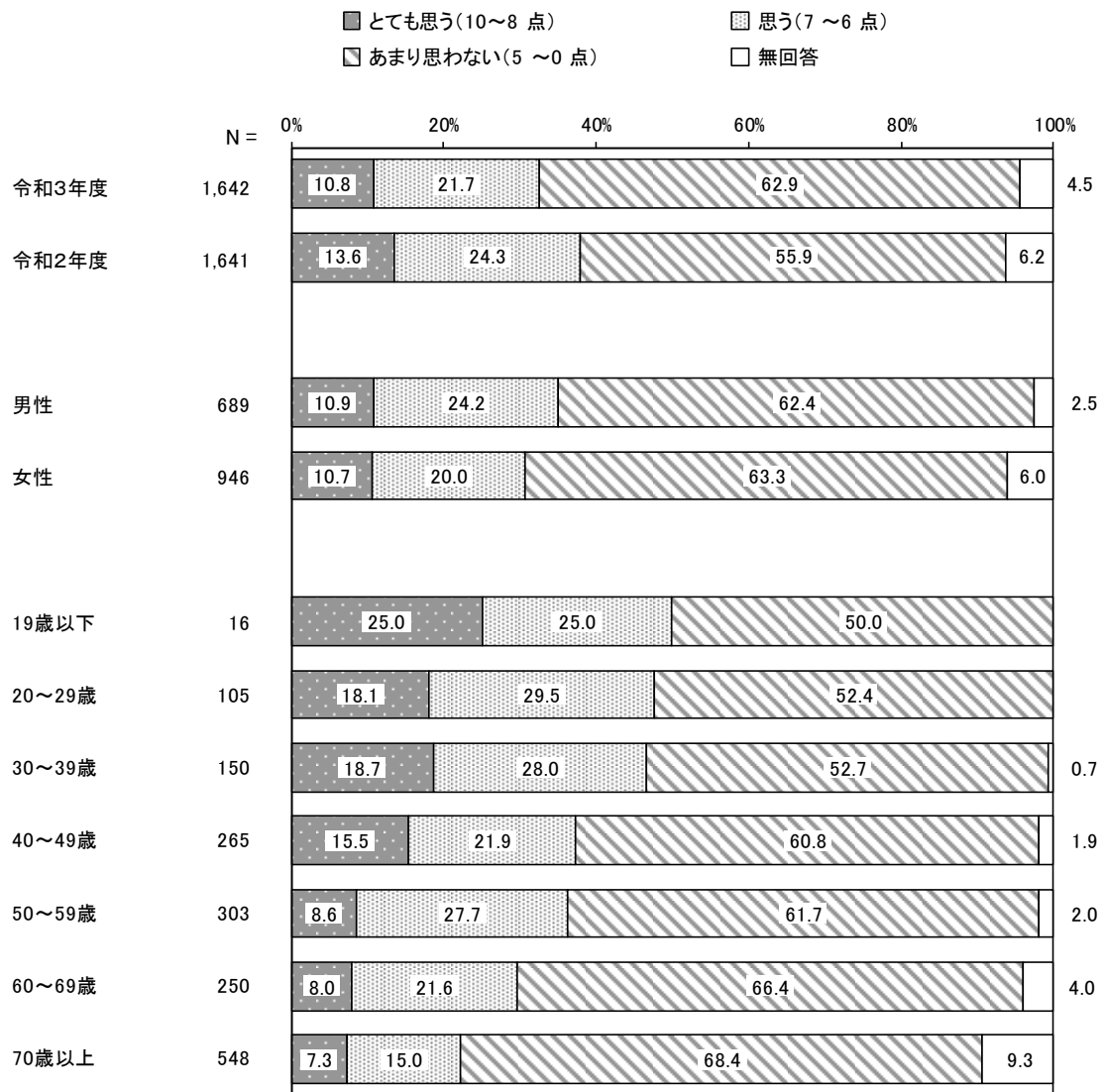


図 年度別・性別・年齢別 八尾の魅力を友人や知り合いにすすめたい度合い

問 16 あなたは、八尾をより良くするための活動にどの程度関わりたいと思いますか。とても関わりたい場合を10点、全く関わりたいくない場合を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字1つに○をつけてください。

「あまり思わない(5～0点)」の割合が72.6%と最も高く、次いで「思う(7～6点)」の割合が14.7%となっています。「とても思う(10～8点)」と「思う(7～6点)」をあわせた“肯定的な意見”の割合が22.7%となっています。

年度別で見ると、前年度に比べ、“肯定的な意見”の割合が減少しています。
性別で見ると、女性に比べ、男性で“肯定的な意見”の割合が高くなっています。
年齢別で見ると、70歳以上で“肯定的な意見”の割合が低くなっています。

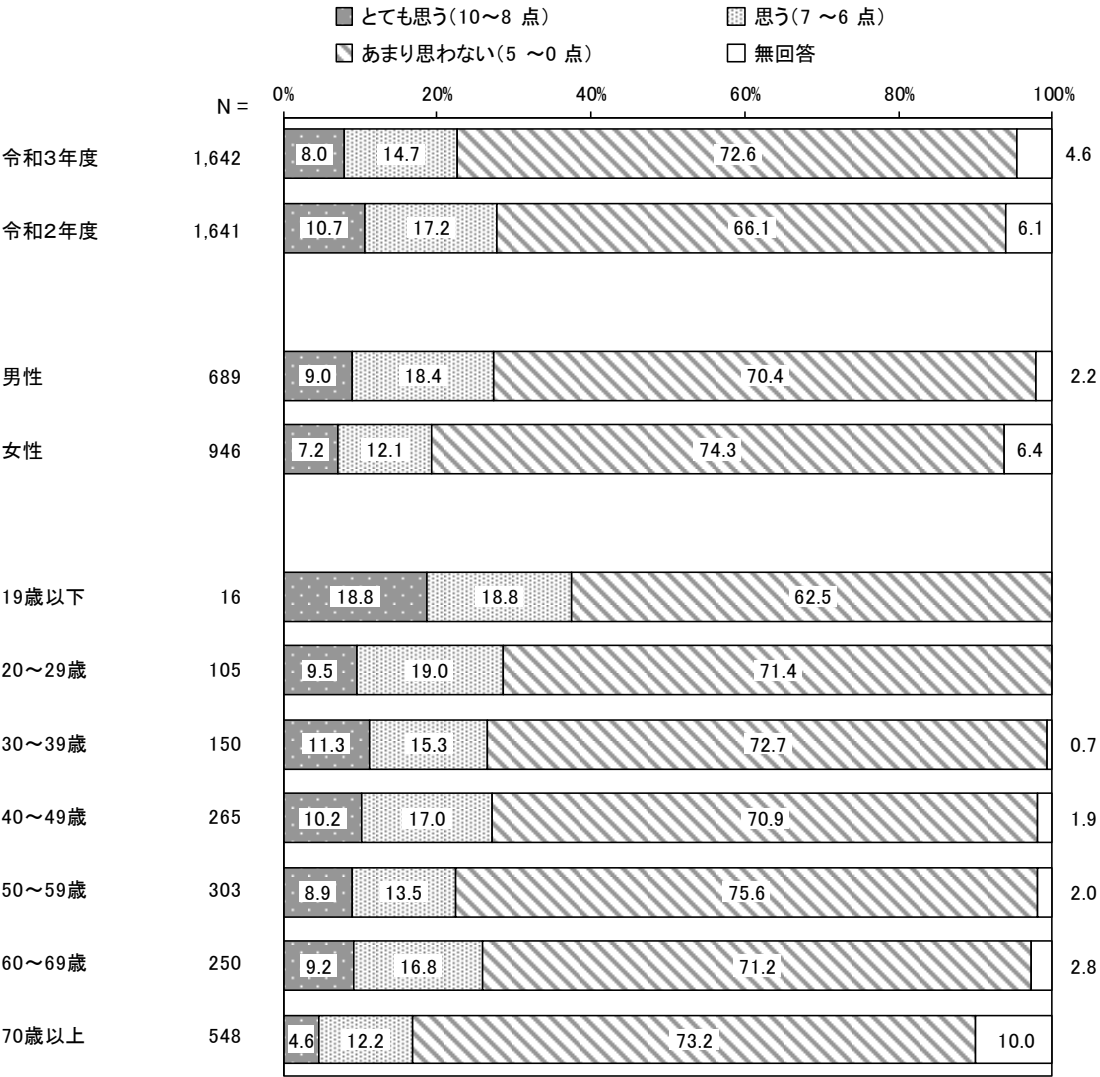


図 年度別・性別・年齢別 八尾をより良くするための活動に関わりたい度合い

問 17 八尾をより良くするために活動している人に対して、どの程度感謝したいですか。とても感謝したい場合を10点、全く感謝したくない場合を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか。いずれかの数字1つに○をつけてください。

「とても思う(10～8点)」の割合が53.8%と最も高く、次いで「あまり思わない(5～0点)」の割合が25.9%、「思う(7～6点)」の割合が17.7%となっています。「とても思う(10～8点)」と「思う(7～6点)」をあわせた“肯定的な意見”の割合が71.5%となっています。

年度別で見ると、大きな差異はみられません。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「とても思う」の割合が高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれて、“肯定的な意見”の割合が高くなる傾向にあります。

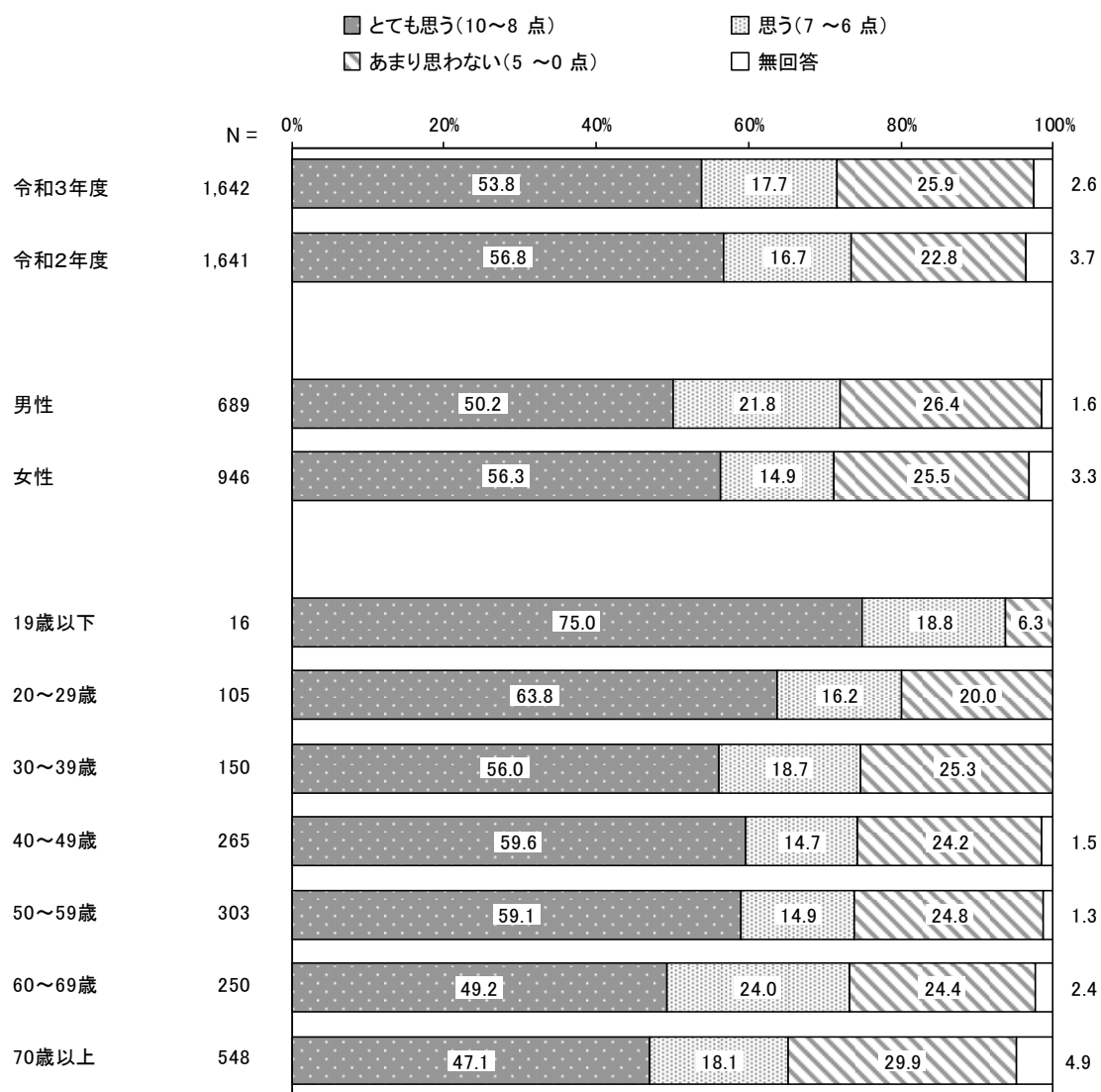


図 年度別・性別・年齢別 八尾をより良くするために活動している人に対しての感謝の度合い

3 八尾のまちについて、みなさまが日ごろ感じておられることについて

問 18 あなたが、八尾市で生活する中で、次のことについて、どのように思われますか。ア～セの項目ごとに、あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

日ごろ感じていることについて全体をみると、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”は、「セ 平和な社会が大切」が 95.6%と最も高く、次いで「カ 八尾市の景観は、うるおいと魅力ある景観づくりがなされている」が 62.7%となっています。一方、「思わない」と「あまり思わない」をあわせた“否定的な意見”は「ケ 性別に関わらず男女が互いに認め合える差別のない社会が実現している」が 44.9%で最も高く、次いで、「キ 地域住民の意向に沿って、まちの整備が進んでいる」が 44.3%となっています。

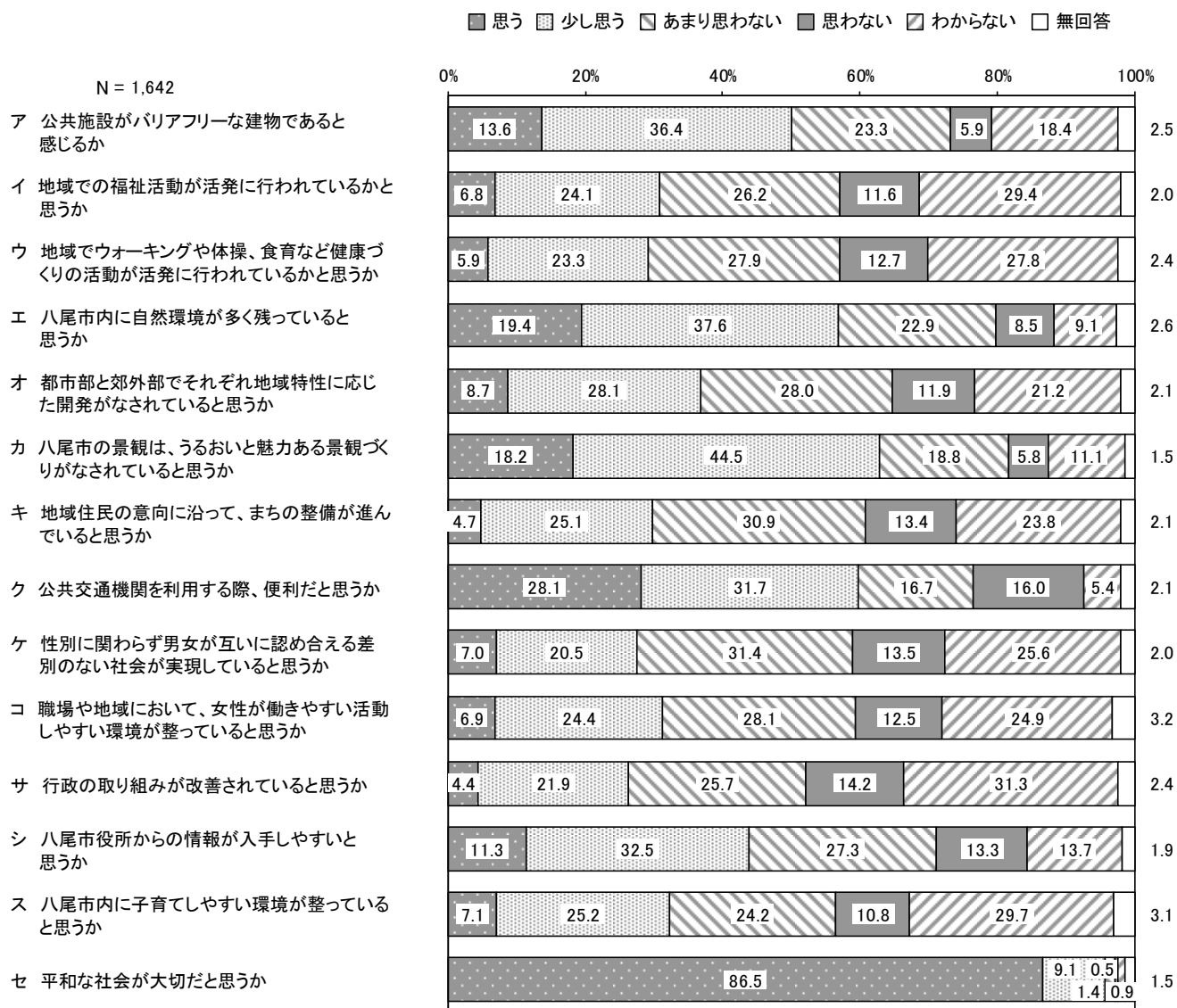


図 日ごろ感じていること

問 18 ア あなたは、公共施設を利用される際、誰もが利用しやすいバリアフリーな建物であると感じますか。

「少し思う」の割合が36.4%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が23.3%、「わからない」の割合が18.4%となっています。「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(50.0%)が、「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(29.2%)を上回っています。

年度別でみると、大きな差異はみられません。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、30～39歳で“否定的な意見”の割合が最も高くなっています。

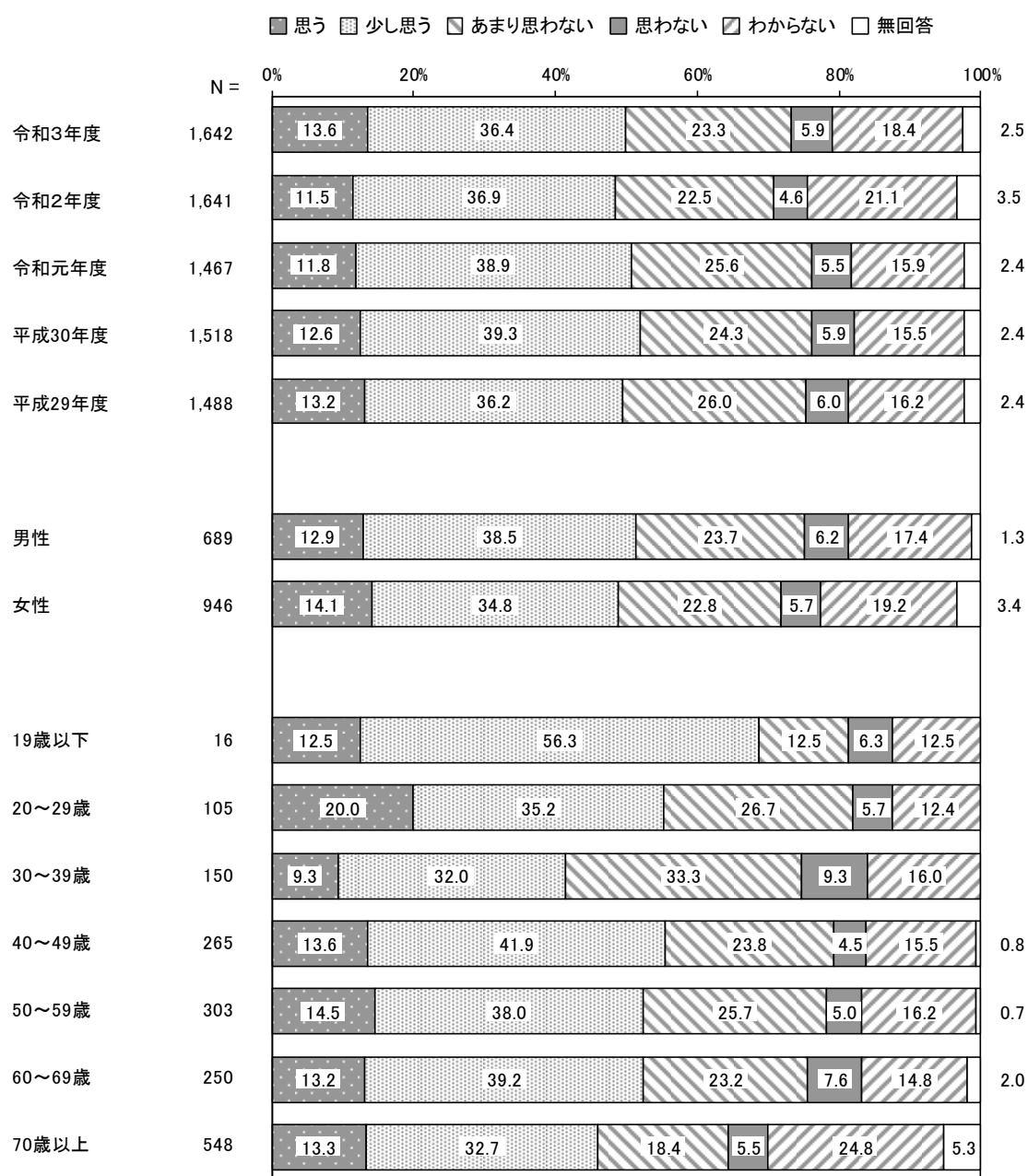


図 年度別・性別・年齢別 ア 公共施設がバリアフリー化されているかの評価

問 18 イ あなたは、地域での福祉活動が活発に行われていると思いますか。

「わからない」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が 26.2%、「少し思う」の割合が 24.1%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(37.8%)が、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(30.9%)を上回っています。

年度別でみると、大きな差異はみられません。

性別でみると、女性に比べ、男性で“否定的な意見”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、30～39歳以上で、年齢が高くなるにつれて“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

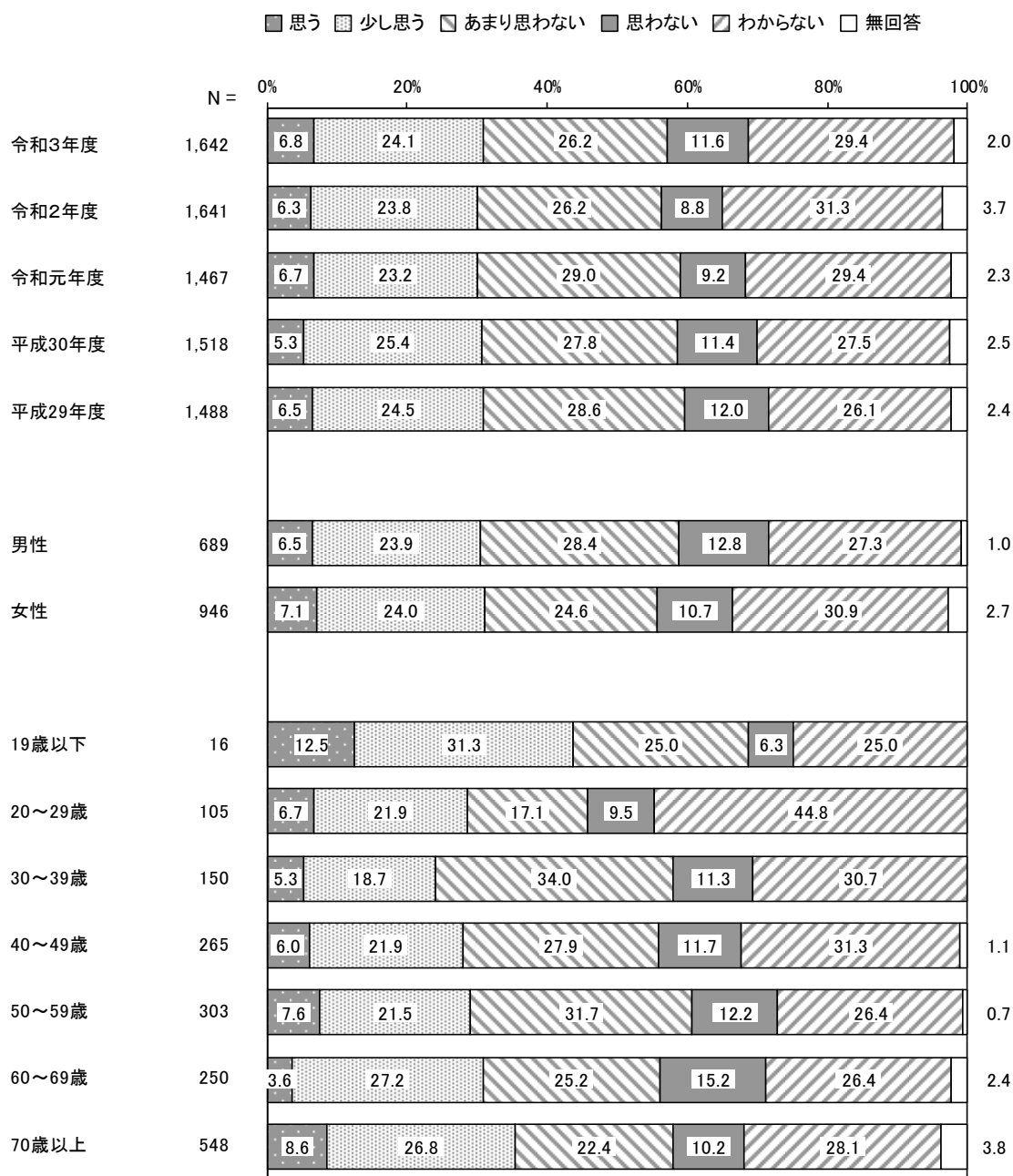


図 年度別・性別・年齢別 イ 地域での福祉活動が活発に行われているかの評価

問 18 ウ あなたは、地域でウォーキングや体操、食育など健康づくりのための活動が活発に行われていると思いますか。

「あまり思わない」の割合が27.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が27.8%、「少し思う」の割合が23.3%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(40.6%)が、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(29.2%)を上回っています。

年度別でみると、年々“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で“否定的な意見”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、30～39歳以上で、年齢が高くなるにつれて、“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

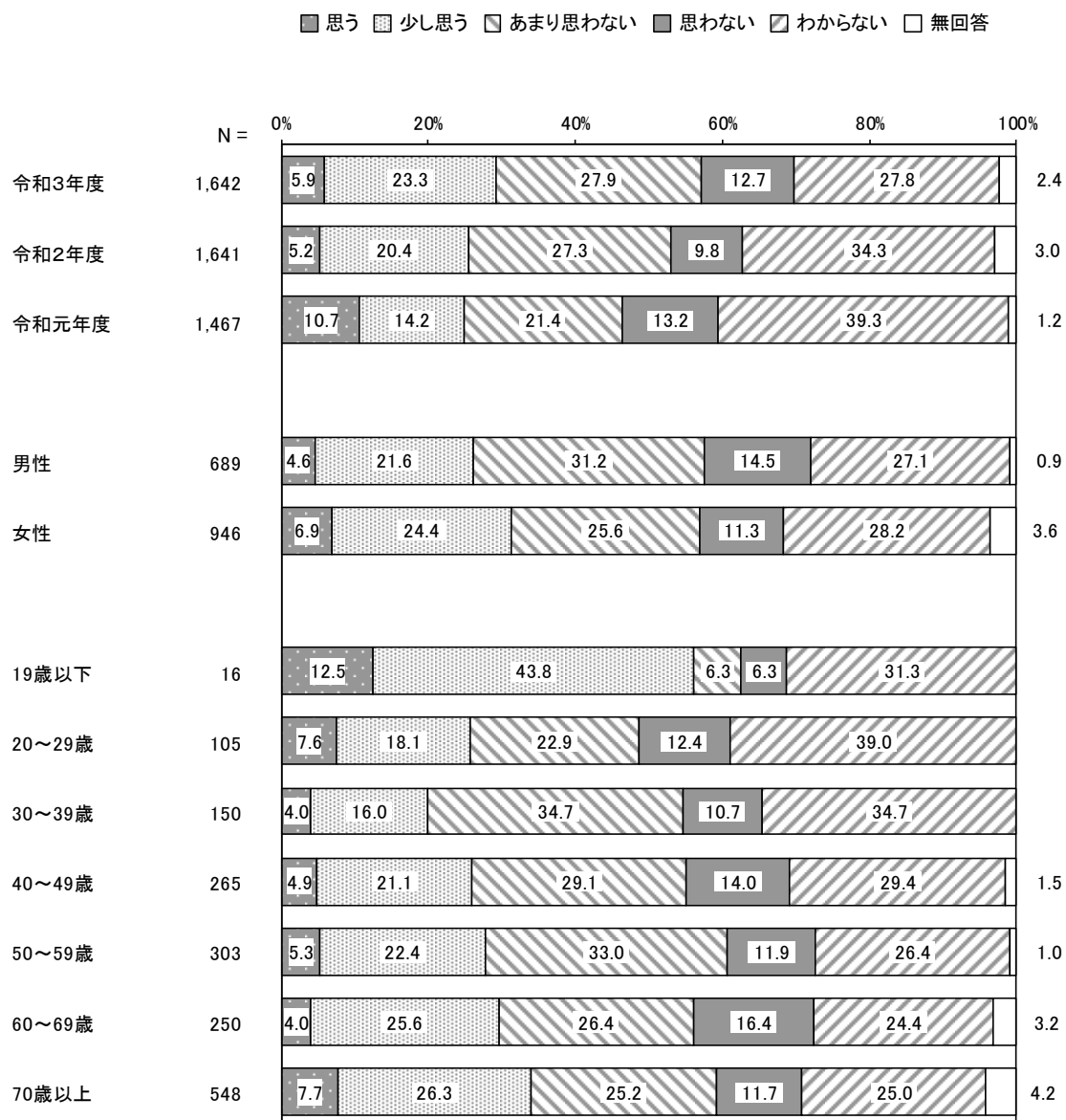


図 年度別・性別・年齢別 ウ 健康づくりのための活動の評価

問 18 エ あなたは、八尾市内に自然環境が多く残っていると思いますか。

「少し思う」の割合が37.6%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が22.9%、「思う」の割合が19.4%となっています。「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(57.0%)が、「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(31.4%)を上回っています。

年度別でみると、大きな差異はみられません。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、30～39歳で“否定的な意見”の割合が最も高くなっています。

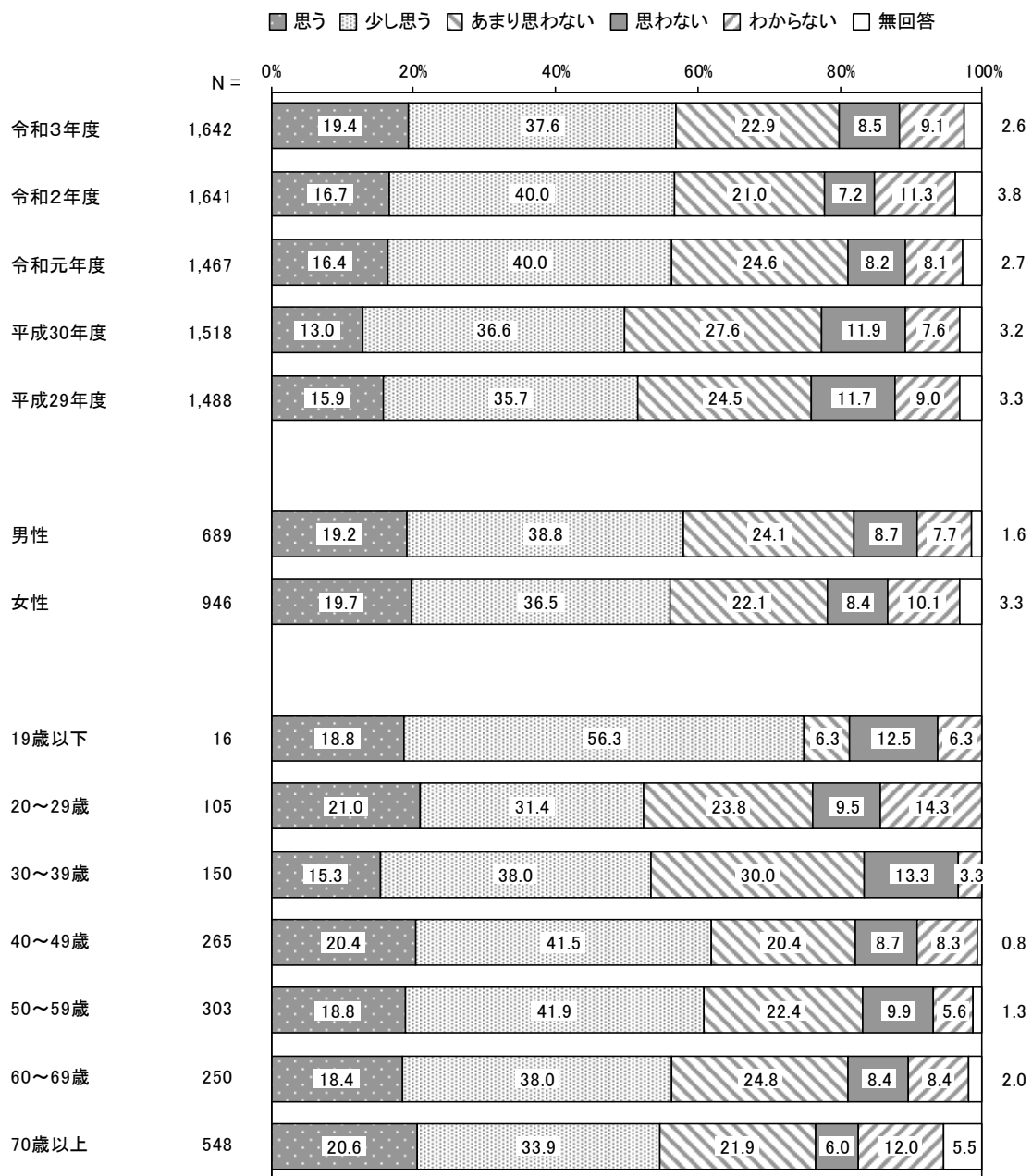


図 年度別・性別・年齢別 エ 市内での自然環境が多く残っているかの評価

問 18 オ 八尾市において、都市部ではそれぞれの地域特性に応じた住宅、工場、商店が立地し、郊外部では市街化が抑制され、自然環境の保全が図られていると思いますか。

「少し思う」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が 28.0%、「わからない」の割合が 21.2%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(39.9%)が、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(36.8%)を上回っています。

年度別でみると、大きな差異はみられません。

性別でみると、女性に比べ、男性で“否定的な意見”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、30～39歳で“肯定的な意見”の割合が最も低くなっています。

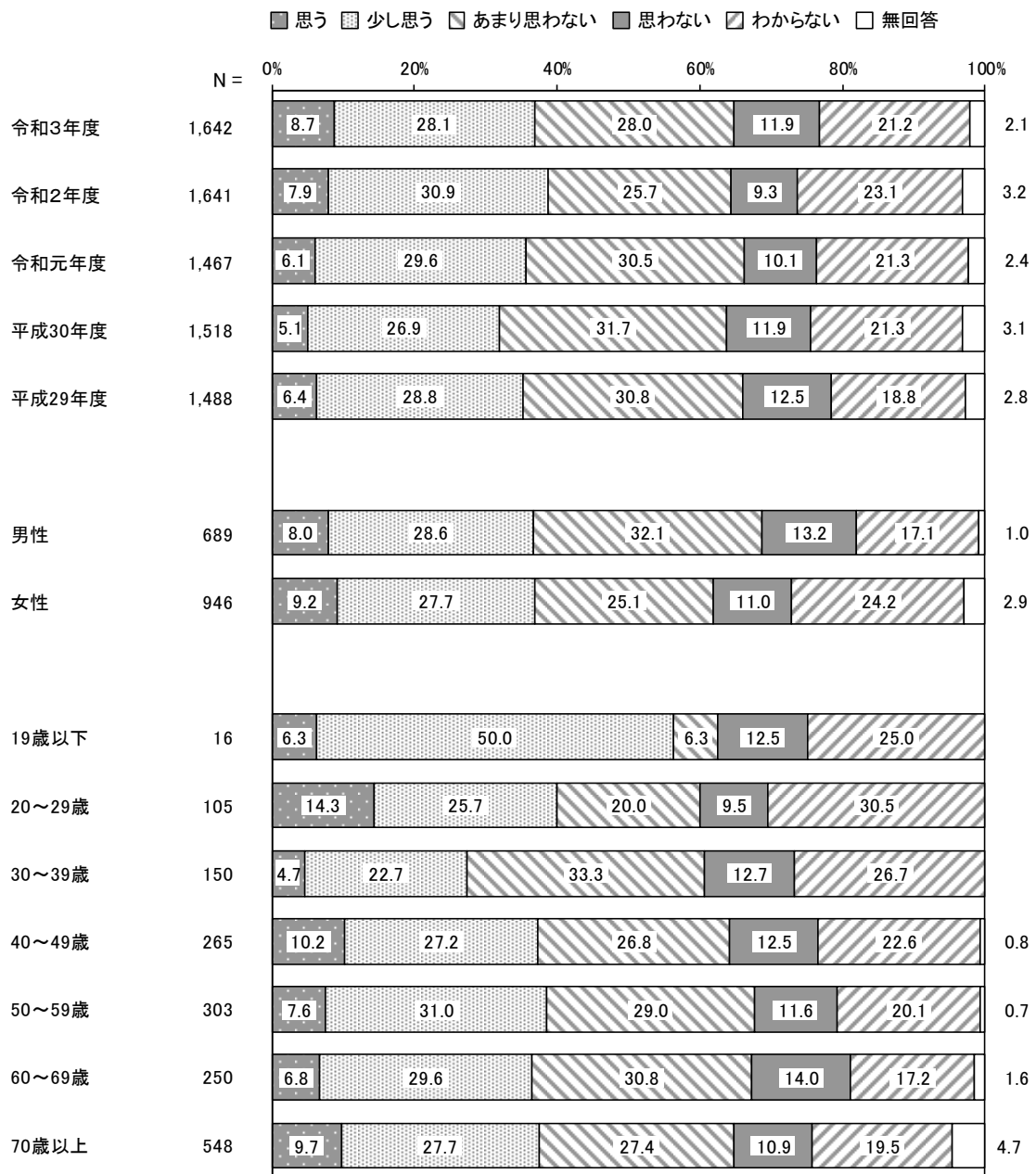


図 年度別・性別・年齢別 オ 都市部と郊外部でそれぞれ地域特性に応じた開発がなされているかの評価

問 18 カ あなたは、八尾市の歴史的まちなみ景観や玉串川・長瀬川等の水路景観について、うるおいと魅力ある景観づくりがなされていると思いますか。

「少し思う」の割合が44.5%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が18.8%、「思う」の割合が18.2%となっています。「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(62.7%)が、「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(24.6%)を上回っています。

年度別でみると、大きな差異はみられません。

性別でみると、女性に比べ、男性で“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて、“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

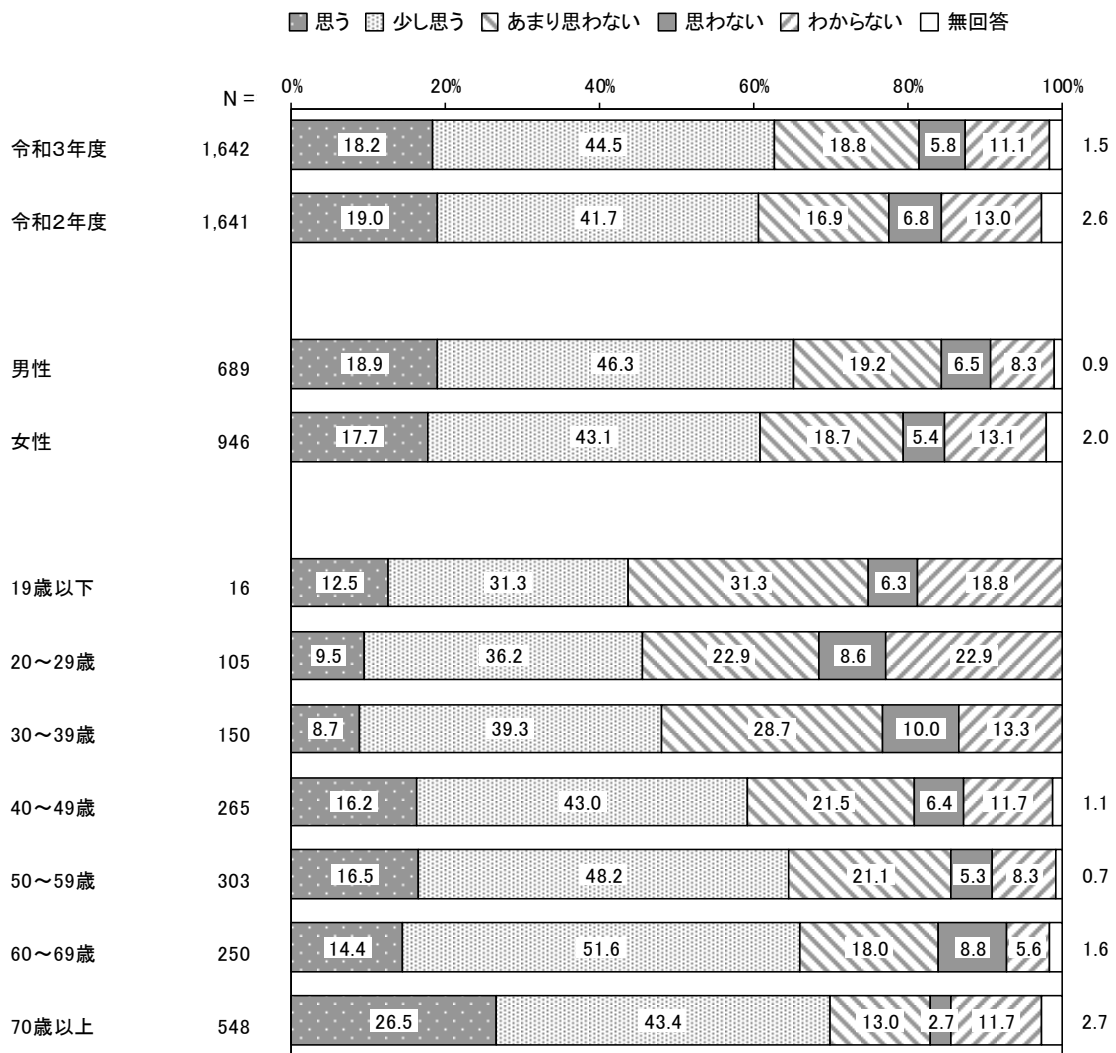


図 年度別・性別・年齢別 カ 市内は良好な景観を形成しているかの評価

問 18 キ あなたは、あなたのお住まいの地域のみなさんが考えている方向で、まちの整備が進んでいると思いますか。

「あまり思わない」の割合が30.9%と最も高く、次いで「少し思う」の割合が25.1%、「わからない」の割合が23.8%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(44.3%)が、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(29.8%)を上回っています。

年度別でみると、大きな差異はみられません。

性別でみると、女性に比べ、男性で“否定的な意見”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、19歳以下を除いて、20～29歳と70歳以上で“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

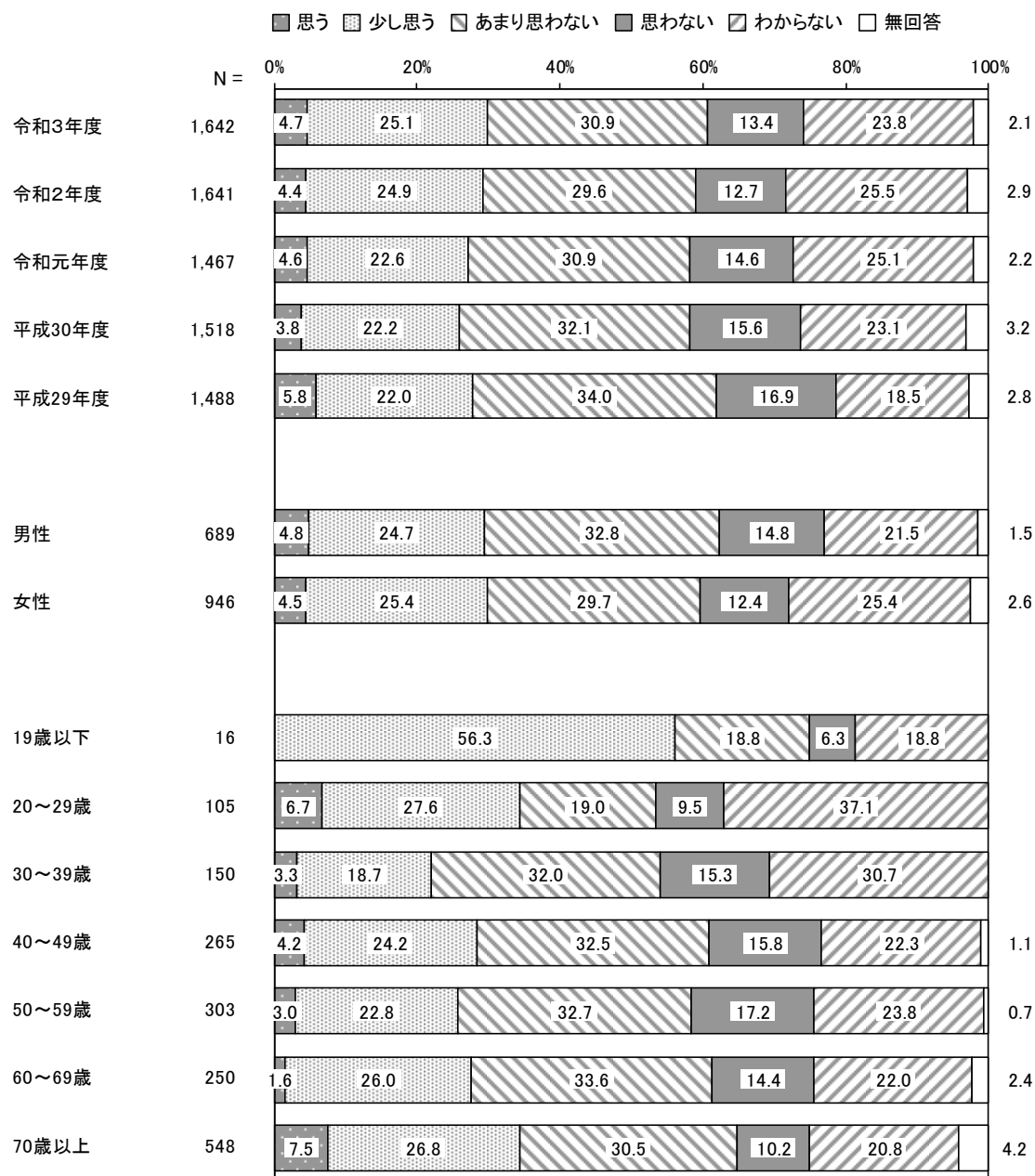


図 年度別・性別・年齢別 キ まちの整備が地域住民の意向に沿っているかの評価

問 18 ク あなたは、バスや鉄道などの公共交通機関を利用して出かけるときに、便利だと思えますか。

「少し思う」の割合が31.7%と最も高く、次いで「思う」の割合が28.1%、「あまり思わない」の割合が16.7%となっています。「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(59.8%)が、「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(32.7%)を上回っています。

年度別でみると、大きな差異はみられません。

性別でみると、女性に比べ、男性で“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、19歳以下を除いて、20～29歳で“肯定的な意見”の割合が最も高くなっています。

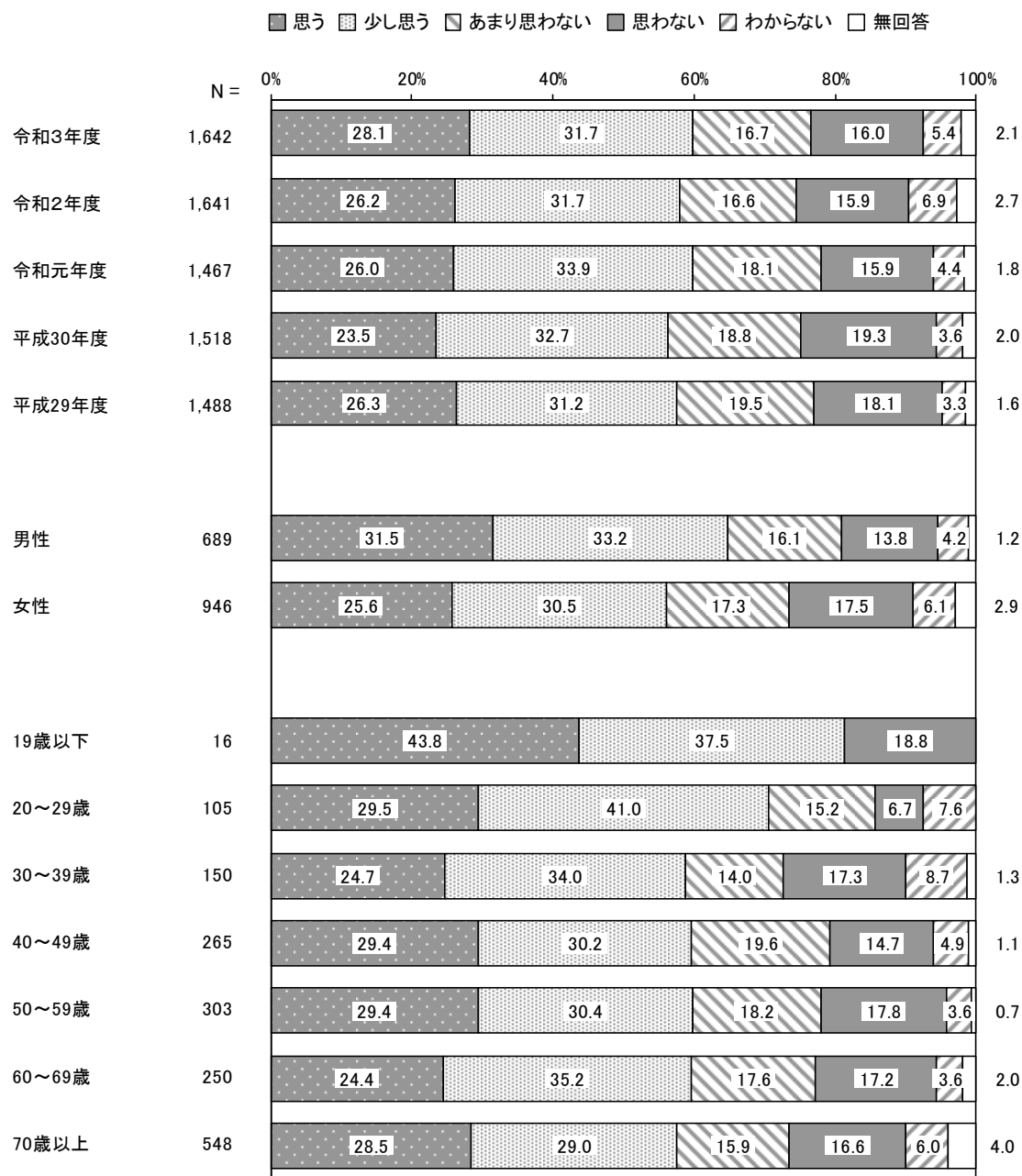


図 年度別・性別・年齢別 ク 公共交通機関が便利であるかの評価

問 18 ケ あなたは、性別に関わらず男女が互いに認め合える差別のない社会が実現していると思いますか。

「あまり思わない」の割合が31.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が25.6%、「少し思う」の割合が20.5%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(44.9%)が、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(27.5%)を上回っています。

年度別でみると、大きな差異はみられません。

性別でみると、女性に比べ、男性で“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、30～39歳及び60～69歳で“否定的な意見”の割合が高くなっています。

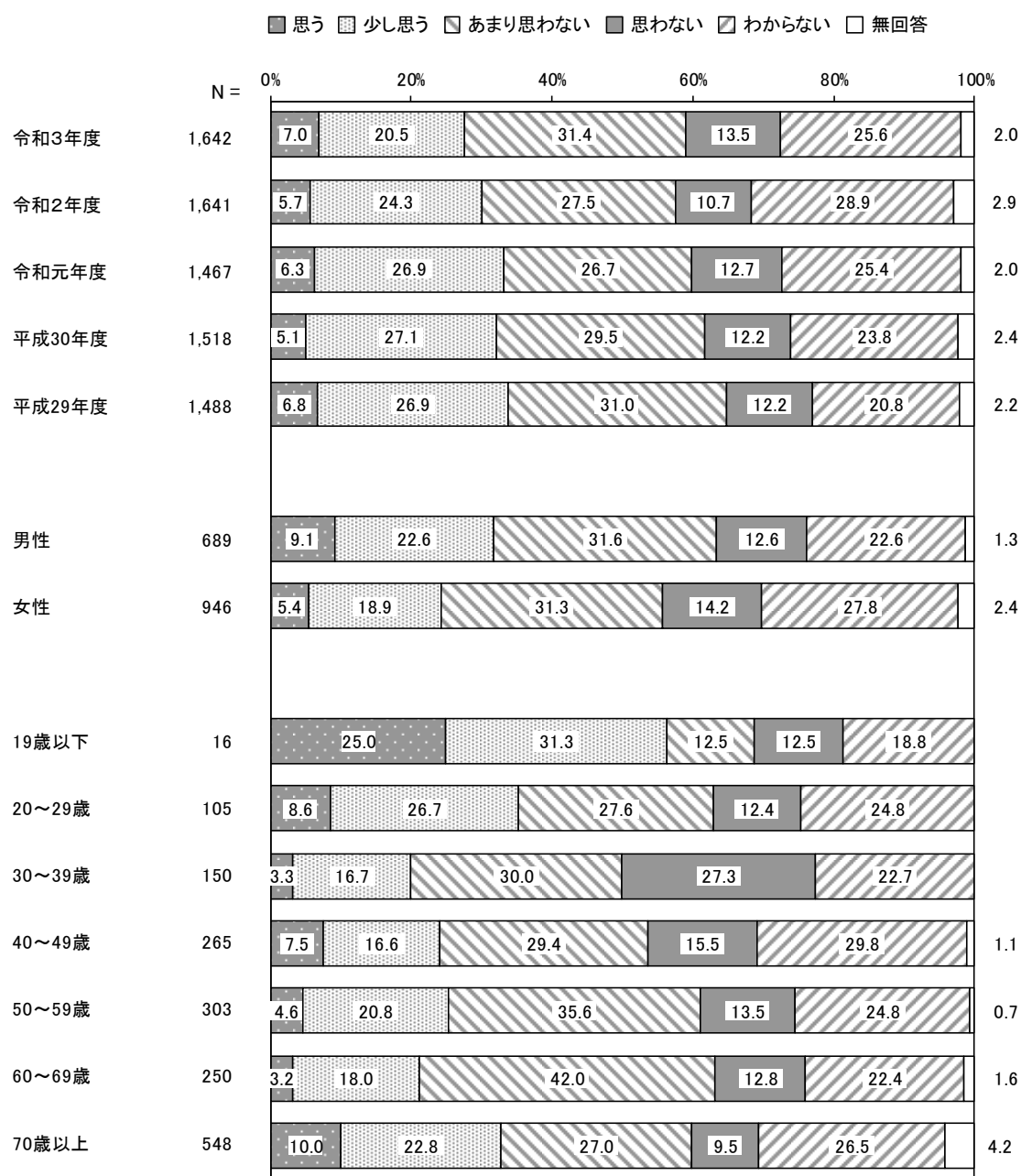


図 年度別・性別・年齢別 ケ 男女が互いに認め合える差別のない社会が実現しているかの評価

問 18 コ あなたは、職場や地域において、女性が働きやすい、あるいは活動しやすい環境が整っていると思いますか。

「あまり思わない」の割合が28.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が24.9%、「少し思う」の割合が24.4%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(40.6%)が、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(31.3%)を上回っています。

年度別でみると、“肯定的な意見”の割合が低くなっている傾向がみられます。

性別でみると、女性に比べ、男性で“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、19歳以下を除いて、20～29歳で“肯定的な意見”の割合が最も高くなっています。

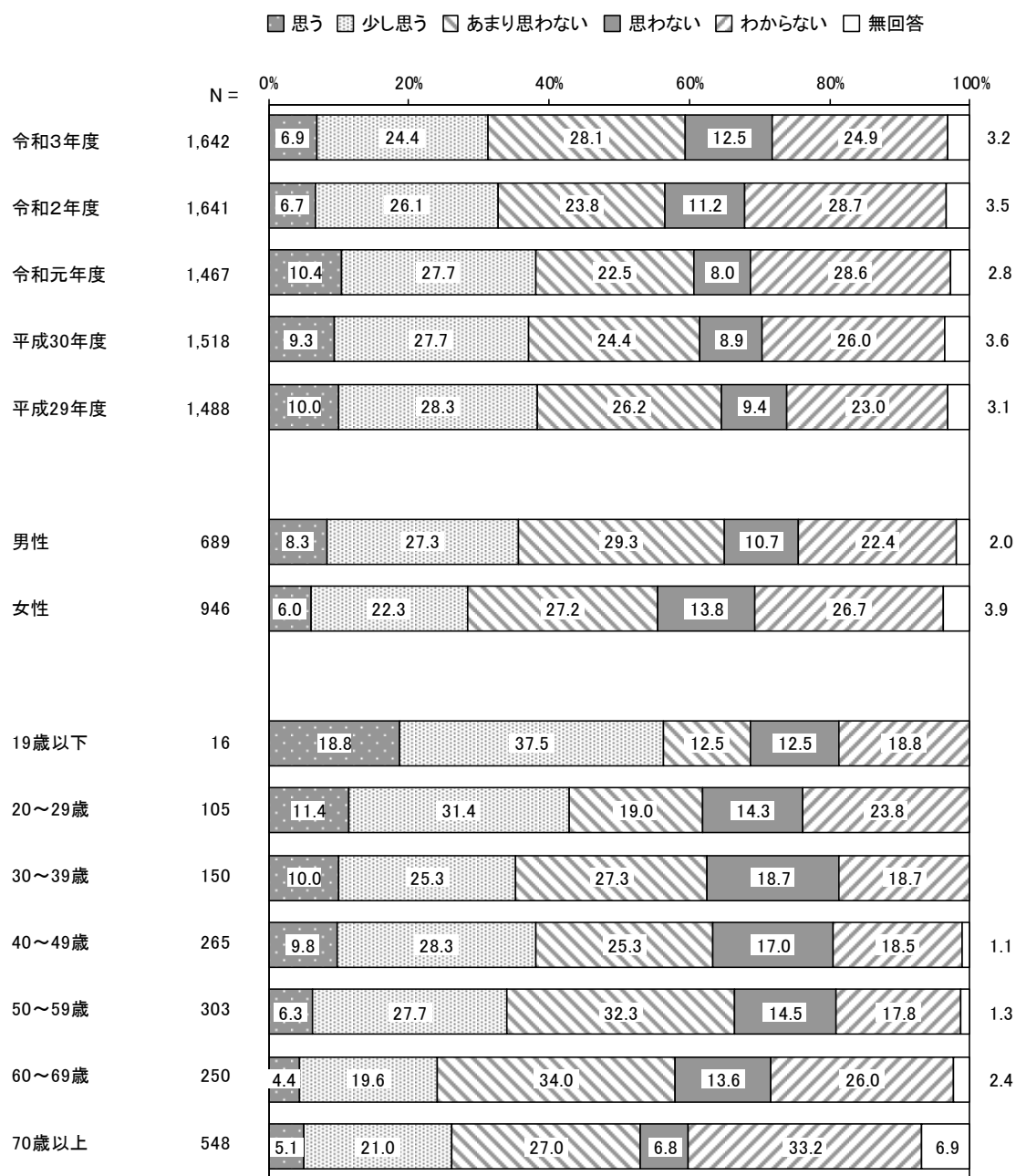


図 年度別・性別・年齢別 コ 男女共同参画の実現

問 18 サ あなたは、行政の取り組みが、改善されていると思いますか。

「わからない」の割合が31.3%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が25.7%、「少し思う」の割合が21.9%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(39.9%)が、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(26.3%)を上回っています。

年度別でみると、大きな差異はみられません。

性別でみると、女性に比べ、男性で“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、19歳以下を除いて、70歳以上で“肯定的な意見”の割合が最も高くなっています。

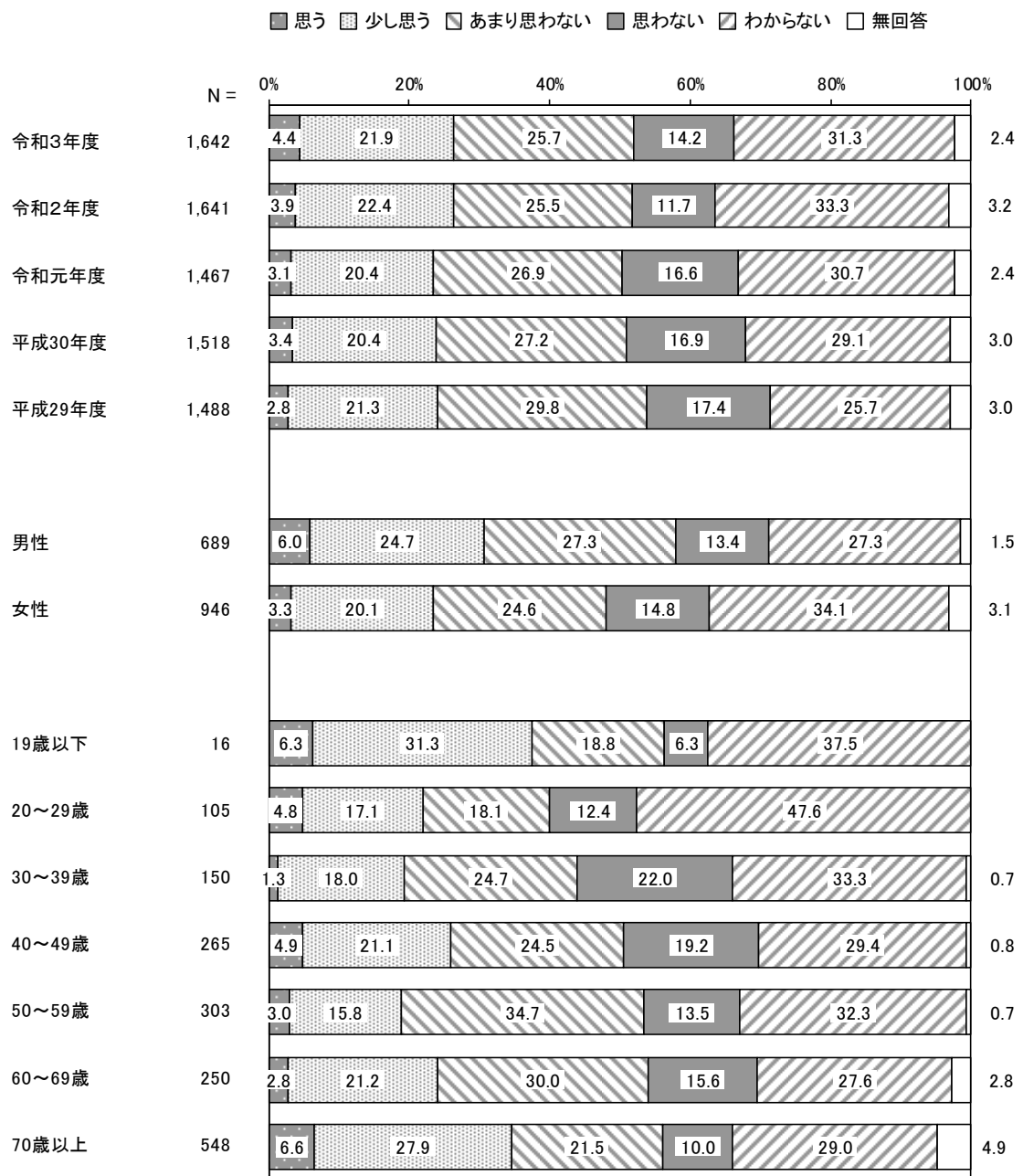


図 年度別・性別・年齢別 サ 行政の取り組みが改善されているかの評価

問 18 シ あなたは、八尾市役所からの情報が入手しやすいと思いますか。

「少し思う」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が 27.3%、「わからない」の割合が 13.7%となっています。「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(43.8%)が、「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(40.6%)を上回っています。

年度別でみると、前年度と比べ、“肯定的な意見”の割合が 7.2 ポイント高くなっています。

性別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

年齢別でみると、70 歳以上で、“肯定的な意見”の割合が最も高くなっています。

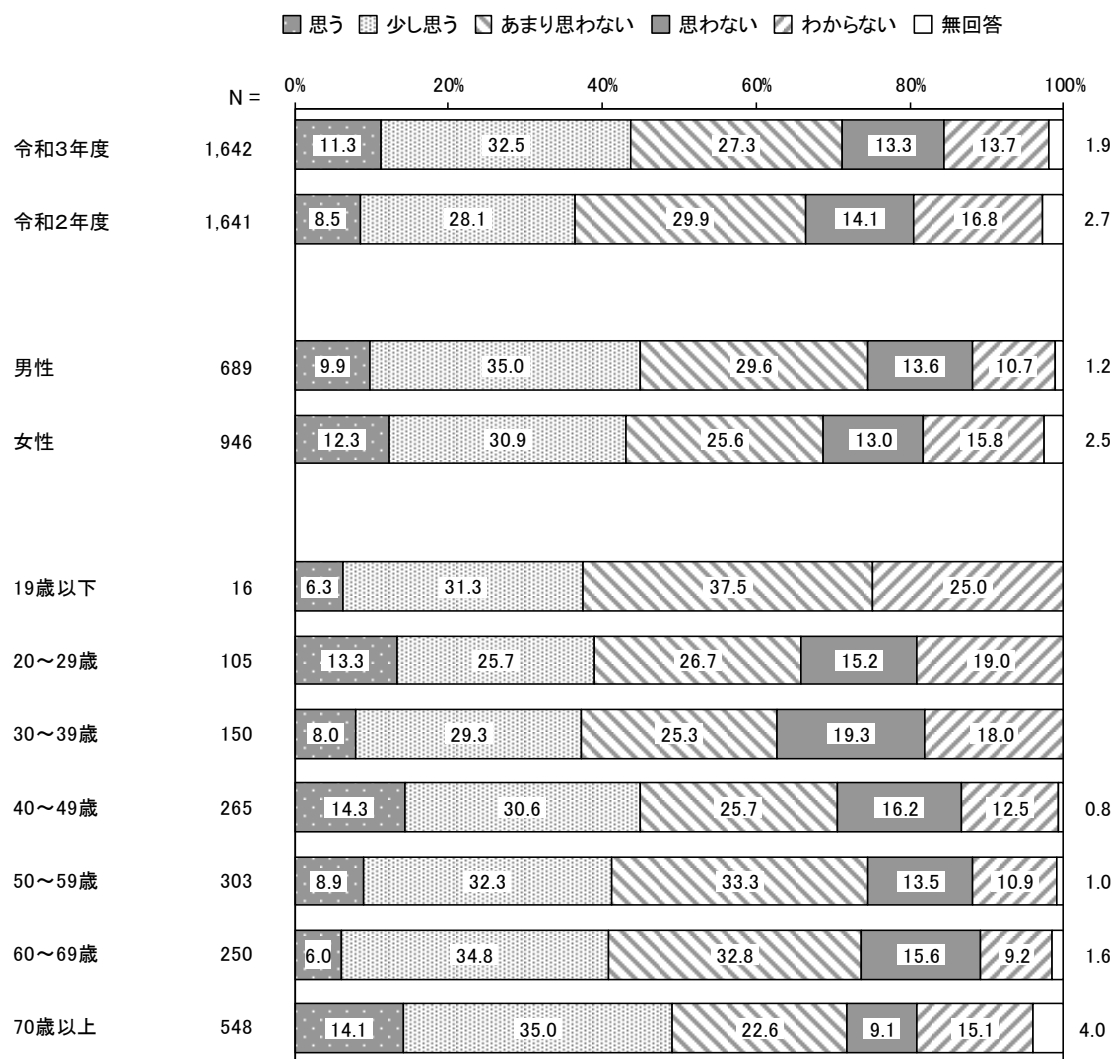


図 年度別・性別・年齢別 シ 八尾市役所からの情報が入手しやすいかの評価

問 18 ス あなたは、子育てしやすい環境が整っていると思いますか。

「わからない」の割合が 29.7%と最も高く、次いで「少し思う」の割合が 25.2%、「あまり思わない」の割合が 24.2%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(35.0%)が、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(32.3%)を上回っています。

性別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

年齢別でみると、30～39歳で“肯定的な意見”の割合が最も高くなっています。

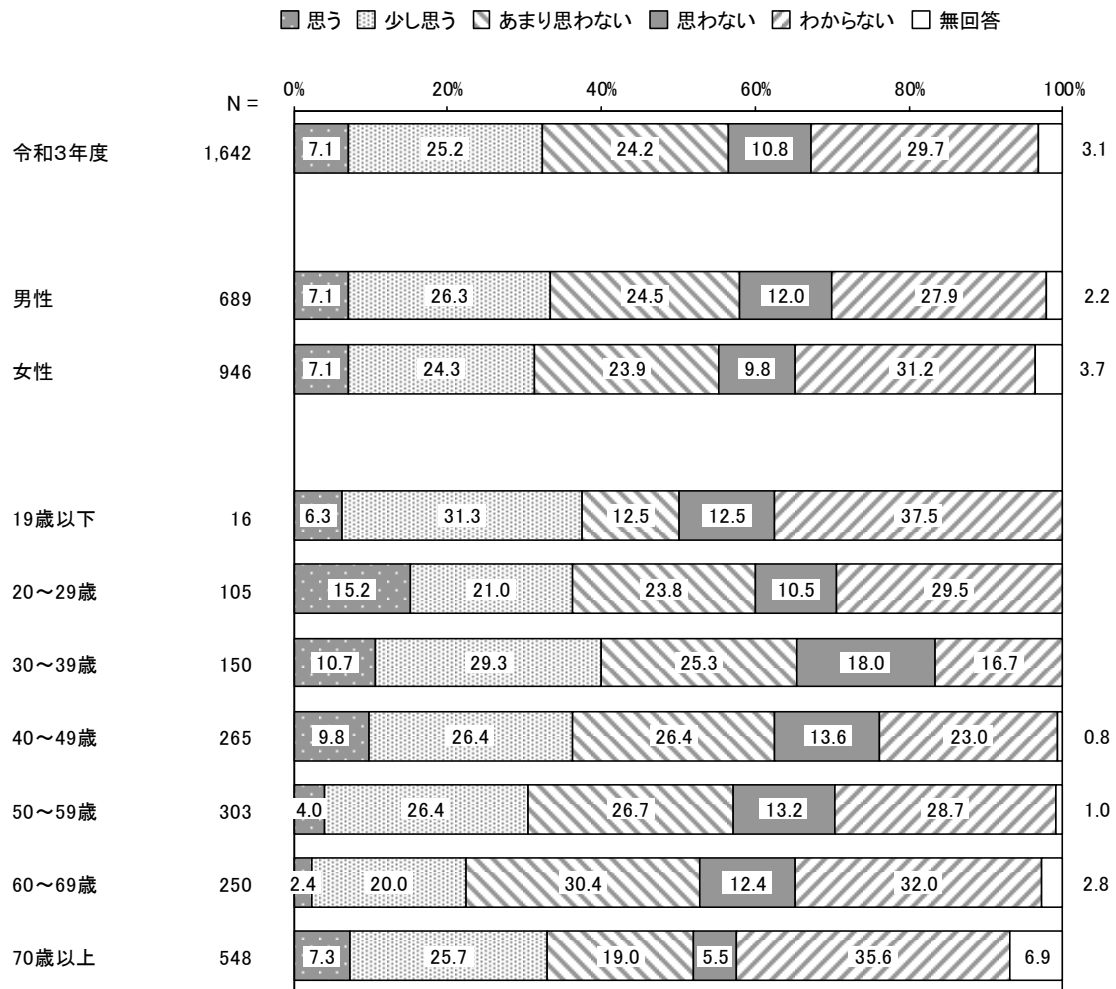


図 性別・年齢別 ス 子育てしやすい環境が整っているかの評価

問 18 セ あなたは、平和な社会が大切だと思いますか。

「思う」の割合が 86.5%と最も高くなっています。「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合（95.6%）が、「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合（1.9%）を上回っています。

性別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

年齢別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

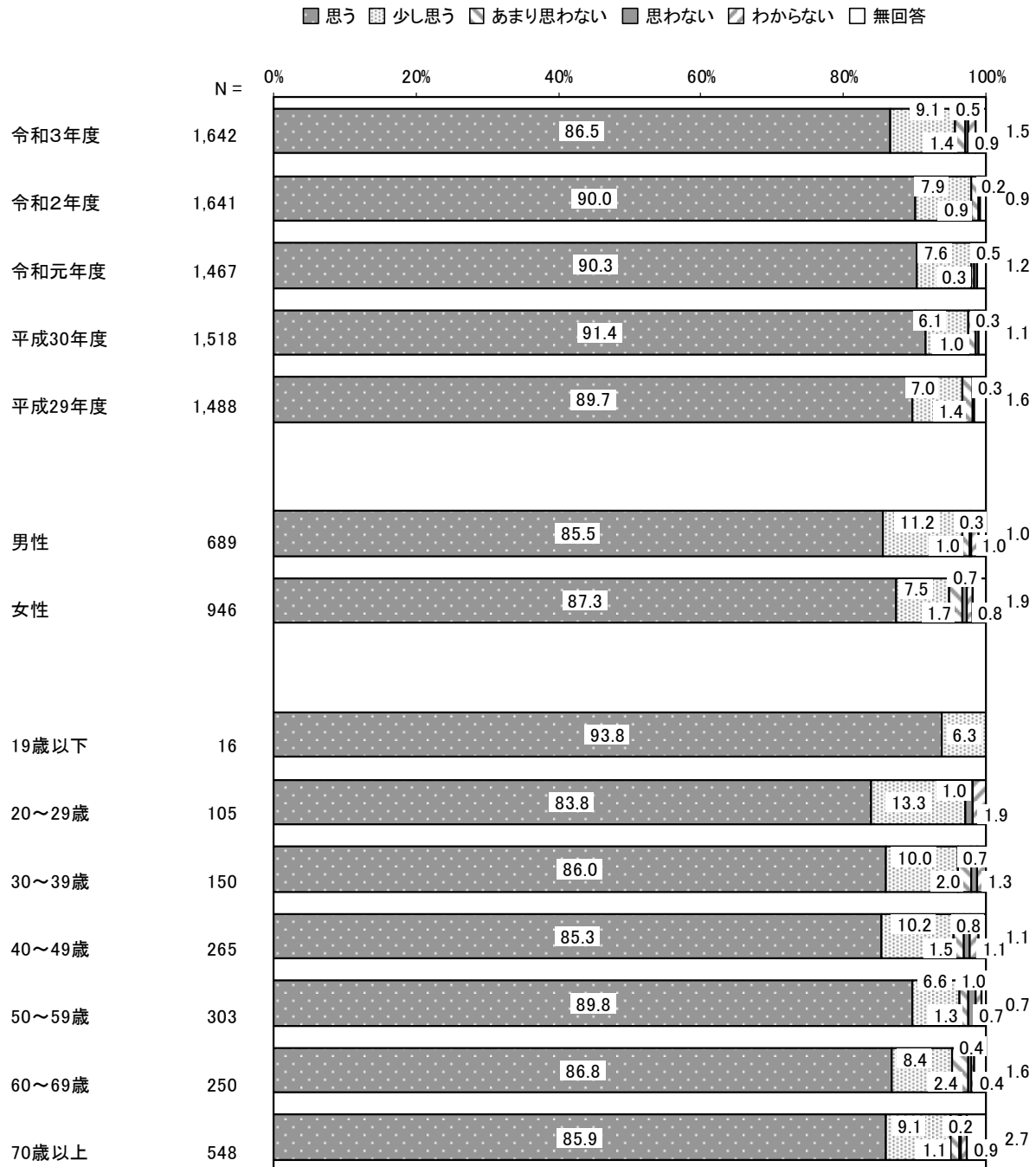


図 年度別・性別・年齢別 セ 平和な社会について

4 公共施設の今後のあり方について

問 19 あなたは、八尾市の公共施設をこの1年間でどれだけ利用しましたか。ア～サについて、あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。利用した場合は()内に年間の利用回数を記入してください。利用しなかった場合は、その理由としてあてはまるものの番号すべてに○をつけてください。

(1) 過去1年間の利用の有無

八尾市の公共施設の過去1年間の利用状況をみると、「利用した」の割合は、「ア市役所庁舎」が65.5%で最も多く、次いで、「イ出張所・コミュニティセンター・人権コミュニティセンター」、「エ図書館」となっています。一方、「利用しなかった」の割合は、「カ運動広場等」、「キ歴史資料館等」、「ク福祉施設（社会福祉会館・会館内の老人センターを含む）」、「ケ福祉施設（桂・安中老人福祉センター）」、「コ青少年施設（桂・安中青少年会館）」、「サ青少年施設（青少年センター、青少年野外活動センター「アクトランドYAO）」が8割を超えています。

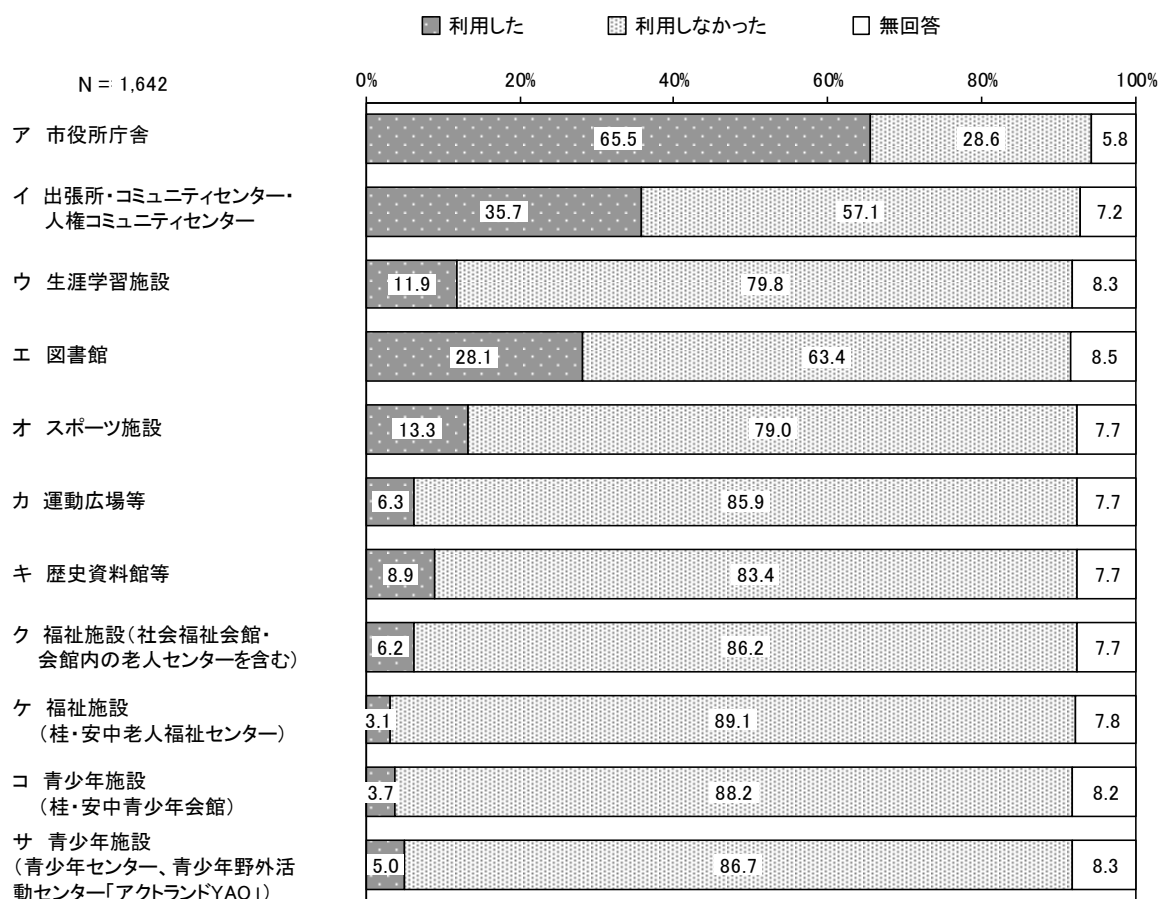


図 公共施設の利用の有無

(2) 利用回数

八尾市の公共施設を「利用した」人のうち過去1年間の利用回数をみると、“10回以上”の割合は、「エ図書館」が30.2%で最も多く、次いで、「ク 福祉施設（社会福祉会館・会館内の老人センターを含む）」、「オ スポーツ施設」となっています。一方、「10回未満」の割合は、「ア 市役所庁舎」、「キ 歴史資料館等」、「ケ 福祉施設（桂・安中老人福祉センター）」、「コ 青少年施設（桂・安中老人福祉センター）」が9割を超えています。

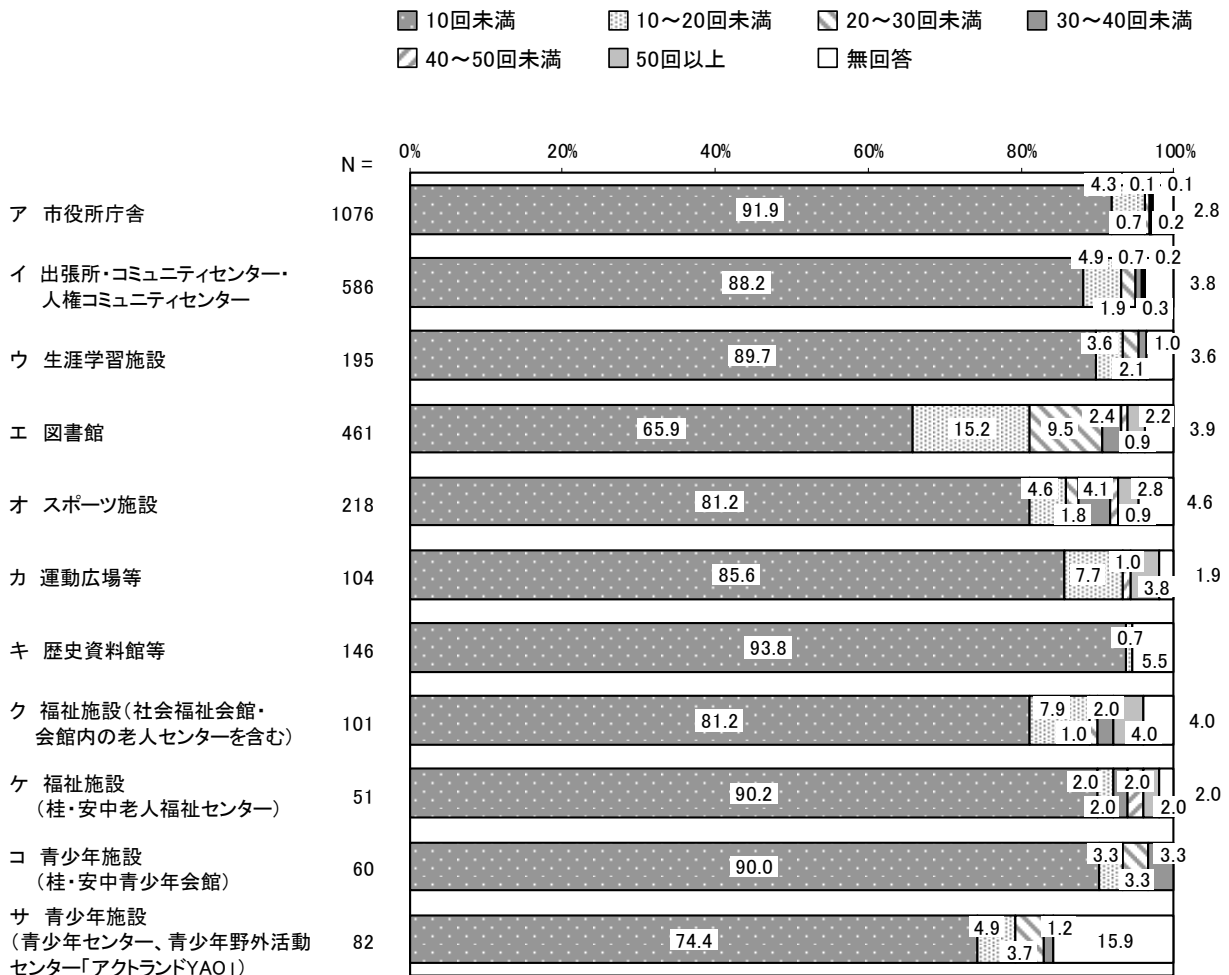


図 公共施設の利用回数

問 19 ア 市役所庁舎

「利用した」の割合が 65.5%、「利用しなかった」の割合が 28.6%となっています。
 性別でみると、女性に比べ、男性の方が「利用した」の割合が高くなっています。
 年齢別でみると、19歳以下を除いて、70歳以上で「利用した」の割合が低くなっています。

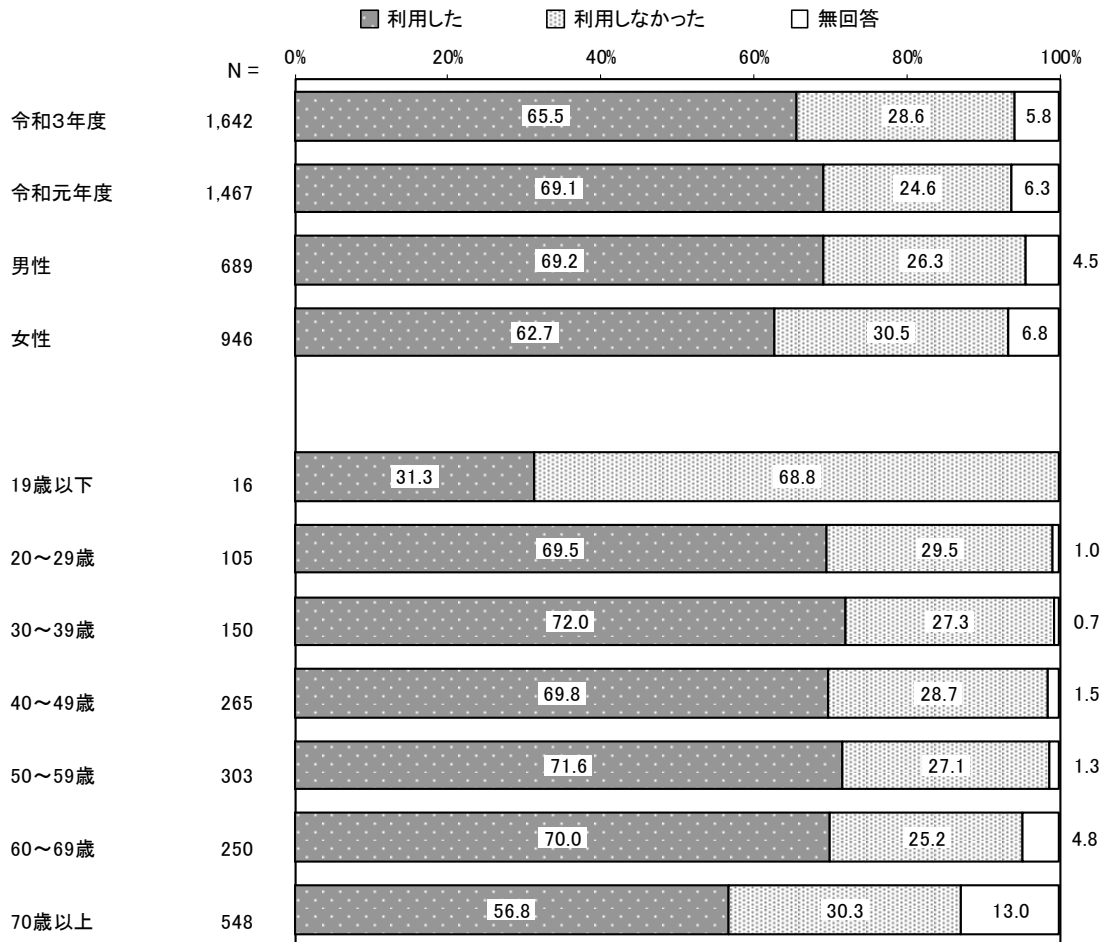


図 年度別・性別・年齢別 ア 市役所庁舎の利用の有無

利用しなかった場合の理由

「利用する必要がない」の割合が 70.4%と最も高く、次いで「住まいからの距離が遠い」の割合が 14.3%となっています。

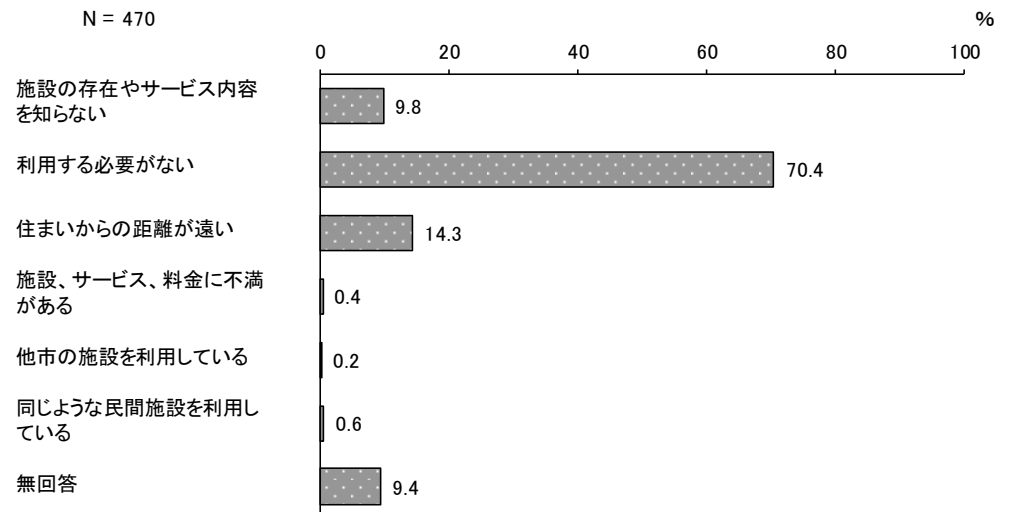


図 ア 市役所庁舎を利用しなかった理由

問 19 イ 出張所・コミュニティセンター・人権コミュニティセンター

「利用した」の割合が 35.7%、「利用しなかった」の割合が 57.1%となっています。性別で見ると、男性に比べ、女性の方が「利用した」の割合が高くなっています。年齢別で見ると、概ね年齢が高いほど「利用した」の割合が高くなっています。

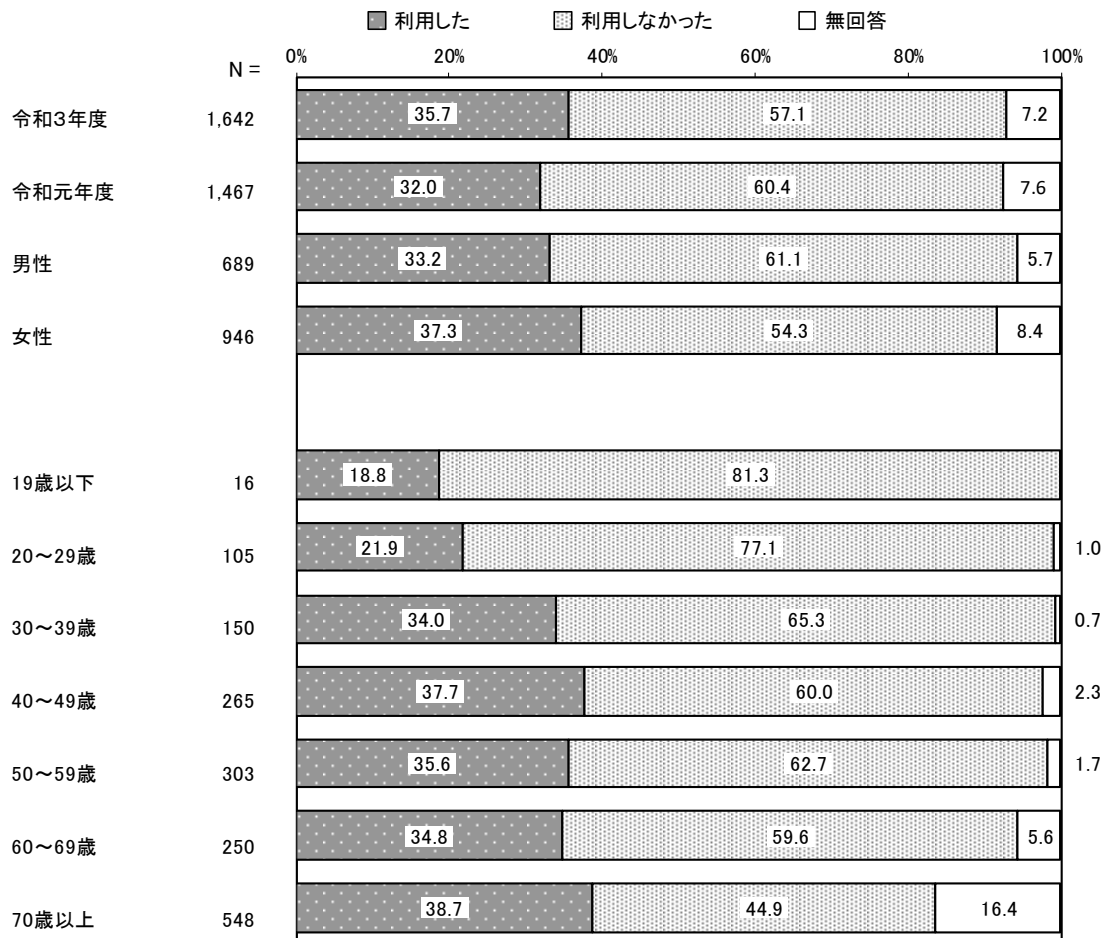


図 年度別・性別・年齢別 イ 出張所・コミュニティセンター・人権コミュニティセンターの利用の有無

利用しなかった場合の理由

「利用する必要がない」の割合が 74.4%と最も高く、次いで「施設の利用やサービス内容を知らない」の割合が 14.0%となっています。

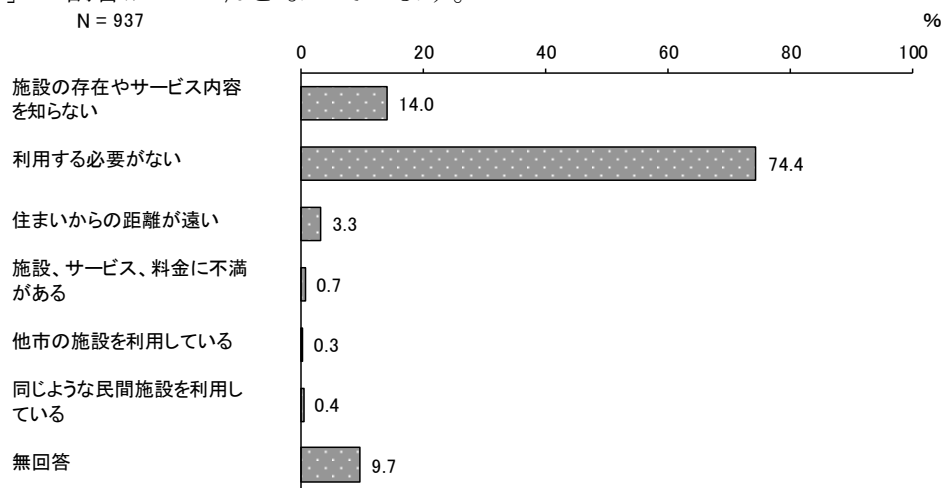


図 イ 出張所・コミュニティセンター・人権コミュニティセンターを利用しなかった理由

問 19 ウ 生涯学習施設（生涯学習センター、くらし学習館）

「利用した」の割合が 11.9%、「利用しなかった」の割合が 79.8%となっています。
性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、30～39 歳、70 歳以上で「利用した」の割合が高くなっています。

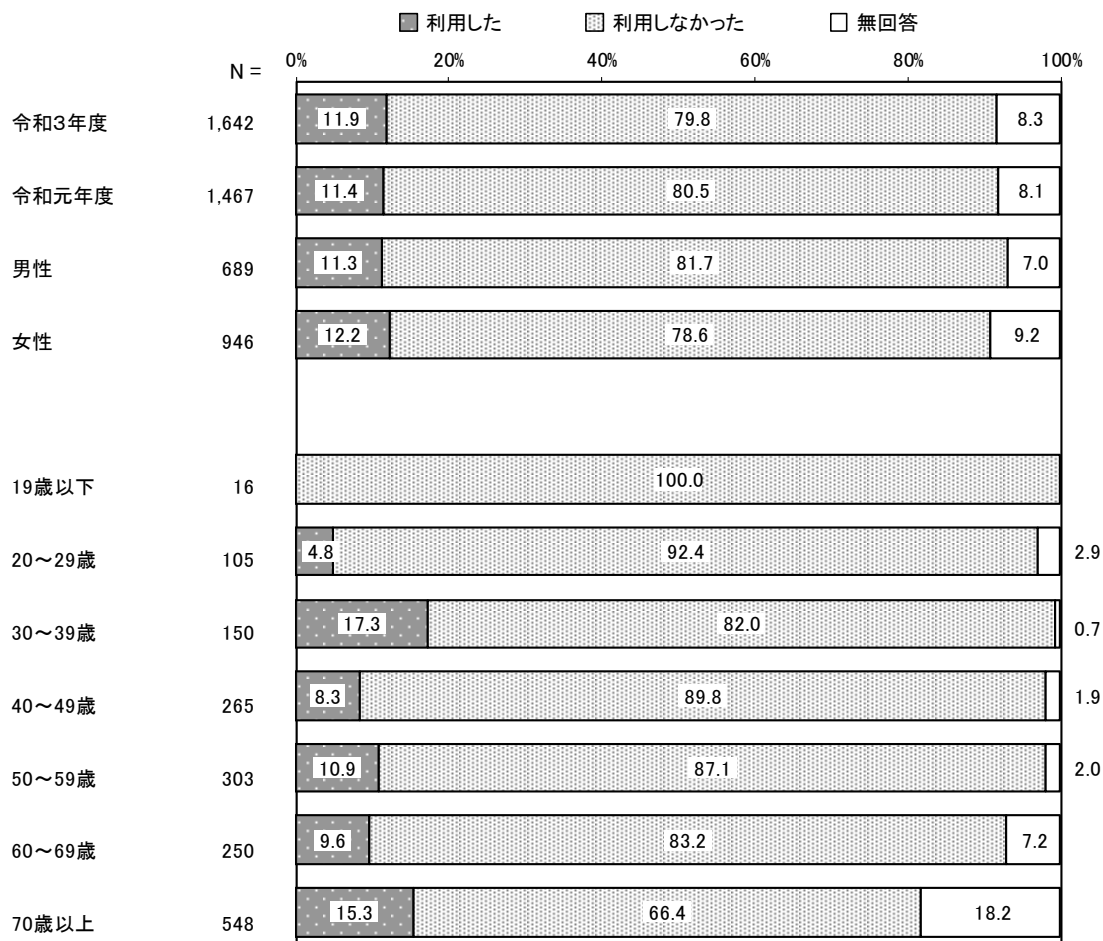


図 年度別・性別・年齢別 ウ 生涯学習施設の利用の有無

利用しなかった場合の理由

「利用する必要がない」の割合が 66.5%と最も高く、次いで「施設の存在やサービス内容を知らない」の割合が 18.5%、「住まいからの距離が遠い」の割合が 11.1%となっています。

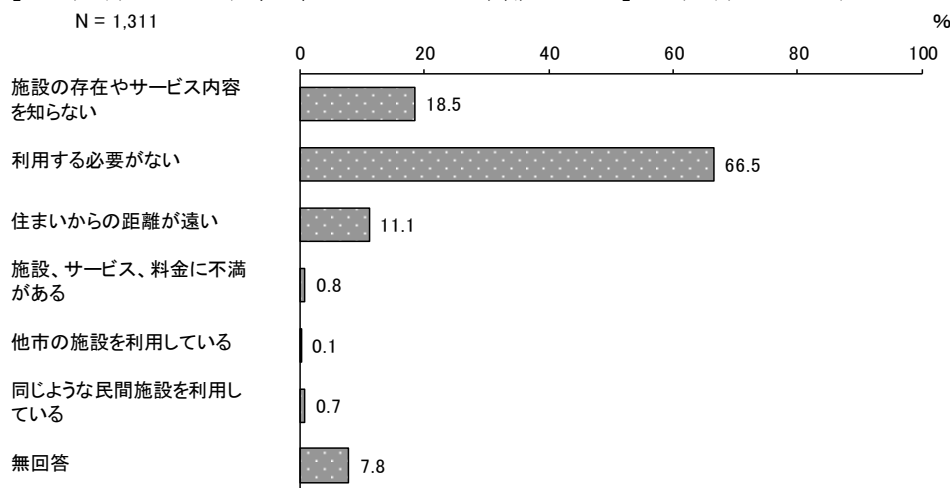


図 ウ 生涯学習施設を利用しなかった理由

問 19 エ 図書館

「利用した」の割合が28.1%、「利用しなかった」の割合が63.4%となっています。
性別でみると、女性に比べ、男性の方が「利用しなかった」の割合が高くなっています。
年齢別でみると、30～39歳で「利用した」の割合が最も高くなっています。

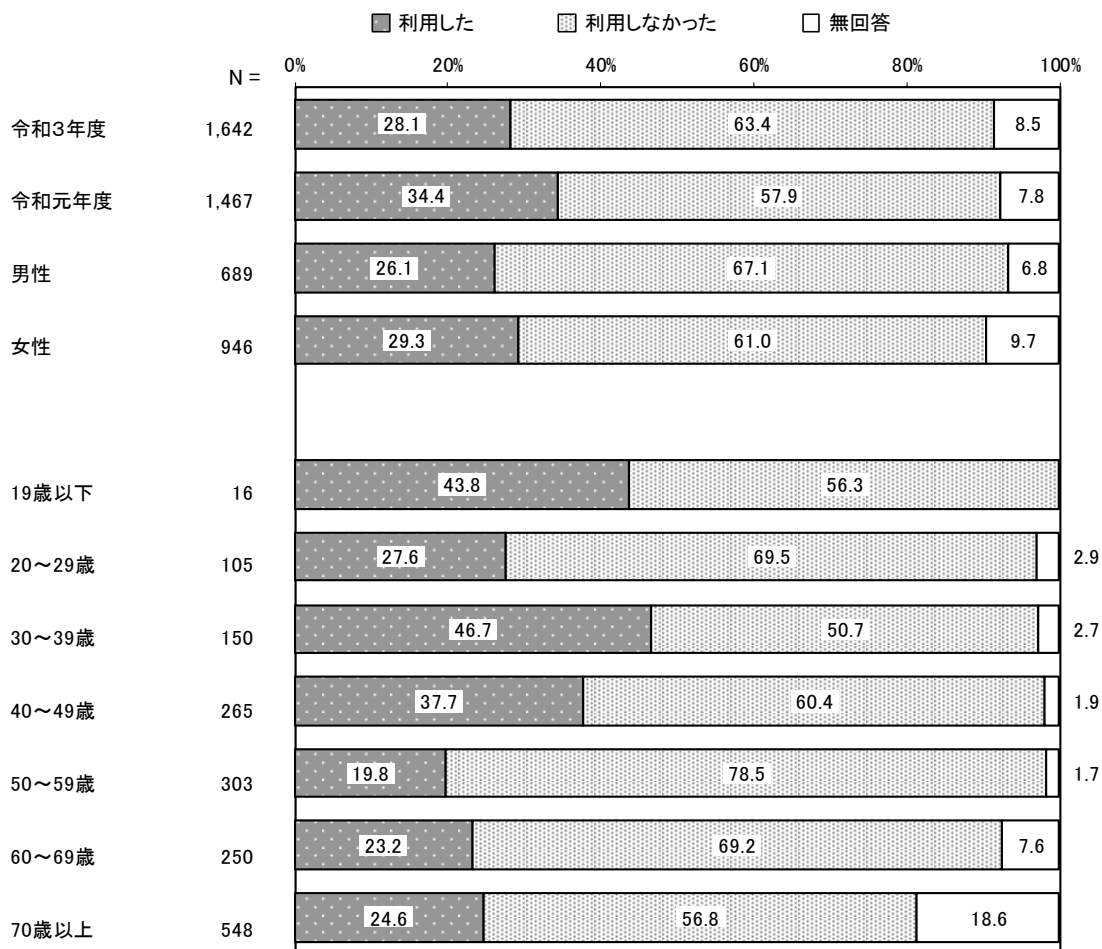


図 年度別・性別・年齢別 エ 図書館の利用の有無

利用しなかった場合の理由

「利用する必要がない」の割合が70.8%と最も高く、次いで「住まいからの距離が遠い」の割合が13.4%となっています。

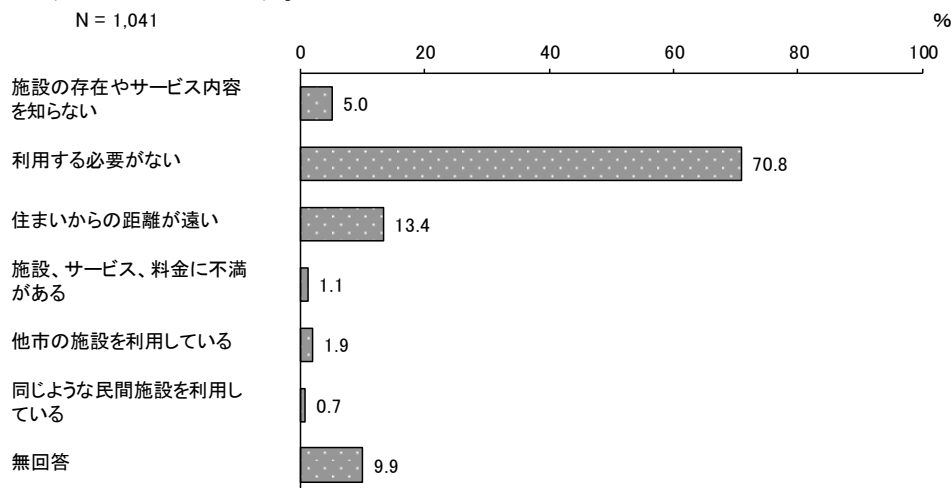


図 エ 図書館を利用しなかった理由

問 19 オ スポーツ施設（総合体育館「ウイング」、南木の本防災体育館、屋内プール「しぶき」）

「利用した」の割合が13.3%、「利用しなかった」の割合が79.0%となっています。
性別でみると、女性に比べ、男性の方が「利用しなかった」の割合が高くなっています。
年齢別でみると、30～39歳で「利用した」の割合が最も高くなっています。

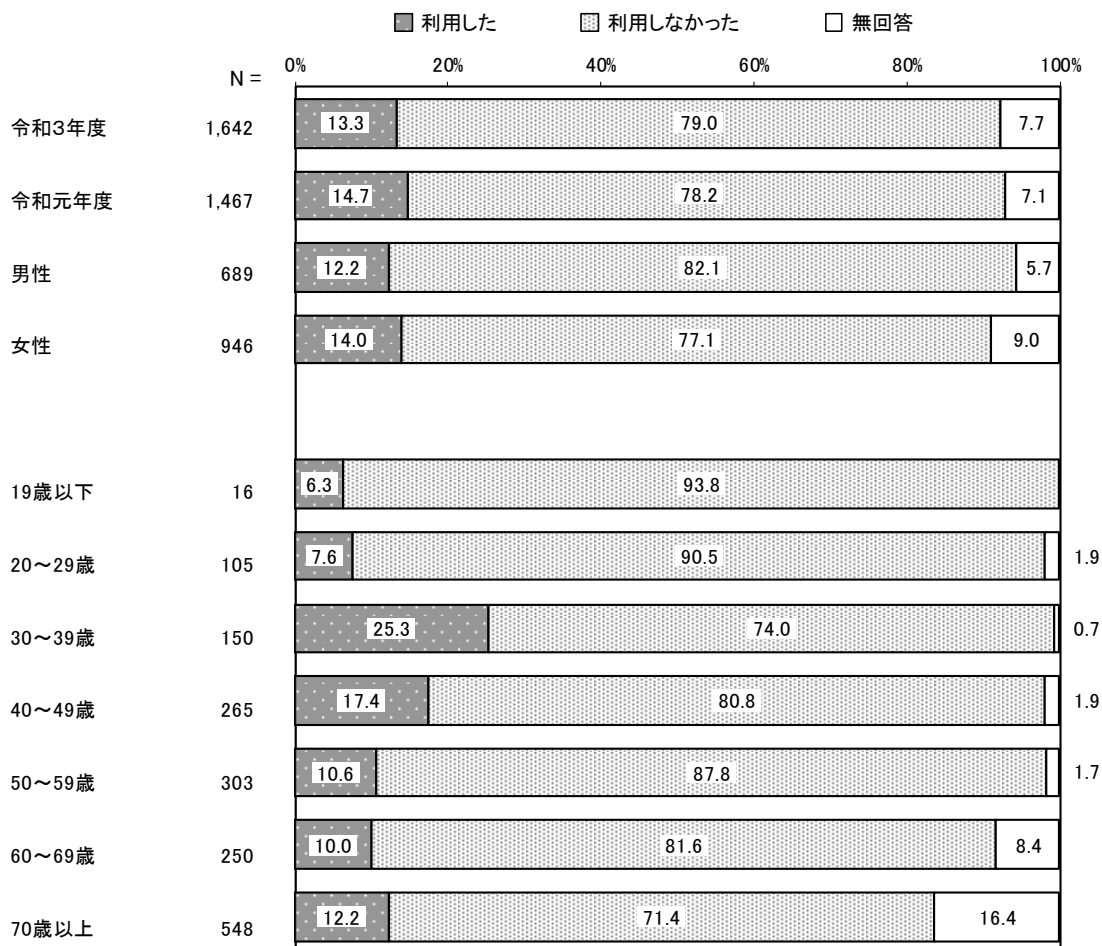


図 年度別・性別・年齢別 オ スポーツ施設の利用の有無

利用しなかった場合の理由

「利用する必要がない」の割合が67.3%と最も高く、次いで「住まいからの距離が遠い」の割合が13.9%、「施設の存在やサービス内容を知らない」の割合が12.0%となっています。

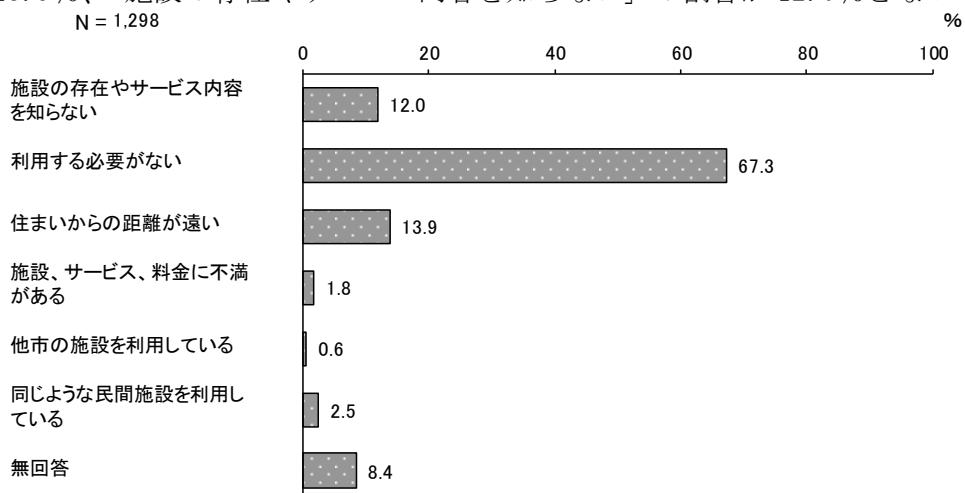


図 オ スポーツ施設を利用しなかった理由

問 19 カ 運動広場等（市民運動広場、青少年運動広場、山本球場、志紀テニス場）

「利用した」の割合が6.3%、「利用しなかった」の割合が85.9%となっています。
性別でみると、女性に比べ男性の方が「利用した」の割合が高くなっています。
年齢別でみると、30～39歳で「利用した」の割合が最も高くなっています。

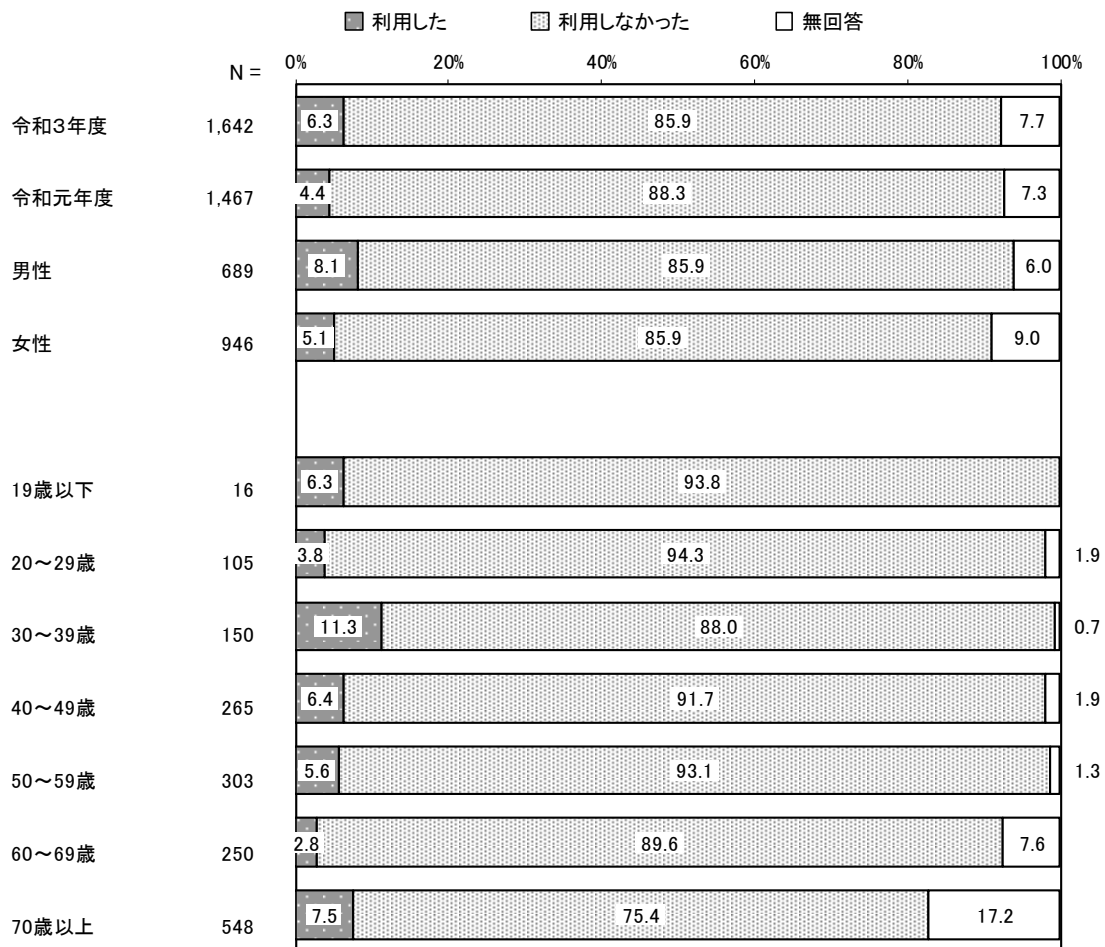


図 年度別・性別・年齢別 カ 運動広場等の利用の有無

利用しなかった場合の理由

「利用する必要がない」の割合が72.9%と最も高く、次いで「施設の存在やサービス内容を知らない」の割合が12.1%となっています。

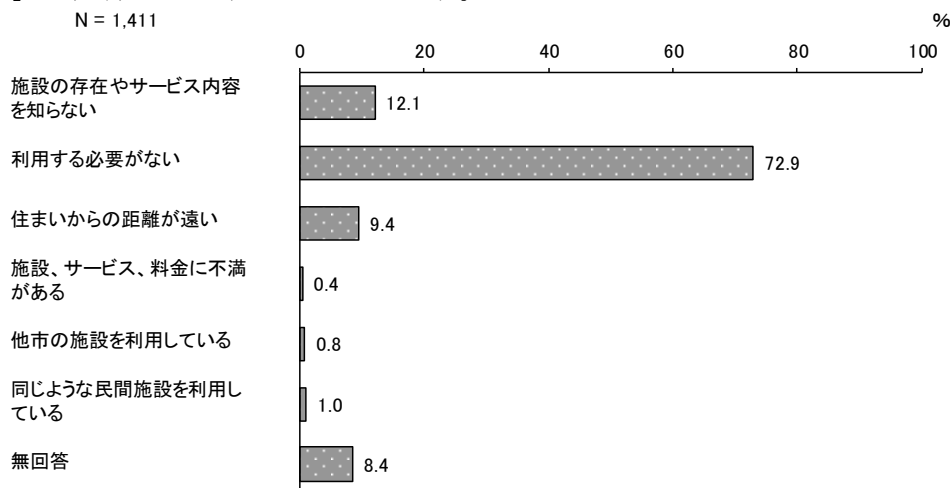


図 カ 運動広場等を利用しなかった理由

問 19 キ 歴史資料館等（歴史民俗資料館、しおんじやま古墳学習館、旧植田家住宅等）

「利用した」の割合が8.9%、「利用しなかった」の割合が83.4%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、概ね年齢が高いほど「利用した」の割合が高くなっています。

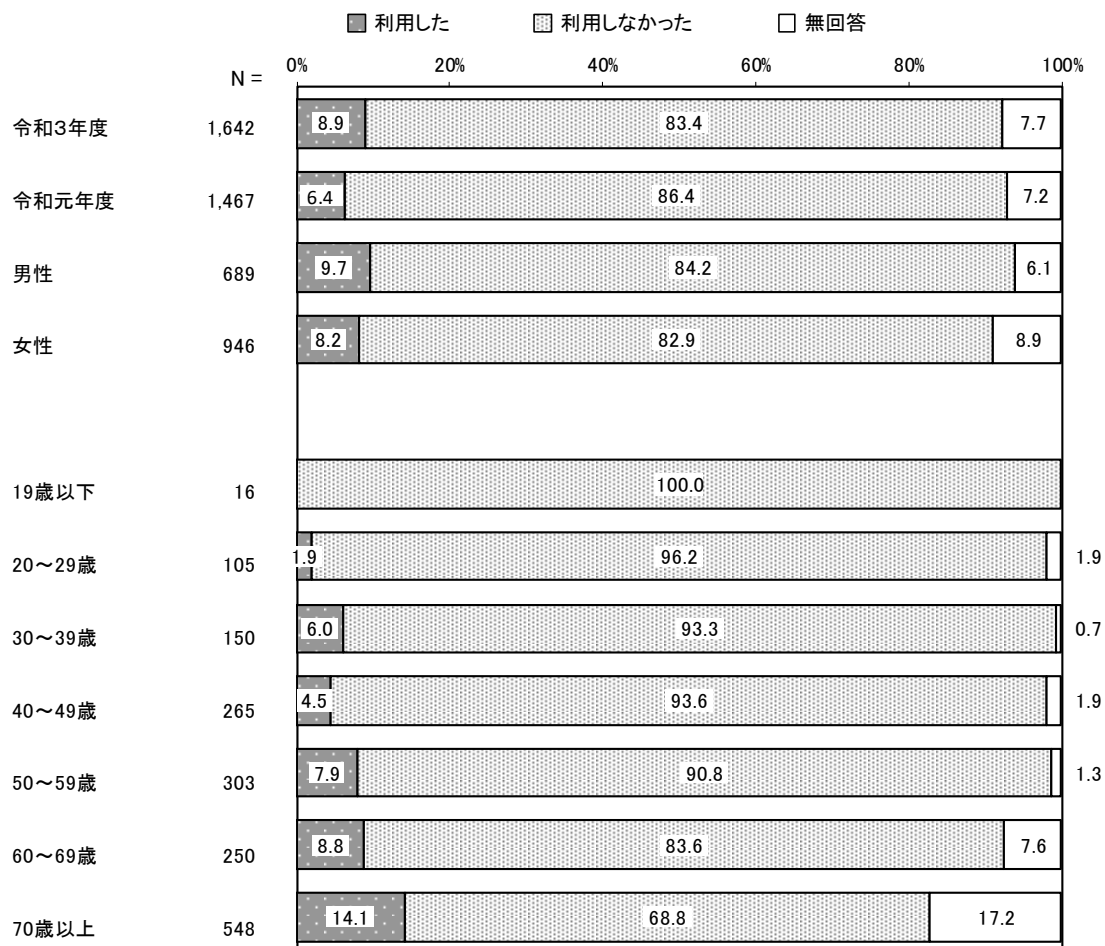


図 年度別・性別・年齢別 キ 歴史資料館等の利用の有無

利用しなかった場合の理由

「利用する必要がない」の割合が65.1%と最も高く、次いで「施設の存在やサービス内容を知らない」の割合が17.9%、「住まいからの距離が遠い」の割合が11.8%となっています。

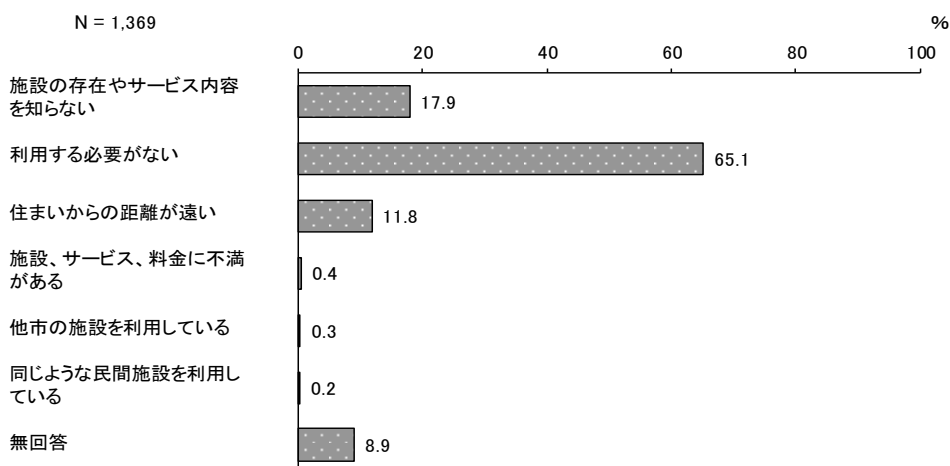


図 キ 歴史資料館等を利用しなかった理由

問 19 ク 福祉施設（社会福祉会館・会館内の老人センターを含む）

「利用した」の割合が6.2%、「利用しなかった」の割合が86.2%となっています。
性別でみると、大きな差異はみられません。
年齢別でみると、70歳以上で「利用した」の割合が最も高くなっています。

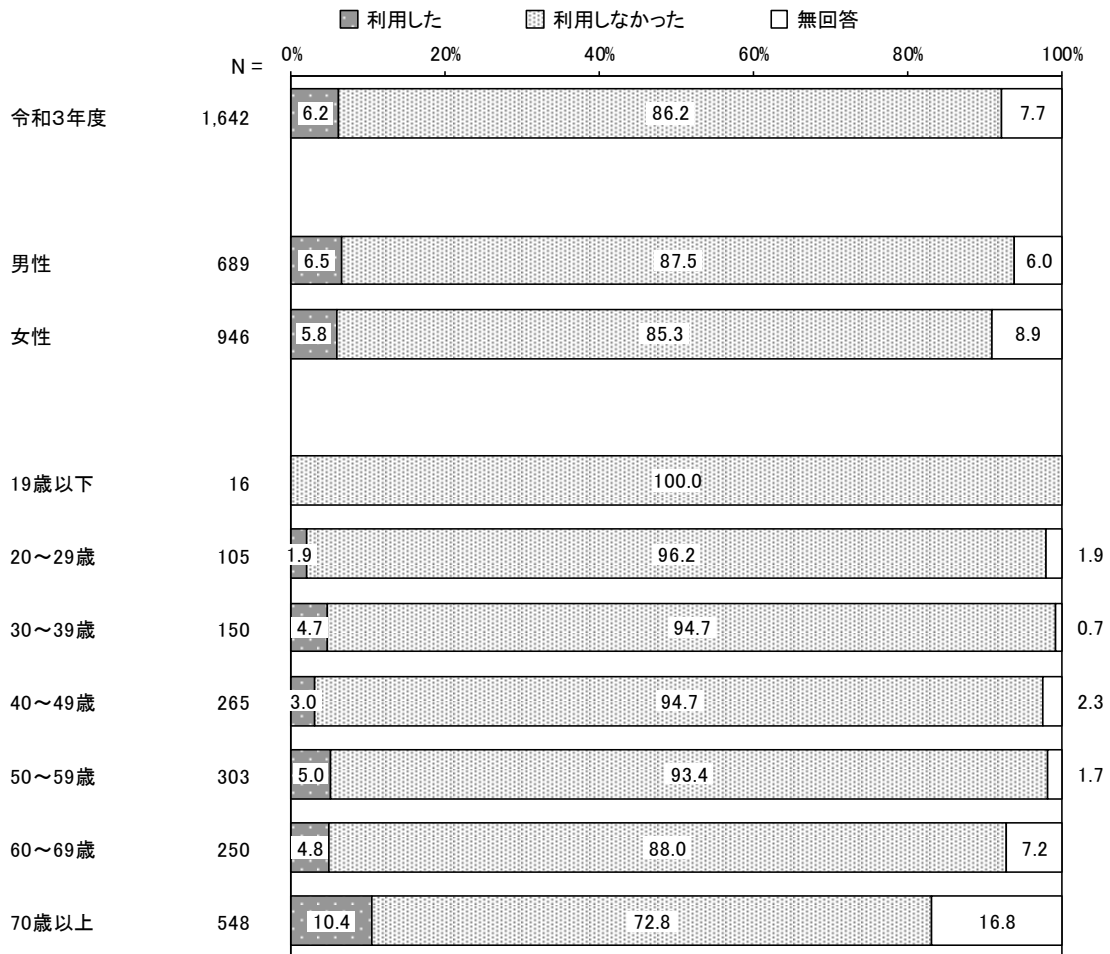


図 性別・年齢別 ク 福祉施設（社会福祉会館・会館内の老人センターを含む）の利用の有無

利用しなかった場合の理由

「利用する必要がない」の割合が72.4%と最も高く、次いで「施設の存在やサービス内容を知らない」の割合が17.8%となっています。

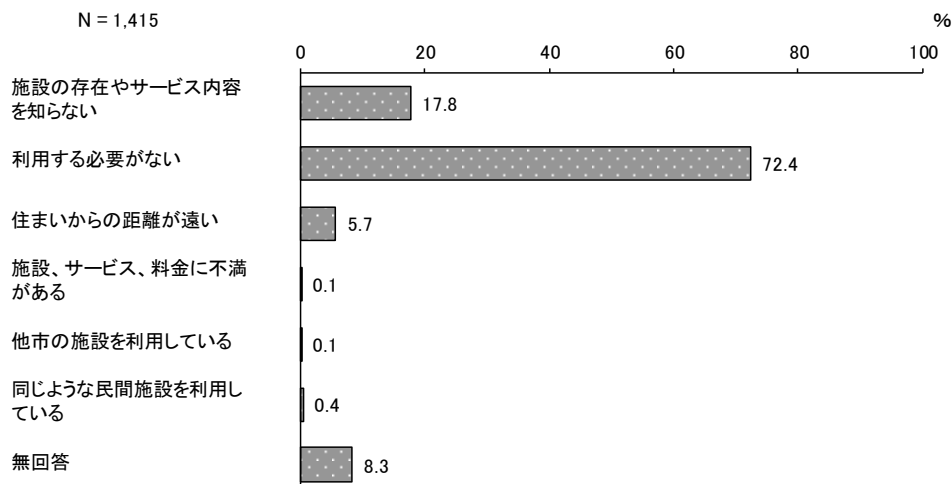


図 ク 福祉施設（社会福祉会館・会館内の老人センターを含む）を利用しなかった理由

問 19 ケ 福祉施設（桂・安中老人福祉センター）

「利用した」の割合が3.1%、「利用しなかった」の割合が89.1%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、70歳以上で「利用した」の割合が最も高くなっています。

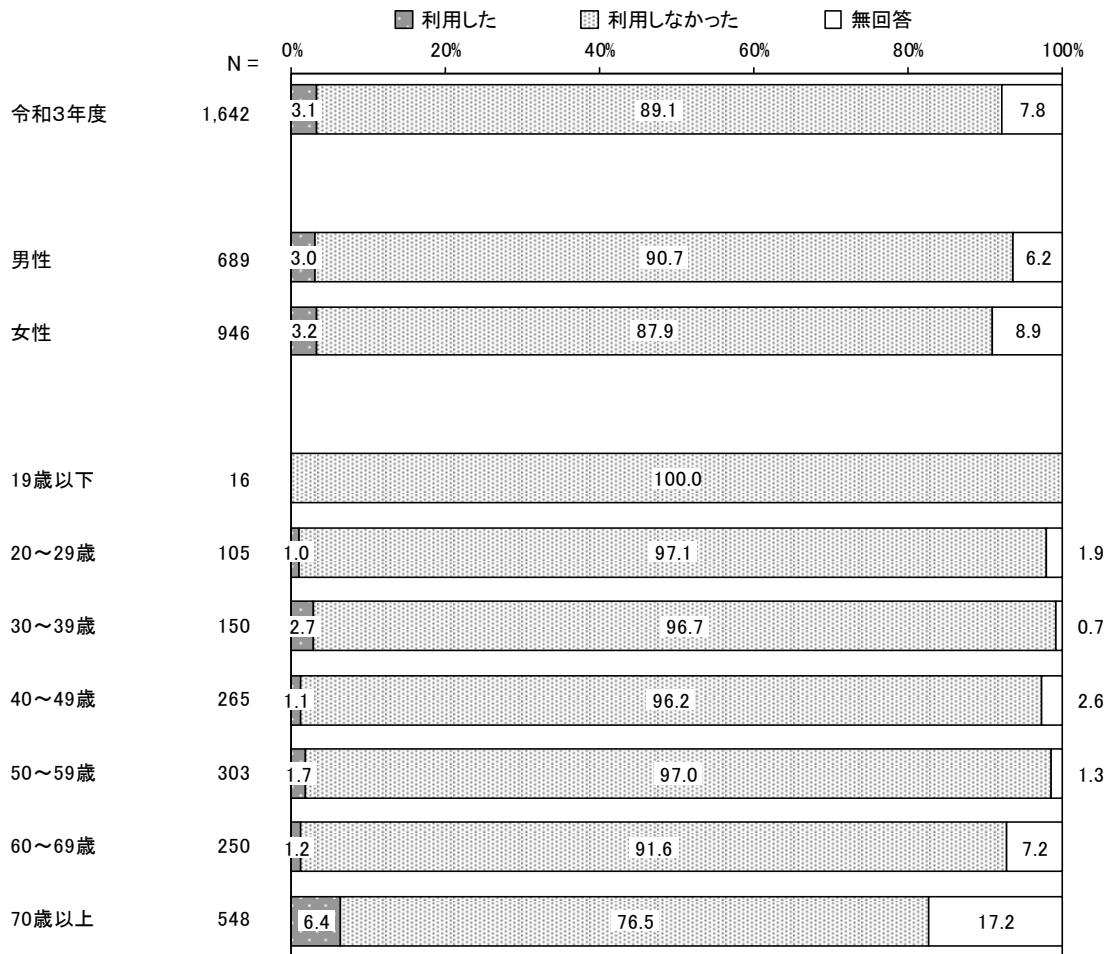


図 性別・年齢別 ケ 福祉施設（桂・安中老人福祉センター）の利用の有無

利用しなかった場合の理由

「利用する必要がない」の割合が74.3%と最も高く、次いで「施設の利用やサービス内容を知らない」の割合が16.3%となっています。

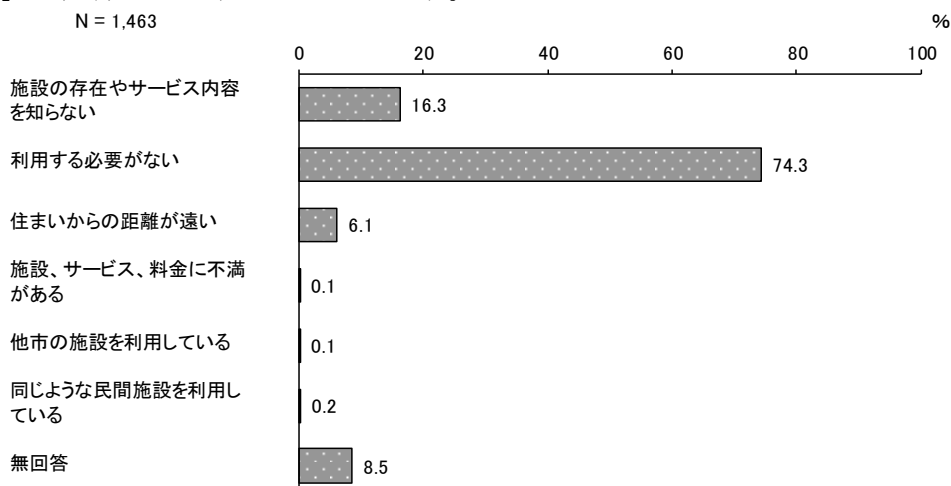


図 ケ 福祉施設（桂・安中老人福祉センター）を利用しなかった理由

問 19 コ 青少年施設（桂・安中青少年会館）

「利用した」の割合が3.7%、「利用しなかった」の割合が88.2%となっています。
性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、30～39歳及び70歳以上で「利用した」の割合が高くなっています。

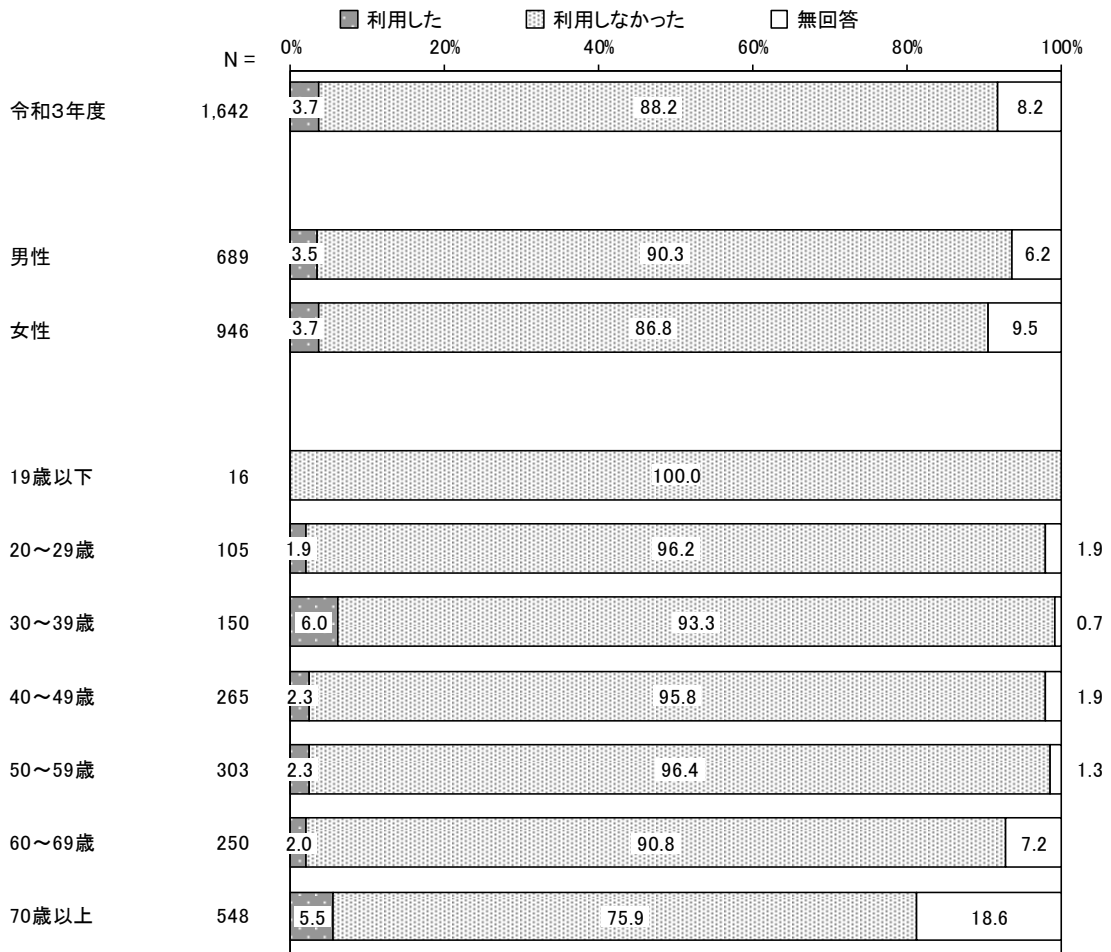


図 性別・年齢別 コ 青少年施設（桂・安中青少年会館）の利用の有無

利用しなかった場合の理由

「利用する必要がない」の割合が73.8%と最も高く、次いで「施設の存在やサービス内容を知らない」の割合が16.3%となっています。

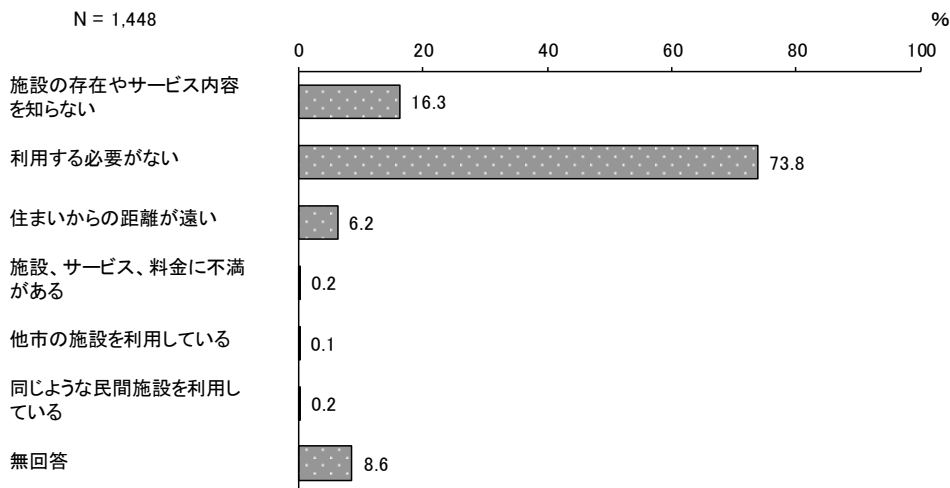


図 コ 青少年施設（桂・安中青少年会館）を利用しなかった理由

問 19 サ 青少年施設（青少年センター、青少年野外活動センター「アクトランド YAO」）

「利用した」の割合が 5.0%、「利用しなかった」の割合が 86.7%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、30～39 歳以上で「利用した」の割合が最も高くなっています。

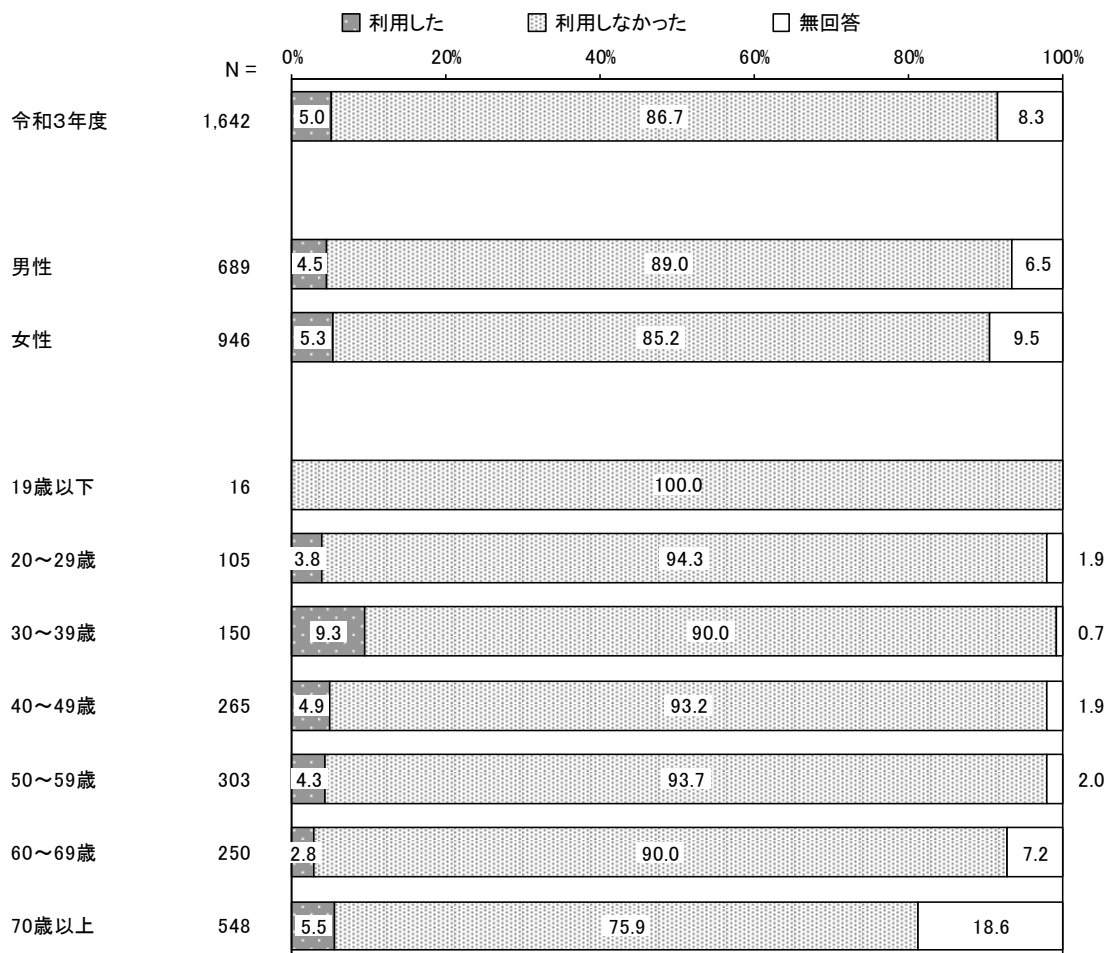


図 性別・年齢別 サ 青少年施設（青少年センター、青少年野外活動センター「アクトランド YAO」）の利用の有無

「利用する必要がない」の割合が 71.6%と最も高く、次いで「施設の存在やサービス内容を知らない」の割合が 17.5%となっています。

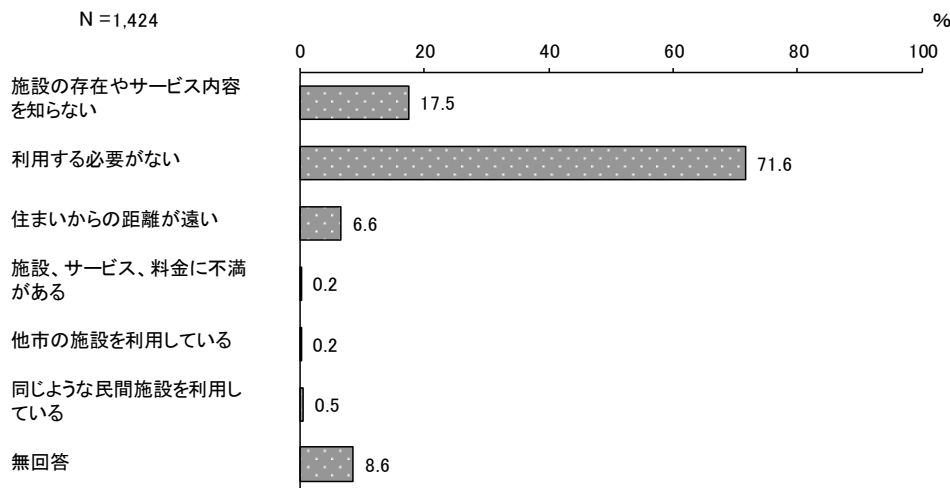


図 サ 青少年施設（青少年センター、青少年野外活動センター「アクトランド YAO」）を利用しなかった理由

5 今後の定住意向について

問 20 あなたは、今後も八尾市に住みつづけたいとお考えですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「今の場所に住みつづけたい」の割合が64.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が18.1%となっています。「今の場所に住みつづけたい」と「市内の他の場所で住みつづけたい」をあわせた“定住意向を示す人”の割合は70.2%となっている。

年度別でみると、前年度に比べ、“定住意向を示す人”の割合が減少しています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、年齢が高いほど“定住意向を示す人”の割合が高くなっています。

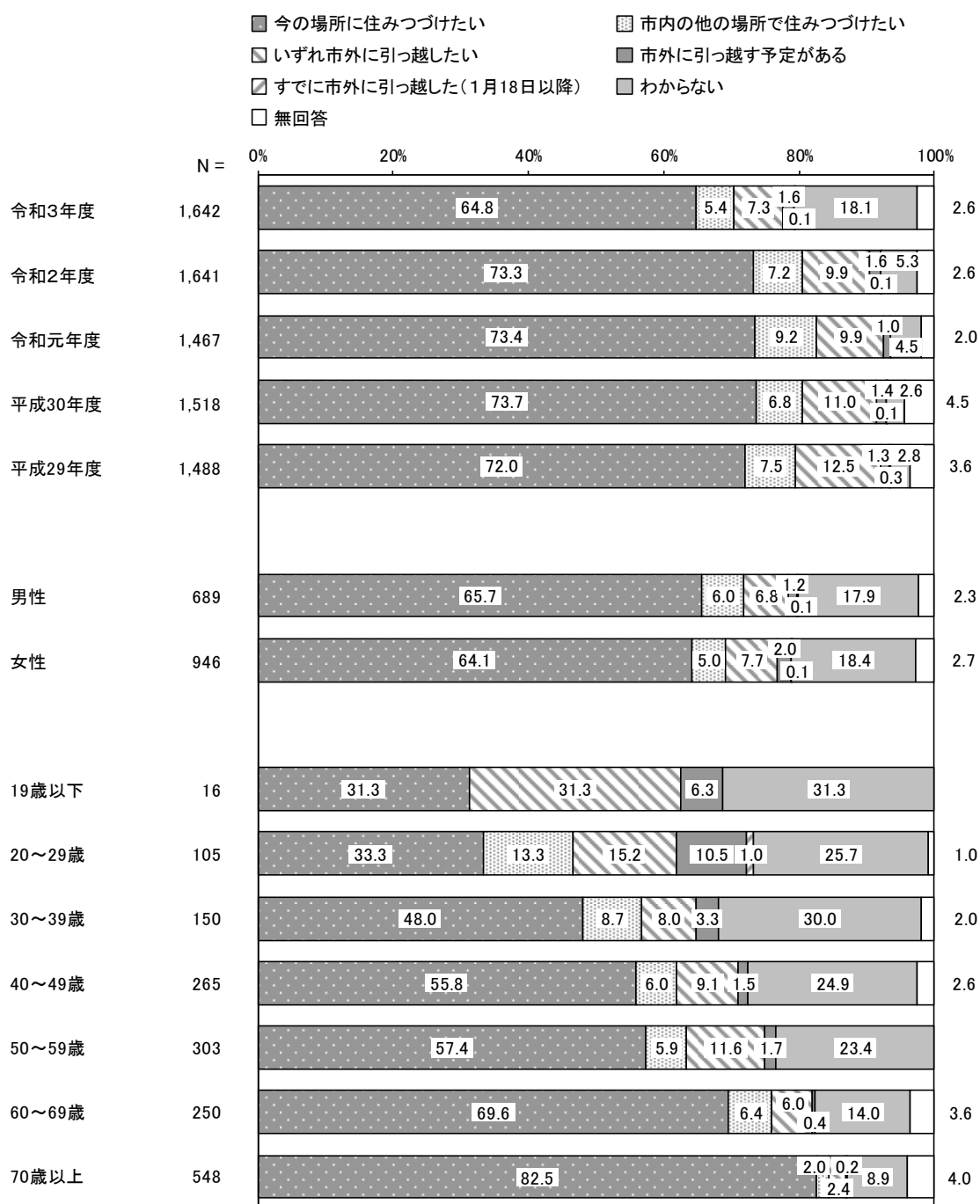


図 年度別・性別・年齢別 今後の八尾市での居住意向

問 20 で「3」～「5」に○をつけた方にお伺いします。

問 20-1 あなたが、市外へ引っ越したいと思われる理由または引っ越した理由を教えてください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「日常の買い物が便利な環境を求めて」、「まちなみの景観や自然、静けさや治安などの住環境を求めて」の割合が 26.8%と最も高く、次いで「自然環境に恵まれている環境を求めて」の割合が 21.5%となっています。

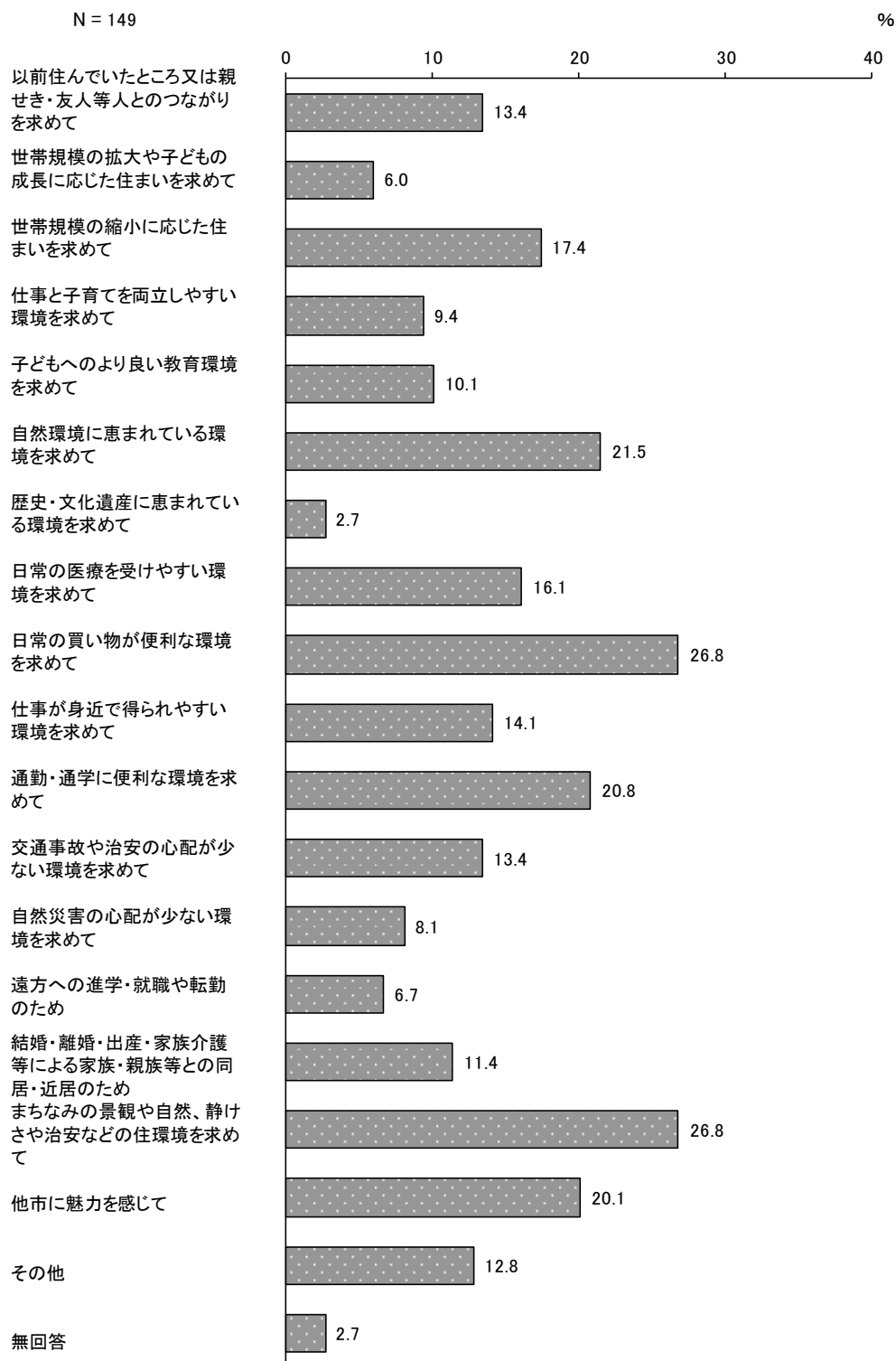


図 市外へ引っ越したい（引っ越した）理由

【年度別】

年度別でみると、各年度のばらつきが大きく、一貫した傾向がみられません。

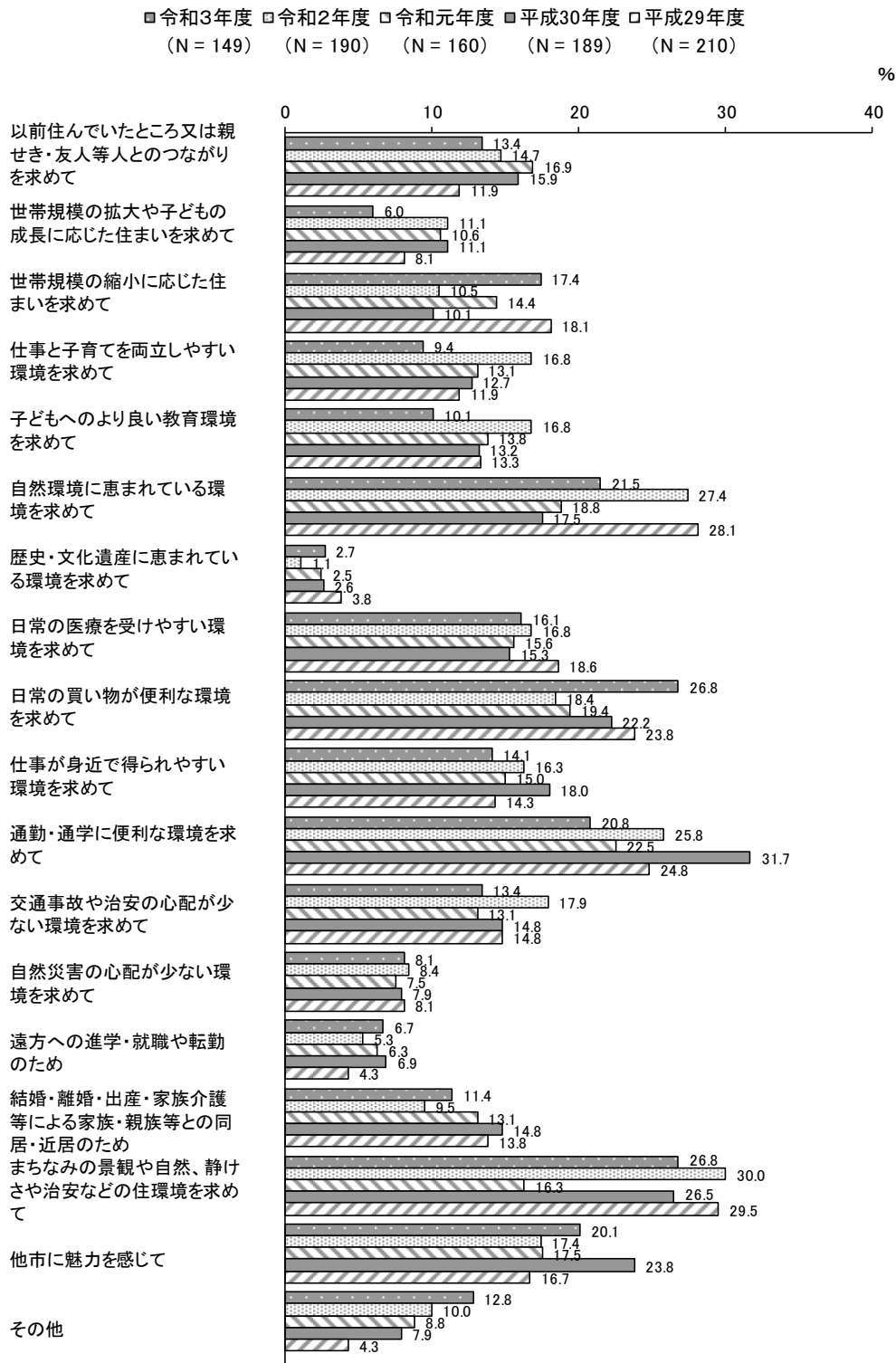


図 年度別 市外へ引っ越したい（引っ越した）理由

【性別】

性別でみると、男性が女性に比べて高い項目は、「世帯規模の縮小に応じた住まいを求めて」、「自然環境に恵まれている環境を求めて」、「日常の医療を受けやすい環境を求めて」、「交通事故や治安の心配が少ない環境を求めて」、「自然災害の心配が少ない環境を求めて」となっています。女性が男性に比べて高い項目は、「以前住んでいたところ又は親せき・友人等人とのつながりを求めて」、「通勤・通学に便利な環境を求めて」、「遠方への進学・就職や転勤のため」、「まちなみの景観や自然、静けさや治安などの住環境を求めて」となっています。

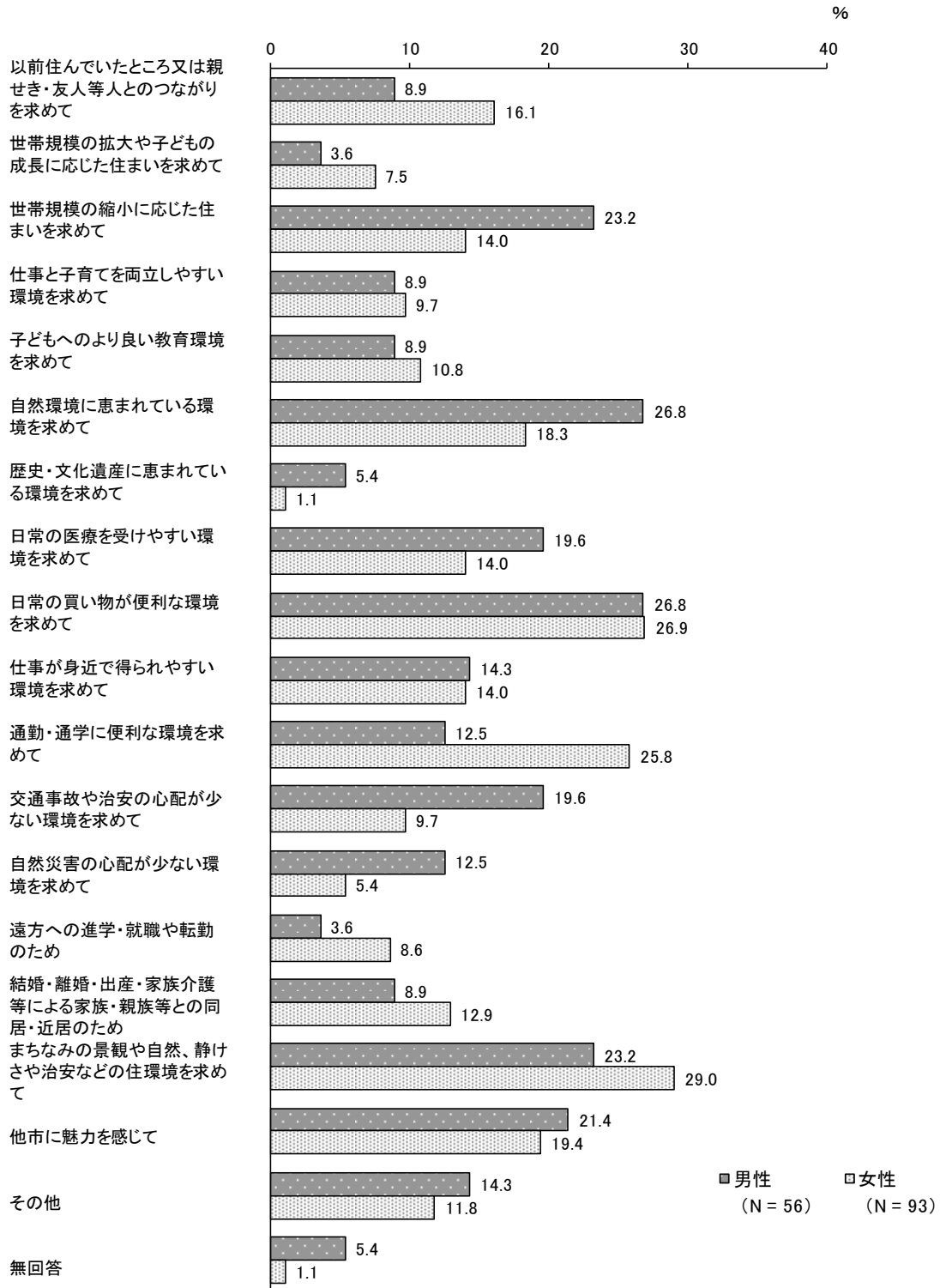


図 年齢別 市外へ引っ越したい（引っ越した）理由

【年齢別】

年齢別にみると、29歳以下では「通勤・通学に便利な環境を求めて」の割合が最も高くなっており、30～39歳、40～49歳では、「まちなみの景観や自然、静けさや治安などの住環境を求めて」の割合が高くなっています。

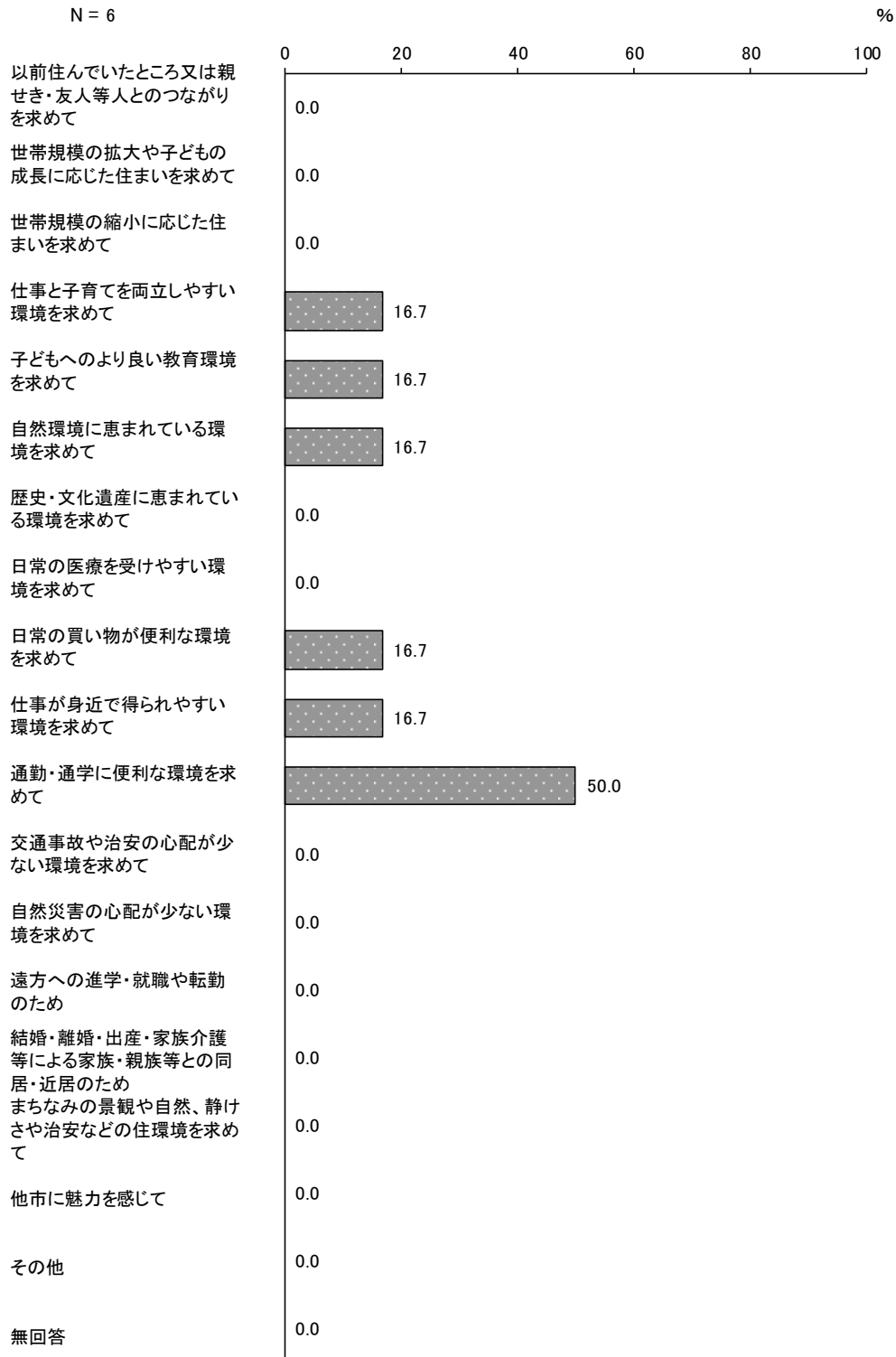


図 年齢別 市外へ引っ越したい（引っ越した）理由（19歳以下）

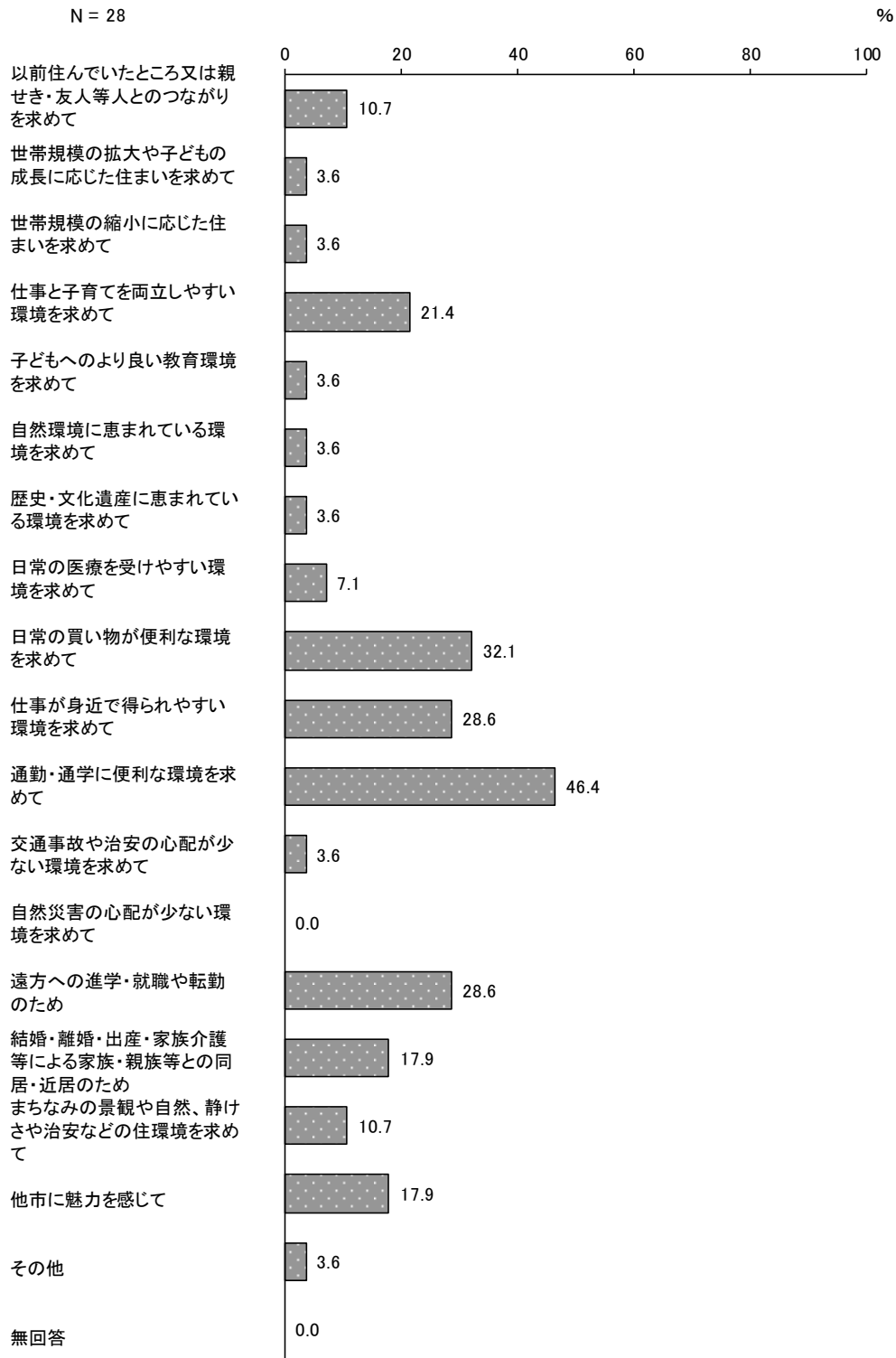


図 年齢別 市外へ引っ越したい（引っ越した）理由（20～29 歳）

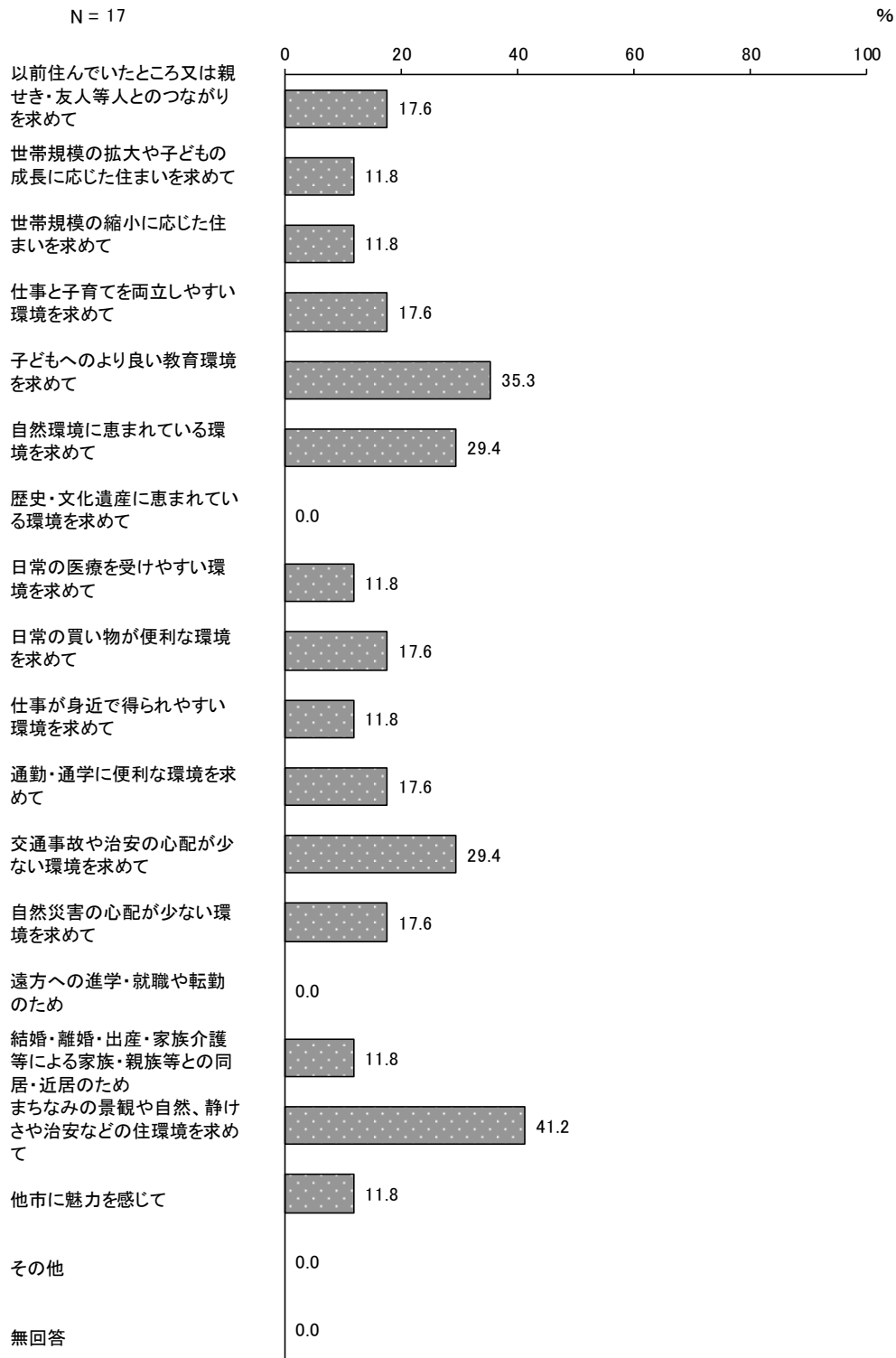


図 年齢別 市外へ引っ越したい（引っ越した）理由（30～39歳）

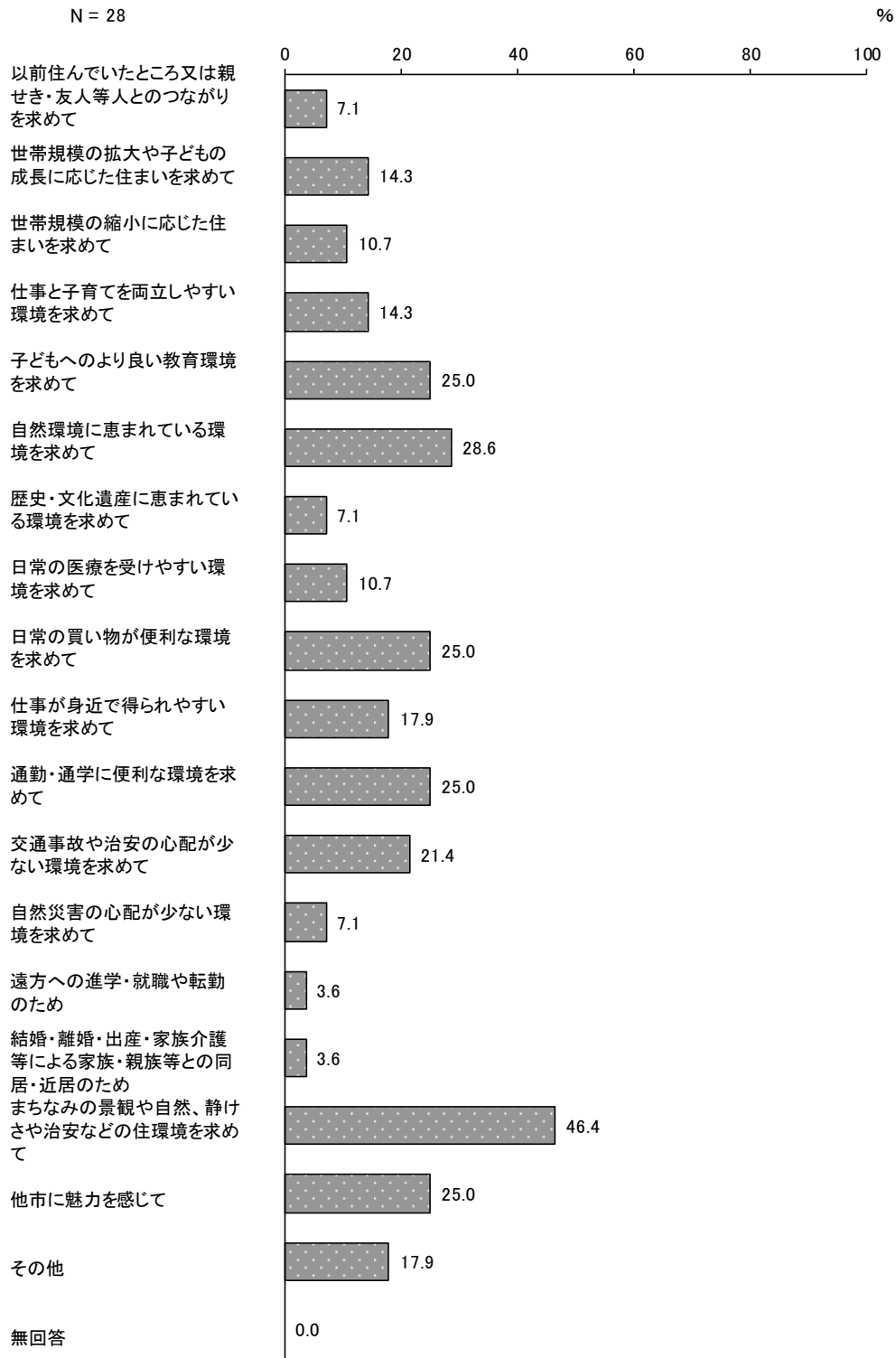


図 年齢別 市外へ引っ越したい（引っ越した）理由（40～49歳）

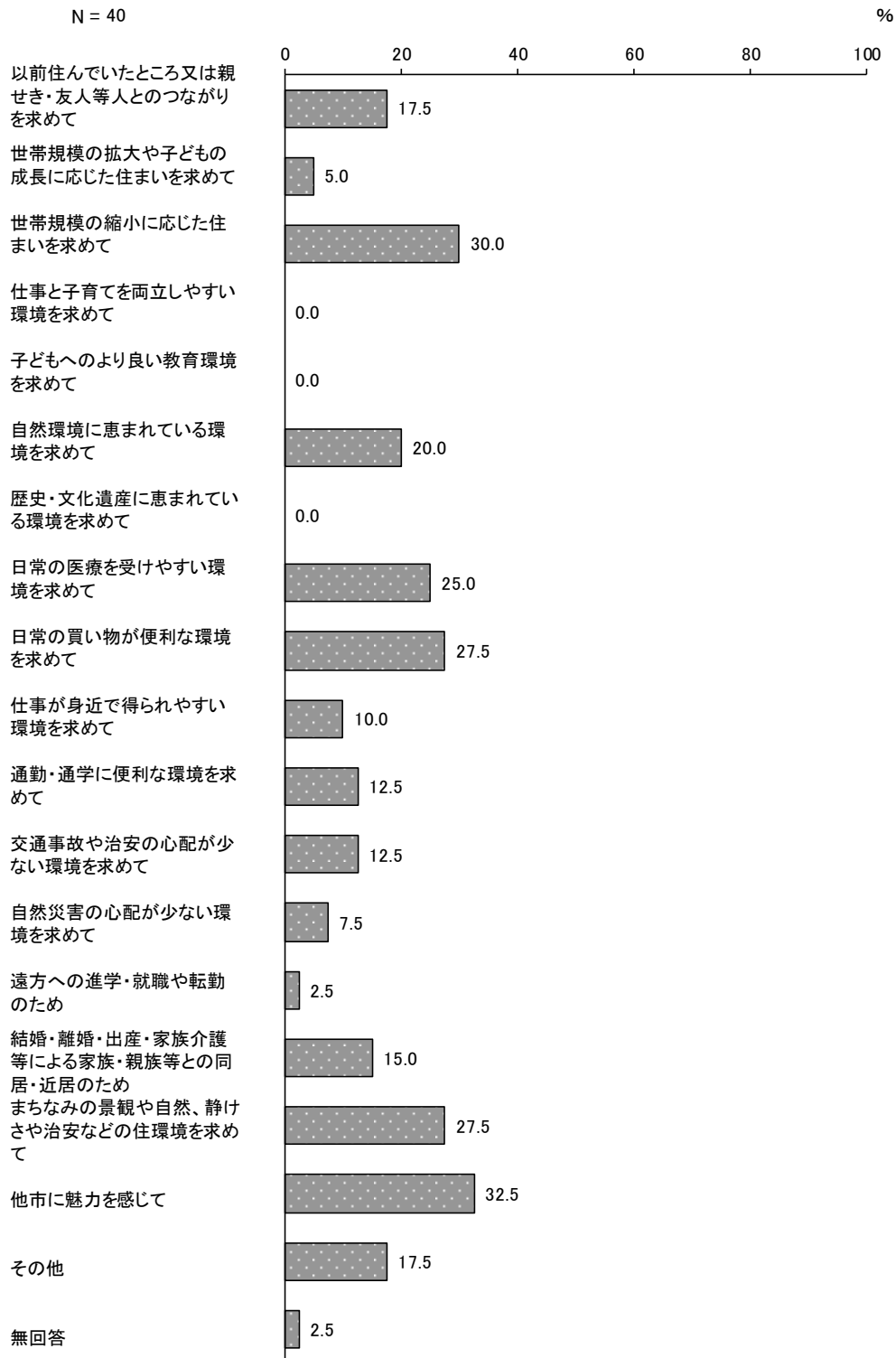


図 年齢別 市外へ引っ越したい（引っ越した）理由（50～59歳）

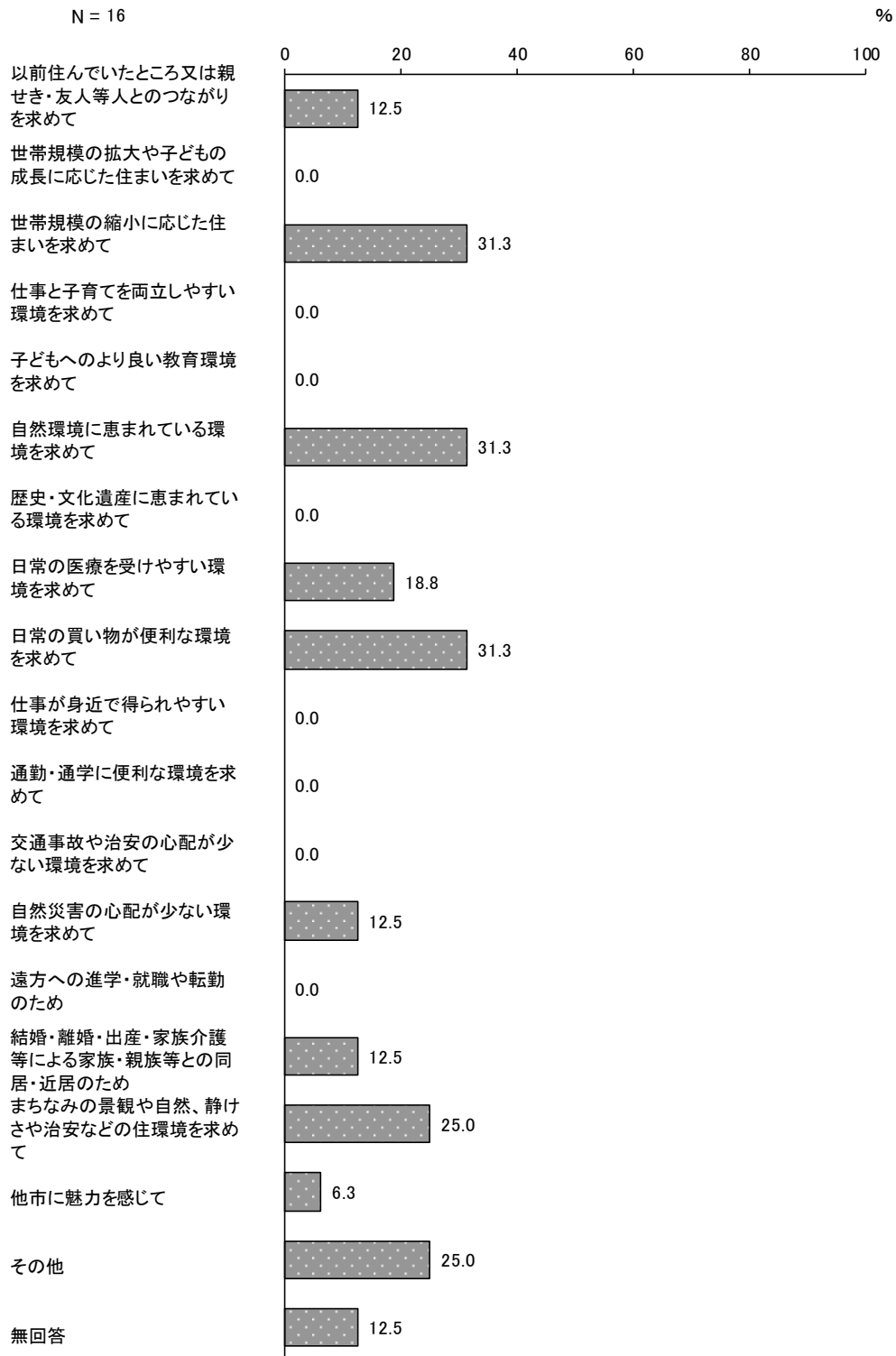


図 年齢別 市外へ引っ越したい（引っ越した）理由（60～69 歳）

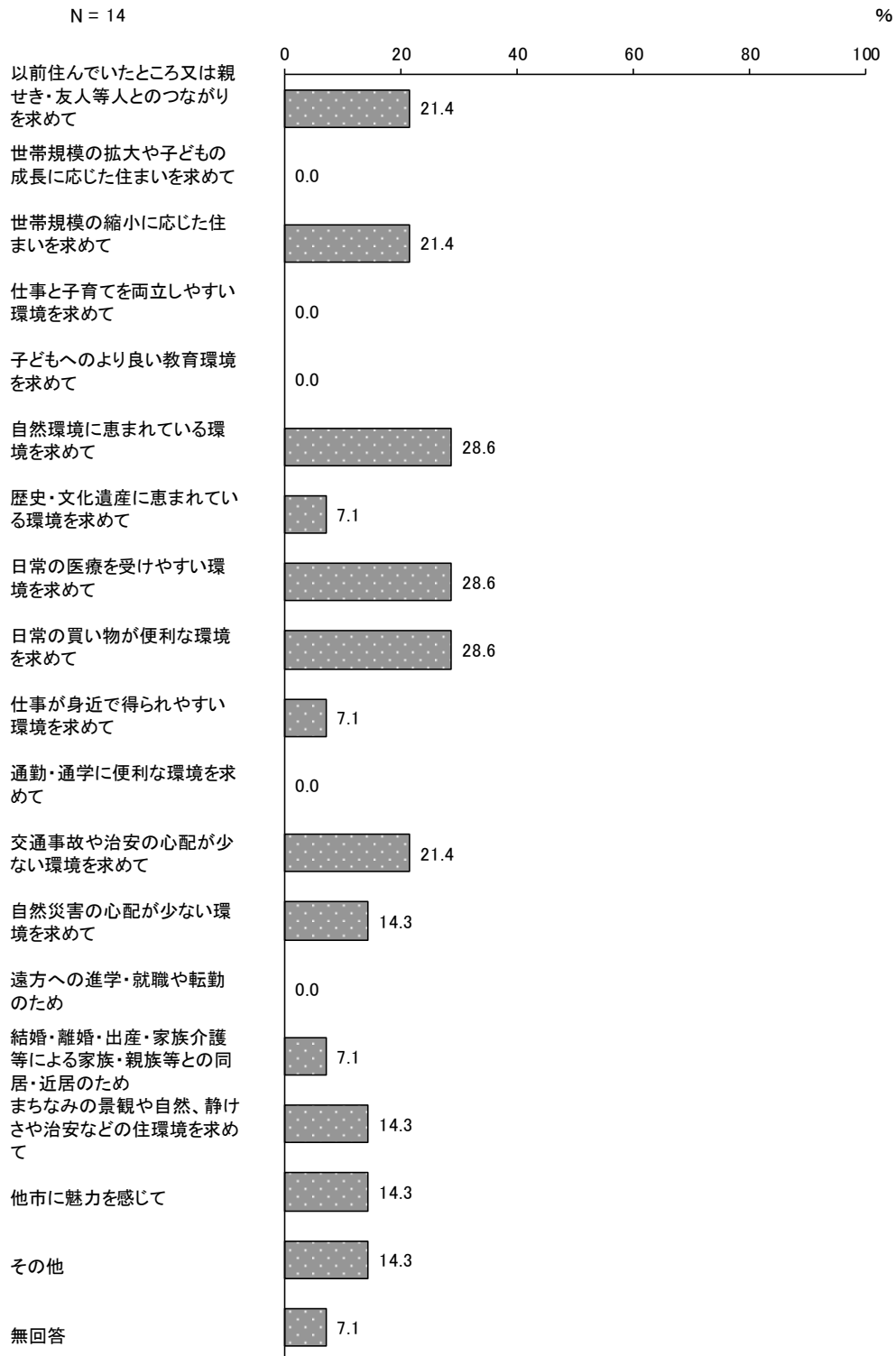


図 年齢別 市外へ引っ越したい（引っ越した）理由（70歳以上）

6 八尾市の将来都市像の実現状況について

問 21 第6次総合計画を進めるにあたり、将来都市像を「つながり、かがやき、しあわせつづく、成長都市 八尾」と定め、次のような社会の実現をめざしています。ア～コの項目ごとに、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

将来都市像の実現についての考えについて全体をみると、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”は、「ア 温かく思いやりのある心をもって、さまざまな人と互いに寄り添いつながることができる」が63.3%で最も多く、次いで、「イ 夢と志を持ち、生きがいを感じ、自分らしくかがやいている」(48.5%) などとなっている。一方、「思わない」と「あまり思わない」をあわせた“否定的な意見”は「キ 魅力が広く知られ、あらゆる人材や企業が活発に活動し、活気にあふれ、注目される「世界に魅力が広がるまち」となっている」が41.0%で最も多く、次いで、「イ 夢と志を持ち、生きがいを感じ、自分らしくかがやいている」(35.7%) などとなっている。

■ 思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ わからない □ 無回答

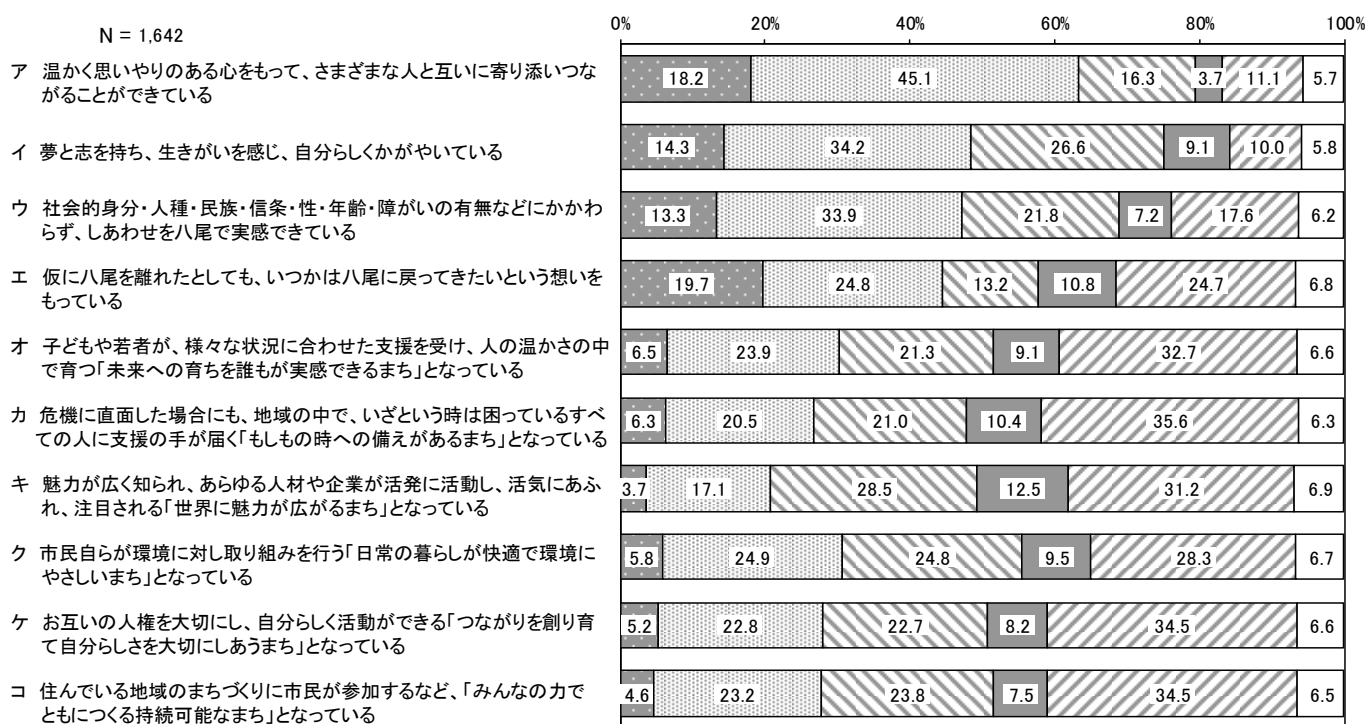


図 将来都市像の実現についての考え

問 21 ア 私は、温かく思いやりのある心をもって、さまざまな人と互いに寄り添いつながることができる

「少し思う」の割合が45.1%と最も高く、次いで「思う」の割合が18.2%、「あまり思わない」の割合が16.3%となっています。「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(63.3%)が、「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(20.0%)を上回っています。

年度別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性の方が“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、全ての年代で“肯定的な意見”の割合が高くなっており、6割以上となっています。

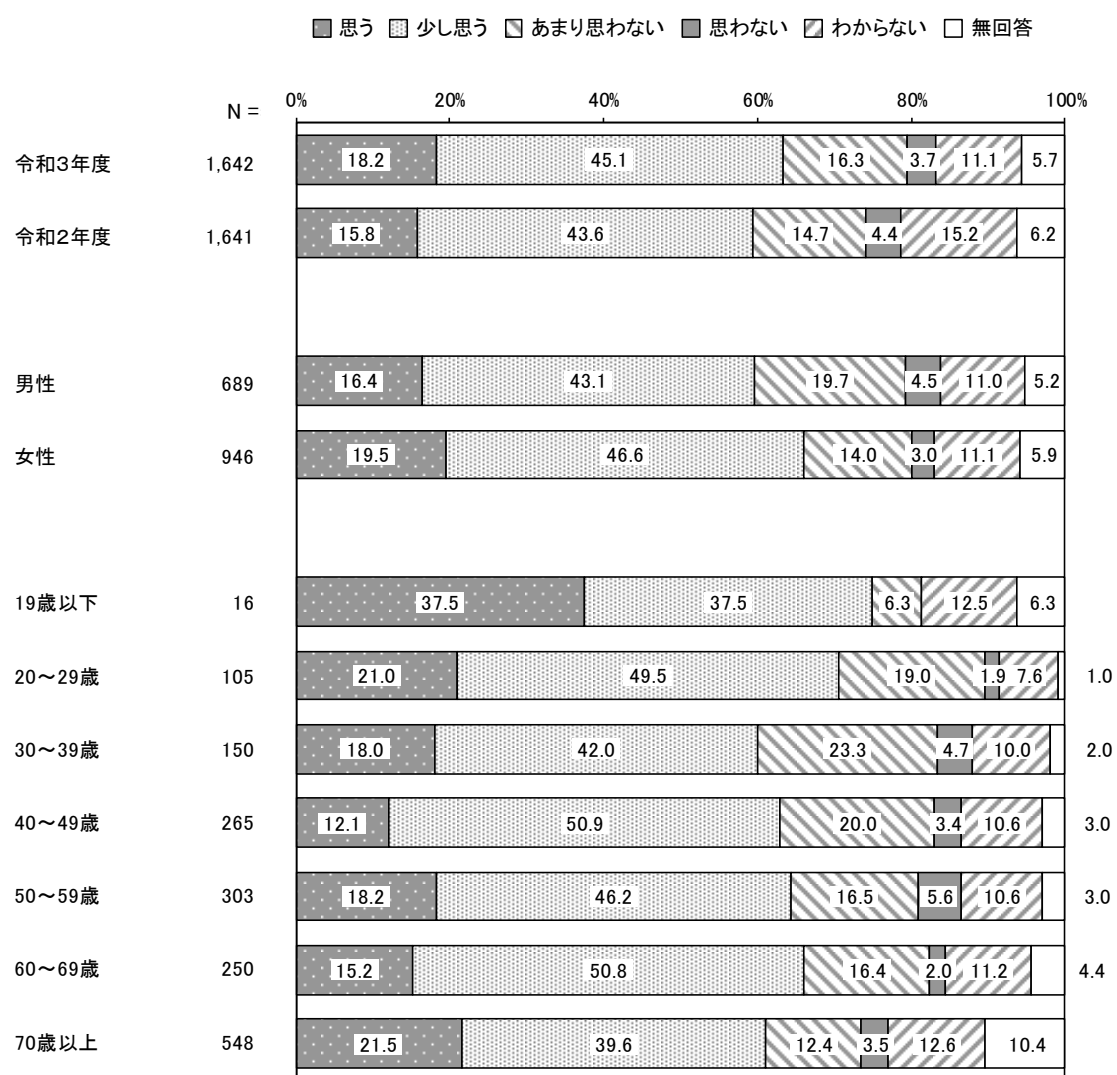


図 年度別・性別・年齢別 ア 思いやりのある心で人と寄り添いつながること

問 21 イ 私は、夢と志を持ち、生きがいを感じ、自分らしくかがやいている

「少し思う」の割合が34.2%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が26.6%、「思う」の割合が14.3%となっています。「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(48.5%)が、「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(35.7%)を上回っています。

年度別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

性別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

年齢別でみると、概ね年齢が高いほど“肯定的な意見”の割合が低くなっています。

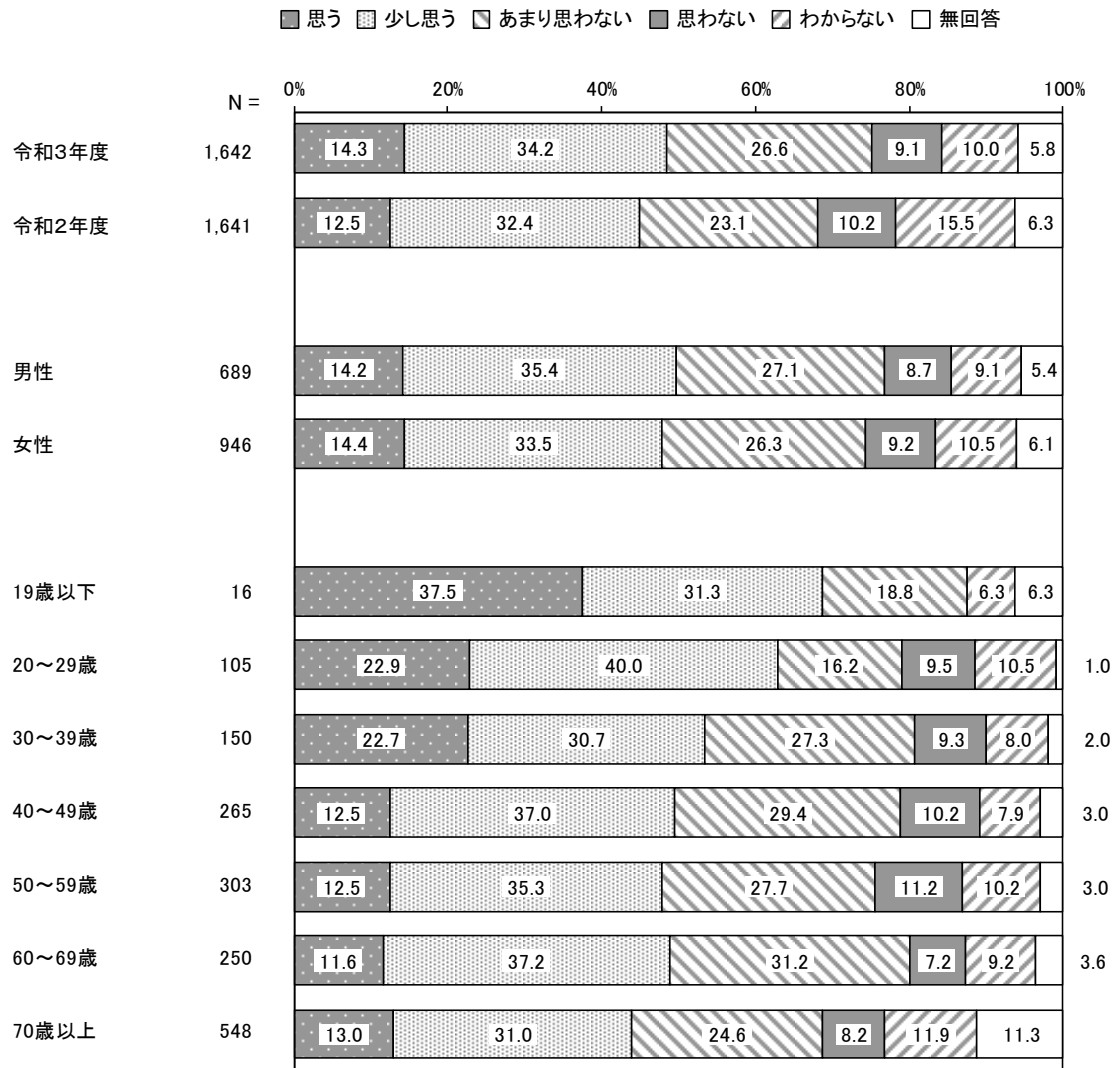


図 年度別・性別・年齢別 イ 夢と志を持ち、生きがいを感じ、自分らしくかがやくこと

問 21 ウ 私は、社会的身分・人種・民族・信条・性・年齢・障がいの有無などにかかわらず、しあわせを八尾で実感できている

「少し思う」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が 21.8%、「わからない」の割合が 17.6%となっています。「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(47.2%)が、「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(29.0%)を上回っています。

年度別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

性別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

年齢別でみると、20～29歳で“肯定的な意見”の割合が最も高くなっています。

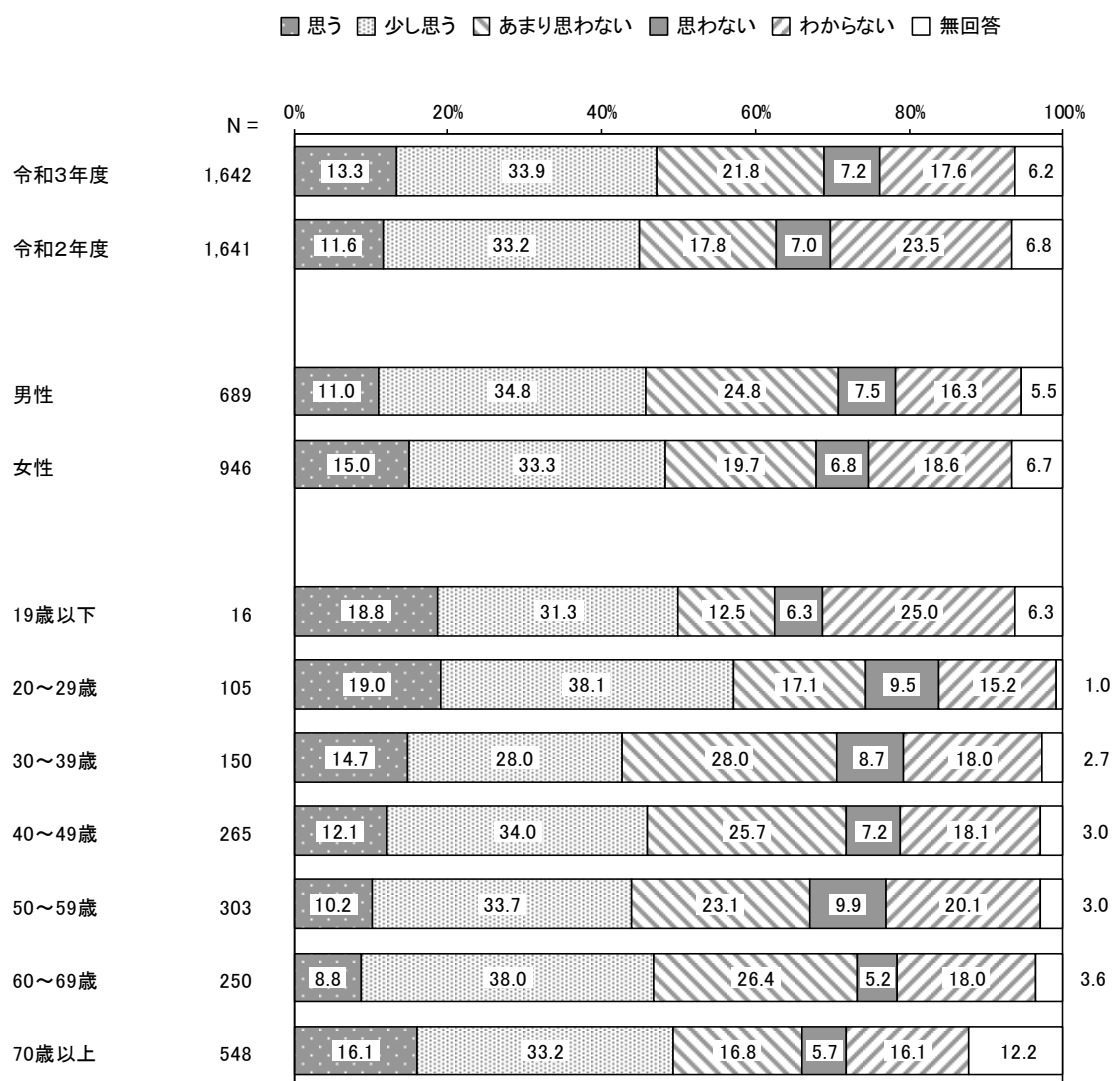


図 年度別・性別・年齢別 ウ しあわせを八尾で実感できること

問 21 エ 私は、仮に八尾を離れたとしても、いつかは八尾に戻ってきたいという想いを持っている

「少し思う」の割合が24.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が24.7%、「思う」の割合が19.7%となっています。「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(44.5%)が、「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(24.0%)を上回っています。

年度別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

性別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

年齢別でみると、60～69歳で“肯定的な意見”の割合が最も高くなっています。

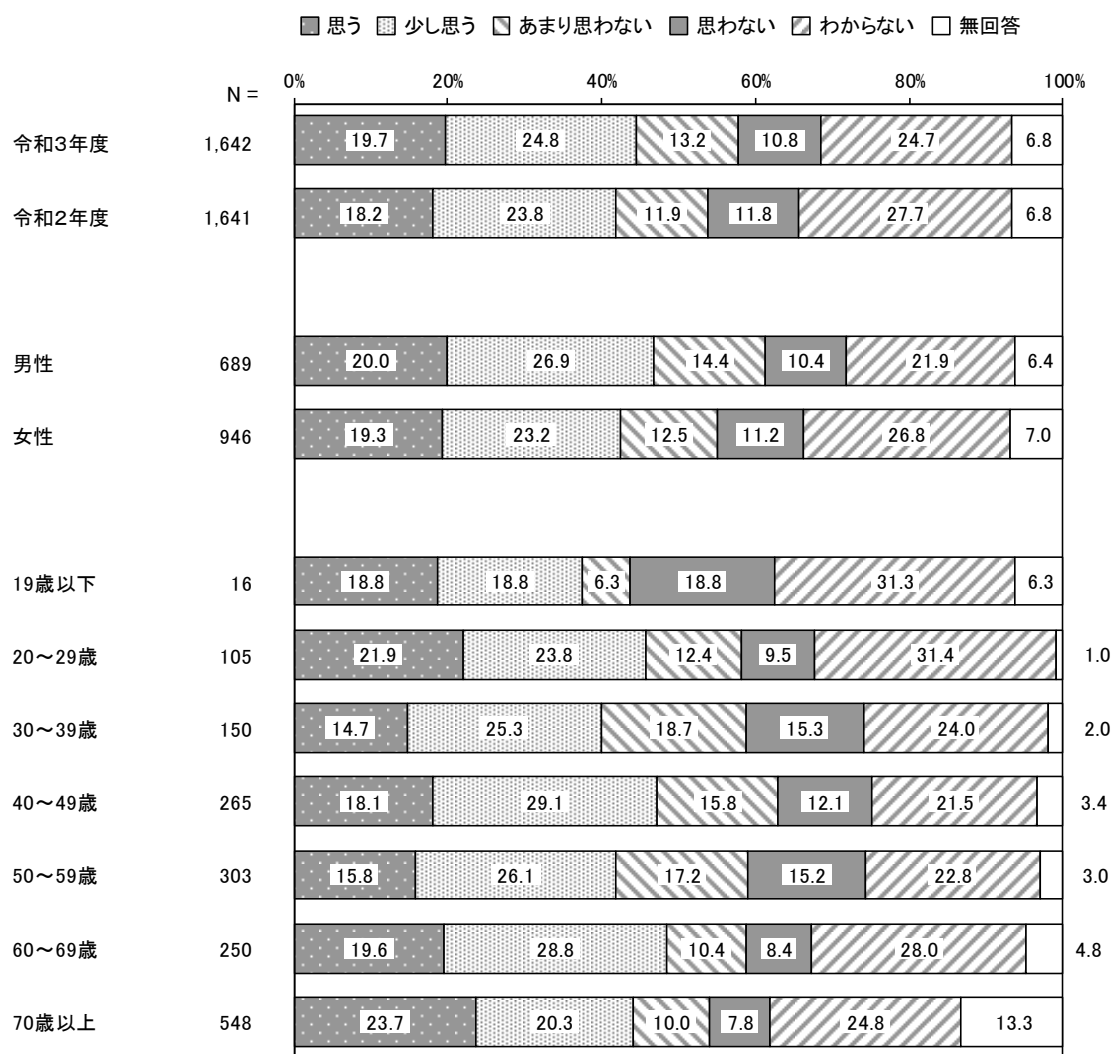


図 年度別・性別・年齢別 エ 八尾を離れても、いつかは八尾に戻ってきたいという想い

問 21 オ 八尾市は、子どもや若者が、様々な状況に合わせた支援を受け、人の温かさの中で育つ「未来への育ちを誰もが実感できるまち」となっている

「わからない」の割合が32.7%と最も高く、次いで「少し思う」の割合が23.9%、「あまり思わない」の割合が21.3%となっています。「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(30.4%)と「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(30.4%)は同じ割合となっています。

年度別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

性別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

年齢別でみると、60～69歳で“肯定的な意見”の割合が最も低くなっています。

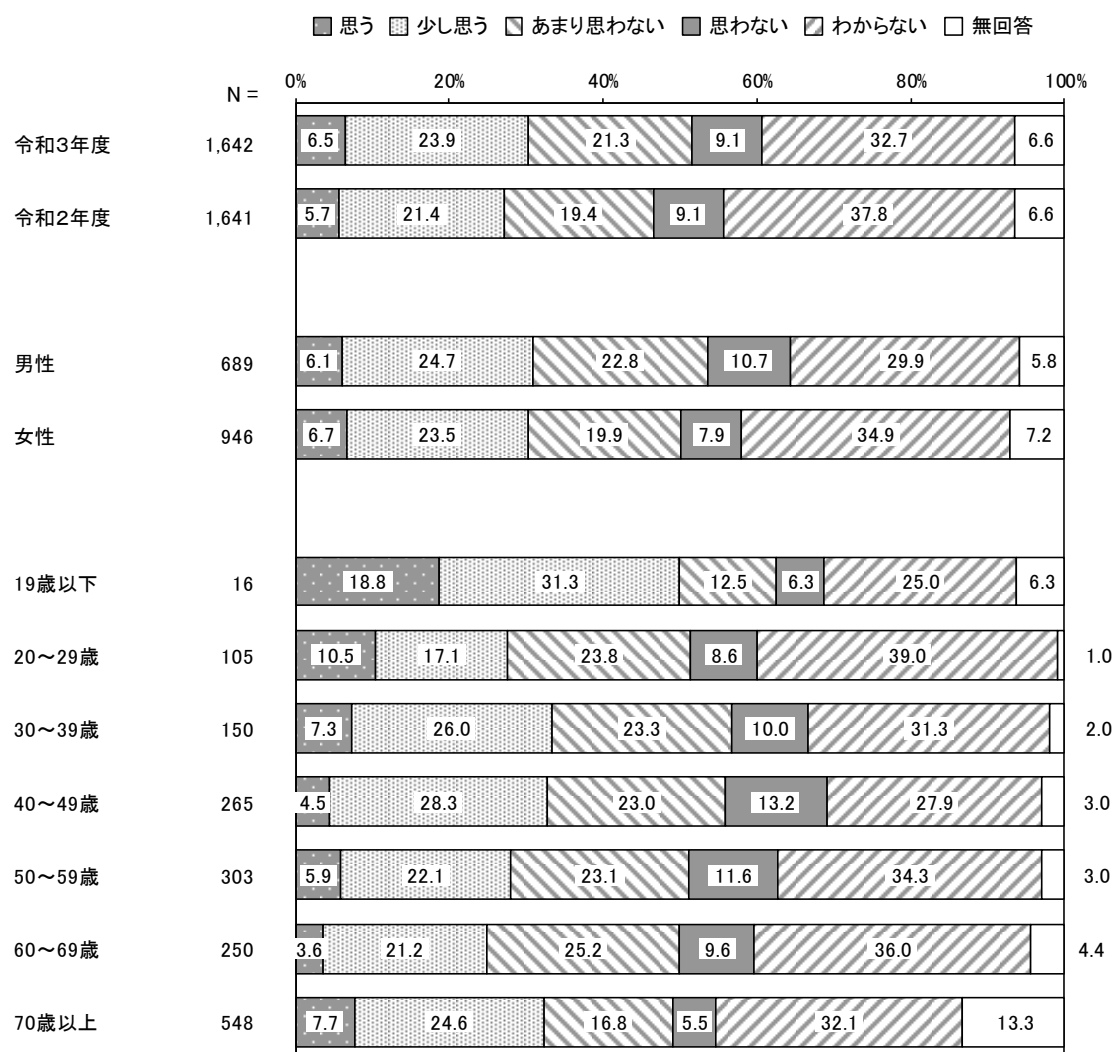


図 年度別・性別・年齢別 オ 「未来への育ちを誰もが実感できるまち」となっていること

問 21 カ 八尾市は、危機に直面した場合にも、地域の中で、いざという時は困っているすべての人に支援の手が届く「もしもの時への備えがあるまち」となっている

「わからない」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が 21.0%、「少し思う」の割合が 20.5%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(31.4%)が、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(26.8%)を上回っています。

年度別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

性別でみると、女性に比べ男性の方が“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、30～39 歳、50～59 歳、60～69 歳で“肯定的な意見”の割合が低くなっています。

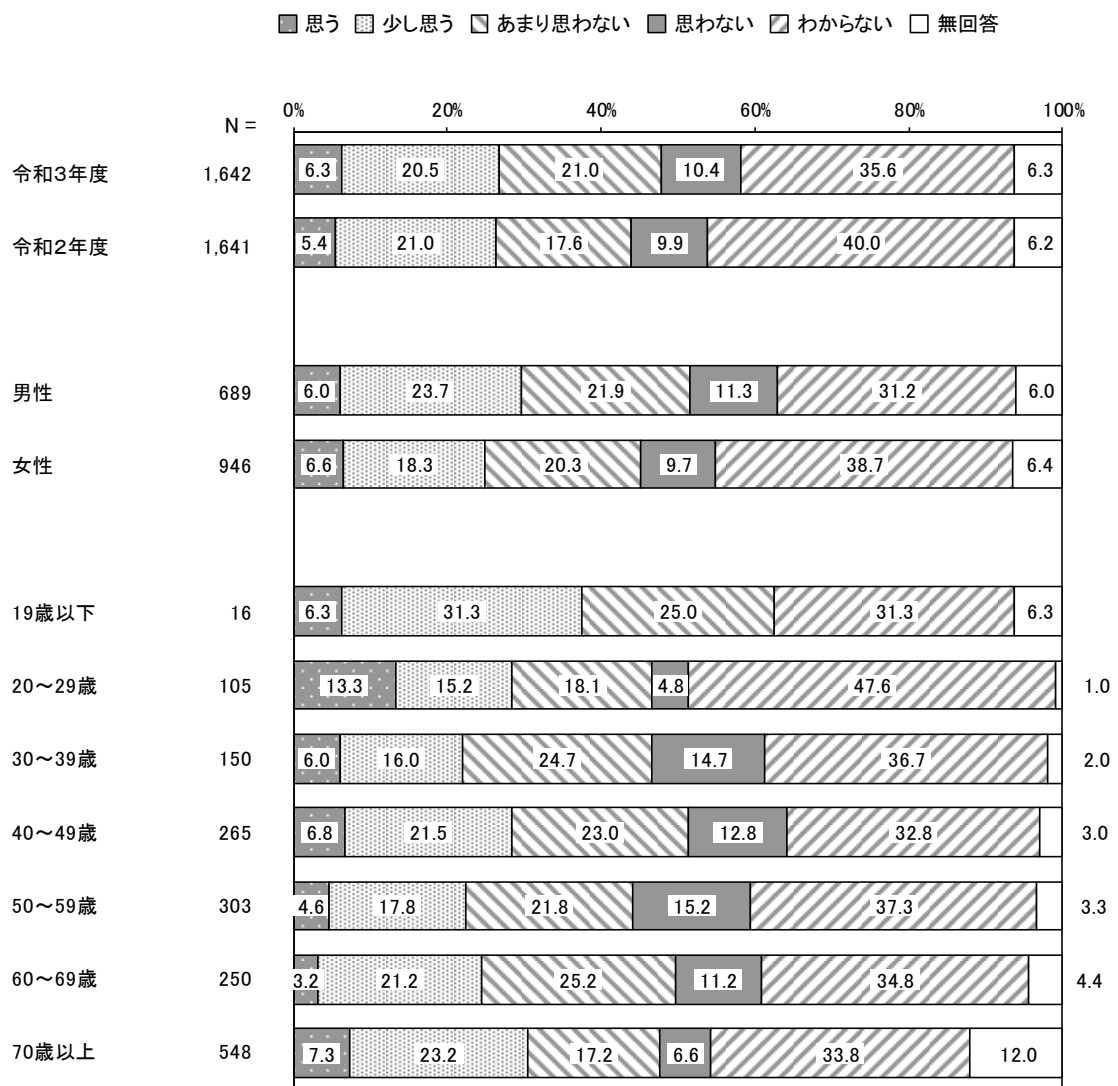


図 年度別・性別・年齢別 カ 「もしもの時への備えがあるまち」となっていること

問 21 キ 八尾市は、魅力が広く知られ、あらゆる人材や企業が活発に活動し、活気にあふれ、注目される「世界に魅力が広がるまち」となっている

「わからない」の割合が31.2%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が28.5%、「少し思う」の割合が17.1%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(41.0%)が、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(20.8%)を上回っています。

年度別で見ると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

性別で見ると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

年齢別で見ると、19歳以下を除いて、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

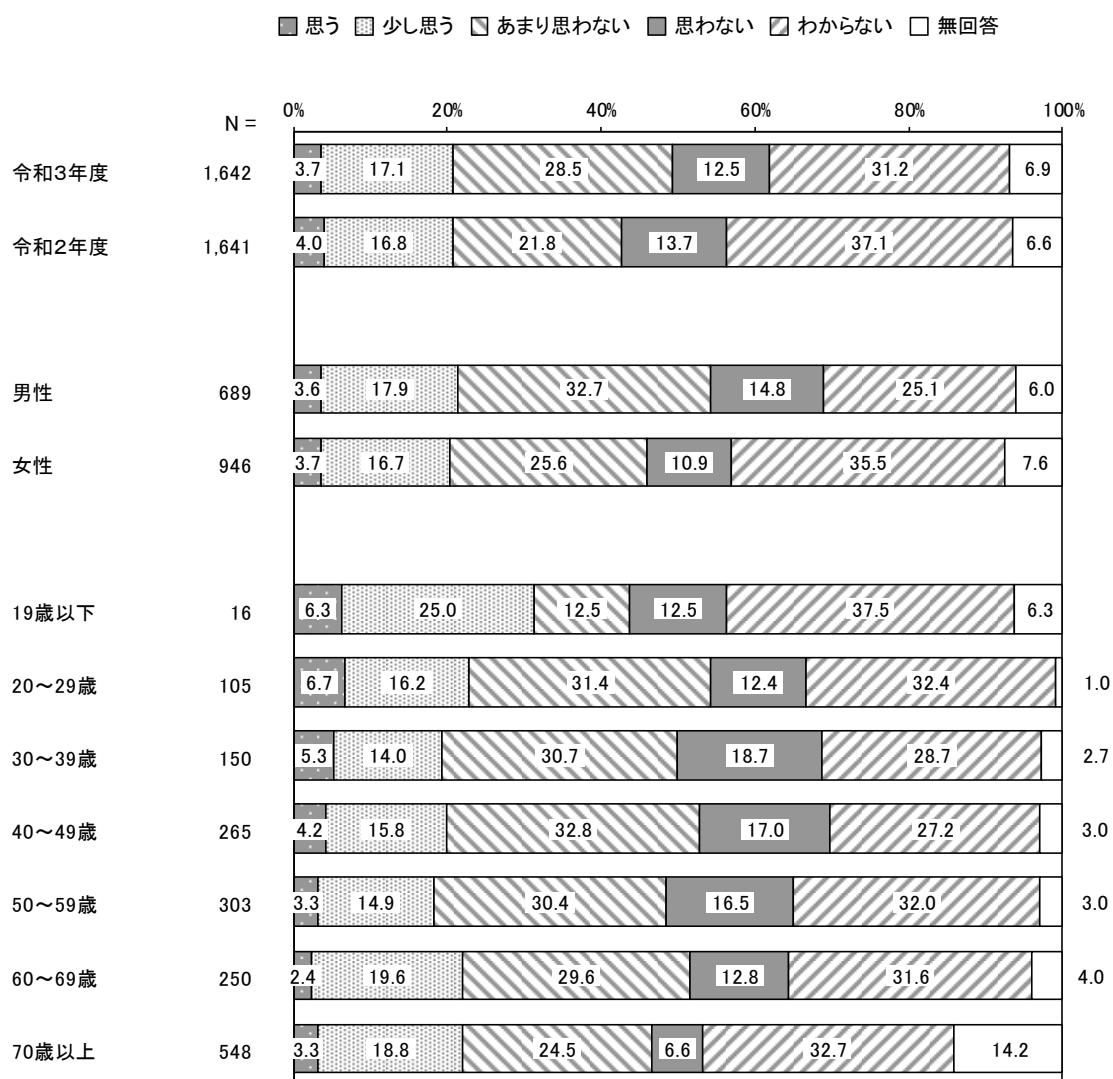


図 年度別・性別・年齢別 キ 「世界に魅力が広がるまち」となっていること

問 21 ク 八尾市は、市民自らが環境に対し取り組みを行う「日常の暮らしが快適で環境にやさしいまち」となっている

「わからない」の割合が28.3%と最も高く、次いで「少し思う」の割合が24.9%、「あまり思わない」の割合が24.8%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(34.3%)が、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(30.7%)を上回っています。

年度別で見ると、前年度と比べ、“肯定的な意見”は減少しています。

性別で見ると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

年齢別で見ると、50～59歳で“肯定的な意見”の割合が最も低くなっています。

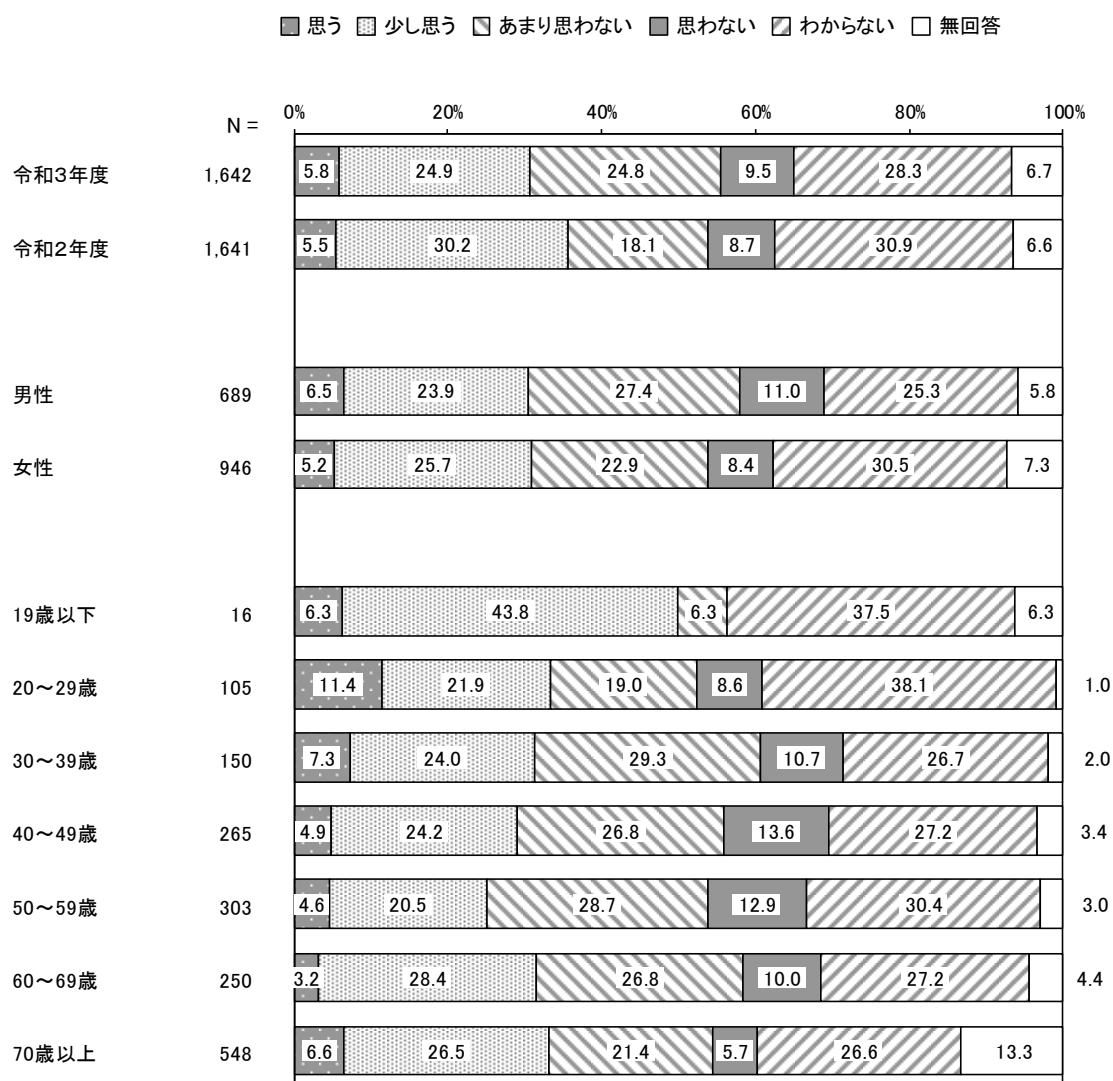


図 年度別・性別・年齢別 ク 「日常の暮らしが快適で環境にやさしいまち」となっていること

問 21 ケ 八尾市は、お互いの人権を大切にし、自分らしく活動ができる「つながりを創り育て自分らしさを大切にしようまち」となっている

「わからない」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「少し思う」の割合が 22.8%、「あまり思わない」の割合が 22.7%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(30.9%)が、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(28.0%)を上回っています。

年度別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

性別でみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

年齢別でみると、19 歳以下を除いて、70 歳以上で“肯定的な意見”の割合が高くなっています。

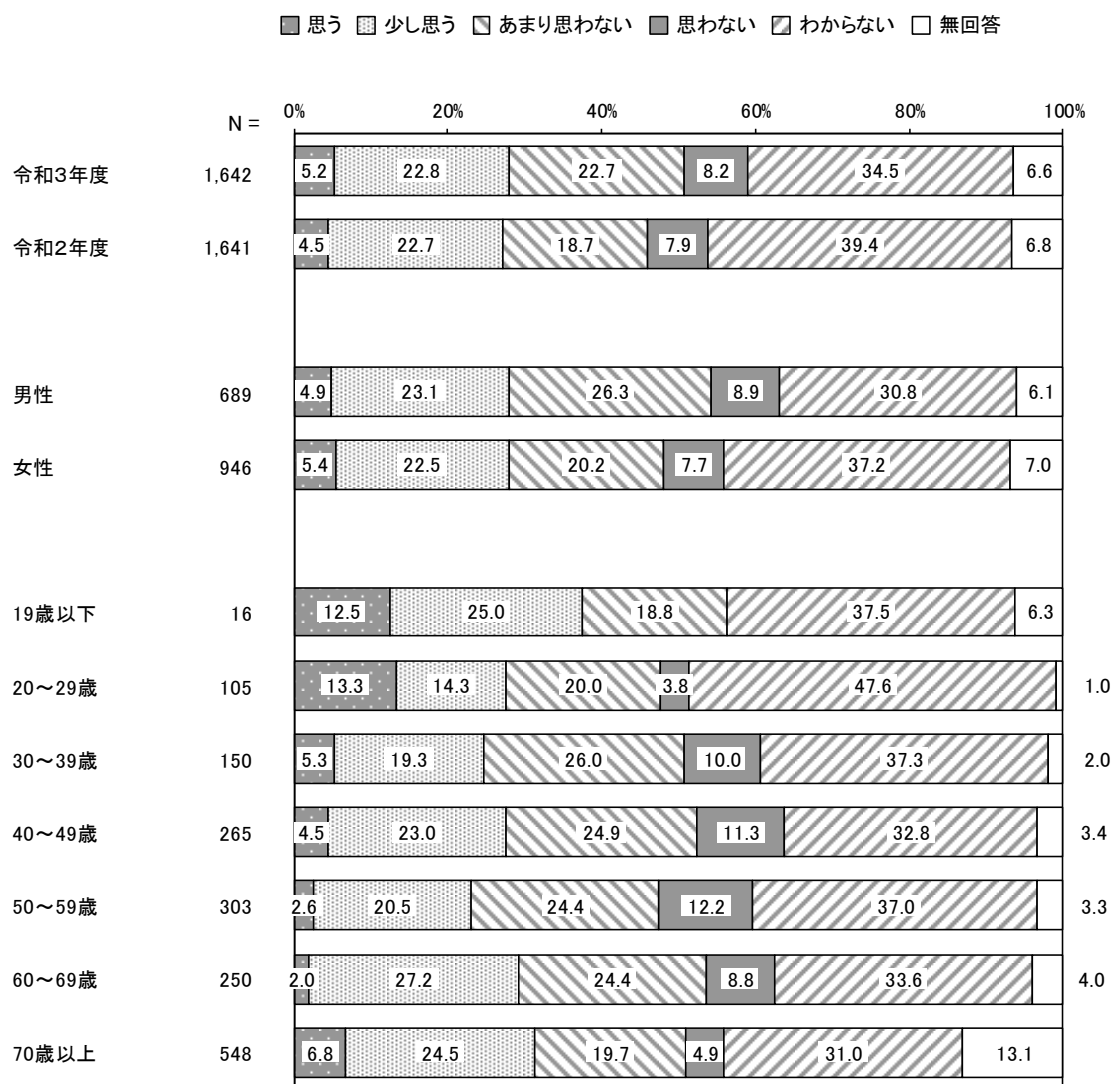


図 年度別・性別・年齢別 ケ 「つながりを創り育て自分らしさを大切にしようまち」となっていること

問 21 コ 八尾市は、住んでいる地域のまちづくりに市民が参加するなど、「みんなの力でともにつくる持続可能なまち」となっている

「わからない」の割合が34.5%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が23.8%、「少し思う」の割合が23.2%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“否定的な意見”の割合(31.3%)が、「思う」と「少し思う」をあわせた“肯定的な意見”の割合(27.8%)を上回っています。

年度別で見ると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

性別で見ると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっています。

年齢別で見ると、50～59歳で“肯定的な意見”の割合が最も低くなっています。

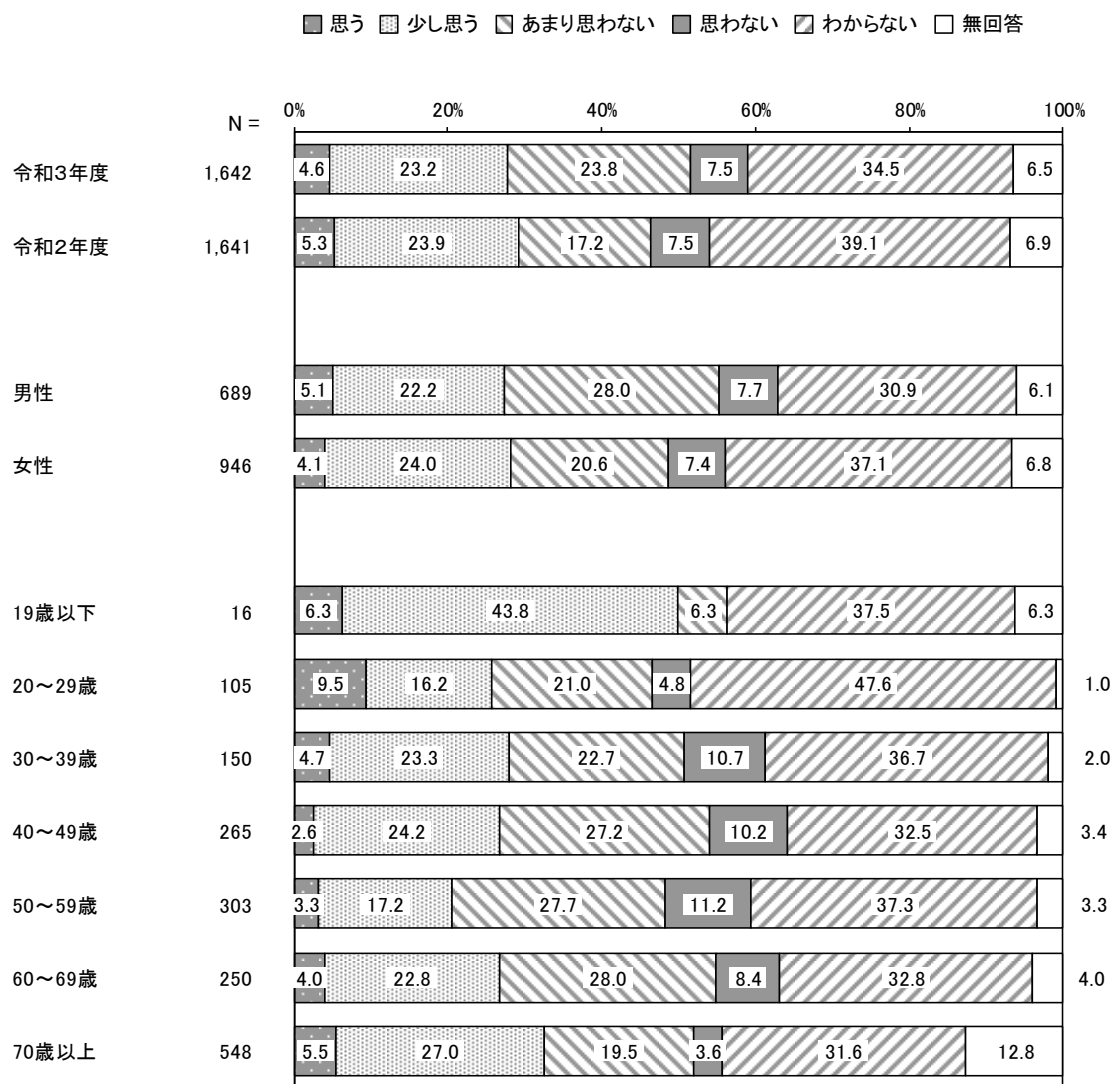


図 年度別・性別・年齢別 コ 「みんなの力でともにつくる持続可能なまち」となっていること

7 身近な地域（小学校区や町会など）の地域活動について

問 22 あなたは、各小学校区において「校区まちづくり協議会」が設立され、様々な地域活動を実施していることを知っていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「校区まちづくり協議会を知らない」の割合が61.1%と最も高く、次いで「校区まちづくり協議会を知っているが、イベントなどに参加したことはない」の割合が16.5%となっています。「校区まちづくり協議会の担い手として活動に参加したことがある」と「校区まちづくり協議会が実施するイベントなどに参加したことがある」をあわせた“参加したことがある人”の割合は14.2%となっています。

年度別でみると、“参加したことがある人”はほぼ同じ割合となっています。

性別でみると、“参加したことがある人”はほぼ同じ割合となっています。

年齢別でみると、70歳以上で“参加したことがある人”の割合が最も高くなっています。

- 校区まちづくり協議会の担い手として活動に参加したことがある
- 校区まちづくり協議会が実施するイベントなどに参加したことがある
- 校区まちづくり協議会を知っているが、イベントなどに参加したことはない
- 校区まちづくり協議会を知らない
- 無回答

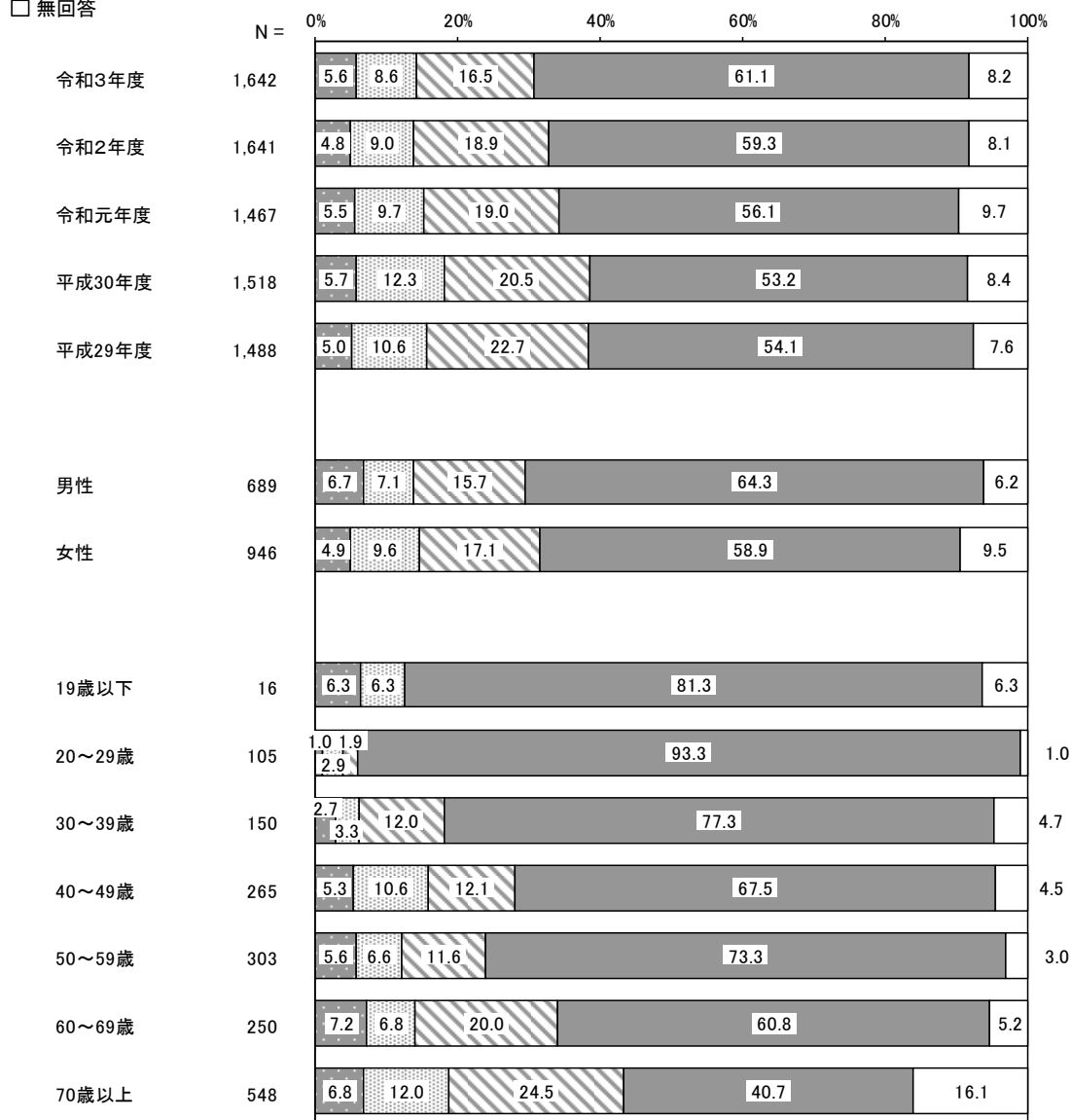


図 年度別・性別・年齢別 「校区まちづくり協議会」への参加状況

問 22 で「1」～「3」に○をつけた方にお伺いします。

問 22-1 地域活動を何で知りましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「回覧板」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「市政だより」の割合が 25.0%、「人から聞いた」の割合が 11.5%となっています。

年度別でみると、前年度に比べ、「回覧板」が 10 ポイント以上減少しています。

性別でみると、男性に比べ、女性の方が「市政だより」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、全ての年代で「回覧板」の割合が最も高くなっています。

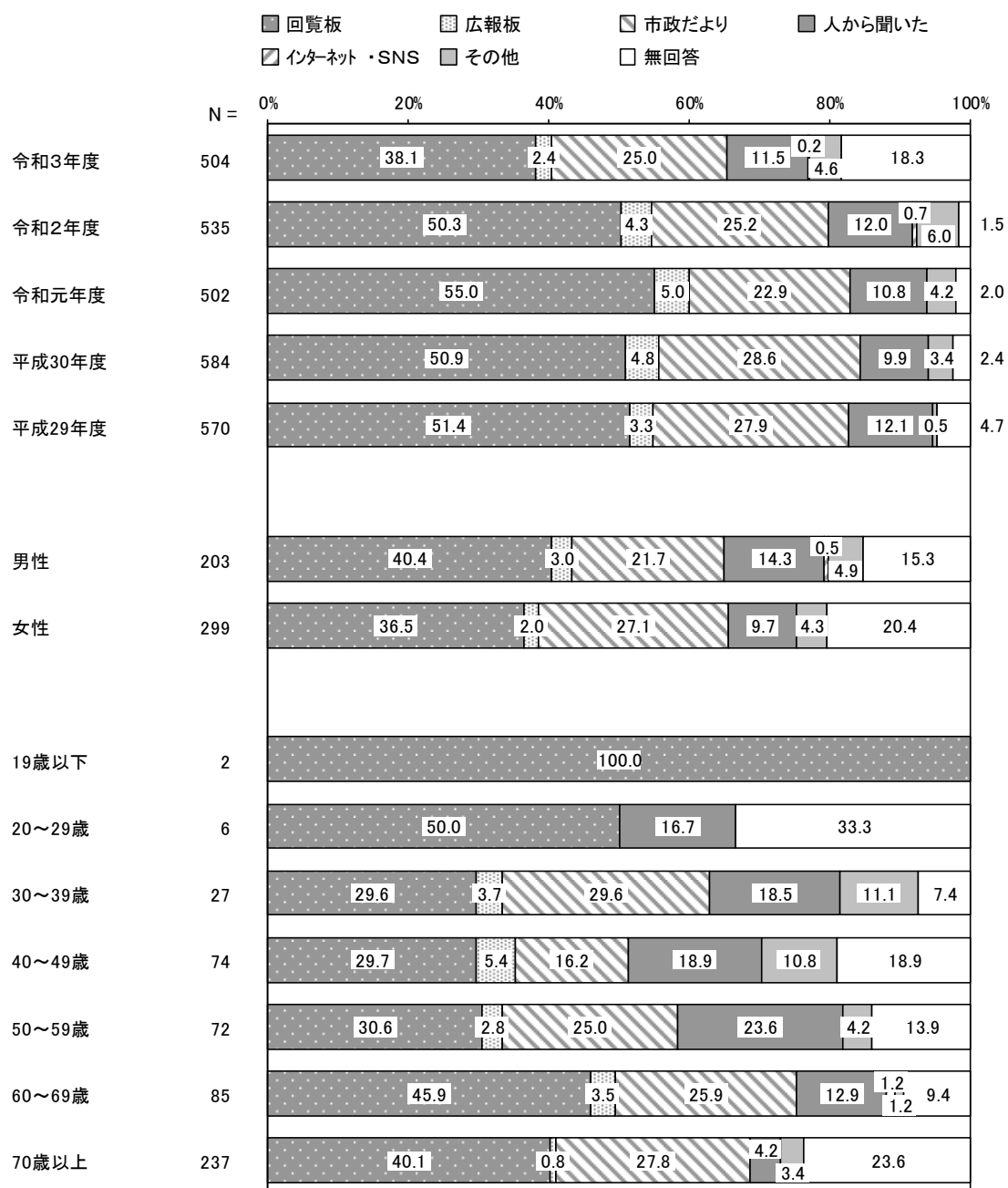


図 年度別・性別・年齢別 地域活動を知ったきっかけ

問 23 あなたは、地域活動（町会等）や市民活動（福祉や環境等テーマに沿った活動）への参加についてどのようにお考えですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「参加した経験がある」の割合が40.9%と最も高く、次いで「参加したいとは思わない」の割合が27.5%、「参加した経験はないが、条件があれば参加したい」の割合が13.0%となっています。「参加した経験はないが、今後積極的に参加したい」と「参加した経験はないが、条件があれば参加したい」をあわせた“参加したい人”の割合は18.7%となっています。

年度別でみると、「参加したい人」の割合が減少傾向となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性の方が“参加したい人”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、20～29歳で“参加したい人”の割合が最も高くなっています。

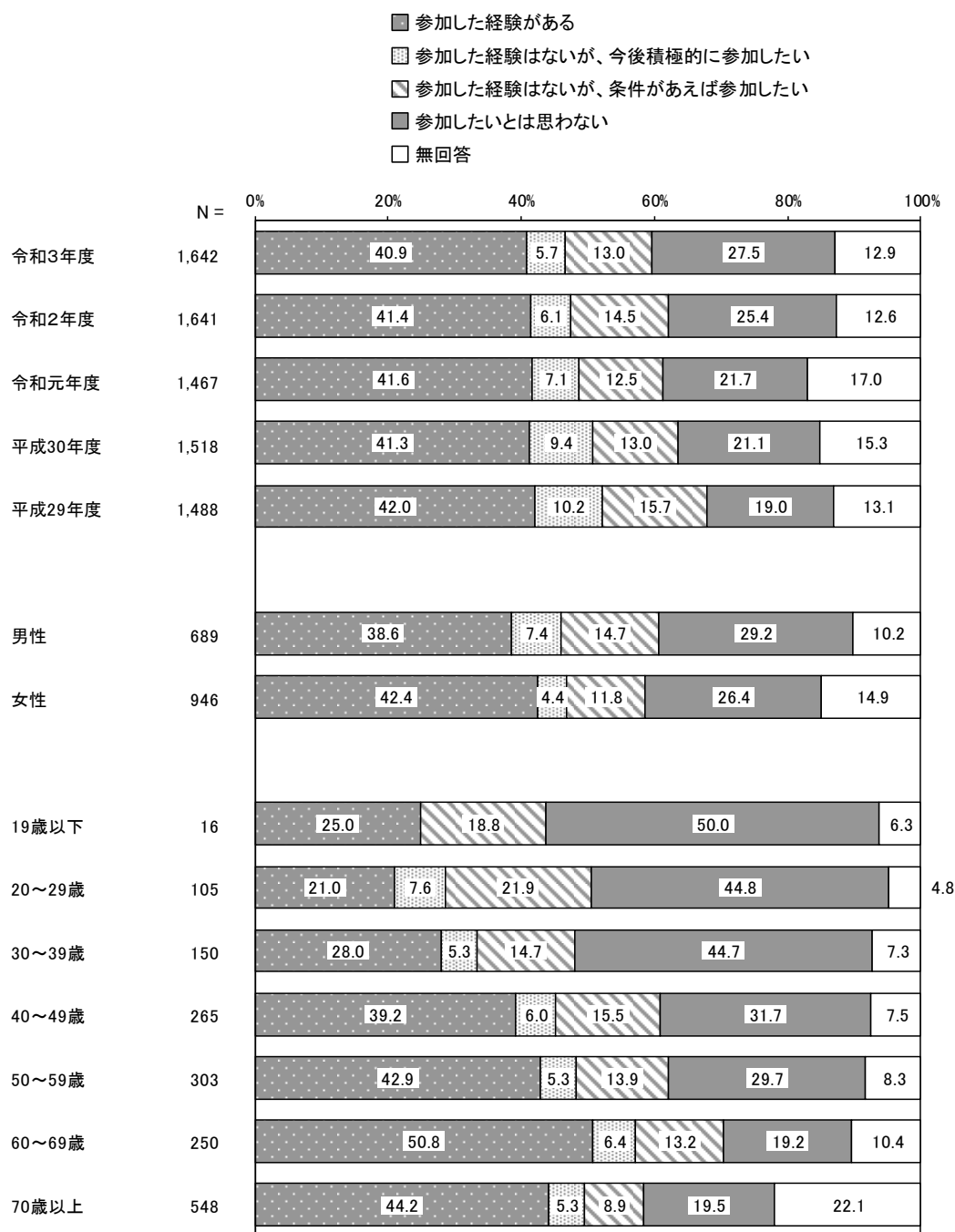


図 年度別・性別・年齢別 地域活動への参加状況

8 八尾市の取り組みについて

問 24 あなたは、八尾市が企業や大学等と連携し、市民サービスの向上や地域活性化を図るため、公民連携の取り組みを進めていることを知っていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「はい」の割合が12.5%、「いいえ」の割合が82.0%となっています。
性別でみると、大きな差異はみられません。
年齢別でみると、60～69歳で「はい」の割合が最も高くなっています。

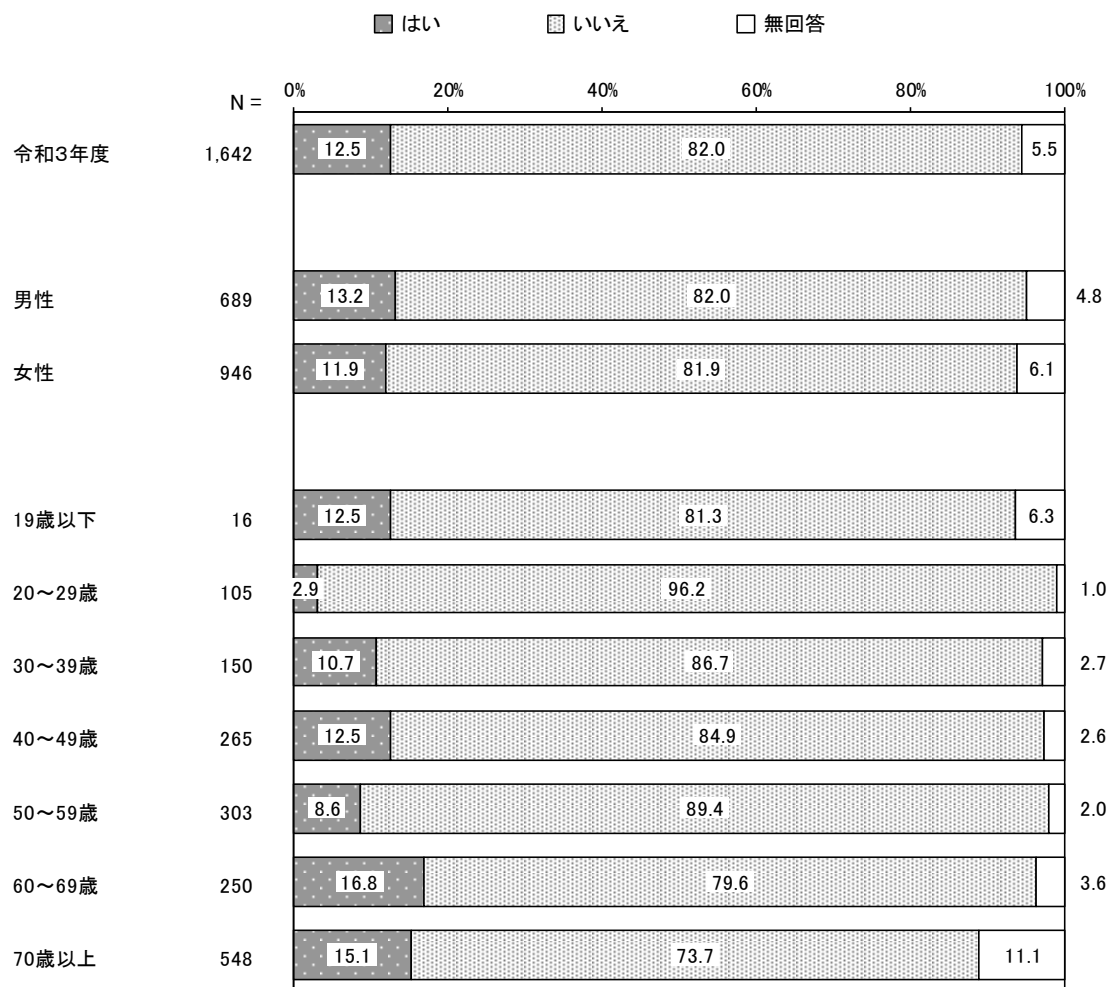


図 性別・年齢別 八尾市の公民連携の取り組みについて

問 25 あなたは、八尾市の公民連携の取り組みにより、市民サービスが向上していると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「わからない」の割合が51.1%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が19.3%、「少し思う」の割合が14.7%となっています。「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“向上していると思わない人”の割合（26.5%）が、「思う」と「少し思う」をあわせた“向上していると思う人”の割合（16.9%）を上回っています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、70歳以上で“向上していると思う人”の割合が最も高くなっています。

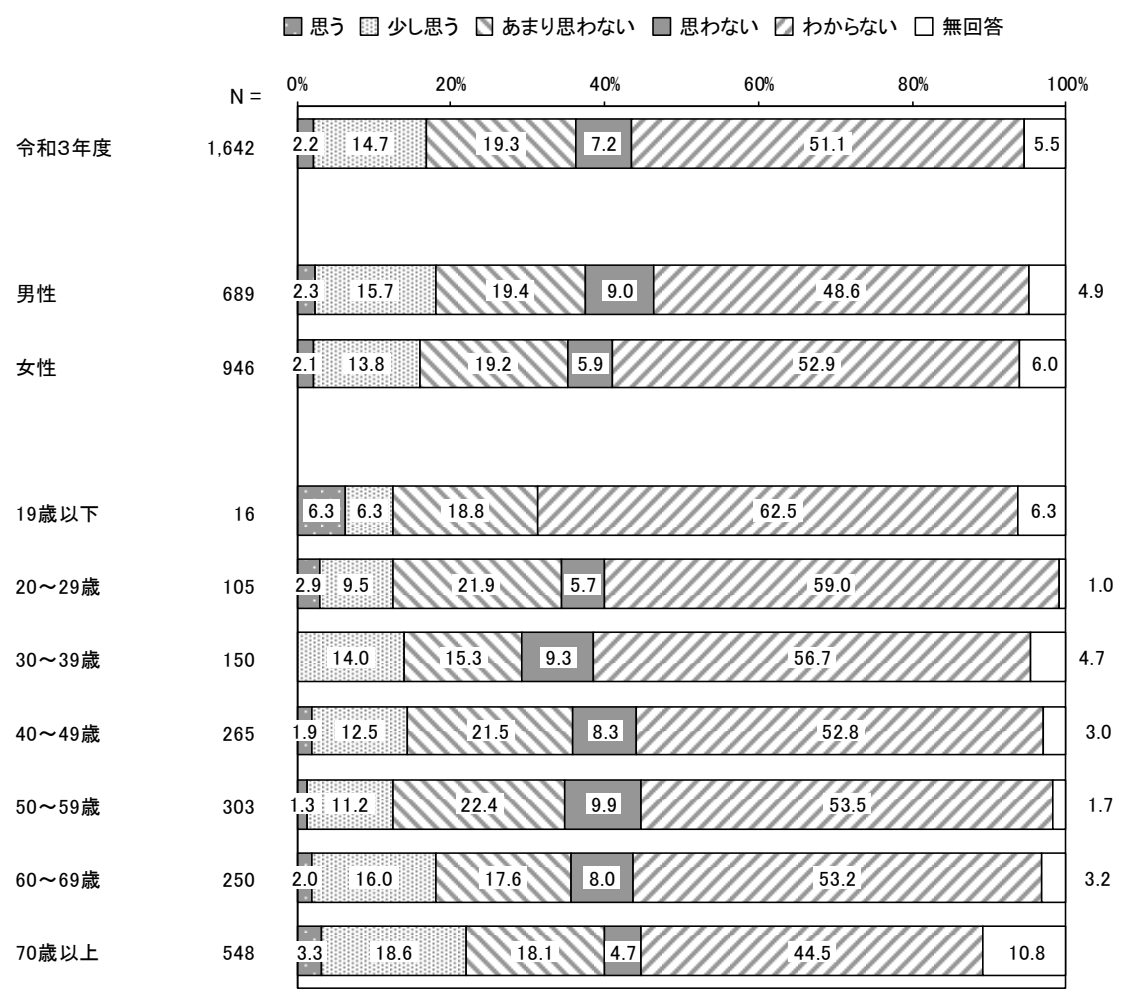


図 性別・年齢別 八尾市の公民連携の効果

問 26 八尾市では、八尾の魅力を市内外に発信する取り組みを進めていますが、あなたは、八尾の魅力は何だと思いますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物がしやすい」の割合が47.1%と最も高く、次いで「八尾若ごぼう・枝豆などの特産品がある」の割合が46.8%、「交通の便がよい」の割合が41.2%となっています。

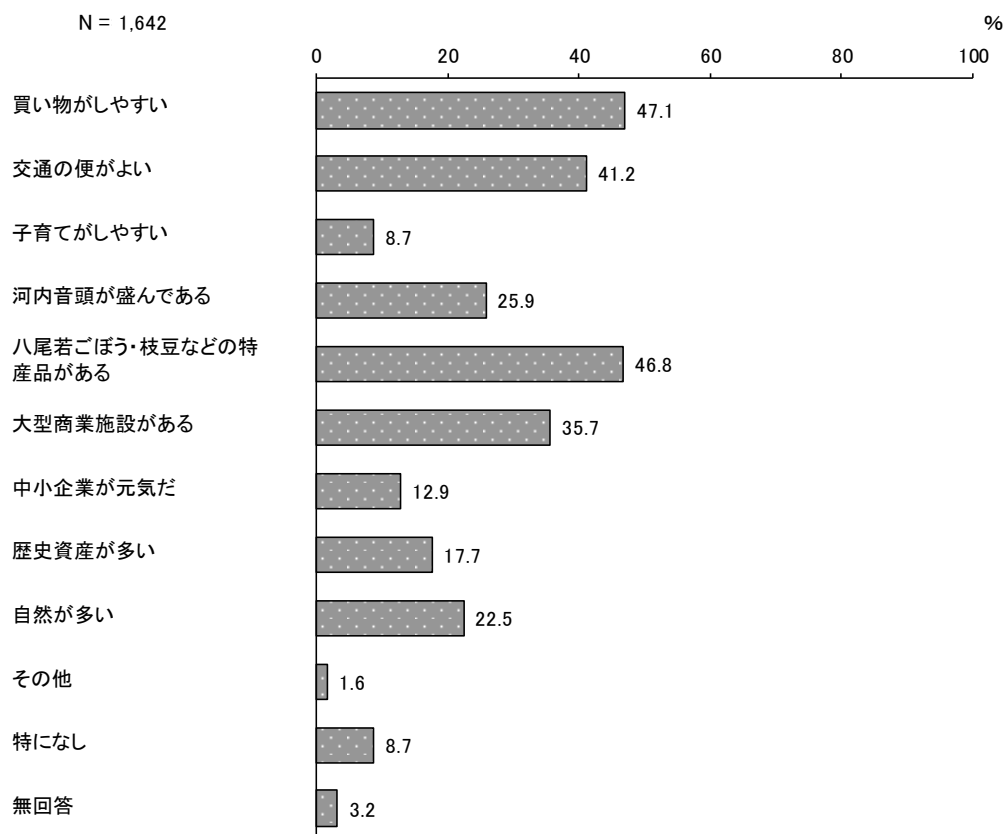


図 八尾市の魅力について

【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「交通の便がよい」、「大型商業施設がある」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「八尾若ごぼう・枝豆などの特産品がある」、「自然が多い」の割合が高くなっています。

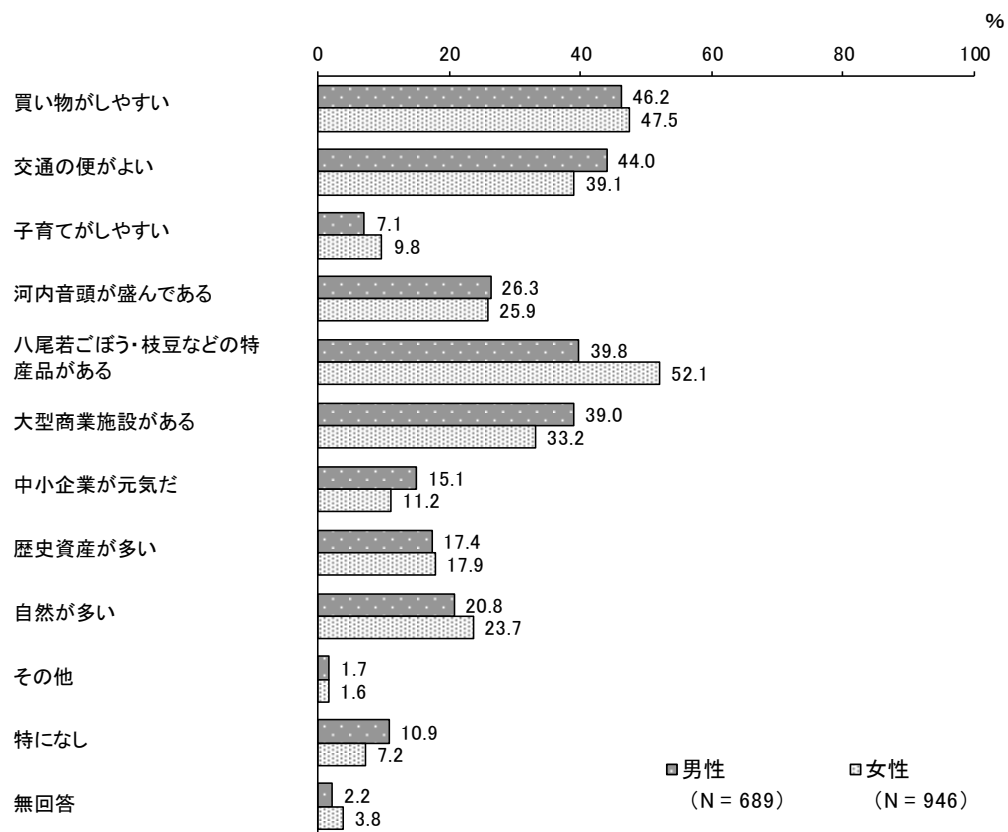


図 性別 八尾市の魅力について

【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「買い物がしやすい」「交通の便がよい」「八尾若ごぼう・枝豆などの特産品がある」「大型商業施設がある」の割合が高い傾向にあります。

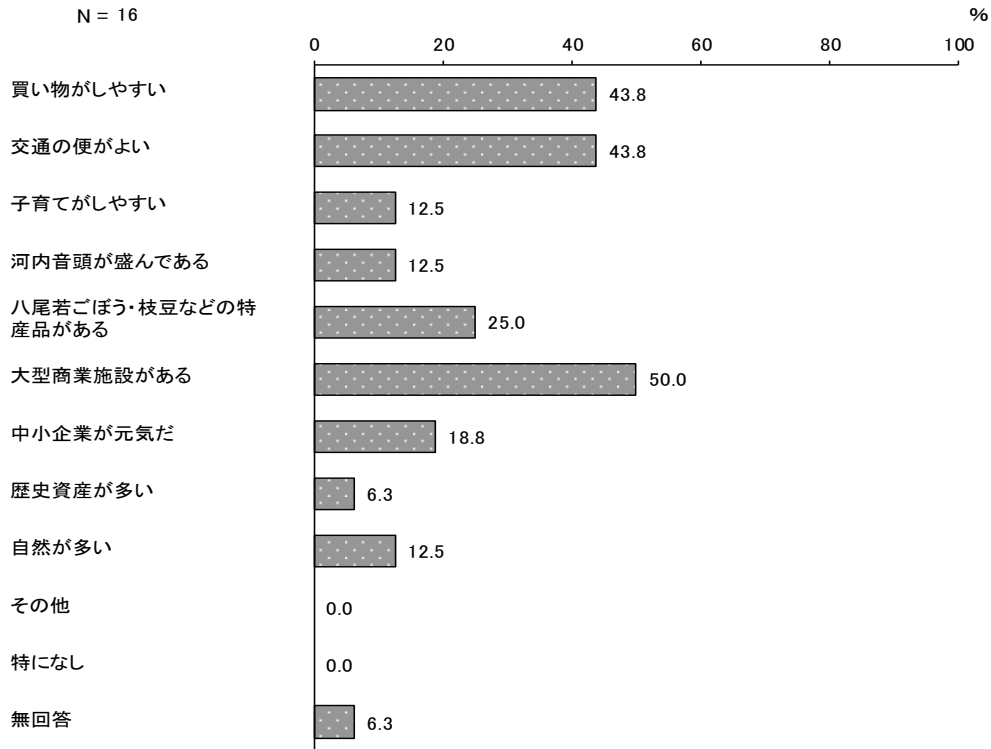


図 年齢別 八尾市の魅力について（19歳以下）

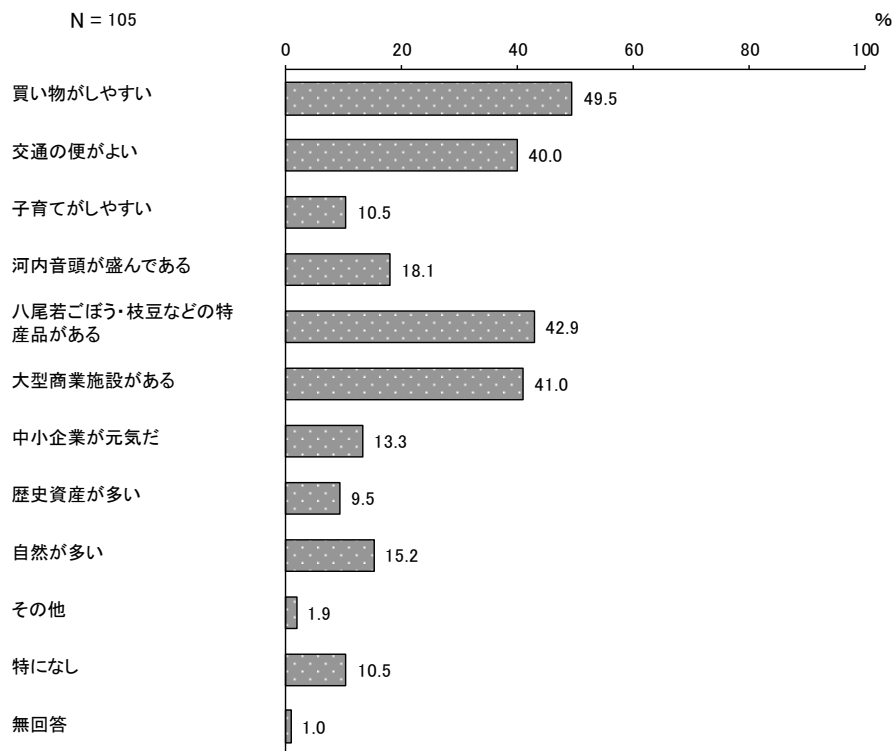


図 年齢別 八尾市の魅力について（20～29歳）

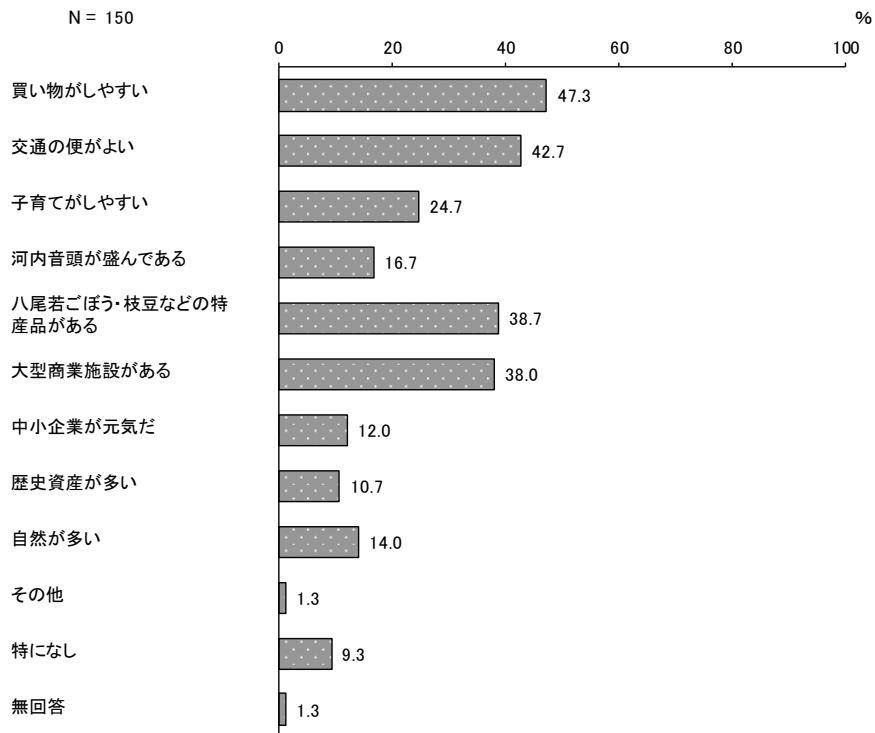


図 年齢別 八尾市の魅力について (30~39 歳)

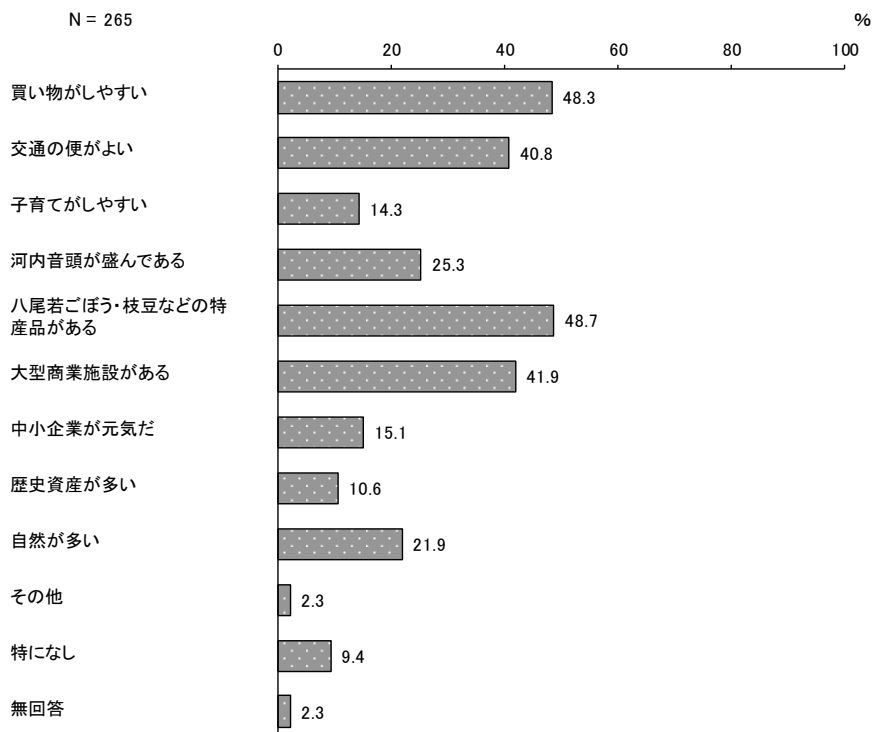


図 年齢別 八尾市の魅力について (40~49 歳)

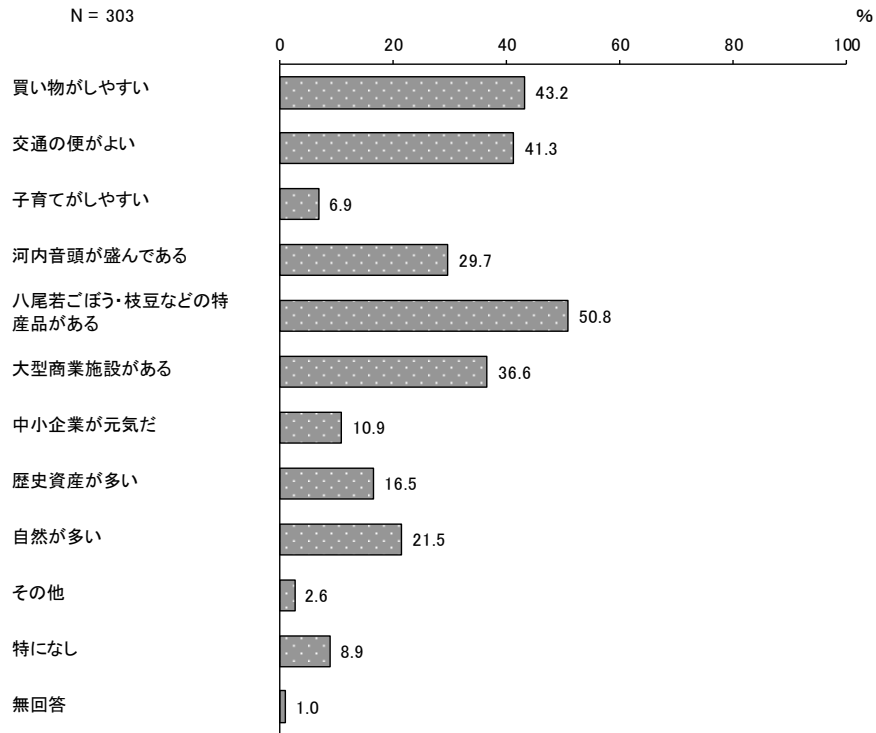


図 年齢別 八尾市の魅力について (50~59 歳)

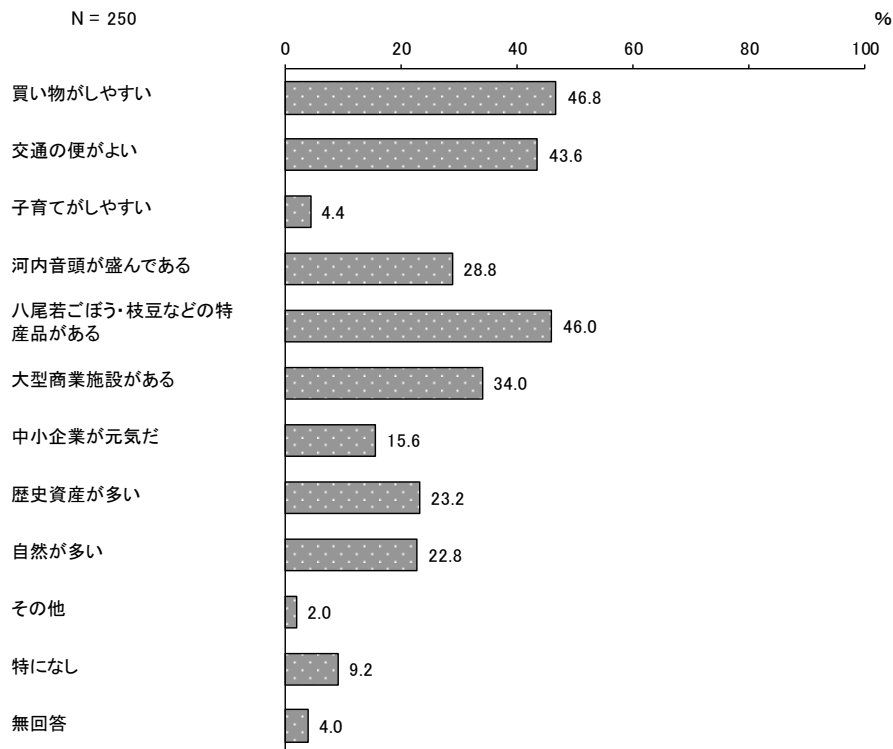


図 年齢別 八尾市の魅力について (60~69 歳)

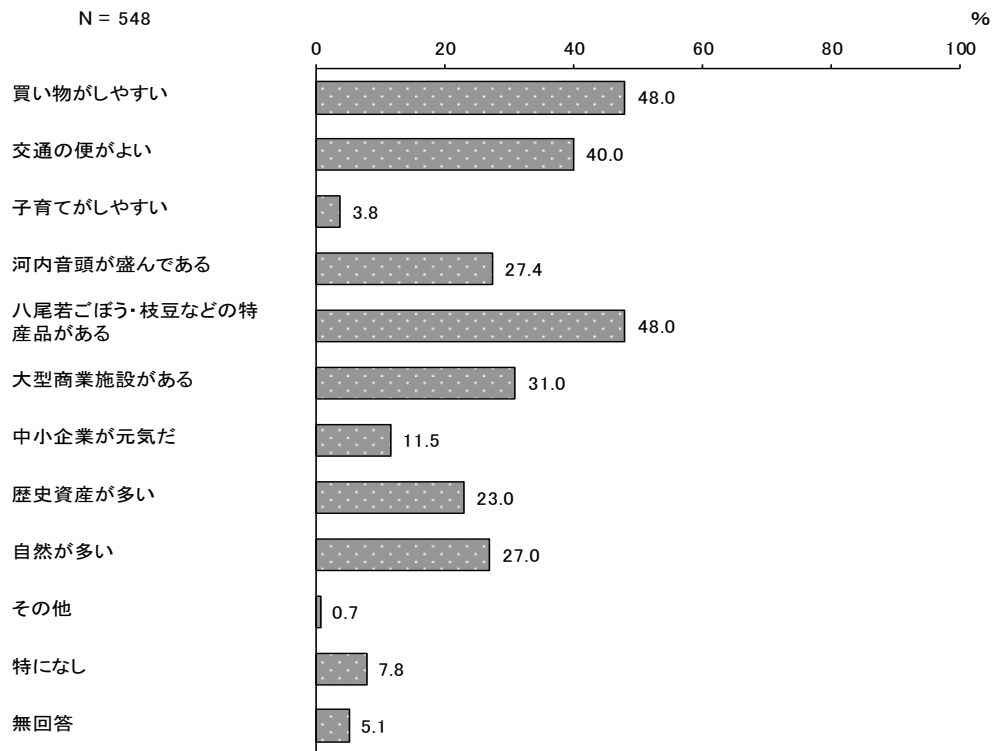


図 年齢別 八尾市の魅力について（70歳以上）

問 27 あなたは、八尾市の行政の取り組みに満足していますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「やや満足」の割合が52.5%と最も高く、次いで「やや不満」の割合が24.0%となっています。八尾市の取り組みに「満足」と「やや満足」をあわせた“満足と感じている人”の割合は60.2%となっています。

年度別でみると、“満足と感じている人”の割合は増加傾向にあります。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、20～29歳で“満足と感じている人”の割合が最も高くなっています。

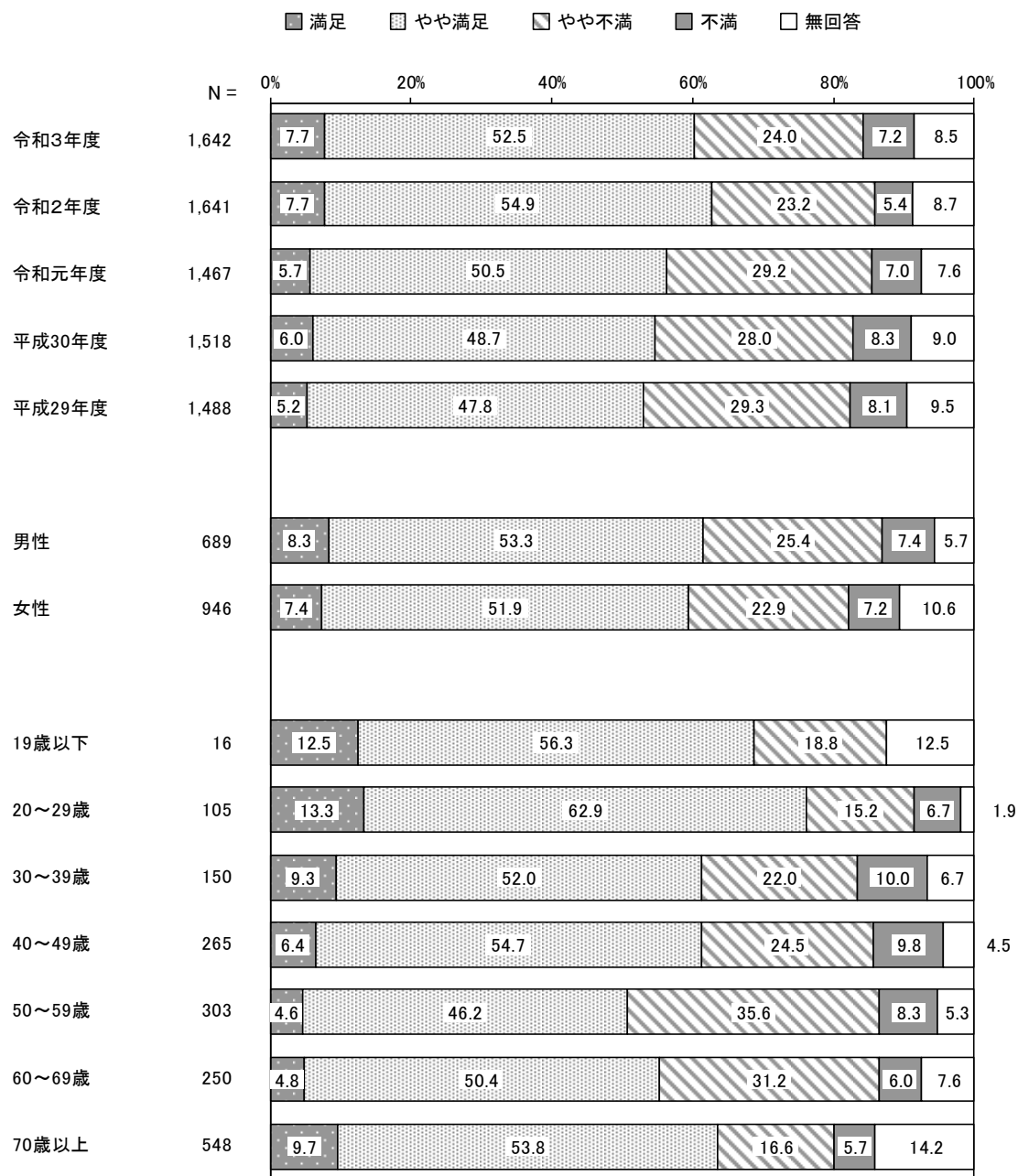


図 年度別・性別・年齢別 八尾市の行政の取り組みの満足度

問 28 あなたは、普段、市役所に関する情報を得るときに、どこから情報を得ますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「市政だより」の割合が80.6%と最も高く、次いで「自治会などの掲示板・回覧板」の割合が24.7%、「市のホームページ（スマートフォンサイト）」の割合が23.4%となっています。

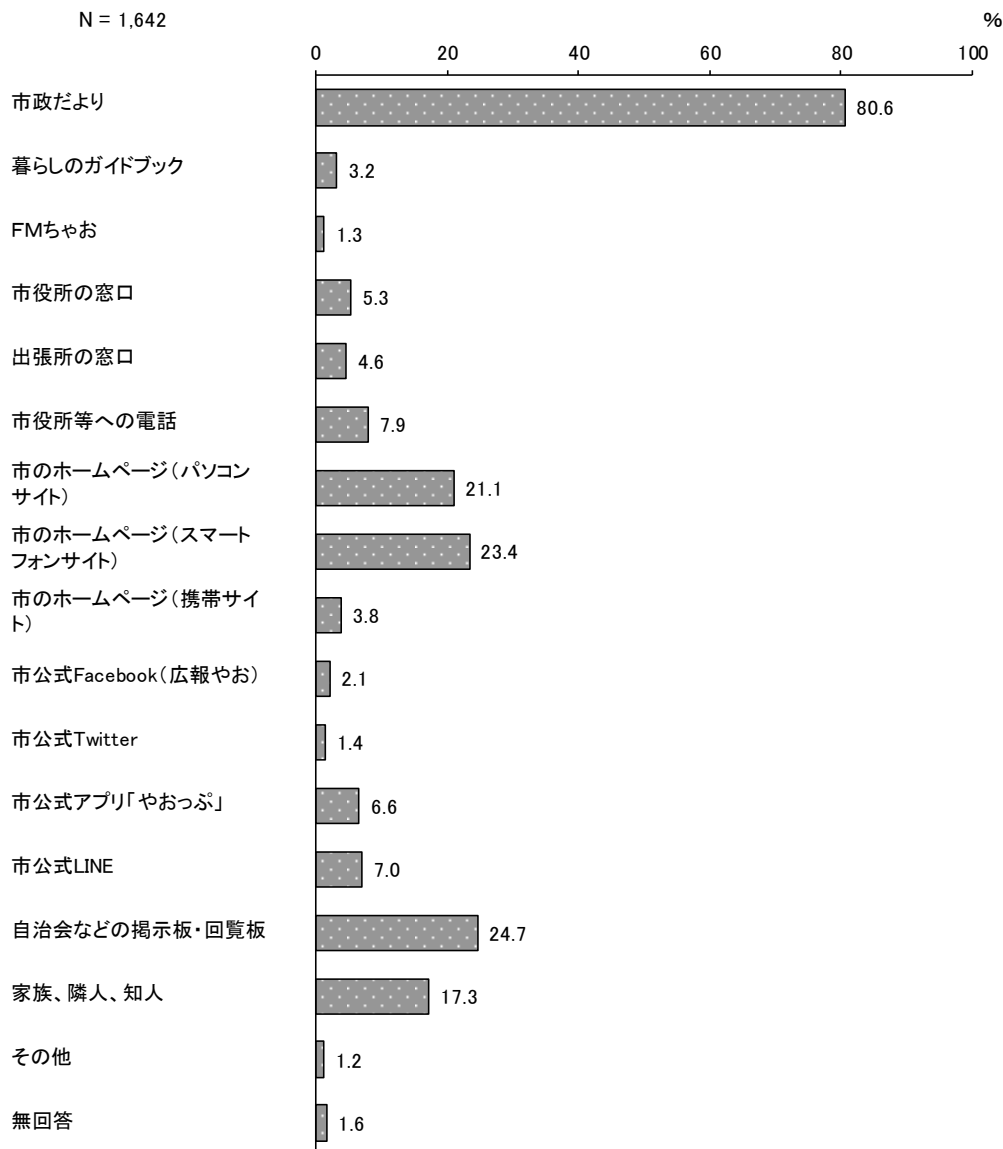


図 市役所に対する情報源

【年度別】

年度別でみると、前年度と比べ、「市政だより」の割合が大きく増加しています。

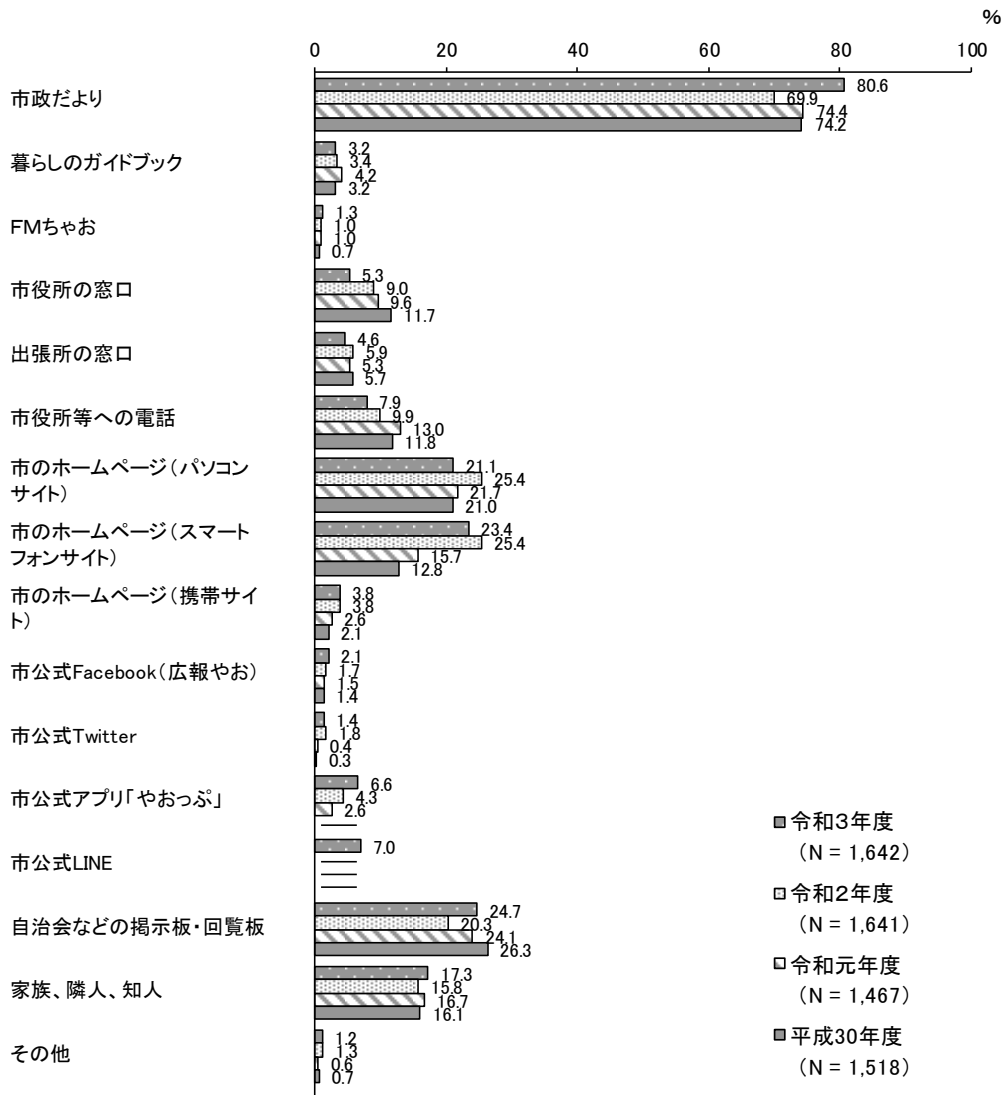


図 年度別 市役所に対する情報源

【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「市のホームページ（パソコンサイト）」の割合が高くなっています。

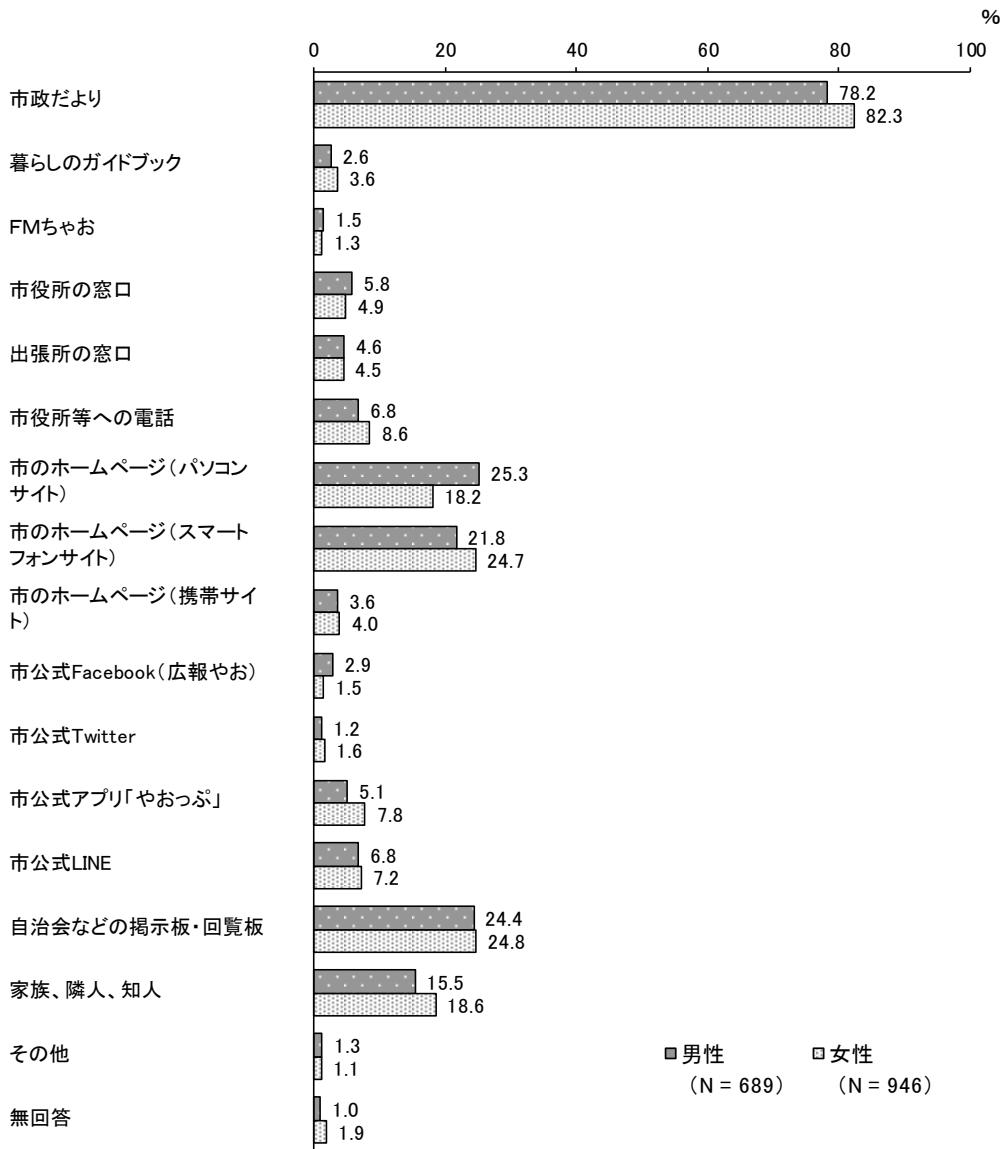


図 性別 市役所に対する情報源

【年齢別】

年齢別にみると、29歳以下では「市のホームページ（スマートフォンサイト）」の割合が最も高くなっており、30～39歳以上では「市政だより」の割合が最も高くなっています。

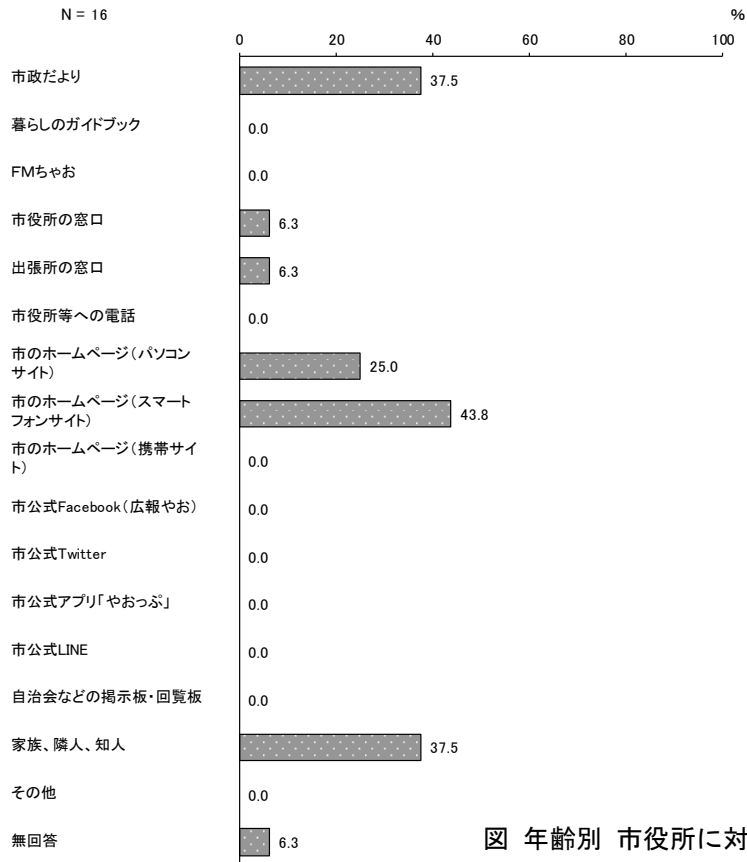


図 年齢別 市役所に対する情報源（19歳以下）

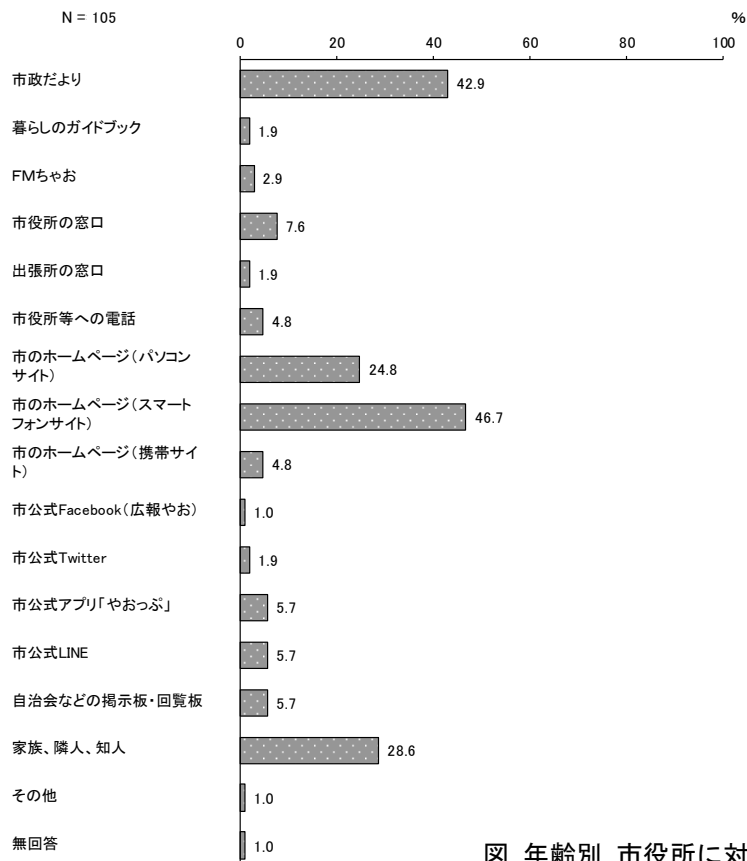


図 年齢別 市役所に対する情報源（20～29歳）

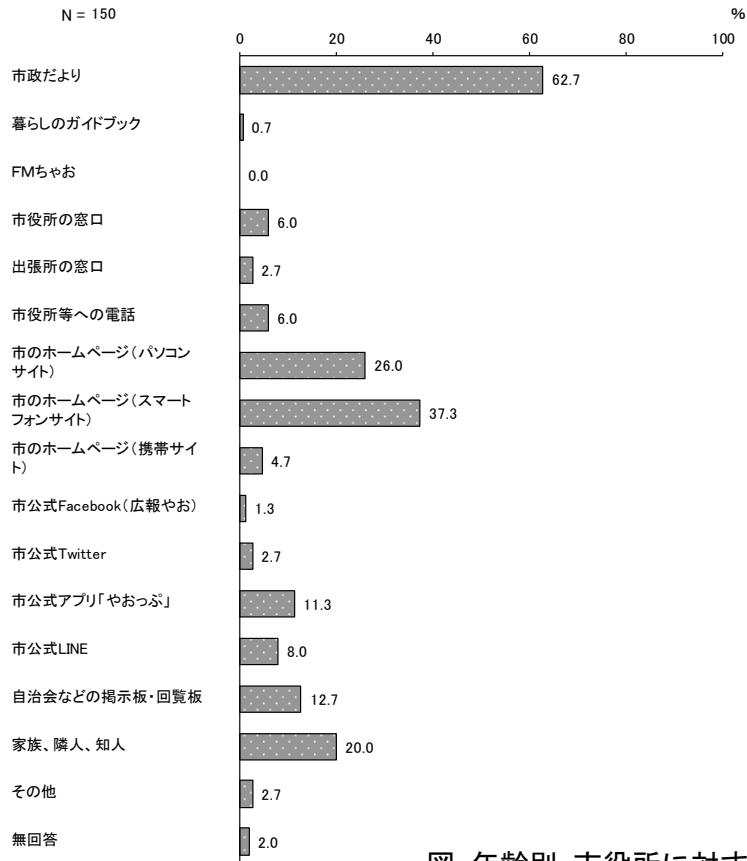


図 年齢別 市役所に対する情報源 (30～39 歳)

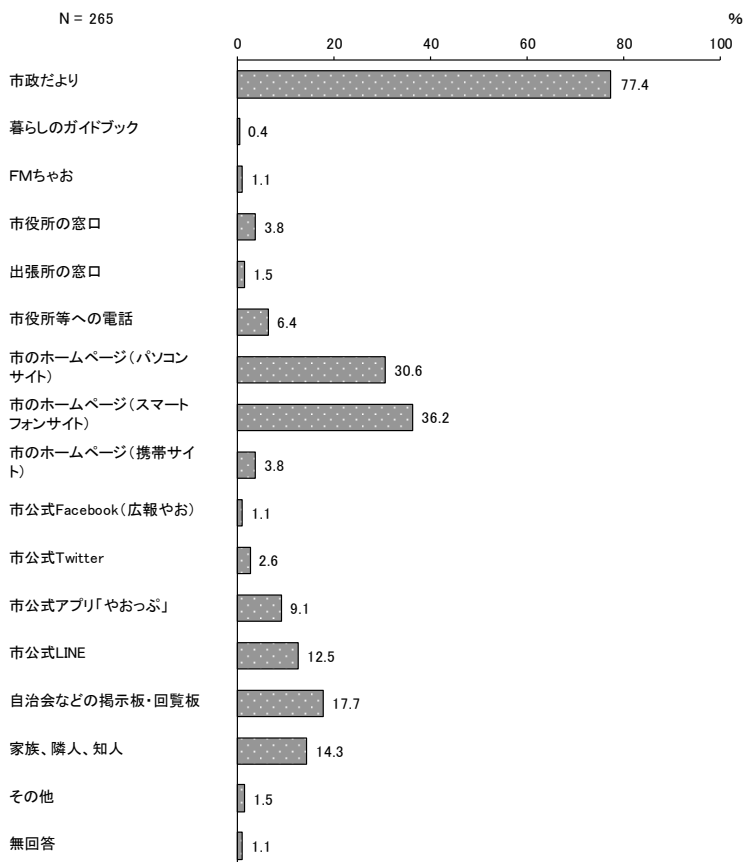
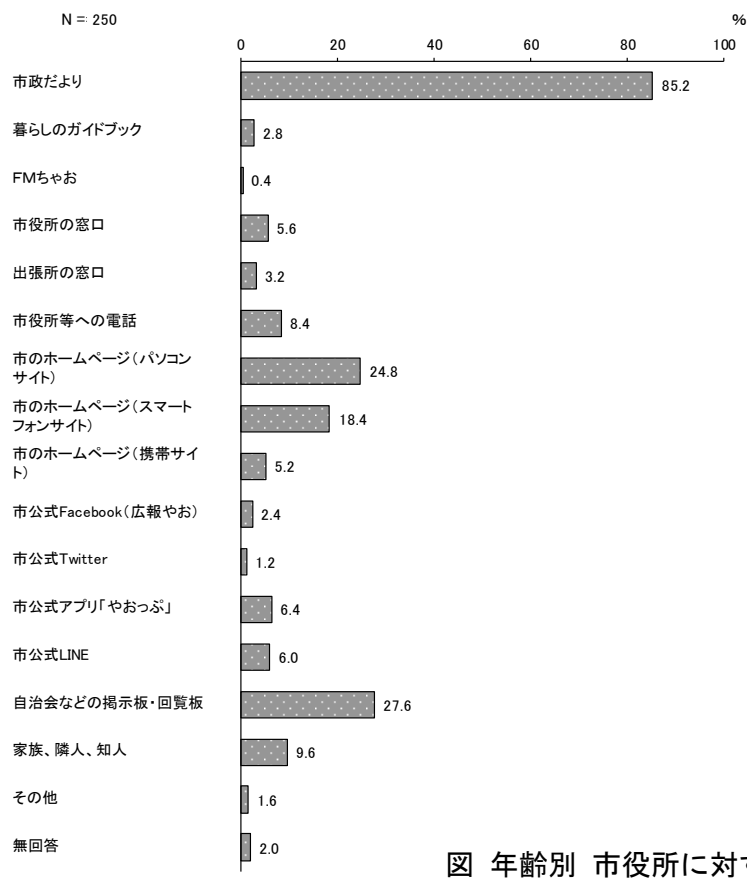
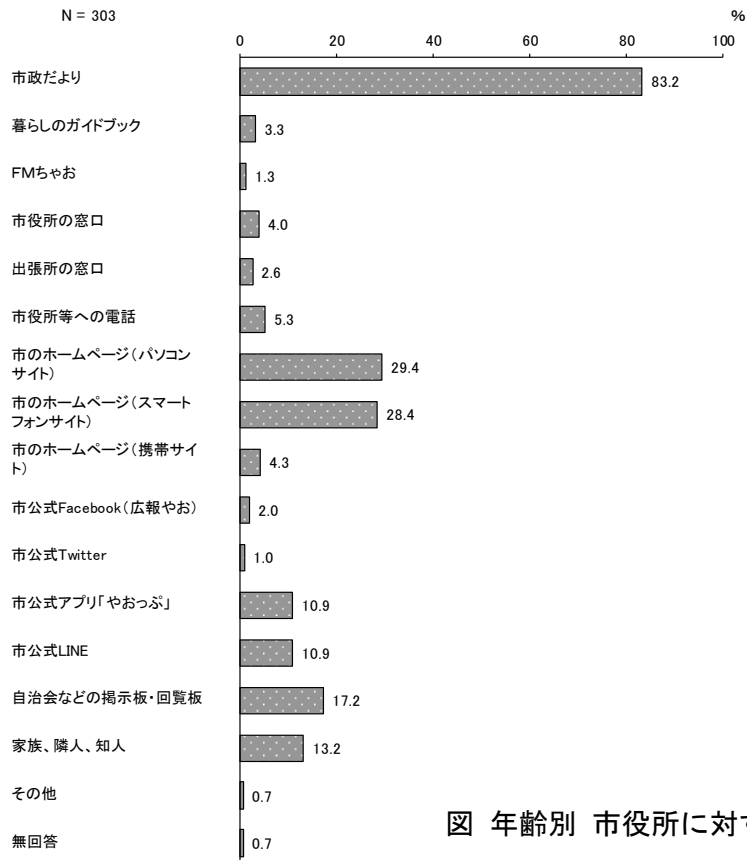


図 年齢別 市役所に対する情報源 (40～49 歳)



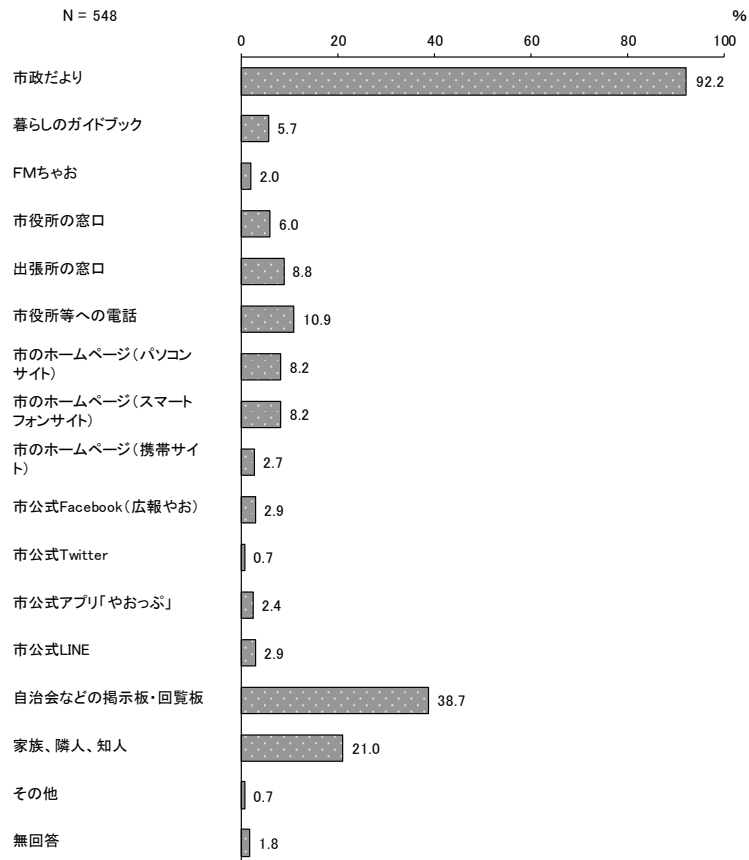


図 年齢別 市役所に対する情報源 (70 歳以上)

問 29 地域の身近な行政窓口である出張所（コミュニティセンター）では、各種証明書発行や届出受付等のほか、地域のまちづくり支援や地域住民の自主的な活動の場を提供しておりますが、今後、出張所でこういったサービスがさらに拡充されると良いと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「特になし」の割合が27.3%と最も高く、次いで「金融や郵便局機能等の併設」の割合が27.0%、「各担当課とオンラインでの相談・申請などの受付ができる窓口」の割合が25.9%となっています。

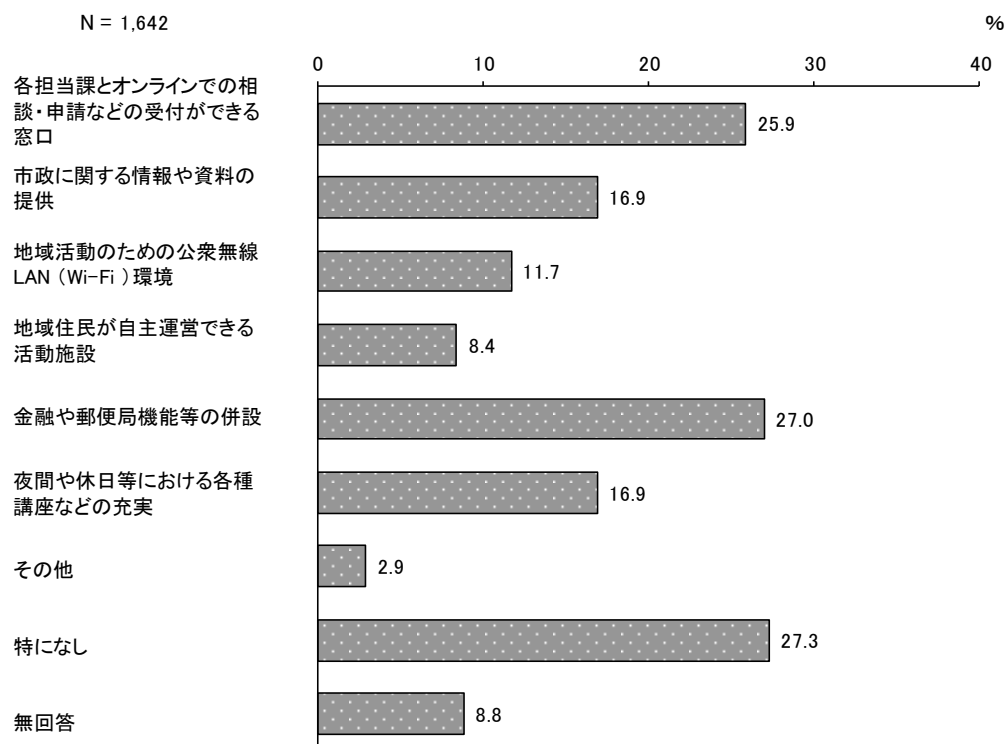


図 拡充されると良いと思う出張所のサービスについて

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「市政に関する情報や資料の提供」の割合が高くなっています。

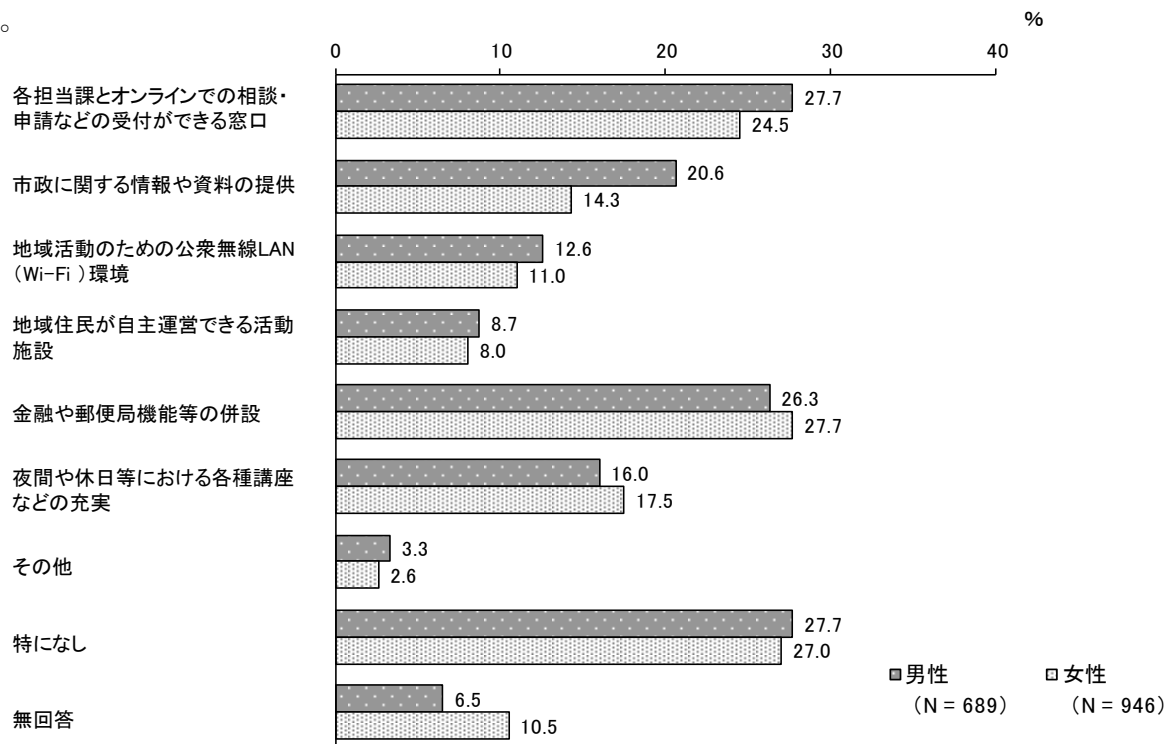


図 性別 拡充されると良いと思う出張所のサービスについて

【年齢別】

年齢別でみると、59歳以下で「各担当課とオンラインでの相談・申請などの受付ができる窓口」と「金融や郵便局機能等の併設」の割合が高い傾向にあります。また、60～69歳以上では「特になし」の割合が最も高くなっています。

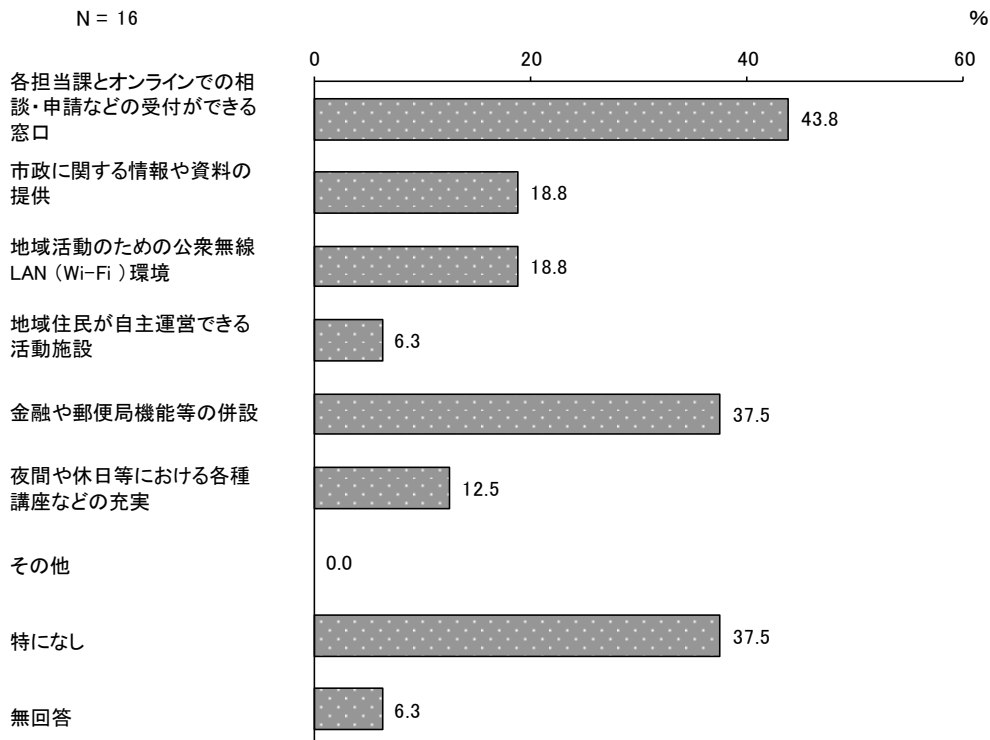


図 年齢別 拡充されると良いと思う出張所のサービスについて (19歳以下)

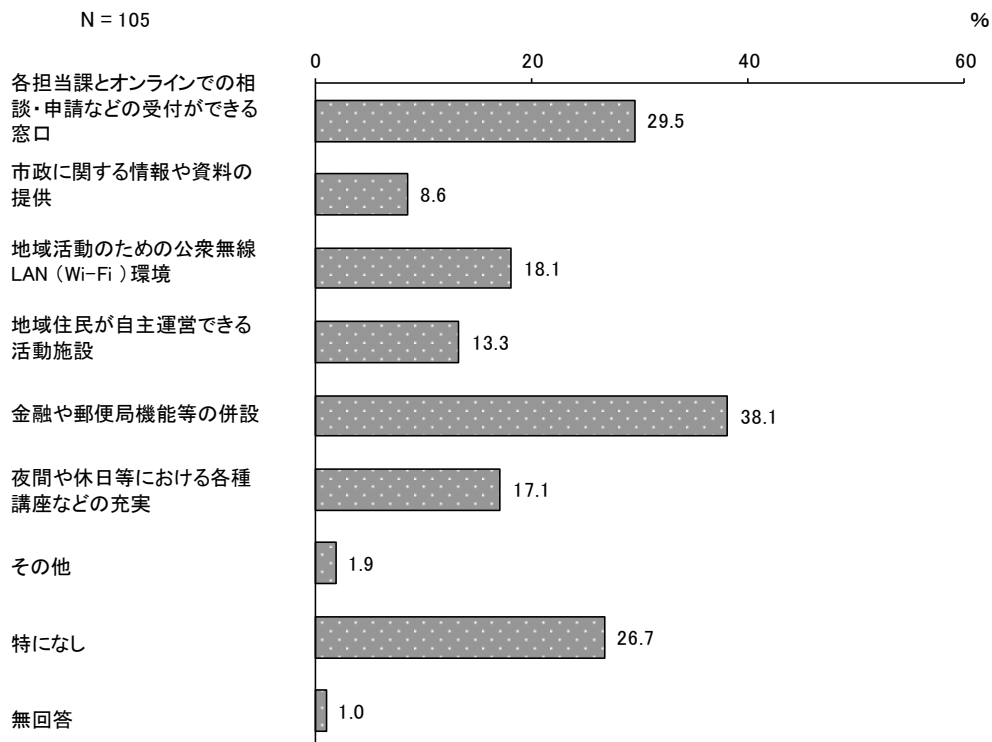


図 年齢別 拡充されると良いと思う出張所のサービスについて (20~29 歳)

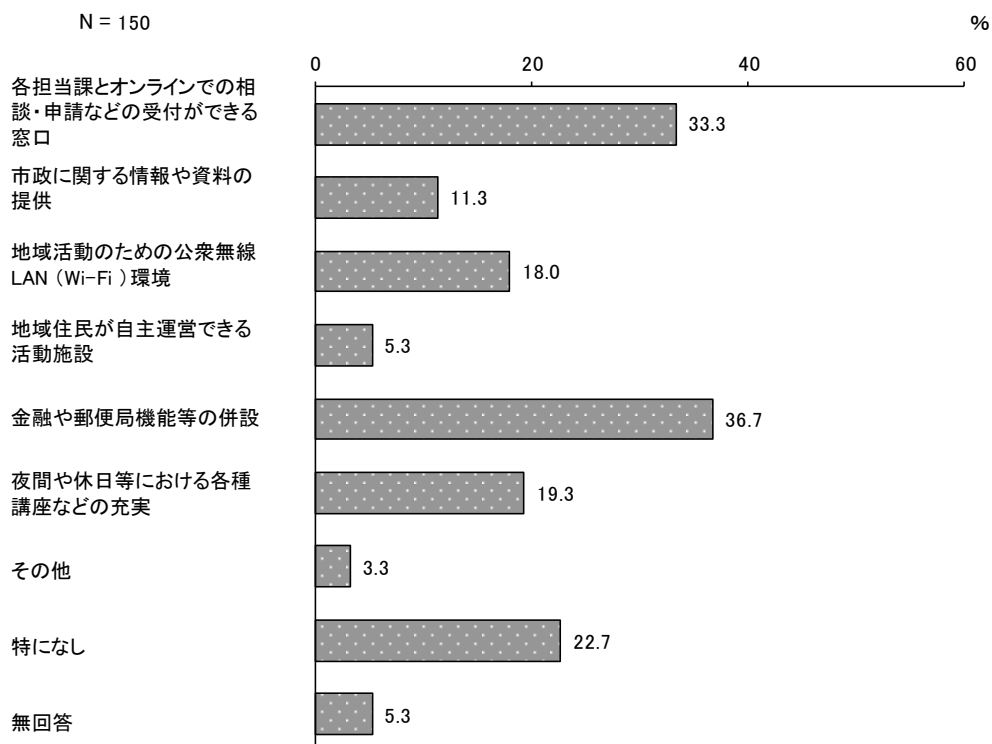


図 年齢別 拡充されると良いと思う出張所のサービスについて (30~39 歳)

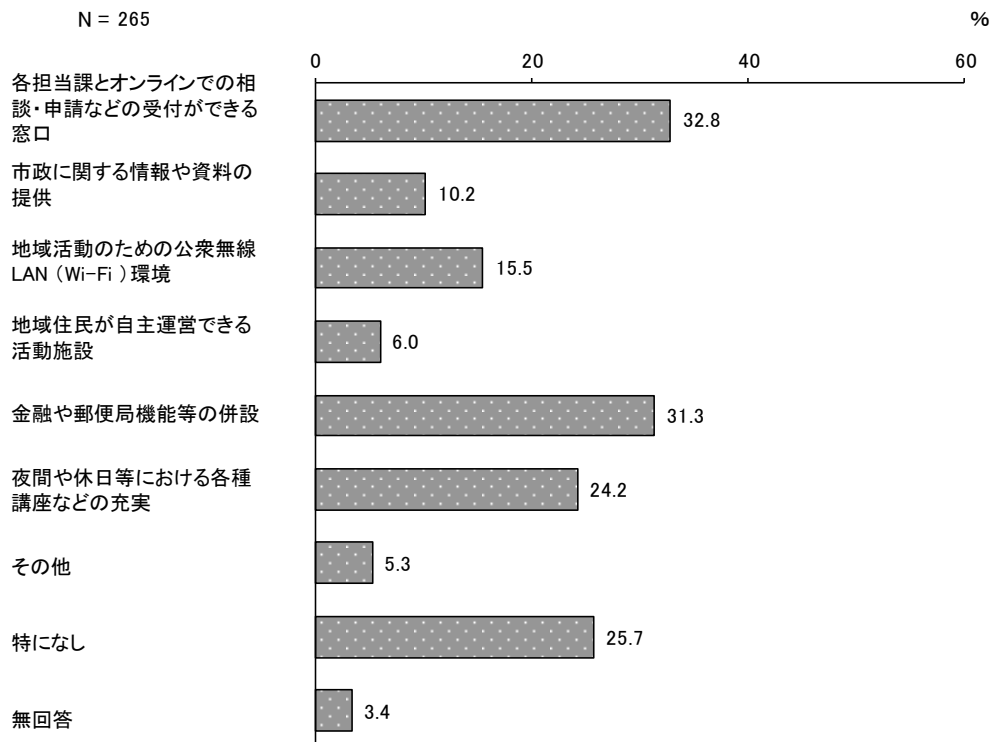


図 年齢別 拡充されると良いと思う出張所のサービスについて (40~49 歳)

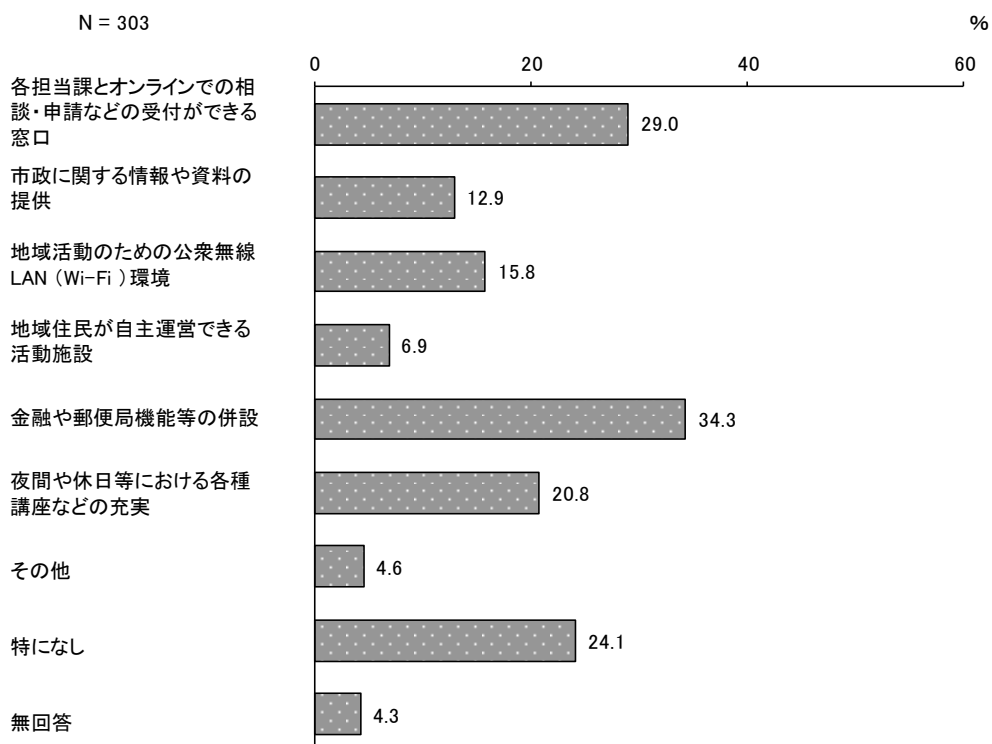


図 年齢別 拡充されると良いと思う出張所のサービスについて (50~59 歳)

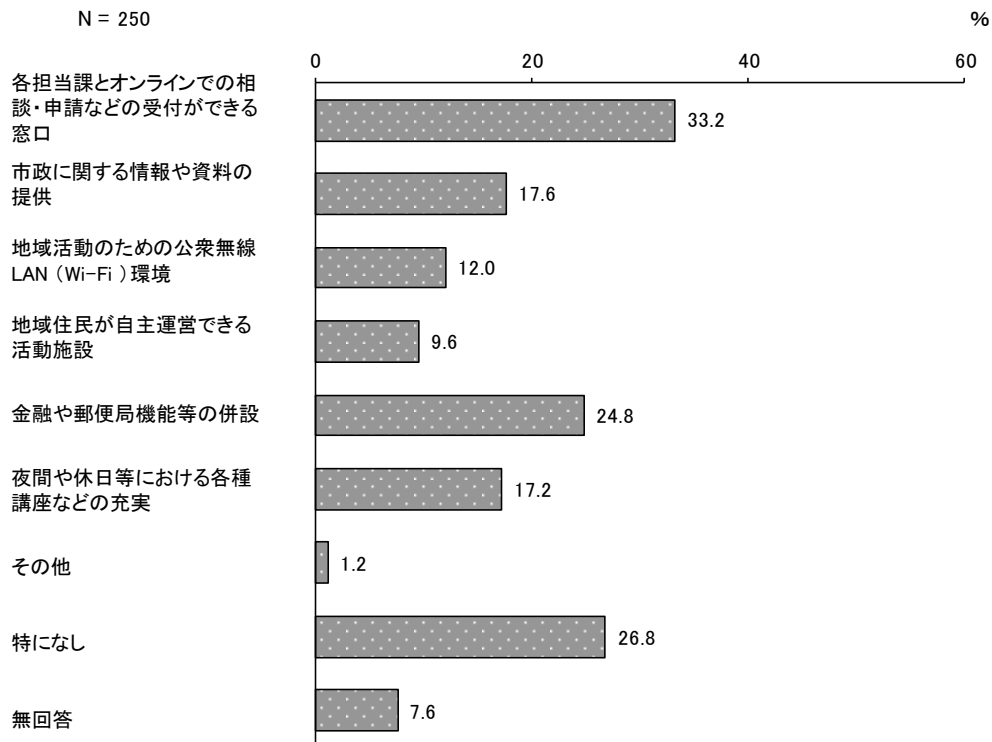


図 年齢別 拡充されると良いと思う出張所のサービスについて (60~69 歳)

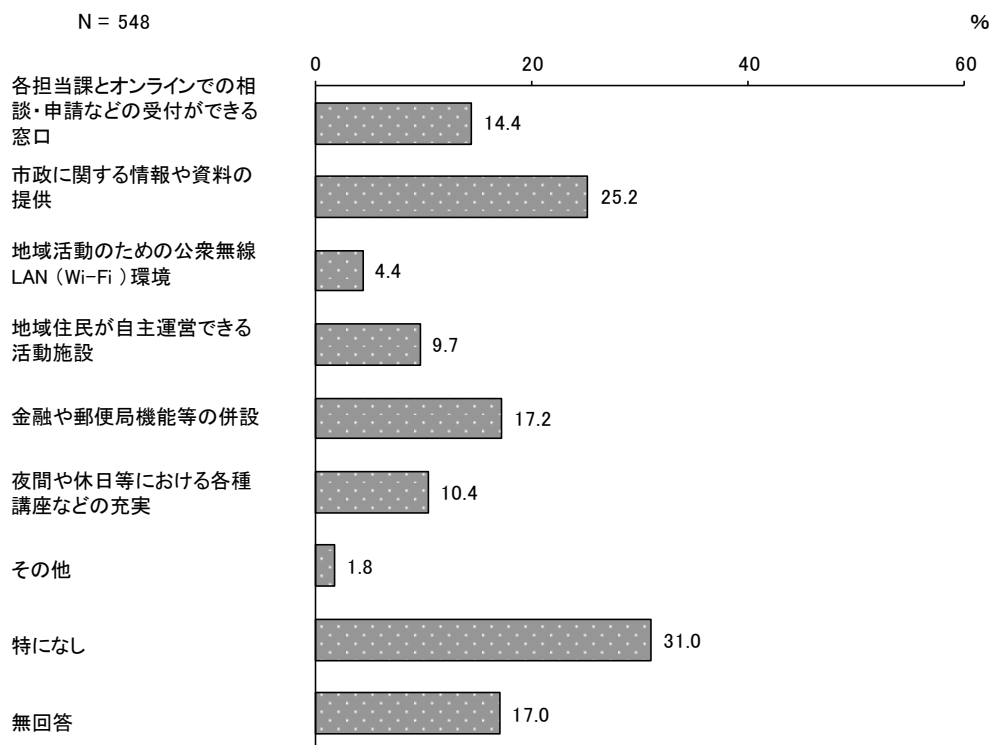


図 年齢別 拡充されると良いと思う出張所のサービスについて (70 歳以上)

Ⅲ 自由記述

これまでの設問に関わらず、ご意見等がございましたらご記入ください。

表 自由意見（自由記述）

分類		件数
1	子育て・教育に関すること	28
2	魅力の向上に関すること	12
3	経済に関すること	5
4	都市基盤に関すること	57
5	安全・安心に関すること	18
6	健康に関すること	23
7	環境に関すること	25
8	福祉に関すること	13
9	人権・平和・コミュニティに関すること	16
10	行政運営に関すること	58
11	アンケートについての意見	28
12	市政に対する肯定的な意見	17
13	その他	9
集計		309

自由意見の内容について、分類ごとの意見数と意見項目の要旨をまとめたものを以下に示す。

1	子育て・教育に関すること 28件	件数
	中学校の給食を充実してほしい	4
	子どものための施設を整備・充実してほしい	4
	子育て世代に経済的な支援をしてほしい	3
	教育施策を充実してほしい	3
	就学前教育・保育施設を増やしてほしい	2
	いじめ問題対策の取り組みを充実してほしい	2
	働く母親が過ごしやすい環境を充実してほしい	2
	安心して子どもを産み、育てられるまちづくりを進めてほしい	1
	生涯学習の施策を充実してほしい	1
	小中学校の校区の適正化をすすめてほしい	1
	保育士の待遇を良くしてほしい	1
	少人数制学級を実現してほしい	1
	学校と民間事業者等との連携を進めて欲しい	1
	放課後児童育成室の預かり時間を長くしてほしい	1
	保育園の入所等の手続きを簡素化してほしい	1

2	魅力の向上に関すること 12件	件数
	八尾の魅力を市内、市外に伝えてほしい	4
	新たなまちの魅力づくりに取り組んでほしい	2
	歴史資産を市の魅力として活用してほしい	2
	美術館やスポーツ施設を建ててほしい	2
	八尾に住んでよかったと思えるまちであってほしい	1
	芸術文化の施策を充実してほしい	1

3	経済に関すること 5件	件数
	商店街を活性化してほしい	2
	地域産業をもっと活性化させてほしい	2
	毎日の買い物を便利にしてほしい	1

4	都市基盤に関すること 57件	件数
	公共交通網を充実してほしい	11
	道路整備をしてほしい	8
	都市整備を適切に進めてほしい	5
	のびのびと遊べる公園や広場を充実・整備してほしい	5
	車いすやベビーカーの人も通行しやすいよう道路の整備をして欲しい	4
	道路の渋滞を解消してほしい	4
	駅周辺を活性化してほしい	4
	歩道を整備してほしい	3
	通学路の安全確保をしてほしい	2
	美術館やスポーツ施設を建ててほしい	2
	都市景観の向上に努めてほしい	1
	水道料金が高い	1
	空家や空き地の有効活用など、対策をしてほしい	1
	公園樹の清掃を定期的に行ってほしい	1
	放置自転車を撤去してほしい	1
	下水道の整備をすすめてほしい	1
	交通安全に力を入れてほしい	1
	公共トイレを設置してほしい	1
	バスの停留所の場所、料金、時刻表の情報がほしい	1

5	安全・安心に関すること 18件	件数
	防犯灯・街灯の設置・整備などをしてほしい	6
	必要な人に必要な情報が届くよう防災、避難情報を適切に発信してほしい	5
	交通マナーの向上に取り組んでほしい	3
	安全に生活できるまちづくりをしてほしい	2
	防災対策を充実し災害に強いまちづくりをしてほしい	1
	防犯カメラを設置してほしい	1

6	健康に関すること 23件	件数
	新型コロナウイルス感染症の対策をしっかりと進めてほしい	10
	医療サービスを充実してほしい	4
	飼い主のいないペットの対策をしてほしい	3
	新型コロナウイルス感染症の情報を発信してほしい	3
	市立病院のサービスを充実してほしい	1
	AEDをもっと増やしてほしい	1
	自主的に受診するPCR検査費用の助成をしてほしい	1

7	環境に関すること 25件	件数
	家庭指定袋（ごみ袋）の仕組み（形状・サイズ、配布方法など）を改善してほしい	9
	ごみの回収場所・頻度・時間を改善してほしい	4
	工場や生活音等の騒音対策に取り組んでほしい	4
	ごみ収集車の運転マナー等を向上してほしい	3
	喫煙者のマナー向上に取り組んでほしい	1
	市民の美化意識の向上を図ってほしい	1
	ごみ分別のルールが分からない	1
	カラスによるごみの被害対策をしてほしい	1
	環境に配慮してほしい	1

8	福祉に関すること 13件	件数
	高齢者福祉を充実してほしい	4
	高齢者にやさしいまちにしてほしい	4
	生活保護制度等を適正に運用してほしい	3
	地域福祉の推進と福祉サービスを充実してほしい	1
	障がい者福祉を充実してほしい	1

9	人権・平和・コミュニティに関すること 16件	件数
	町会活動等の運営に関すること	9
	コミュニティ施策を充実してほしい	5
	多文化共生社会の実現に向けた取り組みを充実してほしい	1
	生涯学習の施策を充実してほしい	1

10	行政運営に関すること 58件	件数
	職員の対応改善や行政サービスの質を向上してほしい	13
	行政の取り組みをわかりやすく積極的に発信してほしい	9
	適切な行財政運営をしてほしい	9
	税金、保険料、公共施設等利用料が高い	5
	市役所への提出書類などの手続きをもっと簡単にしてほしい	5
	市役所窓口の待ち時間が長く混雑している	4
	出張所の役割を広げてほしい	3
	給付金の支給などの家計支援策を行ってほしい	2
	若い世代への施策を充実してほしい	2
	職員が多いと感じる	1
	公共施設の有効活用をすすめてほしい	1
	行政はもっと地域に根付いた活動をしてほしい	1
	既存の考えに縛られず、行財政改革をすすめてほしい	1
	公民連携を積極的にすすめてほしい	1
	公共施設を誰もが利用しやすいよう運営して欲しい	1

11	アンケートについての意見 28件	件数
	もっとわかりやすい設問や項目内容にするなど検討してほしい	9
	回答についての補足	9
	配布のしかたや対象など検討してほしい	4
	意味のある調査と思えない	3
	アンケートだけでなく、直接市民の意見を聞くべきだ	2
	インターネットで回答できるようにしてほしい	1

12	市政に対する肯定的な意見 17件	件数
	今の八尾市に満足している	7
	職員の対応に満足している	7
	今後の八尾市の取り組みに期待する	3

13	その他 9件	件数
	生活全般に関する意見	5
	府政に関する意見	3
	鉄道事業者に関する意見	1

IV 調査票

令和3年度 八尾市民意識調査

～ あなたの声をお聞かせください ～

－ ご協力のお願い －

日ごろから、八尾市政の発展にご協力いただき、ありがとうございます。
本市では、市民のみなさまの貴重な声を今後のまちづくりに活かすことを
目的に、毎年、市民意識調査を実施しています。

また、本市では、第6次総合計画※に掲げる八尾市の将来都市像「つながり、
かがやき、しあわせつづく、成長都市 八尾」の実現に向け、各種の取り組み
を進めているところです。

今回の調査により、市民のみなさまが市に対して感じておられることを、
数値等で把握することで、今後、市はどんな取り組みを充実させていくべきな
のかを決める重要な基礎データとして活用してまいります。

お手数をおかけしますが、この調査の趣旨（市民のみなさまの貴重な声を
今後のまちづくりに活かすこと）をご理解いただき、ご協力くださいますよう
お願い申し上げます。

なお、調査結果につきましては、令和3年度市民意識調査報告書にて、集計
結果を公表いたします。

令和4年（2022年）1月 八尾市

※第6次総合計画 … 令和3年度～令和10年度の8年間で、八尾市がどのようなまちをめざし発展させるかを明らかにしたもので、八尾市の今後のまちづくりを進めていくうえでの基本となる指針です。

〔 問い合わせ先 〕 この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

八尾市 政策企画部 政策推進課

電話：072-991-3881（代表）
072-924-3816（直通）

ファックス：072-924-3570

e-mail: seisakusuisin@city.yao.osaka.jp

きにゆう ねが ご記入にあたってのお願い

- * かいとう あてな ほんにんさま きにゆう ほんにん きにゆう むずか ばあい かぞく
回答は、宛名のご本人様が記入してください。ご本人によるご記入が難しい場合は、ご家族
などお手伝いいただける方が、記入してください。
- * かいとう ちょうさひょう ちよくせつきにゆう せんたくし なか た えら なか
回答は、調査票に直接記入してください。選択肢の中で、その他を選んだときは()の中に
ぐたいてき きにゆう こた しつもん なに きにゆう つぎ すす
具体的に記入してください。答えにくい質問は、何も記入せずに次に進んでください。
- * きにゆう ちょうさひょう がつ にち どうふう へんしんようふうとう い ちか
ご記入いただいた調査票は、2月7日(火)までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの
ゆうびん とうかん きって
郵便ポストに投函してください(切手はいりません)。

こじんじょうほう と あつか 個人情報の取り扱いについて

しみん いしきちょうさ や おし す まん さいじょう しみん かた なか めい
この市民意識調査は、八尾市にお住まいの満18歳以上の市民の方の中から、3,000名を
むさく い えら ちょうさひょう おく じっし ちゆうしゅつび れいわ ねん ねん がつ にち
無作為で選び、調査票をお送りして実施しています。【抽出日:令和4年(2022年)1月19日】
かいとうほうほう むきめいほうしき おこな かいとうけっか どうけいてき しより こんかい ちょうさ え じょうほう
回答方法は無記名方式で行い、回答結果は統計的に処理します。今回の調査で得た情報は、
た もくてき しょう
他の目的では使用しません。

てんしゅつなど いどう かた 転出等の異動をされた方について

ちゆうしゅつび れいわ ねん ねん がつ にち いこう てんしゅつなど いどう かた や お
なお、抽出日(令和4年(2022年)1月19日)以降に転出等の異動をされた方につきましても、八尾
しせい たい いけん うかが かんが ちょうさ きょうりよく
市政に対するご意見をお伺いさせていただければと考えております。調査にご協力いただきま
ねが
すようお願いいたします。

きょうりよく ねが ご協力をお願いします



I. はじめに、みなさまご自身やご家族のことについて、お伺いします。

◆1 あなたの年齢について、お伺いします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 19歳以下	4. 40～49歳	7. 70歳以上
2. 20～29歳	5. 50～59歳	
3. 30～39歳	6. 60～69歳	

◆2 あなたの性別について、お伺いします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. 男性・女性と答える ことに抵抗を感じる
-------	-------	---------------------------

◆3 あなたの家族構成について、お伺いします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. ひとり暮らし	4. 三世同居 (親と子どもと孫など)
2. 夫婦のみ	5. その他 ()
3. 二世同居 (親と子どもなど)	

◆4 同居の家族に未成年者(20歳未満)はおられますか。

あてはまる番号1つに○をつけ、その人数を記入してください。

1. いる	→ 0～6歳 ()人	13～15歳 ()人
2. いない	7～12歳 ()人	16～20歳未満 ()人

◆5 同居の家族(あなたを含む)に高齢者はおられますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 65～74歳の高齢者がいる	2. 75歳以上の高齢者がいる	3. いない
------------------	-----------------	--------

◆6 あなたが八尾市内を移動するとき、よく利用される交通手段は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自転車	4. バス	7. その他
2. バイク・原付自転車	5. 鉄道	()
3. 自家用車	6. タクシー	

◆7 あなたの就学・就業状況について、お伺いします。主にあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 学生	2. 働いている	3. 働いている	4. 働いていない
	(フルタイム労働)	(パート・アルバイト等)	

つうきん つうがく かた うかが
通勤・通学されている方にお伺いします。

◆8 あなたのお勤め先・通学先について、お伺いします。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 自宅 | 5. 大阪府内 |
| 2. 八尾市内(自宅以外) | (八尾市・大阪市・東大阪市・柏原市を除く) |
| 3. 大阪市 | 6. 他府県 |
| 4. 東大阪市・柏原市 | 7. 通勤・通学していない |

◆8で「2」～「6」のいずれかに○をつけた方に、お伺いします。

◆9 職場・学校までの時間について、お伺いします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------------|----------|
| 1. 30分未満 | 2. 30分以上～1時間未満 | 3. 1時間以上 |
|----------|----------------|----------|

すべての方にお伺いします。

◆10 あなたのお住まい(住宅)について、お伺いします。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|----------------------|-----------|
| 1. 戸建て(持ち家) | 3. マンション・アパートなど(持ち家) | 5. 寮・社宅 |
| 2. 戸建て(賃貸) | 4. マンション・アパートなど(賃貸) | 6. その他() |

◆11 あなたのお住まいになっているところは、どの小学校区ですか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------------|
| 1. 八尾小学校区 | 11. 高安小中学校区 | 21. 刑部小学校区 |
| 2. 山本小学校区 | 12. 曙川小学校区 | 22. 高美南小学校区 |
| 3. 用和小学校区 | 13. 北山本小学校区 | 23. 西山本小学校区 |
| 4. 久宝寺小学校区 | 14. 南山本小学校区 | 24. 高安西小学校区 |
| 5. 龍華小学校区 | 15. 志紀小学校区 | 25. 曙川東小学校区 |
| 6. 大正小学校区 | 16. 高美小学校区 | 26. 亀井小学校区 |
| 7. 桂小学校区 | 17. 長池小学校区 | 27. 上之島小学校区 |
| 8. 安中小学校区 | 18. 東山本小学校区 | 28. 大正北小学校区 |
| 9. 竹淵小学校区 | 19. 美園小学校区 | 29. 1月19日以降に市外へ転出 |
| 10. 南高安小学校区 | 20. 永畑小学校区 | |

※小学校区がわからない場合は住所をご記入ください。

()町()丁目

※1月19日以降に市外へ転出された方につきましても、調査へのご協力をお願いします。

◆12 あなたは、八尾市にお住まいになってどれくらいたちますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1.	～ 2年未満	<input type="checkbox"/> → ◆13及び◆14へ
2.	2年以上～ 5年未満	
3.	5年以上～10年未満	
4.	10年以上～20年未満	
5.	20年以上～30年未満	
6.	30年以上～	

次の◆13及び◆14は、八尾市にお住まいになって5年未満の方(◆12で「1」または「2」に○をつけた方)に、お伺いします。

◆13 八尾市へ転入されたきっかけについて、お伺いします。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1.	住宅の購入・賃貸借
2.	ご結婚
3.	記入されているご本人又はご家族の家庭の事情(親族との同居など)
4.	記入されているご本人又はご家族の就職・転職・転勤
5.	記入されているご本人又はご家族の福祉施設・病院などへの入所・入院
6.	その他 ()

◆14 転入されたときに、居住地として八尾市を選ばれた理由について、お伺いします。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1.	以前住んでいたところ又は家族が住んでいるところだから
2.	世帯規模の拡大や子どもの成長に応じた住まいを求めていたから
3.	世帯規模の縮小に応じた住まいを求めていたから
4.	仕事と子育てを両立しやすい環境を求めていたから
5.	子どもへのより良い教育環境を求めていたから
6.	自然環境に恵まれている環境を求めていたから
7.	歴史・文化遺産に恵まれている環境を求めていたから
8.	日常の医療を受けやすい環境を求めていたから
9.	日常の買い物便利な環境を求めていたから
10.	仕事が身近で得られやすい環境を求めていたから
11.	通勤・通学に便利な環境を求めていたから
12.	交通事故や治安の心配が少ない環境を求めていたから
13.	自然災害の心配が少ない環境を求めていたから
14.	その他 ()

Ⅱ. みなさまの日常の暮らしについて、お伺いします。

健康づくりについて

問1 あなたは、健康のために運動を心がけるなど、自主的に何か取り組みをしていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

問2 あなたは、普段、栄養のバランスを考えて食事をしていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問3 あなたは、病気や健康について相談や受診できる「かかりつけ医」など(かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師)がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

文化、スポーツ、国際交流について

問4 あなたは、日常生活において、音楽、映画、演劇、美術等の芸術文化に親しんで心の豊かさを感じる時はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| 1. 大いにある | 2. 少しある | 3. あまりない | 4. 全くない |
|----------|---------|----------|---------|

問5 現在、あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 1. 週1回以上 | 3. 年に数回 | 5. 全くない |
| 2. 月に2～3回 | 4. 不定期 | |

問6 あなたは、さまざまな国の人たちと交流し、相互理解を深める国際交流について、興味がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. 興味がある | 2. 少し興味がある | 3. 興味がない |
|----------|------------|----------|

普段の暮らしについて

問7 あなたは、地域の商店街や個人商店でどの程度買い物をしますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|---------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月に2～3回 | 3. 年に数回 | 4. 不定期 | 5. 全くない |
|----------|-----------|---------|--------|---------|

問8 あなたは、インターネットを活用して、買い物(ネットショッピング)や宿泊施設の予約、チケットの申し込み等をすることがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. よく利用する 3. あまり利用しない 5. 利用しない
 2. 時々利用する 4. 今は利用していないが、今後利用したい

問9 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1. 家族で避難場所を決めている | 4. 日用品をすぐ持ち出せるようにしている |
| 2. 住んでいる所や勤めている所等を防災マップで確認している | 5. 3日分の食料・飲料用水を備蓄している(※) |
| 3. 防災訓練に参加している | 6. 特に何もしていない |

(※地震などの災害に備えて、最低3日分程度備蓄しておくことが必要だといわれています。また、飲料用水については1人1日3リットルが目安とされています。)

■マイナンバーカードについて

問10 マイナンバーカードを用いたコンビニ端末での証明書の取得には手数料の割引など利点がありますが、マイナンバーカードを用いて証明書を取得したことがありますか。最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

▶ 「2. カードを持っているが取得したことがない」を選んだ方にお伺いします。

カードを持っているが取得したことがない理由はなぜですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

<p>1. 取得したことがある</p> <p>2. カードを持っているが取得したことがない</p> <p>3. カードを持っていない</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>1. コンビニで取得できることを知らなかった</p> <p>2. コンビニ交付の利点を知らない・コンビニ交付に魅力を感じない</p> <p>3. 証明書を必要とする機会が少ない</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>4. 機械の操作が苦手</p> <p>5. 情報漏洩等が不安</p> <p>6. 窓口の方が安心して取得できる</p> <p>7. 暗証番号を覚えるのが大変</p> <p>8. 特にない・わからない</p> </td> </tr> </table>	<p>1. コンビニで取得できることを知らなかった</p> <p>2. コンビニ交付の利点を知らない・コンビニ交付に魅力を感じない</p> <p>3. 証明書を必要とする機会が少ない</p>	<p>4. 機械の操作が苦手</p> <p>5. 情報漏洩等が不安</p> <p>6. 窓口の方が安心して取得できる</p> <p>7. 暗証番号を覚えるのが大変</p> <p>8. 特にない・わからない</p>
<p>1. コンビニで取得できることを知らなかった</p> <p>2. コンビニ交付の利点を知らない・コンビニ交付に魅力を感じない</p> <p>3. 証明書を必要とする機会が少ない</p>	<p>4. 機械の操作が苦手</p> <p>5. 情報漏洩等が不安</p> <p>6. 窓口の方が安心して取得できる</p> <p>7. 暗証番号を覚えるのが大変</p> <p>8. 特にない・わからない</p>		

問11 コンビニ端末での証明書の取得以外の、マイナンバーカードを用いた代表的な行政サービスについて、あなたがこれまでに実際に利用したことがあるものはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. マイナポイントの申込・利用 | 4. あてはまるものはない |
| 2. ぴったりサービス(電子申請) | 5. カードを持っていない |
| 3. 健康保険証機能の登録・利用 | |

■ 人権・男女共同参画について

問12 あなたは、八尾市において、社会的身分、人種、民族、年齢、性別、障がいのあることなどによる差別がなくなりましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 思う 2. 少し思う 3. あまり思わない 4. 思わない 5. わからない

問13 男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習および相談の場として、八尾市男女共同参画センター「すみれ」(生涯学習センター「かがやき」4階内)を設置しています。あなたは、八尾市男女共同参画センター「すみれ」を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知っている 2. 知らない

■ 八尾の魅力について

問14 あなたは、八尾の魅力について尋ねられた時、答えることができますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 八尾の魅力をたくさん答えることができる 2. 八尾の魅力をいくつか答えることができる 3. 八尾の魅力がわからない

問15 あなたは、八尾の魅力を友人や知り合いにどの程度すすめたいと思いますか。とてもすすめたい場合を10点、全くすすめたくない場合を0点とすると、何点くらいになりますか。いずれかの数字1つに○をつけてください。

← とてもすすめたい 全くすすめたくない →

10点 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0点

問16 あなたは、八尾をより良くするための活動にどの程度関わりたいと思いますか。とても関わりたい場合を10点、全く関わりたい場合を0点とすると、何点くらいになりますか。いずれかの数字1つに○をつけてください。

← とても関わりたい 全く関わりたい →

10点 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0点

問17 あなたは、八尾をより良くするために活動している人に対して、どの程度感謝したいですか。とても感謝したい場合を10点、全く感謝したくない場合を0点とすると、何点くらいになりますか。いずれかの数字1つに○をつけてください。

← とても感謝したい 全く感謝したくない →

10点 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0点

Ⅲ. 八尾のまちについて、みなさまが日ごろ感じておられることについて、お伺いします。

問18 あなたが、八尾市で生活する中で、次のことについて、どのように思われますか。ア～セの項目ごとに、あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

<項目>

	思う	少し思う	あまり思わない	思わない	わからない
ア あなたは、公共施設を利用される際、誰もが利用しやすいバリアフリーな建物であると感じますか。	1	2	3	4	5
イ あなたは、地域での福祉活動が活発に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
ウ あなたは、地域でウォーキングや体操、食育など健康づくりのための活動が活発に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
エ あなたは、八尾市内に自然環境が多く残っていると思いますか。	1	2	3	4	5
オ 八尾市において、都市部ではそれぞれの地域特性に応じた住宅、工場、商店が立地し、郊外部では市街化が抑制され、自然環境の保全が図られていると思いますか。	1	2	3	4	5
カ あなたは、八尾市の歴史的まちなみ景観や玉串川・長瀬川等の水路景観について、うるおいと魅力ある景観づくりがなされていると思いますか。	1	2	3	4	5
キ あなたは、あなたのお住まいの地域のみなさんが考えている方向で、まちの整備が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ク あなたは、バスや鉄道などの公共交通機関を利用して出かけるときに、便利だと思いますか。	1	2	3	4	5
ケ あなたは、性別に関わらず男女が互いに認め合える差のない社会が実現していると思いますか。	1	2	3	4	5
コ あなたは、職場や地域において、女性が働きやすい、あるいは活動しやすい環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5
サ あなたは、行政の取り組みが、改善されていると思いますか。	1	2	3	4	5
シ あなたは、八尾市役所からの情報が入手しやすいと思いますか。	1	2	3	4	5
ス あなたは、子育てしやすい環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5
セ あなたは、平和な社会が大切だと思いますか。	1	2	3	4	5

IV. 公共施設の今後のあり方について、お伺いします。

問19 あなたは、八尾市の公共施設をこの1年間でどれだけ利用しましたか。ア～サについて、あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。
 利用した場合は()内に年間の利用回数を記入してください。利用しなかった場合は、その理由としてあてはまるものの番号すべてに○をつけてください。

	過去1年間の利用の有無 (どちらかに○)		利用しなかった場合の理由 (あてはまるものすべてに○)					
	利用した	利用しなかった	施設の存在やサービス内容が知らない	利用する必要がない	住まいからの距離が遠い	施設、サービス、料金に不満がある	他市の施設を利用している	同じような民間施設を利用している
ア 市役所庁舎	1 年約()回	2	⇒ 1	2	3	4	5	6
イ 出張所・コミュニティセンター ・人権コミュニティセンター	1 年約()回	2	⇒ 1	2	3	4	5	6
ウ 生涯学習施設 (生涯学習センター、くらし学習館)	1 年約()回	2	⇒ 1	2	3	4	5	6
エ 図書館	1 年約()回	2	⇒ 1	2	3	4	5	6
オ スポーツ施設 (総合体育館「ウイング」、南木の本 防災体育館、屋内プール「しづき」)	1 年約()回	2	⇒ 1	2	3	4	5	6
カ 運動広場等 (市民運動広場、青少年運動広場、 山本球場、志紀テニスコート)	1 年約()回	2	⇒ 1	2	3	4	5	6
キ 歴史資料館等 (歴史民俗資料館、しおんじやま古墳 学習館、旧植田家住宅等)	1 年約()回	2	⇒ 1	2	3	4	5	6
ク 福祉施設 (社会福祉会館・ 会館内の老人センターを含む)	1 年約()回	2	⇒ 1	2	3	4	5	6
ケ 福祉施設 (桂・安中老人福祉センター)	1 年約()回	2	⇒ 1	2	3	4	5	6
コ 青少年施設 (桂・安中青少年会館)	1 年約()回	2	⇒ 1	2	3	4	5	6
サ 青少年施設 (青少年センター、青少年野外活動 センター「アクトランド YAO」)	1 年約()回	2	⇒ 1	2	3	4	5	6

V. 今後の定住意向について、お伺いします。

問20 あなたは、今後も八尾市に住みつづけたいとお考えですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--|---|--------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 今の場所に住みつづけたい 2. 市内の他の場所で住みつづけたい 3. いずれ市外に引っ越したい 4. 市外に引っ越す予定がある 5. すでに市外に引っ越した(1月19日以降) 6. わからない | } | 問20-1へ |
|--|---|--------|

問20 で「3」～「5」に○をつけた方にお伺いします。

問20-1 あなたが、市外へ引っ越したいと思われる理由または引っ越した理由を教えてください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 以前住んでいたところ又は親せき・友人等人とのつながりを求めて 2. 世帯規模の拡大や子どもの成長に応じた住まいを求めて 3. 世帯規模の縮小に応じた住まいを求めて 4. 仕事と子育てを両立しやすい環境を求めて 5. 子どもへのより良い教育環境を求めて 6. 自然環境に恵まれている環境を求めて 7. 歴史・文化遺産に恵まれている環境を求めて 8. 日常の医療を受けやすい環境を求めて 9. 日常の買い物が便利な環境を求めて 10. 仕事が身近で得られやすい環境を求めて 11. 通勤・通学に便利な環境を求めて 12. 交通事故や治安の心配が少ない環境を求めて 13. 自然災害の心配が少ない環境を求めて 14. 遠方への進学・就職や転勤のため 15. 結婚・離婚・出産・家族介護等による家族・親族等との同居・近居のため 16. まちなみの景観や自然、静けさや治安などの住環境を求めて 17. 他市に魅力を感じて 18. その他() |
|--|

や お し しやうらいとしぞう じつげんじやうきやう うかが
VI. 八尾市の将来都市像の実現状況について、お伺いします。

問21 第6次総合計画を進めるにあたり、将来都市像を「つながり、かがやき、しあわせつづく、成長都市 八尾」と定め、次のような社会の実現をめざしています。ア～コの項目ごとに、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。
 【オ～コのご回答にあたっては、別紙をご参考ください。】

＜項目＞

	思う	少し思う	あまり思わない	思わない	わからない
ア 私は、温かく思いやりのある心をもって、さまざまな人と互いに寄り添いつながることができている	1	2	3	4	5
イ 私は、夢と志を持ち、生きがいを感じ、自分らしくかがやいている	1	2	3	4	5
ウ 私は、社会的身分・人種・民族・信条・性・年齢・障がいの有無などにかかわらず、しあわせを八尾で実感できている	1	2	3	4	5
エ 私は、仮に八尾を離れたとしても、いつかは八尾に戻ってきたいという想いをもっている	1	2	3	4	5
オ 八尾市は、子どもや若者が、様々な状況に合わせた支援を受け、人の温かさの中で育つ「未来への育ちを誰もが実感できるまち」となっている	1	2	3	4	5
カ 八尾市は、危機に直面した場合にも、地域の中で、いざという時は困っているすべての人に支援の手が届く「もしもの時への備えがあるまち」となっている	1	2	3	4	5
キ 八尾市は、魅力が広く知られ、あらゆる人材や企業が活発に活動し、活気にあふれ、注目される「世界に魅力が広がるまち」となっている	1	2	3	4	5
ク 八尾市は、市民自らが環境に対し取り組みを行う「日常の暮らしが快適で環境にやさしいまち」となっている	1	2	3	4	5
ケ 八尾市は、お互いの人権を大切にし、自分らしく活動ができる「つながりを創り育て自分らしさを大切にしようまち」となっている	1	2	3	4	5
コ 八尾市は、住んでいる地域のまちづくりに市民が参加するなど、「みんなの力でともにつくる持続可能なまち」となっている	1	2	3	4	5

Ⅶ. 身近な地域(小学校区や町会など)の地域活動について、お伺いします。

問22 あなたは、各小学校区において「校区まちづくり協議会」が設立され、様々な地域活動を実施していることを知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 校区まちづくり協議会の担い手として活動に参加したことがある 校区まちづくり協議会が実施するイベントなどに参加したことがある 校区まちづくり協議会を知っているが、イベントなどに参加したことはない 校区まちづくり協議会を知らない | } 問22-1
へ |
|---|--------------|

問22 で「1」～「3」に○をつけた方にお伺いします。

問22-1 地域活動を何で知りましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------|-----------|----------------|
| 1. 回覧板 | 3. 市政だより | 5. インターネット・SNS |
| 2. 広報板 | 4. 人から聞いた | 6. その他() |

すべての方にお伺いします。

問23 あなたは、地域活動(町会等)や市民活動(福祉や環境等テーマに沿った活動)への参加についてどのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--|--------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 参加した経験がある 参加した経験はないが、今後積極的に参加したい 参加した経験はないが、条件があえば参加したい 参加したいとは思わない | } 問23-1
へ |
| (理由をお聞かせください:) | |
| (条件をお聞かせください:) | |

問23 で「2」～「4」に○をつけた方にお伺いします。

問23-1 どんな活動があったら良いですか。簡単にご記入ください。

Ⅷ. 八尾市の取り組みについて、お伺いします。

問24 あなたは、八尾市が企業や大学等と連携し、市民サービスの向上や地域活性化を図るため、公民連携の取り組みを進めていることを知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問25 あなたは、八尾市の公民連携の取り組みにより、市民サービスが向上していると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|-------|---------|------------|---------|----------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない | 4. 思わない | 5. わからない |
|-------|---------|------------|---------|----------|

問26 や お し や お みりよく しながい はっしん と く すす や お
八尾市では、八尾の魅力を市内外に発信する取り組みを進めていますが、あなたは、八尾
の魅力は何だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|------------|
| 1. 買い物がしやすい | 5. 八尾若ごぼう・枝豆 | 7. 歴史資産が多い |
| 2. 交通の便がよい | などの特産品がある | 8. 自然が多い |
| 3. 子育てがしやすい | 6. 大型商業施設がある | 9. その他() |
| 4. 河内音頭が盛んである | 7. 中小企業が元気だ | 10. 特になし |

問27 あなたは、八尾市の行政の取り組みに満足していますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-------|---------|---------|-------|

問28 あなたは、普段、市役所に関する情報を得るときに、どこから情報を得ますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|-------------|-----------------------|
| 1. 市政だより | 7. 市のホームページ | 10. 市公式Facebook(広報やお) |
| 2. 暮らしのガイドブック (パソコンサイト) | | 11. 市公式Twitter |
| 3. FMちゃお | 8. 市のホームページ | 12. 市公式アプリ「やおっふ」 |
| 4. 市役所の窓口 (スマートフォンサイト) | | 13. 市公式LINE |
| 5. 出張所の窓口 | 9. 市のホームページ | 14. 自治会などの掲示板・回覧板 |
| 6. 市役所等への電話 (携帯サイト) | | 15. 家族、隣人、知人 |
| | | 16. その他() |

問29 地域の身近な行政窓口である出張所(コミュニティセンター)では、各種証明書発行や
届出受付等のほか、地域のまちづくり支援や地域住民の自主的な活動の場を提供して
おりますが、今後、出張所でこういったサービスがさらに拡充されると良いと思いますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1. 各担当課とオンラインでの相談・申請
などの受付ができる窓口 | 5. 金融や郵便局機能等の併設 |
| 2. 市政に関する情報や資料の提供
などの充実 | 6. 夜間や休日等における各種講座
などの充実 |
| 3. 地域活動のための公衆無線LAN
(Wi-Fi)環境 | 7. その他
() |
| 4. 地域住民が自主運営できる活動施設 | 8. 特になし |

IX. これまでの設問に関わらず、ご意見等がございましたらご記入ください。

調査にご協力いただきありがとうございました。

2月7日(月)までに同封の返信用封筒(切手不要)で、郵送してください。

■令和3年度 八尾市民意識調査報告書

令和4（2022）年3月発行

発行者 八尾市 政策企画部 政策推進課

〒581-0003 大阪府八尾市本町一丁目1番1号

TEL 072-924-3816 Fax 072-924-3570

電子メール seisakusuisin@city.yao.osaka.jp

刊行物番号 R3-223